

# HT-4558-80R

## ユーザーズ ガイド

マニュアルはよく読み、保管してください。

- 操作を行う前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
- このマニュアルはいつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。



## 来歴表

マニュアル Rev.	マシン Rev.	追加、変更内容	変更年月
00	—	初版—全ページ	2010年7月
01	—	1-15(01)、4-2(01)	2010年12月
02	—	6-27(01)	2011年5月
03	—	目次-ii(01)、2-26(01)、4-5(01)、4-6(01)、7-10(01)	2011年9月
04	—	1-3(01)、1-15(02)、6-1(01)、6-23(01) A-1(01)、A-4(01)、A-5(00)、A-6(00) B-17(01)、G-1(00)、G-2(00)	2012年5月
05	—	目次-v(01)、安全-5(01)、2-7(01)、2-27(01)、 2-31(01)、3-5(01)、A-1(02)、A-4(02)、A-5(01)、 H-1(00)、H-2(00)	2012年9月
06	—	表紙、著作権(01)、安全-8(01)、1-3(02)、2-12(01)、 4-5(02)、4-7(01)、4-8(01)、4-17(01)、5-2(01)、 5-4(01)～5-6(01)、5-9(01)、5-10(01)、5-23(01)、 7-19(01)、A-4(03)、B-15(01)	2013年9月
07	—	表紙、著作権(02)、2-8(01)、2-16(01)、2-40(01)、 2-41(01)、2-42(01)、2-43(00)、2-44(00)、4-8(02)、 5-2(02)、5-23(02)	2014年4月
08	—	表紙、著作権(03)、6-10(01)	2015年7月
09	—	B-2(01)、B-03(01)、B-7(01)、B-8(01)、B-9(01)、 B-10(01)、B-13(01)、B-14(01)、B-16(01)、B-17(02)、 B-18(01)	2015年10月





## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

## 高調波電流自主規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

0G	B	00	
----	---	----	--

## ご注意(本書について)

1. 本書の内容の一部または全部を無断掲載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては予告なしに変更することがあります。
3. 本書は内容について万全を期して作成いたしましたですが、万一ご不明な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご連絡ください。
4. 本マニュアルに記載した製品に関し、性能、品質、商品価値、または特定の使用目的に対する整合性に関しても、その保証はいたしかねますのでご了承ください。本製品の性能品質に関する全責任は購入者が負うものといたします。
5. 本製品指定以外のものを使用してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本製品、本マニュアルまたはソフトウェアの欠陥による直接または間接的に生じた損害については一切責任を負いかねますのでご了承ください。

## 著作権

Copyright (C) 2010, 2015 Ricoh Company, Ltd. All rights reserved.

本書の全内容は、著作権によって保護されています。このマニュアルの一部または全部を、電気、機械、磁気、光学、化学、文書その他のいかなる形式または方法により、無断で使用、複写、転写、検索システムへの保存またはコンピュータ言語を含めいかなる言語に翻訳することはできません。

## 商標

Adobe, PostScript は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

Microsoft, Windows, WindowsNT は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標もしくは商標です。

UNIX オペレーティングシステムは、UNIX System Laboratories 社が開発しライセンスしています。

Ethernet は、米国 Xerox Corp.の商品名称です。

PCL, PCL5e は、Hewlett-Packard Company の登録商標です。

その他社名・製品名は、それぞれの登録商標もしくは商標です。

本製品に含まれる Monotype Imaging 社の TrueType フォントの複製は禁止されています。

この製品に使用しているソフトウェアは、Independent JPEG Group に基づいています。

この製品のソフトウェアは、カーネギーメロン大学が開発したソフトウェアを使用しています。

Copyright 1988,1989 by Carnegie Mellon University. All rights reserved.

上記ソフトウェアと関連する書類のコピー・修正・配布は、上記の著作権表示と使用許諾文を使用する全てのソフトウェアおよび関連書類のコピーに明示することにより、いかなる使用目的であっても無償で許可されています。また、カーネギーメロン大学の名前は、カーネギーメロン大学に予め書面で許可を得ない限り、本ソフトウェアの配布に関連するあらゆる広告あるいは宣伝に使用することを禁じます。

この製品は Sam Leffler および Silicon Graphics 社が開発したソフトウェアを使用しています。

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler

Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics Inc.

上記ソフトウェアと関連する書類のコピー・修正・配布・販売は、下記条件の範囲内でいかなる使用目的であっても無償で許可されています。

( i ) 上記の著作権表示と使用許諾文を使用する全てのソフトウェアおよび関連書類のコピーに明示すること。

( ii ) Sam Leffler and Silicon Graphics の名前は、Sam Leffler and Silicon Graphics に予め書面で許可を得ない限り、本ソフトウェアに関連するあらゆる広告あるいは宣伝に使用することを禁じます。

OG	B	03	
----	---	----	--

# はじめに

このユーザーズガイドは、HT-4558-80R レーザービームプリンタの操作のしかたとご使用上で注意していただきたいことを記載してあります。

プリンタをお使いいただく前に、このユーザーズガイドをよくお読みいただき、書かれている指示や注意を十分理解して、正しくお使いください。

このユーザーズガイドが必要になったとき、すぐに参照できるよう、使いやすい場所に大切に保管してください。

このマニュアルの内容は、予告なく変更されることがあります。

0G	B	00	
----	---	----	--

BLANK

0G	B	00	
----	---	----	--

# 目次

 安全にお取り扱いいただくために .....	安全-1
---	------

## 第 1 章 プリンタの概要

1.1 この章の内容 .....	1- 1
1.2 プリンタの特徴 .....	1- 2
1.3 インターフェース.....	1- 3
1.4 オペレータ・コントロール・パネル.....	1- 3
1.5 プリンタの外観 .....	1- 4
1.6 プリンタの内部 .....	1- 6
1.7 プリンタの電源を入れる.....	1- 7
1.8 プリンタの電源を切る.....	1- 8
1.9 設置に必要なスペース.....	1-14
1.10 機器添付品 .....	1-15

## 第 2 章 オペレータ・コントロール・パネル

2.1 この章の内容 .....	2- 1
2.2 OCP の概要 .....	2- 2
2.3 メインメニューの使い方.....	2- 3
2.3.1 アイコン・ボタンのヘルプ画面を参照する方法 .....	2- 4
2.3.2 プリンタに関する各種情報を得る方法 .....	2- 6
2.4 プリンタ設定メニューの使い方.....	2- 8
2.4.1 「用紙設定」サブメニューの使い方 .....	2- 9
2.4.2 「オプション」サブメニューの使い方 .....	2-12
2.4.2.1 NPR0 選択.....	2-14
2.4.3 「テスト印刷」サブメニューの使い方 .....	2-14
2.4.4 「PCL」サブメニューの使い方 .....	2-15
2.4.5 「ポストスクリプト」サブメニューの使い方 .....	2-16
2.5 環境設定メニューの使い方.....	2-18
2.5.1 「操作パネル」サブメニューの使い方 .....	2-19
2.5.2 「システム」サブメニューの使い方 .....	2-20
2.5.3 「消耗品」サブメニューの使い方 .....	2-27
2.5.4 「パネル表示言語」サブメニューの使い方 .....	2-32
2.6 レポート印刷メニューの使い方.....	2-33
2.7 印刷ジョブ一覧メニューの使い方.....	2-35
2.8 パスワード管理 .....	2-37
2.9 メニュー構成 .....	2-37
2.10 用紙サイズ・印刷位置のプリセット.....	2-40

OG	B	00	
----	---	----	--

## 第 3 章 用紙

3.1 この章の内容 .....	3- 1
3.2 推奨される用紙 .....	3- 2
3.3 用紙重量と用紙サイズ.....	3- 2
3.4 利用できない用紙.....	3- 2
3.5 用紙の保管方法 .....	3- 3
3.6 用紙の取り付け .....	3- 4
3.6.1 操作の前に .....	3- 4
3.6.2 用紙の取り付け .....	3- 6
3.6.3 用紙の張りの確認と調整 .....	3-11
3.6.4 用紙の取り出し .....	3-12
3.6.5 用紙の停止位置の確認 .....	3-14
3.6.6 印刷位置の確認 .....	3-15

## 第 4 章 ネットワーク設定

4.1 この章の内容 .....	4- 1
4.2 ネットワークへの接続.....	4- 2
4.3 ネットワーク・インタフェースの設定 .....	4- 3
4.3.1 IP アドレスその他のネットワーク・パラメータの設定 .....	4- 3
4.3.2 TCP/IP プロトコルを使用した LPR/LPD 印刷.....	4- 5
4.3.3 EtherTalk プロトコルを使用した印刷.....	4- 6
4.4 MAC アドレスの確認.....	4- 6
4.5 Web ブラウザを用いた設定 .....	4- 6
4.5.1 システム共通設定項目へのアクセスと設定の手順 .....	4- 7
4.5.2 プロトコルごとの設定項目へのアクセスと設定の手順 .....	4- 9
4.5.3 その他の設定項目へのアクセスと設定の手順.....	4-10
4.6 プリンタドライバのインストール.....	4-12
4.7 UNIX オペレーティングシステムへの登録 .....	4-12
4.7.1 SunOS 4.1.3C .....	4-12
4.7.2 Solaris 2.5, 2.5.1, 2.6, 7, 8, 9 .....	4-14
4.7.3 HP-UX 10.10, 10.20, 11.00, 11 i .....	4-16
4.7.4 HI-UX WE2 6.20 3050RX .....	4-18
4.7.5 AIX 5L .....	4-19
4.8 JP1/NPS システムに接続する場合の注意点 .....	4-21

OG	B	01	
----	---	----	--

## 第 5 章 Web インターフェース機能

5.1 この章の内容 .....	5- 1
5.2 Web ブラウザによるプリンタへのアクセス .....	5- 2
5.3 Web ページのコンポーネント概略 .....	5- 3
5.4 「ステータス」ページの使い方.....	5- 4
5.4.1 「ステータス一般」ページ .....	5- 4
5.4.2 「ステータスプリンタ」ページ .....	5- 5
5.4.3 「ステータス消耗品」ページ .....	5- 5
5.4.4 「ステータス使用状況」ページ .....	5- 5
5.4.5 「ステータスネットワーク I/F」ページ.....	5- 5
5.4.6 「ステータスレビジョン」ページ .....	5- 6
5.4.7 「ステータスレポート印刷」ページ .....	5- 6
5.5 「システム」ページの使い方.....	5- 7
5.5.1 「システム一般」ページ .....	5- 7
5.5.2 「システムプリンタ」ページ .....	5- 7
5.5.3 「システム論理プリンタ」ページ .....	5- 9
5.5.4 「システム構成」ページ .....	5-15
5.5.5 「システム印刷履歴」ページ .....	5-18
5.5.6 「システム印刷ジョブ」ページ .....	5-20
5.5.7 「システム問い合わせ先設定」ページ .....	5-21
5.5.8 「プリセットファイル」ページ .....	5-22
5.6 その他のページの使い方.....	5-23
5.6.1 「お問い合わせ」ページ .....	5-23
5.6.2 「リンク」ページ .....	5-23
5.6.3 「サイトマップ」ページ .....	5-23

## 第 6 章 お手入れとメンテナンス

6.1 この章の内容 .....	6- 1
6.2 消耗品の交換 .....	6- 2
6.2.1 トナーの補給 .....	6- 2
6.2.2 トナーバグの交換 .....	6- 5
6.2.3 現像剤の交換 .....	6- 6
6.2.4 クリーナの交換 .....	6-12
6.2.5 OPC ドラムの交換.....	6-14
6.2.6 定着ユニットの交換 .....	6-16
6.2.7 HR クリーナクミの交換 .....	6-18
6.3 用紙ジャムの修復.....	6-20
6.3.1 スタッカ部での用紙ジャムの修復 .....	6-20
6.3.2 スタッカ部以外での用紙ジャムの修復 .....	6-21
6.4 印刷品質のチェック.....	6-23

OG	B	00	
----	---	----	--

6.5	プリンタの清掃	6-24
6.5.1	用紙ホッパの清掃	6-25
6.5.2	用紙スタッカの清掃	6-26
6.5.3	チャージャユニットの清掃	6-27
6.5.4	転写器の清掃	6-28
6.5.5	トナーホッパ周辺の清掃	6-28
6.5.6	トナーバッグ周辺の清掃	6-29
6.6	消耗品の取り扱いと保管	6-30
6.6.1	印刷用紙	6-30
6.6.2	トナーと現像剤	6-31

## 第 7 章 トラブルシューティング

7.1	この章の内容	7- 1
7.2	ガイドライン・フローチャート	7- 2
7.3	基本的な問題解決のヒント	7- 3
7.4	一般的な印刷時の問題	7- 4
7.5	印刷品質の問題	7- 4
7.6	使用上の留意事項	7- 5
7.7	ネットワークの問題	7- 6
7.7.1	TCP/IP プロトコルで発生する問題	7- 6
7.7.2	ネットワークとの接続における共通問題	7- 7
7.8	エラーリカバリ印刷	7- 8
7.9	OCF に表示されるメッセージ	7- 9

## 付録 A 各種仕様

A.1	プリンタ本体	A- 1
A.2	I/O インターフェース	A- 2
A.3	消耗品	A- 4

## 付録 B 用紙の仕様

B.1	用紙について	B- 1
B.1.1	用紙についての一般的な推奨条件	B- 1
B.1.2	用紙の仕様	B- 2
B.1.3	用紙の重量	B- 3
B.1.4	用紙のサイズ	B- 3
B.1.5	用紙のミシン仕様	B- 5
B.1.6	送り穴	B- 7
B.1.7	送り穴以外の穴	B- 8

OG	B	00	
----	---	----	--



B. 1. 8 用紙の色 .....	B-10
B. 1. 9 印刷の色 .....	B-10
B. 1. 10 印刷可能範囲 .....	B-11
B. 1. 11 印刷禁止領域 .....	B-12
B. 1. 12 プレプリント紙 .....	B-13
B. 1. 13 帳票 .....	B-15
B. 1. 14 保管条件 .....	B-16
B. 1. 15 梱包 .....	B-16
B. 1. 16 用紙に関する注意事項 .....	B-16

## 付録 C レポート印刷

C. 1 ステータス・レポート印刷.....	C- 1
C. 2 PCL ディスク・ディレクトリ・レポート印刷 .....	C- 2
C. 3 PostScript ディスク・ディレクトリ・レポート印刷 .....	C- 2
C. 4 PCL フォント一覧印刷 .....	C- 3
C. 5 PostScript フォント一覧印刷 .....	C- 4
C. 6 プリセット一覧印刷 .....	C- 5

## 付録 D テスト印刷

## 付録 E ベストフィット機能について

## 付録 F フォントのダウンロード

F. 1 フォントダウンロードの準備.....	F- 1
F. 2 フォントのダウンロード.....	F- 1

## 付録 G 重送防止ユニットについて

G. 1 重送防止ユニットの取り付け手順.....	G- 1
G. 2 重送防止ユニットの操作手順.....	G- 2

## 付録 H バーコード印刷

H. 1 文字太り位置について.....	H- 1
H. 2 GS1-128 バーコードの印刷について .....	H- 2

OG	B	01	
----	---	----	--

BLANK


0G	B	00	
----	---	----	--


# ▲ 安全にお取り扱いいただくために


## 1. ▲ 安全に関する注意事項

以下に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- ・ 操作は、このマニュアル内の指示、手順に従って行ってください。
- ・ 装置やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。  
これを怠ると、人身上の障害や装置の破損をひき起こす恐れがあります。
- ・ 安全に関する注意事項は、下に示す見出しによって表示されます。これは「危険」、「警告」および「注意」という見出し語と注意シンボルを組み合わせたものです。

 危険：これは、死亡または重大な傷害を引き起こす可能性が高い、差し迫った危険の存在を示すのに用いられます。

 警告：これは、死亡または重大な傷害をひき起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用いられます。

 注意：これは、比較的軽度の傷害、あるいは装置の重大な損傷をひき起こす恐れのある潜在的な危険の存在を示すのに用いられます。



この注意シンボルは見出し語などと共に用いられ、そこに記述されている事柄が安全に関するものであることを示し、注目させるために用いられます。

なお、「留意点」という見出し語は、人身の安全と直接関係しない注意書きを示すのに用いられます。

- ・ マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。  
装置について何か問題がある場合は、保守員をお呼びください。
- ・ 装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分に検討されたものですが、それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。  
操作にあたっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

OG	B	00	
----	---	----	--

## ⚠️ 安全にお取り扱いいただくために(続き)

- ・電源プラグは、必ず定格電源のコンセントに差し込んでください。そうでない場合には、火事や感電を引き起こす場合があります。
- ・1つの電源供給口に、複数の取り出し口をもつ電源タップをつないで、複数の電源プラグを差し込むのはお止めください。必ず1口のコンセントにつないでプリンタを稼働させてください。2口以上のコンセントを使うと、過熱状態になり出火の原因となる恐れがあります。
- ・プラグ接続の部分には、ホコリがたまらないように気をつけてください。湿気の多い環境では、プラグ接続の部分が汚れていると、無視できないほどの電流が流れ、熱を帯び、長い間そのままにしておくと、出火に至ることがあります。
- ・必ずプリンタに添付されている電源コードをご使用ください。延長コードが必要なときは、必ず正しい定格のコードをご使用ください。
- ・電源コードに損傷を与えないでください。また、電源コードを加工したり、引っ張ったり、曲げたり、擦り付けたりしないでください。コードの上に重いものを置かないようにしてください。
- ・濡れた手で電源コードを触らないでください。
- ・プリンタから煙、過剰な熱、異常な音や匂いがしたら、またプリンタ内に液体をこぼしてしまったら、すぐに電源を切り、プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・電源コードが破損したり、絶縁されている導線が表面に出てきたら、必ずコードを別のものに交換してください(破損したコードは使用しないでください)。
- ・プリンタの電源が入っているときには、プリンタの電源コードをコンセントから抜かないでください。
- ・プリンタの電源コードをコンセントから抜くときには、コードではなくプラグを持って抜いてください。
- ・プリンタ内部の清掃やメンテナンスを行う際には、必ずプリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- ・長期間プリンタを使用しない場合は、スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

OG	B	00	
----	---	----	--

## ▲ 安全にお取り扱いいただくために(続き)

- ・月に1回は、プリンタの電源コードを抜いて、以下のことを点検してください。
  - ① 電源コードがコンセントの受け口にしっかり接続されるかどうか。
  - ② 電源コードにひび割れや擦り切れた箇所がないかどうか。
  - ③ 電源プラグが過剰な熱を帯びたり、錆がついていたり、曲っていたりしないかどうか。
  - ④ 電源プラグや受け口の部分にホコリがたまっていないか。
- ・インターフェース・ケーブルやオプション装置を接続する際には、プリンタの電源は切っておいてください。
- ・プリンタは、ヒーターの近く、あるいは揮発性、引火性及び可燃性のあるものの近くには設置しないでください。
- ・プリンタの重みを支えることができる水平で安定した床の上にプリンタを設置してください。傾いていると、プリンタが倒れ、人にけがを負わせる恐れがあります。
- ・プリンタは、暑い場所、湿度の高い場所、ほこりの多い場所及び換気の悪い場所には設置しないでください。
- ・プリンタを移動するときには、必ず電源コードをコンセントから抜いてから動かしてください。電源コードをつないだままプリンタを移動すると、コードに損傷を与える可能性があります。
- ・プリンタを動かす場合、10度以上は傾けないでください。傾けすぎると、プリンタが倒れ、人にけがを負わせる恐れがあります。
- ・長い距離を移動する必要がある場合には、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・本プリンタは、以下の環境条件の下で、動作します。
  - 温度の範囲：16～32℃
  - 湿度の範囲：20～80%RH（結露のないこと）
- ・気温が急激に変化すると、印刷品質に影響を及ぼすことがあります。寒い部屋で急速に暖房を行うと、プリンタ内部に結露を招き、印刷に直接障害をもたらす場合があります。
- ・プリンタに直射日光が当たらないようにしてください。プリンタの性能が低下することがあります。
- ・トッスライドカバー（トップカバー部の窓）を開いたまま印刷しないでください。外光の影響で印刷異常が発生することがあります。

OG	B	00	
----	---	----	--

## ▲ 安全にお取り扱いいただくために(続き)

- ・プリンタの周辺は、常に整理し、照明も十分とって、お使いください。整理整頓は安全の第一歩です。
- ・安全に留意した服装で操作をしてください。ネクタイがネクタイピンで留められていなかったり、袖口を開いたまま操作しますと、回転体に巻き込まれて怪我をする恐れがあります。
- ・プリンタのカバーは安全性と騒音を小さくするための配慮をした設計がなされています。カバーを開けたままにしておくと、安全性、防音効果が減少しますので、印刷中は必ずカバーを閉じてください。
- ・プリンタのカバーの上には、何も置かないでください。カバーを開くときに、誤って物を装置内部に落としたりあるいは床に落としたりして危険です。
- ・印刷動作中に可動部や通電部に触れると大変危険ですので、印刷動作中には不用意に内部カバーを外したり、内部の装置に触れないでください。
- ・プリンタを操作するときには、必ず装置に表示されている操作銘板や注意銘板を読み、それに従ってください。これらの銘板はオペレータの安全確保と、装置を正しく動作させるために設けられています。
- ・停止状態から急に動作を開始する場合がありますので、不用意に装置内部へ手足や頭などを入れないでください。
- ・一人が装置に触れているときに、他の人が電源を投入したり、操作スイッチを押したりしないように注意してください。また別の人が装置に触れていないことを確認してください。
- ・プリンタの清掃、簡単な点検や保守は、本マニュアルに記載されている電源切断の方法により、電源を切断してから行ってください。
- ・故障修理は、本マニュアルに記載されている範囲の作業を行ってください。記載範囲以外の作業は保守員に連絡してください。
- ・プリンタ内の高電圧部位には警告ラベルが貼ってあります。プリンタの電源がオンされているときは、この部位には絶対に手などを触れないでください。誤って触れると、けがを負う恐れがあります。
- ・プリンタ用紙には、消耗品の仕様に準拠したものをご使用ください。仕様に準拠しない用紙に印刷を行うと、用紙ジャムを起こしたり、印刷品質を低下させることがあります。

OG	B	00	
----	---	----	--

## ▲ 安全にお取り扱いいただくために(続き)

- ・用紙の歪みや用紙ジャムを起こさないようにするために、給紙部には正しく用紙をセットしてください。
- ・定着機部分を扱っているときには、とくに注意してください。定着機内部には、絶対に手などを触れないでください。定着機は非常に高温（約 190℃）になりますので、誤って触れると、やけどを負う恐れがあります。
- ・トナーと現像剤は、粉末状の粒子でできています。トナーや現像剤が誤ってこぼれたり、循環しているときに、トナーや現像剤を吸い込まないように注意してください。床にこぼれたときには、すぐに水を含んだ布できれいに拭き取ってください。これらの物質は、滑りやすい球状の金属ですので、その上で足をすべらして事故を招く可能性があります。
- ・この装置は、オゾンを発生させます。適切な換気を行うようにしてください。本プリンタは、狭い部屋（27m<sup>3</sup>以下の部屋）に設置する場合には、頻繁に換気を行うようにしてください。
- ・用紙、トナーなどの消耗品は、直射日光が当たらず暖房器具から離れた場所に保管してください。湿度の少ない、涼しい、清潔な環境で保管してください。
- ・用紙を包装紙から取り出したがプリンタ給紙部にセットしなかった場合は、密閉したビニールの袋に入れて冷暗所に保管してください。
- ・手がトナーで汚れたときには、すぐに石鹸を使って洗い流してください。
- ・装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分に検討されたものでありますが、それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。操作にあたっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。
- ・プリンタに最適な性能を発揮させ、安全な稼働を確保するためには、このマニュアルに記載されている手順や指示に従ってください。
- ・カーボン繊維の除電ブラシを使用した機器（例：用紙裁断機、他）が近くにあると、折損した短いカーボン繊維が空中に浮遊し、プリンタ内部に浸入して故障要因となる場合がありますので、プリンタからできるだけ離れた位置（10m以上）に設置するようにお願いします。また、プリンタの近くの作業台等でカーボン繊維(除電ブラシ)が付着した裁断後の用紙を仕分けするときも同様の事が発生しますので、離れた位置（10m以上）で作業を行いますようお願いします。

OG	B	01	
----	---	----	--

## 安全にお取り扱いいただくために(続き)

### 2. 本マニュアル内の警告表示

このマニュアルの中に書かれている警告とその記載個所を以下にまとめて示します。ただし、「危険」を用いた記載はありません。

#### 2.1 「警告」と表示されているもの

- 緊急時には、AC パワースイッチを切ることによって電源を切ってください。  
(1.7 節、1-7 ページ)
- トナーボトルは火中に投げ込まないでください。火中に投げ込むと急激に燃えることがあり、火災やけがの原因になります。
- トナーボトルは不燃物として廃棄してください。  
(6.2.1 項、6-4 ページ)
- 使用済みの現像剤ボトルは火中に投げ込まないでください。火中に投げ込むと急激に燃えることがあり、火災やけがの原因になります。  
(6.2.3 項、6-11 ページ)
- 作業上電源を投入する必要のない場合には、作業前に必ず電源を切断してください。回転部、通電部などへ手などが触れた場合や、工具等を装置へ落とした場合の安全を確保するためです。  
(6.5 節、6-24 ページ)

#### 2.2 「注意」と表示されているもの

- プリンタの電源を再投入するときは、5 秒以上待ってから電源を入れてください。プリンタの電源が入らないときは、パワースイッチと AC パワースイッチを順に切断し、30 秒以上待ってから、プリンタの電源を入れてください。  
(1.7 節、1-7 ページ)
- 自動バックアップ中に電源を切ると再投入時に正常に起動しなくなる場合があります。  
(1.8 節、1-13 ページ)
- 変更後のシステムパスワードを紛失した場合はシステムパスワードを再設定する必要がありますが、再設定操作にはサービスパスワードが必要です。そのようなときには保守員に連絡してください。  
(2.8 節、2-38 ページ)  
(5.5.4 節、5-16 ページ)
- 搬送ユニットを閉める時、ハンドルとラッチレバーの間に指を入れないでください。指を挟む場合があります。  
(3.6.2 項、3-8 ページ)  
(3.6.5 項、3-14 ページ)
- スタッカテーブル上に用紙を残したまま AUTO LOAD を行うと、用紙の先端が初期の位置にうまく案内されないため、印刷開始直後にジャムが発生することがあります。スタッカテーブル上に残った用紙は必ず取り除いてください。  
(3.6.2 項、3-9 ページ)

OG	B	00	
----	---	----	--



## 安全にお取り扱いいただくために(続き)

- 用紙をプリンタに取り付けるときや取り出すときなどで用紙を持ち上げる場合は、腰や背中に無理な力がかからないようにしてください。用紙を両手でしっかり持ち、背中を地面に垂直になるようにして、足の筋肉を使って持ち上げるようにしてください。
- スタッカテーブルの動作中は、スタッカテーブルの上および下には絶対に手や足などを入れないでください。テーブルとフレームの間にはさまれる恐れがあります。
- 用紙の取り出しおよび手直しはスタッカテーブルが停止していることを確認してから行ってください。

(3.6.4 項、3-13 ページ)

- IP アドレスを設定する場合、ネットワーク管理者から与えられた IP アドレスであることを確認して下さい。誤った IP アドレスを設定すると、ネットワークの破壊等、ネットワーク環境に深刻な被害を与える可能性があります。

(4.3.1 項、4-3 ページ)

- 本章で説明している以外の項目は設定しないでください。設定した場合、プリンタが動作しなくなる可能性があります。
- HTTP を使用するためには、本プリンタに IP アドレスが設定されている必要があります。

(4.5 節、4-6 ページ)

- トナーは人体に有害ではありませんが、トナーを吸い込んだり飲み込んだりしないよう注意して下さい。気分が悪くなる場合があります。
- 取り扱い中にトナーが目に入った場合は、ただちに流水で 15 分以上洗眼してください。何か症状が出たら、医師の診療を受けてください。
- トナーが皮膚や衣類に付着した時は、石鹼水で完全に洗い流してください。何か症状が出たら、医師の診療を受けてください。

(6.2.1 項、6-4 ページ)

OG	B	00	
----	---	----	--

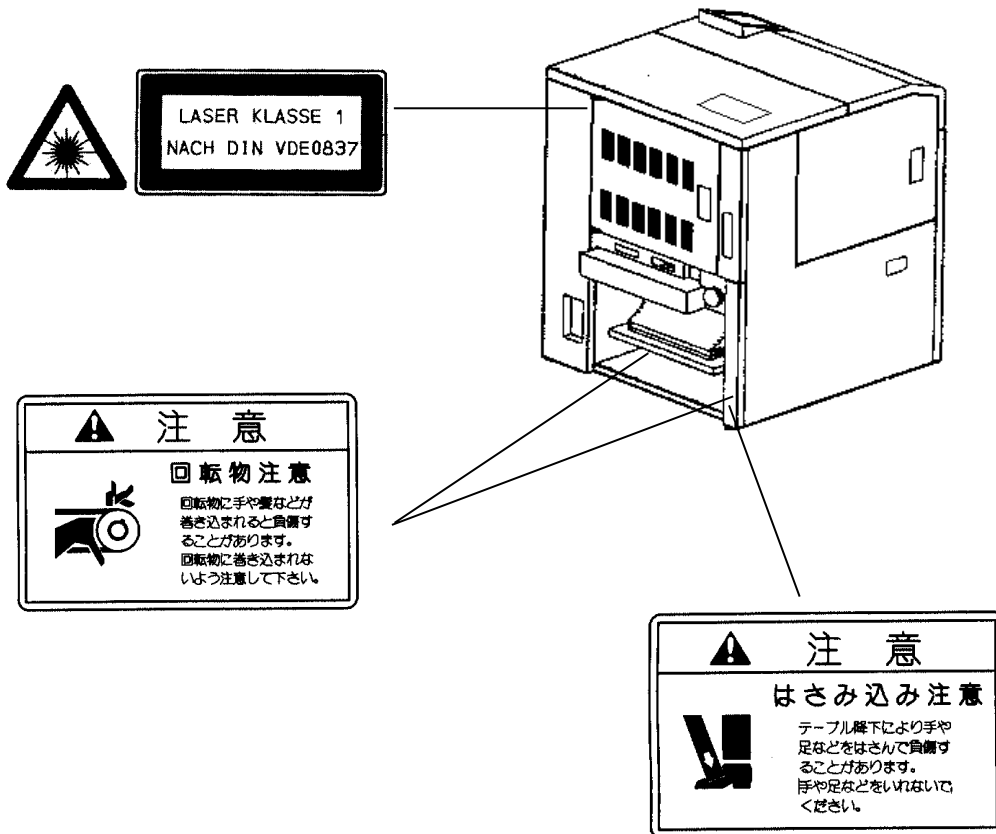
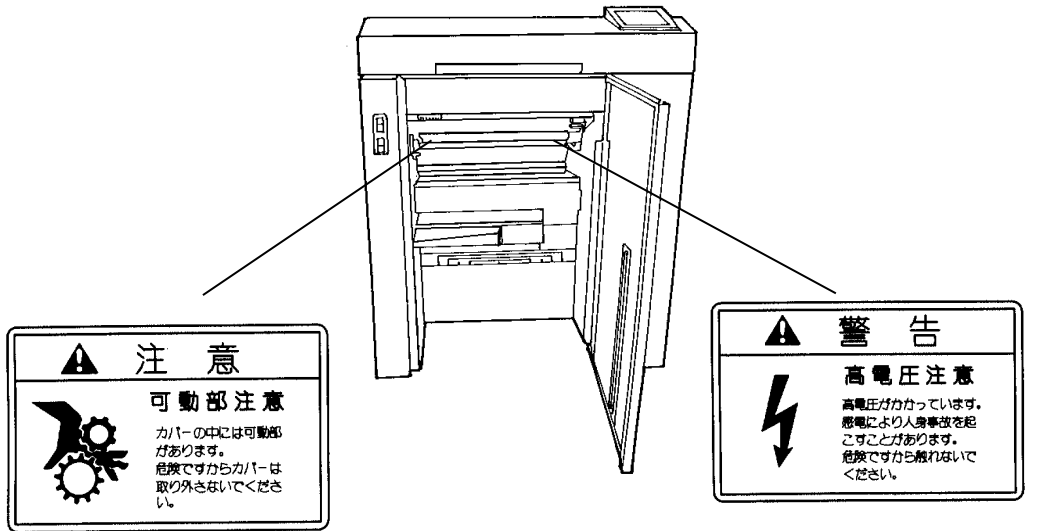
## ▲ 安全にお取り扱いいただくために(続き)

- 床にこぼれた現像剤を踏むと滑りやすく、転倒してけがの原因になります。トナー専用真空掃除機でよく清掃してください。
- 取り扱い中に現像剤が目に入った場合は、ただちに流水で15分以上洗眼してください。何か症状が出たら、医師の診療を受けてください。
- 現像剤が皮膚や衣類に付着した時は、石鹼水で完全に洗い流してください。何か症状が出たら、医師の診療を受けてください。  
(6.2.3項、6-11ページ)
- HR クリーナクミは高温になっている場合があります。断熱シート部以外には手を触れないよう注意してください。また、HR クリーナクミ周辺、特にヒートロールは、非常に高温になっています。手を触れないよう注意してください。  
(6.2.7項、6-18ページ)
- 定着ユニットは高温になっています。ハンドルや断熱シート部以外には手を触れないよう注意してください。  
(6.2.6項、6-16ページ) (6.3.2項、6-21ページ)
- 定着ユニットの寿命設定は2, 000KPですが1, 000KP使用時に、メンテナンス\*1を行う必要があります。(メンテナンス実施後に更に1, 000KPご使用頂き、合わせて2, 000KPご使用頂けます。) 定着ユニット交換時はその旨保守担当者に連絡願います。  
\*1: 維持保守契約を結んでいない場合は、作業費は有償となります。  
(6.2.6項、6-17ページ)
- トナーと現像剤の清掃には、トナー専用真空掃除機を使用してください。  
(6.5節、6-24ページ)
- CH クリーナは止まるまで押しこんで下さい。途中で止めると、印刷不良などの障害が発生する場合があります。  
(6.5.3項、6-27ページ)
- 転写器は止まるまで押しこんで下さい。途中で止めると搬送ユニットの開閉ができなかったり、印刷不良などの障害が発生する場合があります。  
(6.5.4項、6-28ページ)

OG	B	01	
----	---	----	--

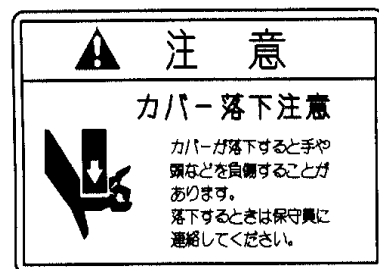
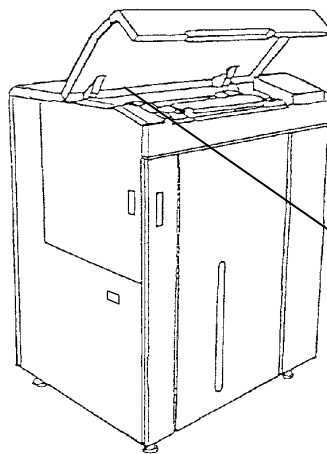
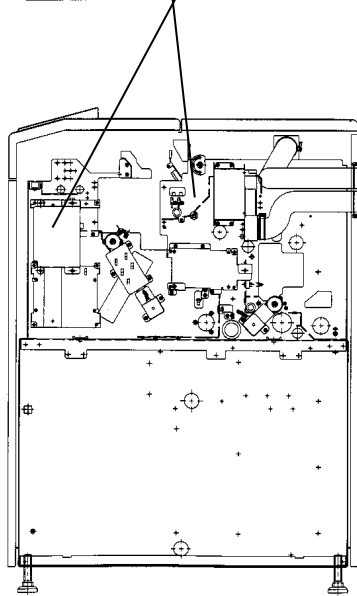
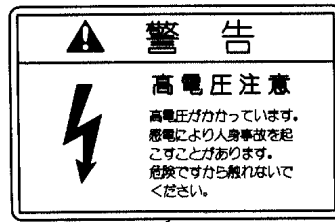
## ⚠️ 安全にお取り扱いいただくために(続き)

3. ⚠️ 製品上の警告、危険及び注意表示  
この装置に貼り付けられている警告、危険及び注意ラベルを下図に示します。



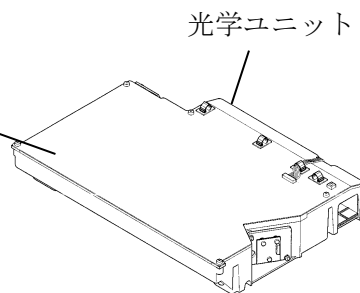
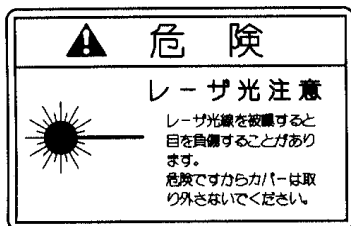
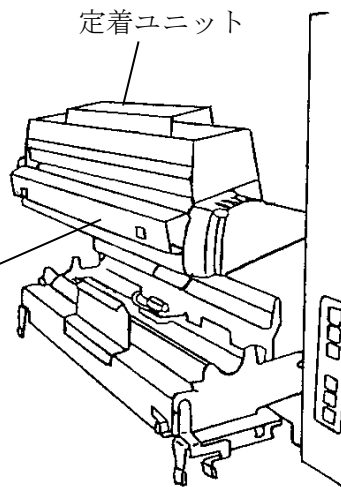
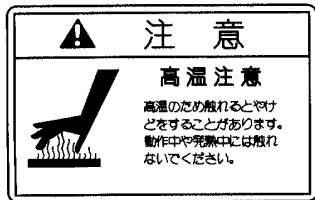
OG	B	00	
----	---	----	--

**⚠ 安全にお取り扱いいただくために(続き)**



OG	B	00	
----	---	----	--

# ⚠️ 安全にお取り扱いいただくために(続き)



0G	B	00	
----	---	----	--

BLANK

0G	B	00	
----	---	----	--

# 第 1 章 プリンタの概要

---

## 1.1 この章の内容

この章では、以下の事項に関する概要を記述します。

- プリンタの特徴
- インターフェース
- オペレータ・コントロール・パネル
- プリンタの外観
- プリンタの内部
- プリンタの電源を入れる
- プリンタの電源を切る
- 設置に必要なスペース
- 機器添付品

0G	B	00	
----	---	----	--

## 1.2 プリンタの特徴

本プリンタは、データ処理業務用の大量印刷、および報告書、請求書、伝票、声明書等の文書印刷に適した製品です。高速ノンインパクト方式の印刷により、以下のようなさまざまな機能を搭載しています。

- 高速の印刷機能：
  - 8行／インチ(lpi)印刷で 3,400 行／分(lpm)。
  - A4／レター換算で 50 ページ／分(ppm)。
  - 1 枚当たり 2 ページ印刷 (2-UP) で 77 ページ／分(ppm)。
- 高品質の印刷機能：

印刷出力は 600 dpi(ドット／インチ)の解像度で、非常に小さなポイント数であっても繊細なグラフィックスやテキストの出力が可能です。
- 自由度の高い給紙と排紙：
  - 用紙種類： 送り穴つき連続紙。
  - 用紙幅：
    - 203.2～457.2 mm (8～18 インチ)。  
(オプションにて 165.1～406.4mm (6.5～16 インチ) )
  - 用紙長：  
177.8～355.6 mm (7～14 インチ)。  
増減単位は 8.5、12.7、17 mm (1／3、1／2、2／3 インチ) です。
  - 用紙質量： 64～157 g/m<sup>2</sup>(55～135 kg)。
  - 給紙スタック高： 64 g/m<sup>2</sup> 用紙で 3,000 枚。
  - 排紙スタック高： 64 g/m<sup>2</sup> 用紙で 2,000 枚。
- マルチプル・オリジナル・プリンティング(MOP)：

複数部数を一度のファイル転送で印刷することができます。PCL や PostScript のジョブを一度だけ処理し、画像をディスクに保存して2部目以降はディスクから印刷します。
- バーチャル・プリンタ・テクノロジー(VPT)：

1台のプリンタで、複数の印刷サービスを処理できます。それぞれのバーチャル・プリンタ(論理プリンタ)の動作環境を、ネットワーク管理者が設定することができます。

0G	B	00	
----	---	----	--



- Web インターフェース機能：
  - インターネットや社内イントラネット経由で、プリンタに遠隔アクセスすることができます。
  - Web インターフェースの詳細は 5 章を参照してください。
- 人間工学的な操作：
  - 読みやすい表示画面に、プリンタの動作状態がはっきりと表示されます。
- 1 枚当りレター2 ページ印刷 (2-UP)：
- オーバーレイ印刷：添付ドライバでサポート
- プリンタ言語のサポート：
  - 標準：PCL5e プリンタ言語。
  - オプション：PostScript 3 (アドビ) プリンタ言語。
- ネットワーク：10BASE-T/100 BASE-TX/1000BASE-T イーサネット。
- ネットワーク・プロトコル：
  - TCP/IP、EtherTalk。
- アテンションライト (オプション)：
  - 用紙ジャム・用紙切れなどの障害発生時に点滅します。
- 重送防止ユニット (オプション)：
  - 重送防止機構。特殊用紙 (圧着紙等) を使用する際に、用紙の重送が発生した場合などに適用します。
  - ①取付手順、②操作手順、については現品に添付されておりますが、参考に内容を付録 G に記載します。

### 1.3 インターフェース

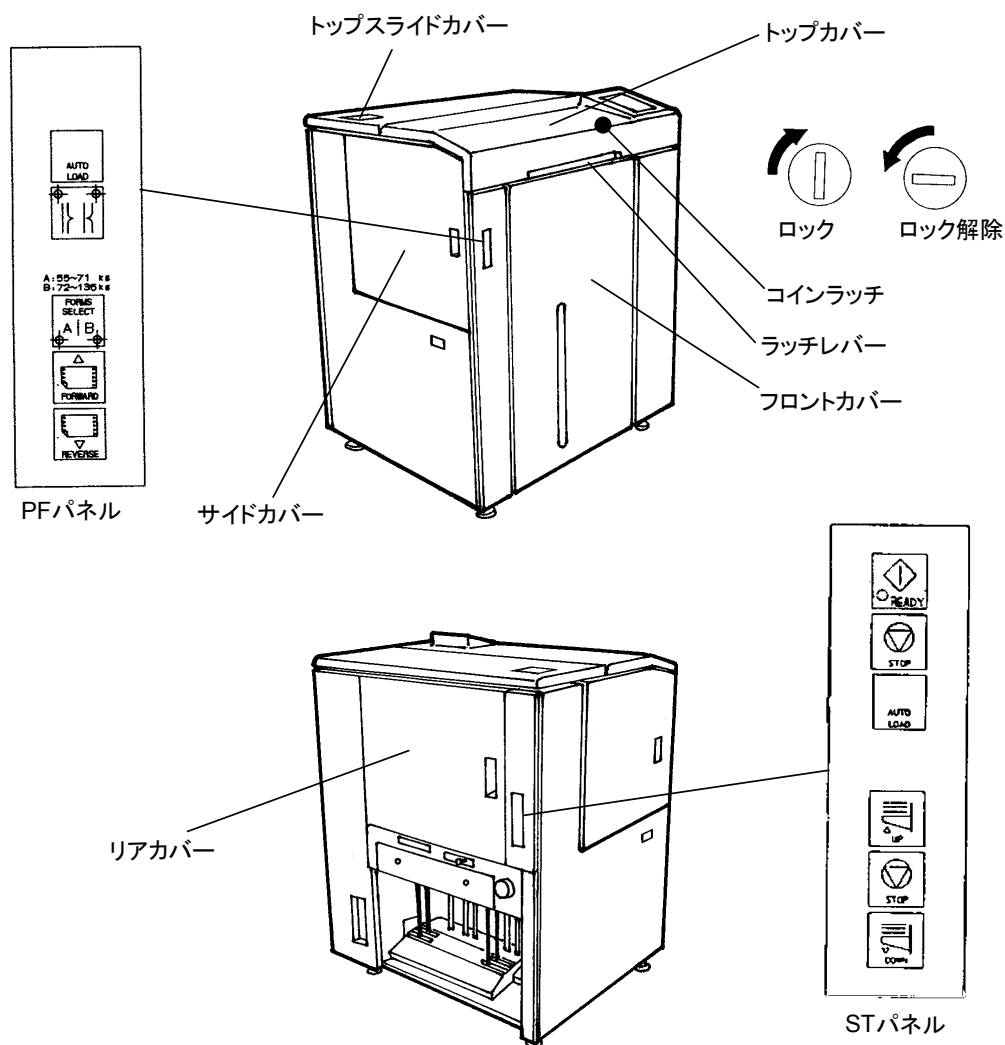
- 双方向1284Cパラレル・インターフェースの互換モード、ニブル・モード、バイト・モードをサポート。
- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T イーサネット。

### 1.4 オペレータ・コントロール・パネル

オペレータ・コントロール・パネル (OCP) は、本プリンタの特性や機能を利用するための物理的なインターフェースとなります。OCP から、プリンタの動作状態を確認したり、プリンタの個々の機能を設定することができます。OCP の詳細は、第 2 章を参照してください。

OG	B	02	
----	---	----	--

## 1.5 プリンタの外観



名称	機能
フロントカバー	用紙装填、用紙ジャムの修復、またはプリンタ内部の清掃をするときに、このカバーを開けます。
トップカバー	トナーを補給するときに、このカバーを開けます。
ラッチレバー	トップカバーを開くときに、このレバーを手前に軽く引きます。
サイドカバー	現像剤の交換、トナーバッグの交換、またはプリンタ内部の清掃をするときに、このカバーを開けます。
リアカバー	定着ユニットの着脱、HR クリーナクミの交換、または用紙ジャムの修復をするときに、このカバーを開けます。
トップスライドカバー	印刷位置を確認するときに、このカバーを開けます。
コインラッチ	硬貨等を溝に合わせて回すことで、トップカバーのロックとロック解除を行います。
PF パネル	用紙ミシン目の設定 (方向、用紙自動装填、用紙送り) に使います。
ST パネル	スタッカテーブルの設定 (昇降、用紙自動装填) に使います。

OG	B	00	
----	---	----	--

下表に、PF パネルと ST パネルの機能を説明します。

PF パネル

スイッチ名	スイッチの操作		表示ランプ	
	型式	機能	型式	表示内容
AUTO LOAD	ボタンスイッチ (ノンロック)	このスイッチを押すと、用紙の自動装填を始めます。	———	———
FORMS SET	ボタンスイッチ (ノンロック トグル)	用紙のミシン目折り方向に従って、スタッカ部のおりたみ用スイングフィンの初期位置を設定するためのスイッチです。  <div style="display: flex; align-items: center;"> <span style="font-size: 2em; margin-right: 5px;">}</span> <span>ミシン目折り方向が「山」</span> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <span style="font-size: 2em; margin-right: 5px;">}</span> <span>ミシン目折り方向が「谷」</span> </div> このスイッチは一度押す毎に「山」「谷」を交互に認識します。	発光ダイオード (LED) 緑	左側のLEDが点灯した場合は用紙のミシン目が「山」、右側のLEDが点灯した場合は用紙のミシン目が「谷」であることを示します。
FORMS SELECT A B	ボタンスイッチ (ノンロック トグル)	用紙連量に従って定着部の設定温度を変更するスイッチです。A は 55kg～71kg 用紙の設定温度、B は 72～135kg 用紙の設定温度を示します。このスイッチは一度押す毎に A と B を交互に認識します。プリンタの電源を投入した直後の設定は、前回電源を切断したときの設定になっています。	発光ダイオード (LED) 緑	左側のLEDが点灯した場合は設定温度が A、右側のLEDが点灯した場合は設定温度が B であることを示します。
FORWARD	ボタンスイッチ (ノンロック)	このスイッチを押すと、4.2mm (1/6 インチ) 毎に用紙送りを行います。ただし、スイッチを押している間連続して用紙送りを行い、手を離すと 4.2mm (1/6 インチ) の整数倍の位置で止まります。	———	———
REVERSE	ボタンスイッチ (ノンロック)	このスイッチを押すと、4.2mm (1/6 インチ) 毎に通常送行時とは逆の方向に用紙送りを行います。	———	———

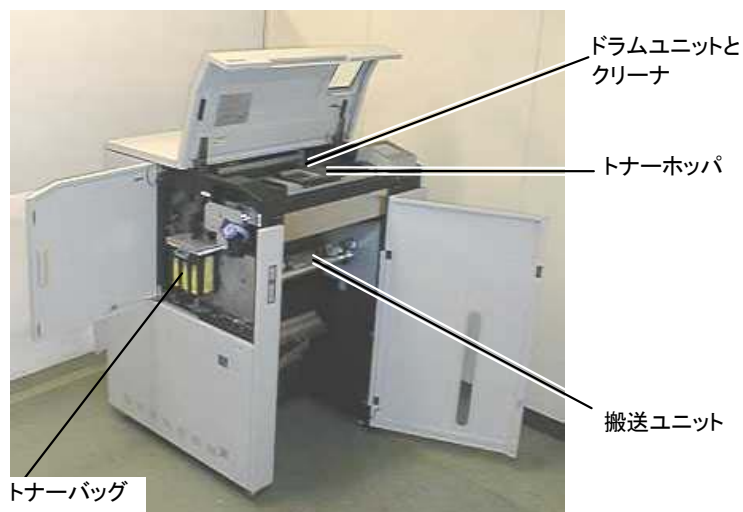
ST パネル

スイッチ名	スイッチの操作	
	型式	機能
READY	ボタンスイッチ (ノンロック)	このスイッチを押すと、印刷を開始します。
STOP (上)	ボタンスイッチ (ノンロック)	このスイッチを押すと、印刷を停止します。
AUTO LOAD	ボタンスイッチ (ノンロック)	このスイッチを押すと、用紙の自動装填を始めます。
UP	ボタンスイッチ (ノンロック)	このスイッチを押すと、スタッカテーブルを上昇させます。
STOP (下)	ボタンスイッチ (ノンロック)	このスイッチを押すと、スタッカテーブルの昇降を停止します。
DOWN	ボタンスイッチ (ノンロック)	このスイッチを押すと、スタッカテーブルを下降させます。

OG	B	00	
----	---	----	--

## 1.6 プリンタの内部

次の図は、フロントカバー、トップカバー、サイドカバー、リアカバーが開いているときのプリンタを示します。用紙装填、用紙ジャムの修復、消耗品の交換、またはプリンタの清掃をするときに、これらのカバーを開閉または着脱する必要があります。

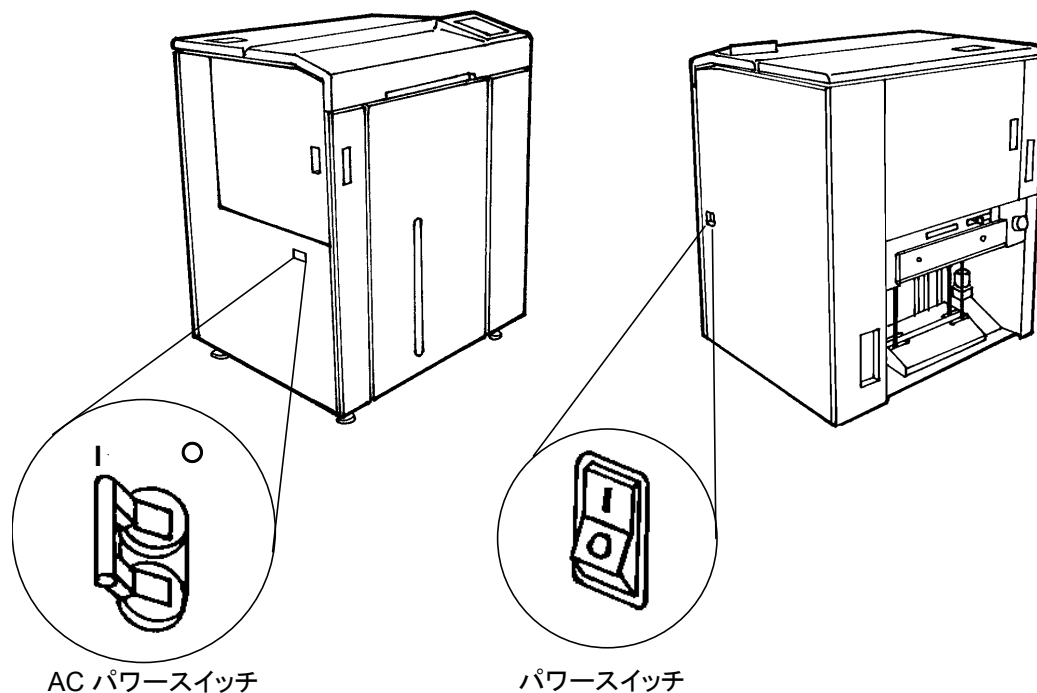


名称	機能
搬送ユニット	用紙を一定の速度で送り、ドラム上のトナーを用紙に転写します。トラクタ、リトラクタ、転写器から構成されます。
ドラムユニット	OPCドラム上にトナー像を形成します。OPCドラムとクリーナから構成されます。
クリーナ	用紙に転写されなかったOPCドラム上のトナーを清掃します。
トナーホッパ	新しいトナーを蓄えます。
トナーバッグ	回収トナーを蓄えます。
定着ユニット	用紙上のトナーを加熱・加圧して定着させます。ヒートロール、バックアップロール、ヒータランプから構成されます。
HRクリーナクミ	ヒートロール上のトナーを清掃し、ヒートロールにシリコンオイルを塗布します。
スタッカテーブル	印刷後の用紙を蓄えます。

OG	B	00	
----	---	----	--

## 1.7 プリンタの電源を入れる

プリンタの電源投入／切断スイッチは、下図に示す位置にあります。スイッチには、切断 (Out) を表す「O」と投入 (In) を表す「I」のマークが示されています。電源を入れる時は、AC パワースイッチを入れた後、パワースイッチを入れてください。



プリンタの電源を入れると、プリンタが起動します。このときプリンタでは一連の内部テストが実行されるため、起動が完了するまでに約 8 分かかります。



**警告**

緊急時には、AC パワースイッチを切ることで電源を切ってください。



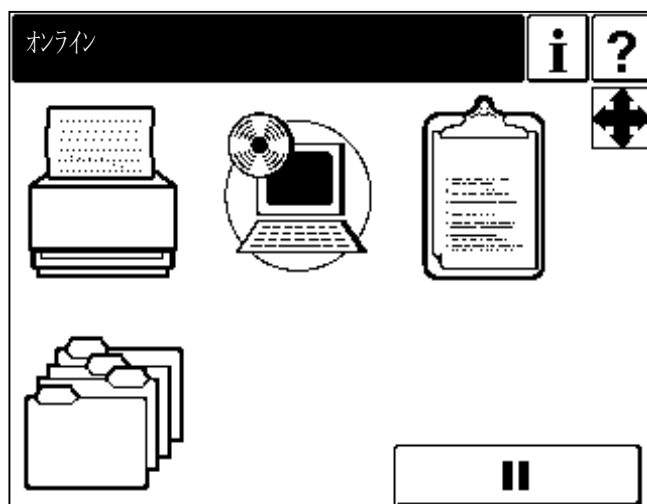
**注意**

プリンタの電源を再投入するときは、5 秒以上待ってから電源を入れてください。プリンタの電源が入らないときは、パワースイッチと AC パワースイッチを順に切断し、30 秒以上待ってから、プリンタの電源を入れてください。

OG	B	00	
----	---	----	--

## 1.8 プリンタの電源を切る

電源を切るときには注意が必要です。オペレータ・コントロール・パネル(OCP)が下図のように「オンライン」を継続して表示しているときだけは、プリンタの電源を安全に切ることができます。パワースイッチを切った後、AC パワースイッチを切ってください。各メッセージについては 7.9 OCP に表示されるメッセージを参照してください。



上記以外の場合は、電源を切る前に所定の処置を実施する必要があります。所定の処置を実施する前に電源を切ってはいけません。以下に場合と処置の方法を示します。

---

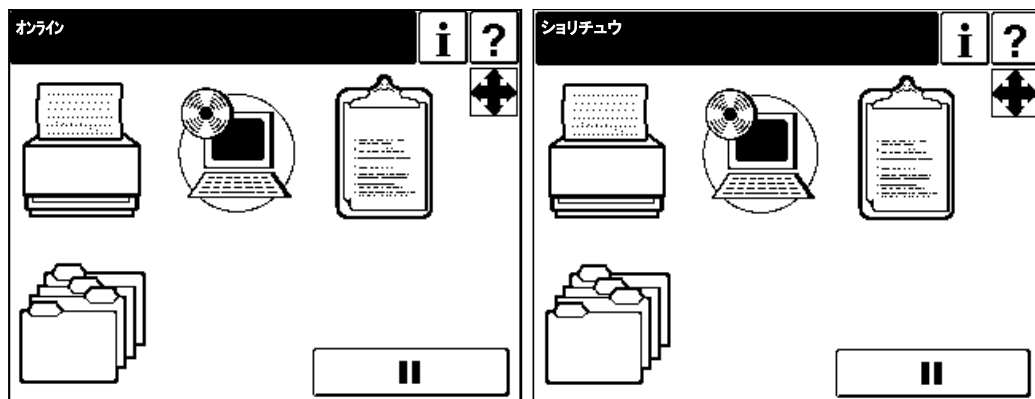
### 留意点:

EOF 直後もしくは NPRO 実施後に電源を切る場合には、定着部が駆動している場合がありますので約5分経過後に電源を切ってください。

---

OG	B	00	
----	---	----	--

状態 1： OCP が「オンライン」と「ジョリチュウ」を交互に表示している。



この場合は、以下の処置を実施してから電源を切ってください。

1. しばらく待って、OCP が「オンライン」を継続して表示するようになるかどうか、ようすを見ます。
2. しばらく待っても状態が変わらないときは、印刷ジョブが滞留している可能性があります。以下の手順に従って印刷ジョブを中止します。
  - a. Windows で印刷している場合、以下の手順で印刷ジョブを中止します。
    - i. スタートメニューの中にある「設定」－「プリンタ」を選択します。
    - ii. 該当するプリンタのアイコンをダブルクリックして、プリンタウィンドウを開きます。
    - iii. 全てのジョブを選択して、「ドキュメント」－「印刷中止」を実行します。



状態2: OCP が「エラーカイジョマタハデンゲン OFF/ON」以外の E0xx エラーを表示している。



この場合は、以下の処置を実施してから電源を切ってください。

1. メッセージの内容に従い、エラーの原因を取り除きます。
2. OCP の「▶」キーに触れて、チェックリセットを実行します。
3. 印刷が終了して OCP が「オンライン」を継続して表示するようになるまで、待ちます。

状態3: OCP が「エラーカイジョマタハデンゲン OFF/ON」 E0xx エラーを表示している。



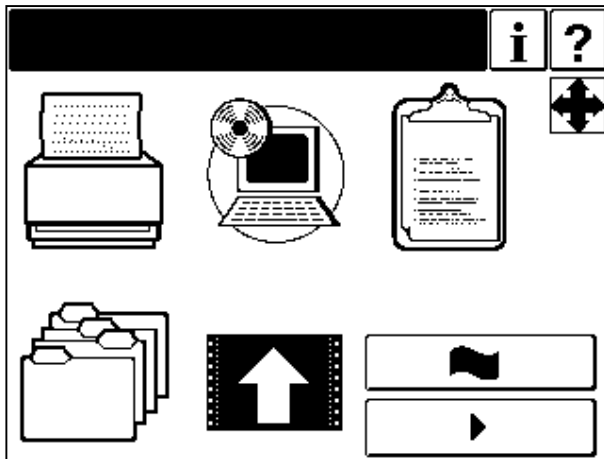
この場合は、以下の処置を実施してから電源を切ってください。

1. OCP の「▶」キーに触れて、チェックリセットを実行します。
2. 印刷が終了して OCP が「オンライン」を継続して表示するようになるまで、待ちます。
3. 上記を実行してもエラーメッセージが解消しないときには、印刷ジョブが滞留している可能性があります。状態1の手順 a および手順 b に従って印刷ジョブを中止してください。

OG	B	00	
----	---	----	--



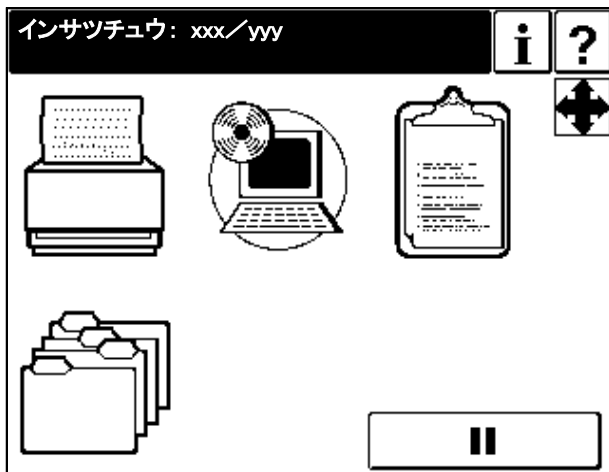
状態 4： OCP が「オフライン/ポーズ」を表示している。



この場合は、以下の処置を実施してから電源を切ってください。

OCPの「▶」キーに触れてチェックリセットを実行し、OCPが「オンライン」を継続して表示するようになることを確認します。

状態 5： OCP が「インサツチュウ： xxx/yyy」を表示している。



この場合は、以下の処置を実施してから電源を切ってください。

印刷が終了してOCPが「オンライン」を継続して表示するようになるまで待ちます。

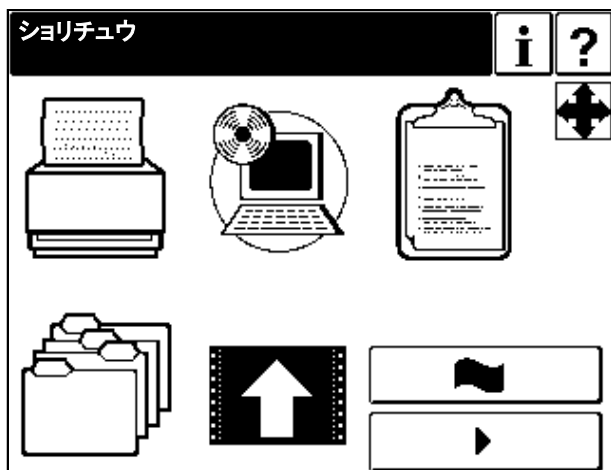
状態 6： OCP が「インサツチュウ」を表示している。



この場合は、以下の処置を実施してから電源を切ってください。

印刷が終了してOCPが「オンライン」を継続して表示するようになるまで待ちます。

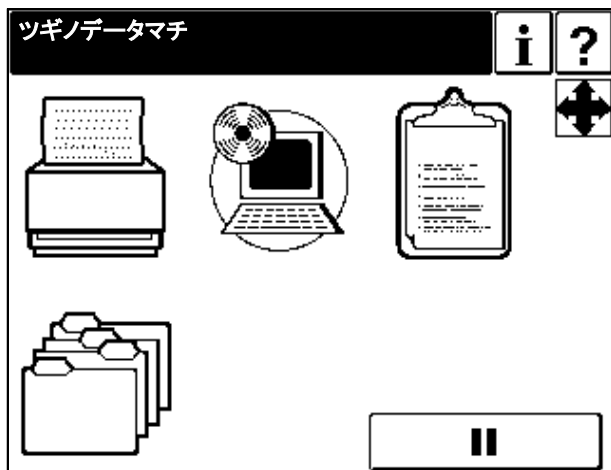
状態 7： OCP が「ショリチュウ」を表示している。



この場合は、以下の処置を実施してから電源を切ってください。

印刷が終了してOCPが「オンライン」を継続して表示するようになるまで待ちます。

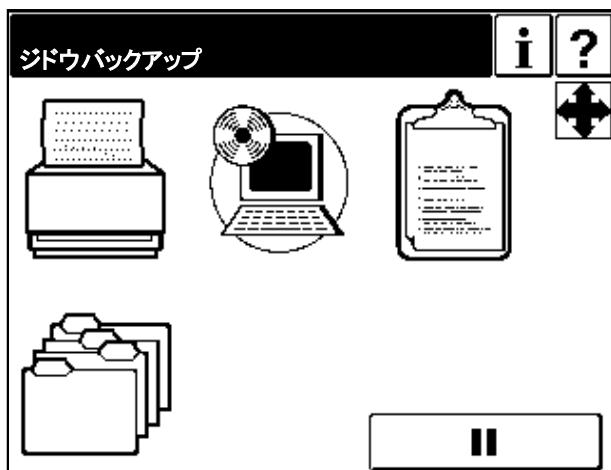
状態 8： OCP が「ツギノデータマチ」を表示している。



この場合は、以下の処置を実施してから電源を切ってください。

印刷が終了してOCPが「オンライン」を継続して表示するようになるまで待ちます。

状態9： OCP が「ジドウバックアップ」を表示している。



この場合は、以下の処置を実施してから電源を切ってください。

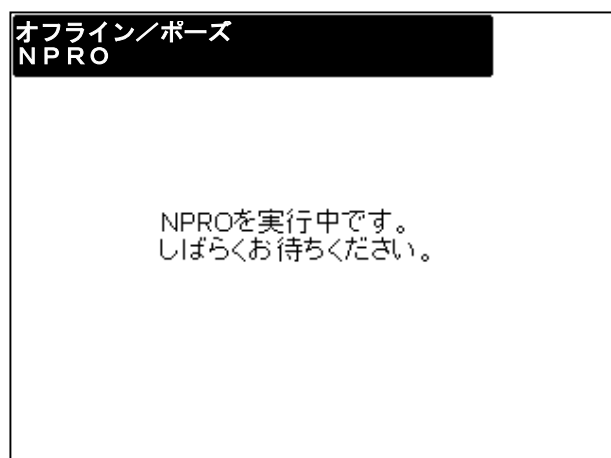
ジドウバックアップの表示が消えるまで待ってください。

自動バックアップは電源投入直後および自動バックアップの設定時刻に実施します。ただし、印刷中の場合は印刷終了後に実施します。尚、エラー発生時はジドウバックアップは表示されません。



**自動バックアップ中に電源を切ると再投入時に正常に起動しなくなる場合があります。**

状態10： OCP が「NPRO」を表示している。



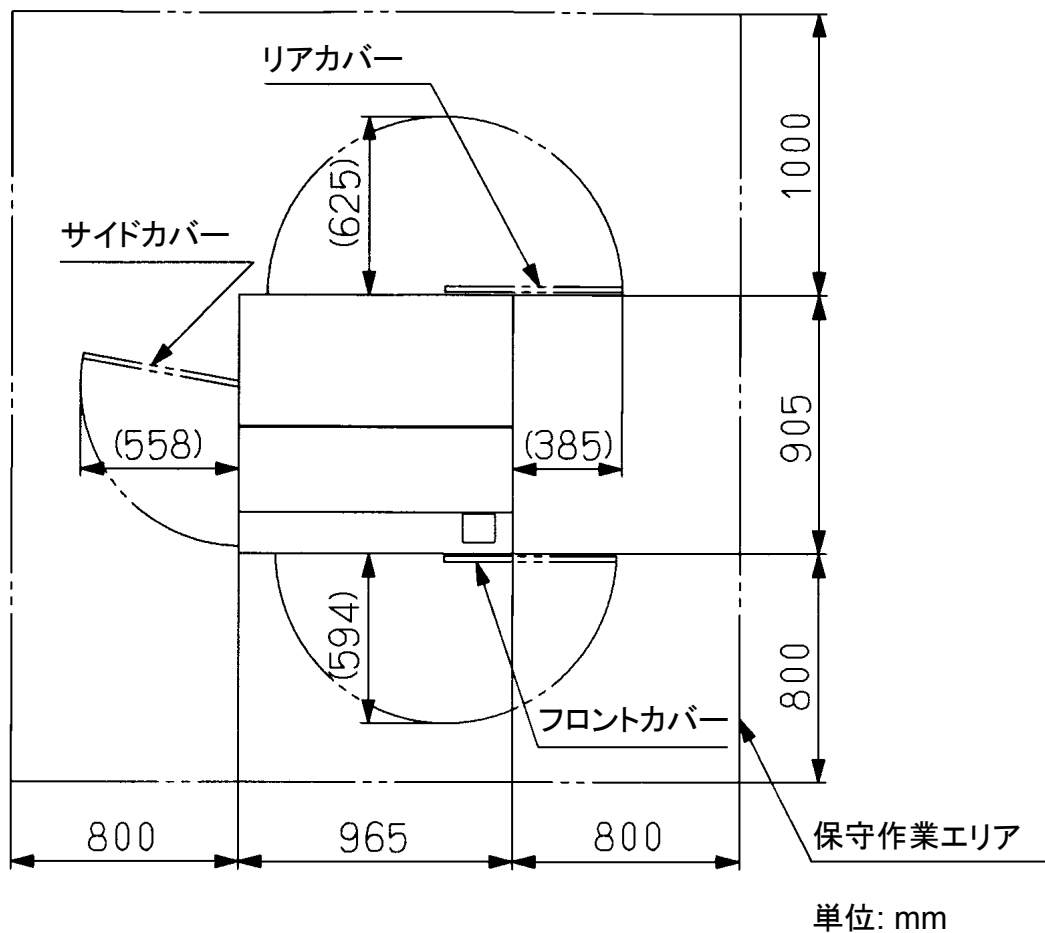
この場合は、以下の処置を実施してから電源を切ってください。

NPROが終了してOCPが「オンライン」を継続して表示するようになるまで待ちます。

OG	B	00	
----	---	----	--

## 1.9 設置に必要なスペース

プリンタを換気の良い場所に設置してください。安全に、かつ効果的にご使用いただくため、下図に従ってプリンタの周辺のスペースを確保してください。



OG	B	00	
----	---	----	--

## 1.10 機器添付品

プリンタに添付されていますアクセサリ箱の内容は、以下のようになっています。保守員が使用するものも含まれていますので、大切に保管してください。

品名	個数	備考
メンテナンスマニュアル	1	
電源ケーブル	1	
ドラム置き台	1	
現像剤ボトル	1	
ユーザーズガイド	1	本書
CD-ROM (プリンタドライバ)	1	
CD-ROM (PRINTEASY)	1	オプションの PRINTEASY (HT-4558-S001)を購入された場合に付属
CD-ROM (ファームウェアアップデート用 CD)	1	HDD 交換時に保守員が使用
アトシヨリソウチセツゾクキット	1	
印刷用紙(15×11/55kg 紙)	1	プリンタ据付時の動作確認用
アテンションライトクミ	1	オプション:アテンションライト (HT-F4558-80A)付加時に付属
ALホルダクミ	1	オプション:アテンションライト (HT-F4558-80A)付加時に付属
ナットプレート(AL)	1	オプション:アテンションライト (HT-F4558-80A)付加時に付属
ワンタッチブッシュ	1	オプション:アテンションライト (HT-F4558-80A)付加時に付属
M4×8スワボワ+ナベネ	2	オプション:アテンションライト (HT-F4558-80A)付加時に付属
ゾウセツフォント (1) CD-ROM	1	オプションフォント (HT-F4558-F101)を購入された場合に付属
ゾウセツフォント (2) CD-ROM	1	オプションフォント (HT-F4558-F102)を購入された場合に付属
ゾウセツフォント (3) CD-ROM	1	オプションフォント (HT-F4558-F103)を購入された場合に付属
ゾウセツフォント JIS2004 セット J 明朝 CD-ROM,ドングル	1	オプションフォント (HT-F4558-F201)を購入された場合に付属
ゾウセツフォント JIS2004 セット J ゴシック CD-ROM,ドングル	1	オプションフォント (HT-F4558-F202)を購入された場合に付属
ゾウセツフォント JIS2004 セット W 明朝 CD-ROM,ドングル	1	オプションフォント (HT-F4558-F203)を購入された場合に付属
ゾウセツフォント JIS2004 セット W ゴシック CD-ROM,ドングル	1	オプションフォント (HT-F4558-F204)を購入された場合に付属
ゾウセツフォント日立書体明朝 CD-ROM,ドングル	1	オプションフォント (HT-F4558-F205)を購入された場合に付属
ゾウセツフォント日立書体ゴシック CD-ROM,ドングル	1	オプションフォント (HT-F4558-F206)を購入された場合に付属
ゾウセツフォント日立書体セット 2 明朝 CD-ROM,ドングル	1	オプションフォント (HT-F4558-F207)を購入された場合に付属
ゾウセツフォント日立書体セット 2 ゴシック CD-ROM,ドングル	1	オプションフォント (HT-F4558-F208)を購入された場合に付属
フェライトコア	1	ネットワークケーブルに接続
重送防止ユニット	1	オプション:重送防止ユニット(HT-F4558-80J)付加時に付属

OG	B	02	
----	---	----	--

BLANK

0G	B	00	
----	---	----	--

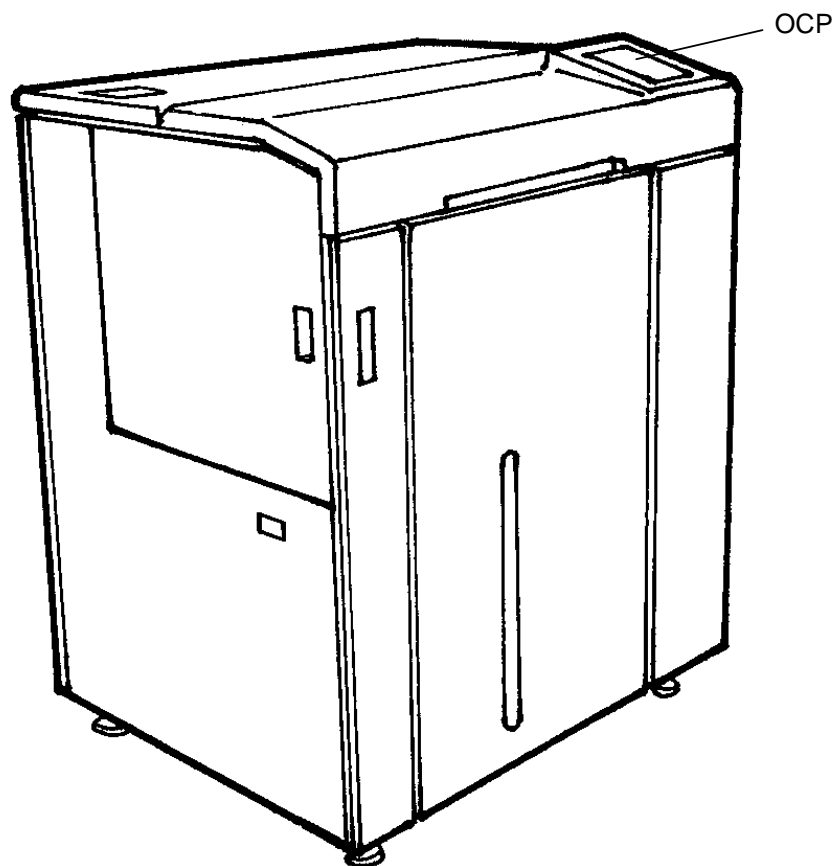
## 第 2 章 オペレータ・コントロール・パネル

---

### 2.1 この章の内容

この章では、オペレータ・コントロール・パネル(OCP)に関する以下の事項を説明します。

- OCP の概要
- メインメニューの使い方
- プリンタ設定メニューの使い方
- 環境設定メニューの使い方
- レポート印刷メニューの使い方
- 印刷ジョブ一覧メニューの使い方
- パスワード管理
- メニュー構成
- 用紙サイズ・印刷位置のプリセット

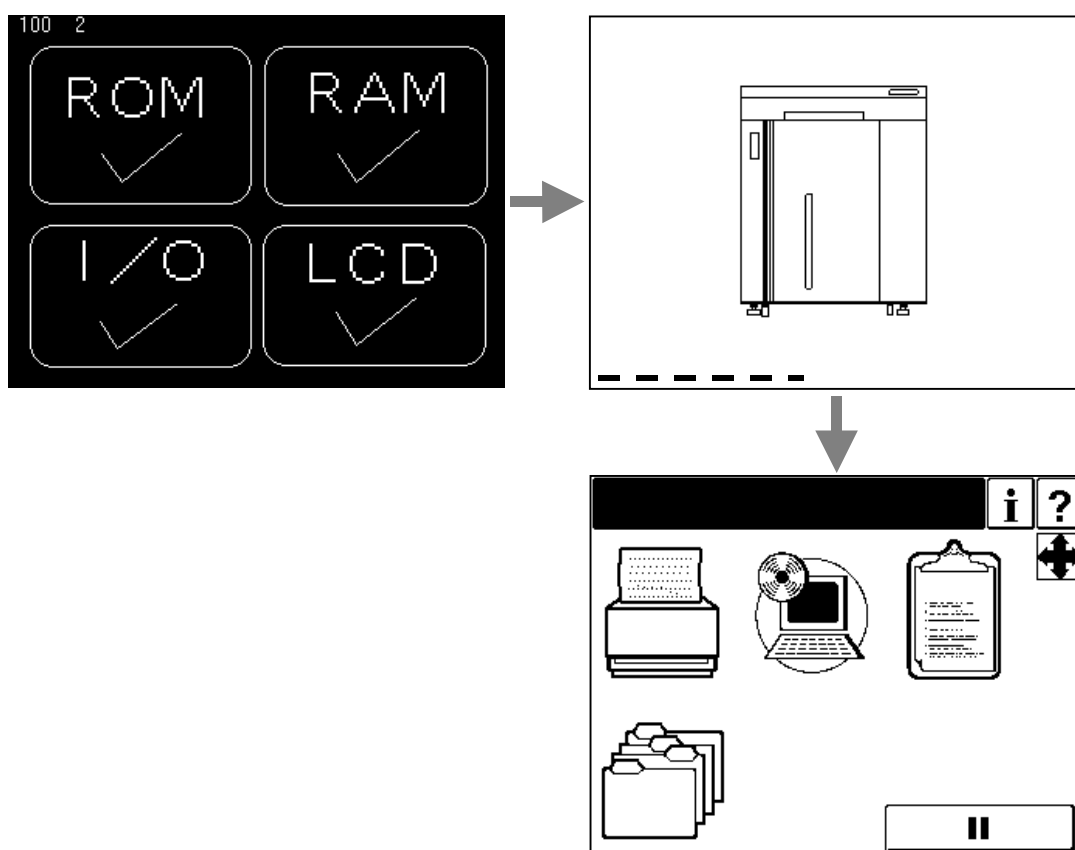


OG	B	00	
----	---	----	--

## 2.2 OCP の概要

OCP は、本プリンタの特性や機能を利用するための物理的なインタフェースとなる、タッチパネル・ディスプレイです。ユーザーは OCP を用いてプリンタの印刷オプションを設定したり、印刷ジョブの状態をチェックしたり、プリンタの状態を確認することができます。さらに、ネットワーク管理者がプリンタの動作環境を設定したり、保守員がプリンタのメンテナンスを行うときにも、OCP を使用します。

プリンタに電源を入れて起動処理が実行される間、OCP は以下に示す一連の画面を自動的に表示し、最後に「メインメニュー」という名の共通メニュー画面に「オンライン」というメッセージを表示します。



典型的なメニュー画面は、ステータス・バーといくつかのアイコン・ボタンによって構成されます。ステータス・バーは表示のみの構成要素で、プリンタの状態や個別メニュー画面の機能を表します。各アイコン・ボタンは、触れることによって所定の機能や別の画面への表示切替を実行します。

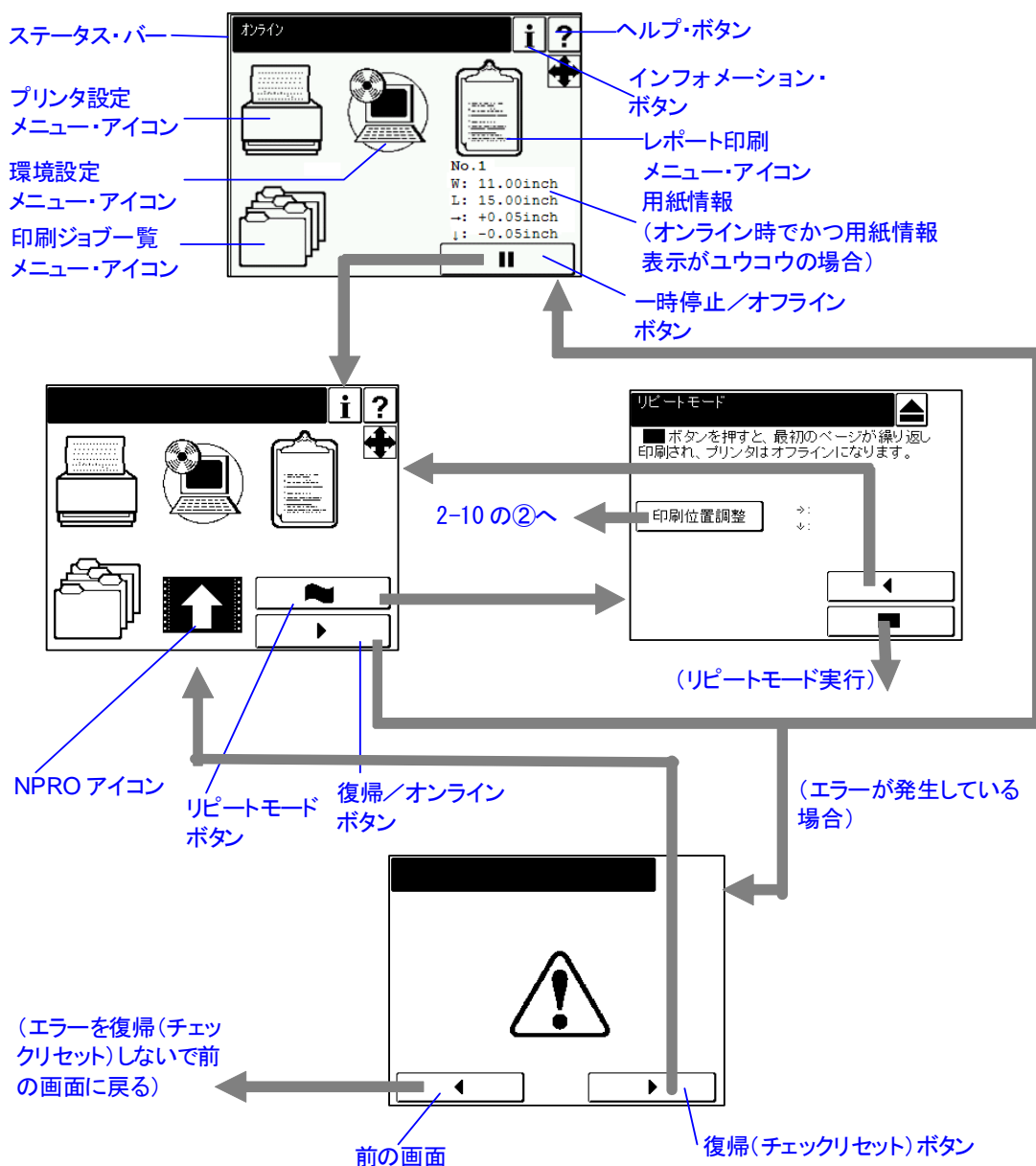
OG	B	00	
----	---	----	--



## 2.3 メインメニューの使い方

メインメニューは各種操作の基点となるメニュー画面で、プリンタの起動完了時に表示されます(このとき、ステータス・バーには「オンライン」と表示されます)。以下の動作を実行できます。

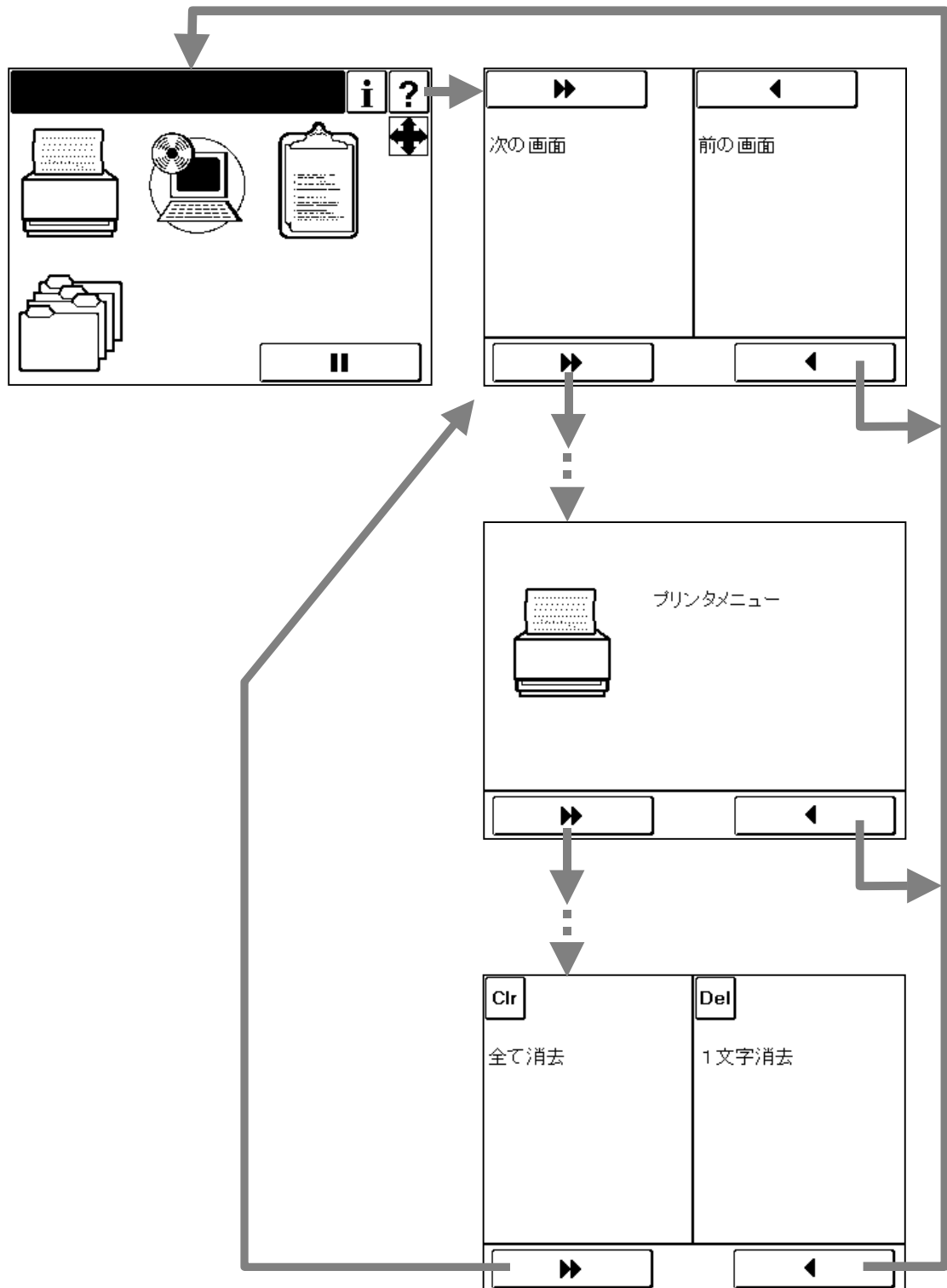
- 所望のメニュー・アイコンに触れることにより、プリンタ設定メニュー、環境設定メニュー、レポート印刷メニュー、または印刷ジョブ一覧メニューを選択する。  
注意: 印刷処理実行中にこれらのメニューを選択すると、印刷処理が一時停止します。
- NPRO アイコンに触れることにより、未定着用紙の定着及び排紙を実行する。
- ヘルプボタンに触れることにより、アイコン・ボタンのヘルプ画面を参照する。
- インフォメーションボタンに触れることにより、プリンタに関する各種情報を得る。







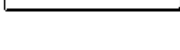



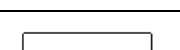
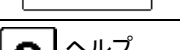

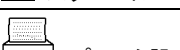
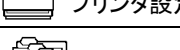
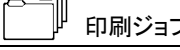

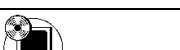
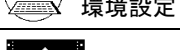

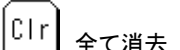
OG	B	00	
----	---	----	--

### 2.3.1 アイコン・ボタンのヘルプ画面を参照する方法

ヘルプ・ボタン **?** に触れることにより、メインメニューやその他のメニューないしサブメニュー画面で用いられるアイコン・ボタンのヘルプ画面を呼び出すことができます。



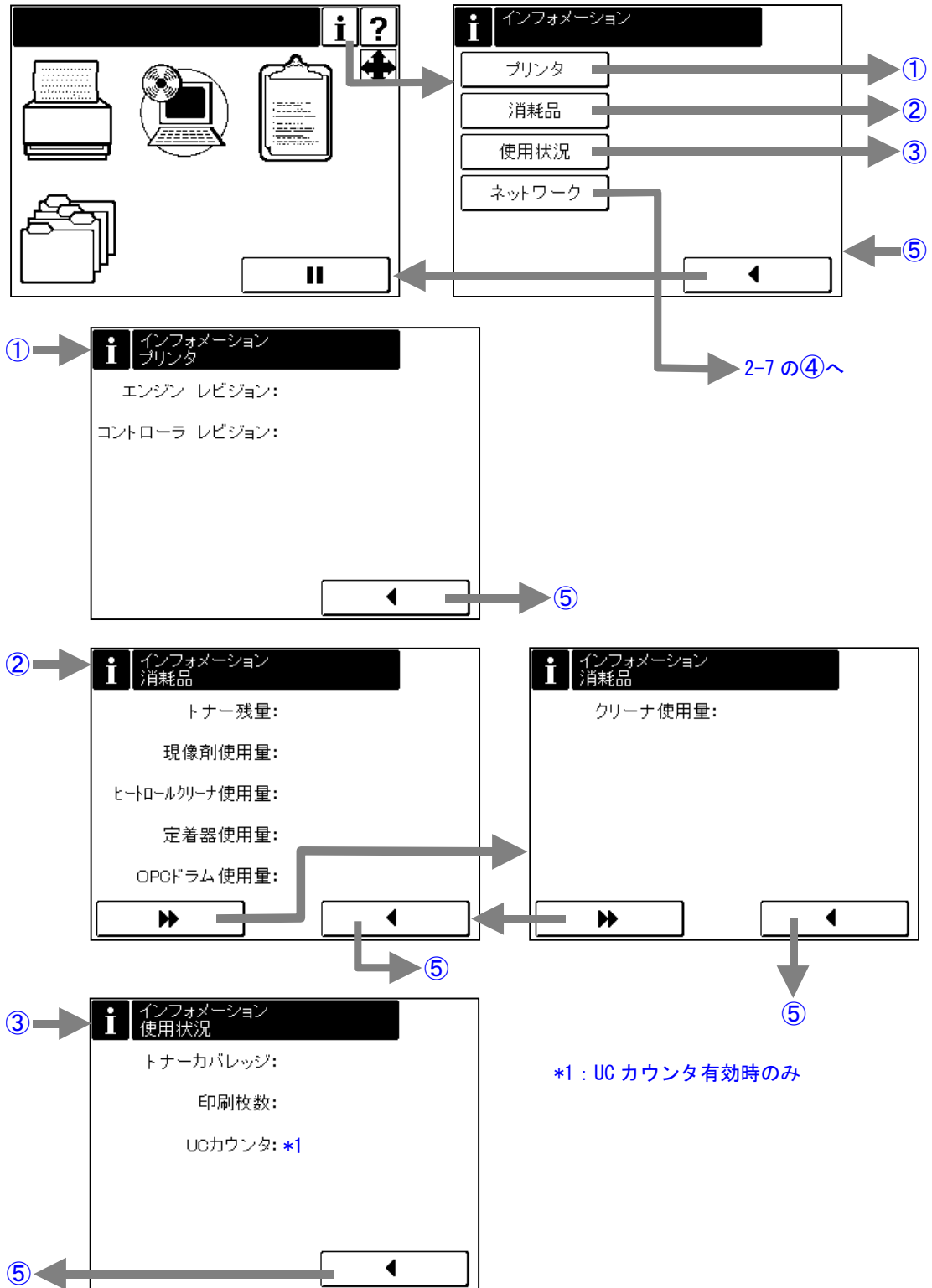
下表にヘルプの内容を備考と共に示します。

ヘルプの内容	備考
 次の画面	同じ画面に表示できなかった情報やメニューボタンが表示されます。
 前の画面	ひとつ前の画面が表示されます。
 一時停止／オフライン	プリンタが印刷中の時は印刷を一時停止します。プリンタがオンライン状態の時はプリンタをオフライン状態にします。
 復帰(チェックリセット)／オンライン	プリンタに一時停止中の印刷ジョブがある時は印刷を再開します。プリンタがオフライン状態の時はプリンタをオンライン状態にします。また、エラー画面では、復帰(チェックリセット)ボタンになります。
 確定	選択した項目や入力した数値が有効になります。
 リpeatモード	最初のページを繰り返し印刷した後、プリンタをオフライン状態にします。2.4.1節における印刷位置調整も行うことができます。ジョブの途中でリpeatモードを選択すると次に印刷するページを繰り返し印刷した後、プリンタをオフライン状態にします。
 テキストボックス	このアイコンを押すと、そのテキストボックスに設定する数値を入力するためのテンキー入力画面が表示されます。
 ヘルプ	このボタンを押すと、その画面についての簡単なヘルプ画面が表示されます。
 インフォメーション	プリンタや消耗品についての情報が表示されます。
 メインメニュー	メインメニュー画面が表示されます。
 スクロールバー	印刷ジョブメニューにおいて、印刷ジョブリストをスクロールさせます。
 プリンタ設定メニュー	所望のメニュー画面を選択すると共に、プリンタをオフライン状態にし、印刷中のジョブがあれば一時停止します。
 印刷ジョブ一覧メニュー	
 レポート印刷メニュー	
 環境設定	
 紙送り	このアイコンボタンは、プリンタがオフライン状態のときのみ選択でき、かつ有効です。
 全て消去	入力中の数値が全て消去されます。
 1文字消去	入力した数値が一文字消去されます。
 用紙設定	用紙設定メニューが表示されます。

OG	B	00	
----	---	----	--

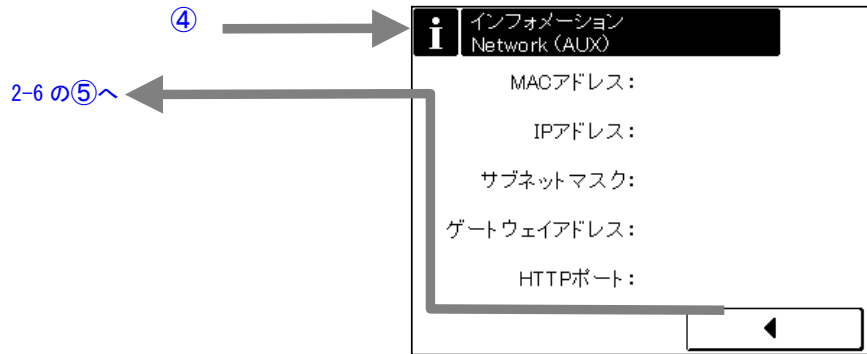
## 2.3.2 プリンタに関する各種情報を得る方法

インフォメーション・ボタン **i** に触れることにより、消耗品やネットワーク設定など、プリンタに関する各種情報を得ることができます。



(次のページに続く)

(前のページから続く)



下表に、得られる情報の内容を備考と共に示します。

情報の内容	備考
<b>プリンタ</b> エンジンレビジョン: コントローラレビジョン:	「プリンタ」サブメニューは、プリンタエンジンソフトウェアとプリンタコントローラソフトウェアの各レビジョンを示します。
<b>消耗品</b> トナー残量: 現像剤使用量: ヒートロールクリーナ使用量: 定着器使用量: OPCドラム使用量: クリーナ使用量:	「トナー残量」は、アリとナシの2段階で状態が表示されます。ナシ状態の時は、トナーを補給してください。 その他の消耗品は“xxx/yyy k”の形式で表示され、“xxx”は現在までの使用値、“yyy”は最大使用可能値、“k”は単位を表します。現在までの使用値が最大使用可能値に到達した時は、当該消耗品を交換してください。
<b>使用状況</b> トナーカバレッジ: 印刷枚数:	「トナーカバレッジ」は、当月に印刷した全ページの平均印刷密度を示します(毎月1日に初期化されます)。印刷密度とは、用紙の全面積に占めるトナー使用面積の比率を意味します。「印刷枚数」は印刷した枚数を11インチ長の用紙に換算して表示します。
<b>UC カウンタ</b>	UCカウンタ値設定が有効の時表示されます。UCカウンタとは100フィート印刷するごとに1増加するカウンタを意味します。
<b>ネットワーク</b> MACアドレス: IPアドレス: サブネットマスク: ゲートウェイアドレス: HTTPポート:	「ネットワーク」サブメニューは、オンボード・ネットワーク・インタフェースの設定を表示します。

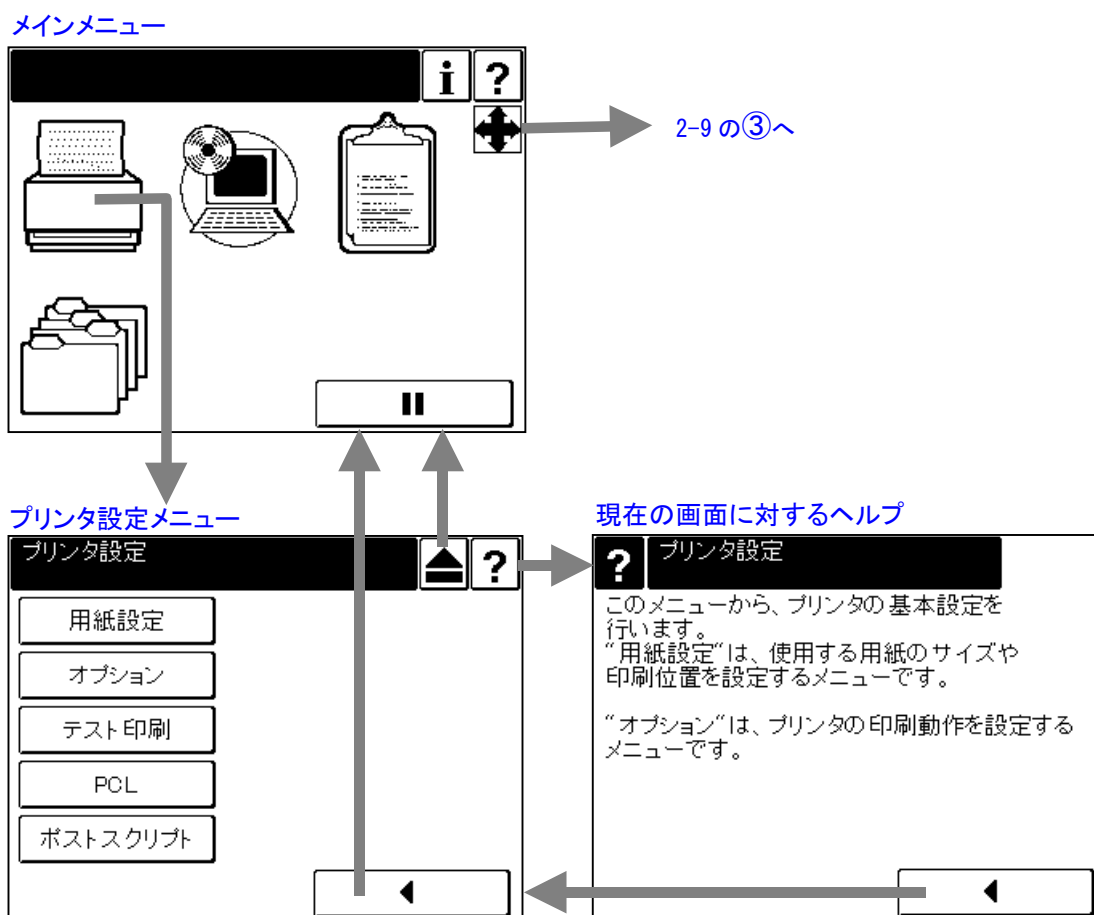
OG	B	01	
----	---	----	--

## 2.4 プリンタ設定メニューの使い方

プリンタ設定メニューにより、プリンタの構成に関するサブメニューにアクセスできます。

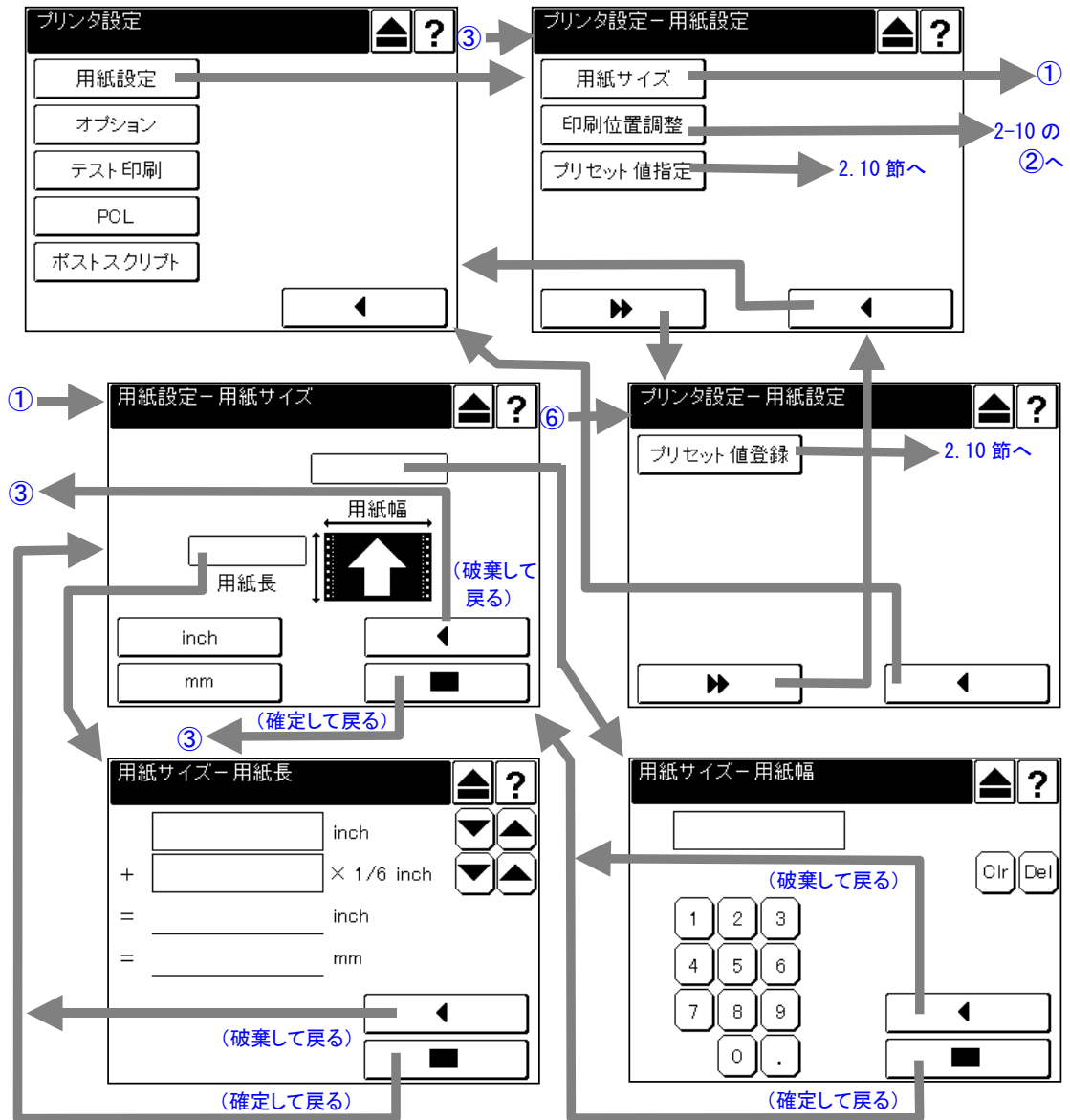
- 用紙設定：用紙サイズ、印刷位置調整、プリセット値指定、プリセット値登録、印刷位置確認。
- オプション：ジャムリカバリ、ウェイトタイムアウト、LPD キューイング、印刷濃度。
- テスト印刷：テストパターンの印刷。
- PCL：PCL 印刷の設定。フィックスオリエンテーション、2-UP、第2 ページオフセット。
- ポストスクリプト：PostScript 印刷の構成オプション。PostScript エラー印刷、ベストフィット機能、印刷ジョブタイムアウト、正方形イメージ方向、ハーフトーン濃度、PS ウェイトタイムアウト、180 度回転。本メニューは PostScript がインストールされているモデルのみ有効です。

メインメニューとは異なり、ヘルプ・ボタン **?** に触れると、現在の画面に対するヘルプが呼び出されます。



## 2.4.1 「用紙設定」サブメニューの使い方

「用紙設定」ボタンに触れることにより、用紙サイズと印刷位置調整を設定する一連の画面の先頭画面が表示されます。以降、ヘルプを参照しながら各項目を設定できます。



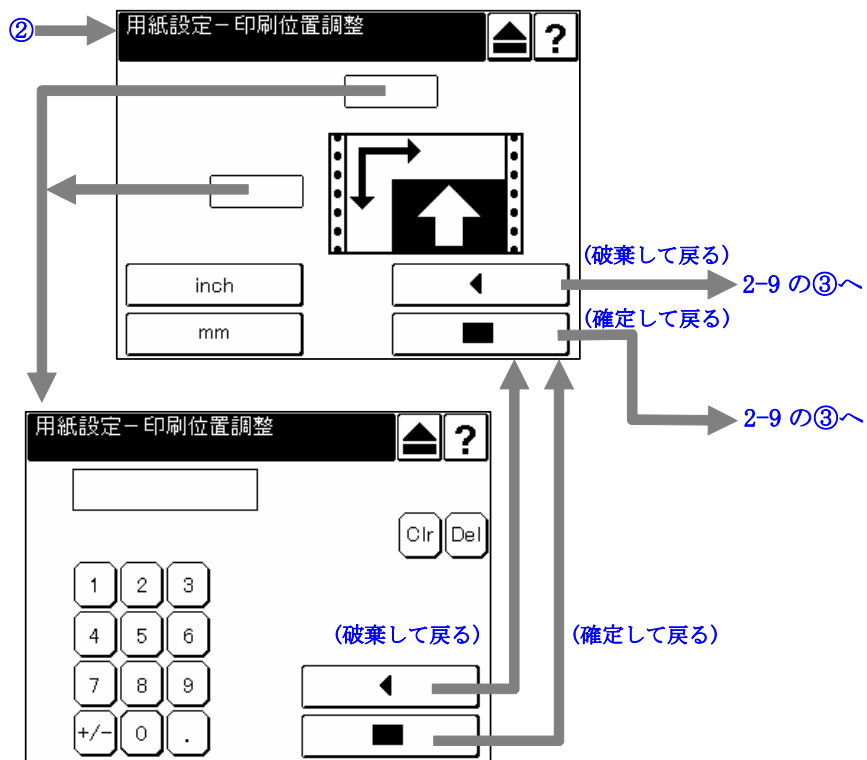
(次のページに続く)

### 留意点:

印刷データがプリンタ内に残っている状態で用紙サイズを変更後に印刷を継続した場合、「ヨウサイズが マチガッテマス」を OCP に表示すると共に、変更した用紙サイズで1ページのみ印刷して停止します。印刷データがプリンタ内に残っている状態で用紙サイズを変更する場合は、印刷データを削除してから用紙サイズを変更して、再印刷を行ってください。

OG	B	00	
----	---	----	--

(前のページから続く)



OG	B	00	
----	---	----	--



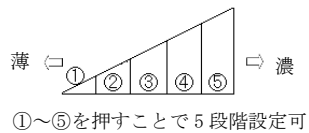
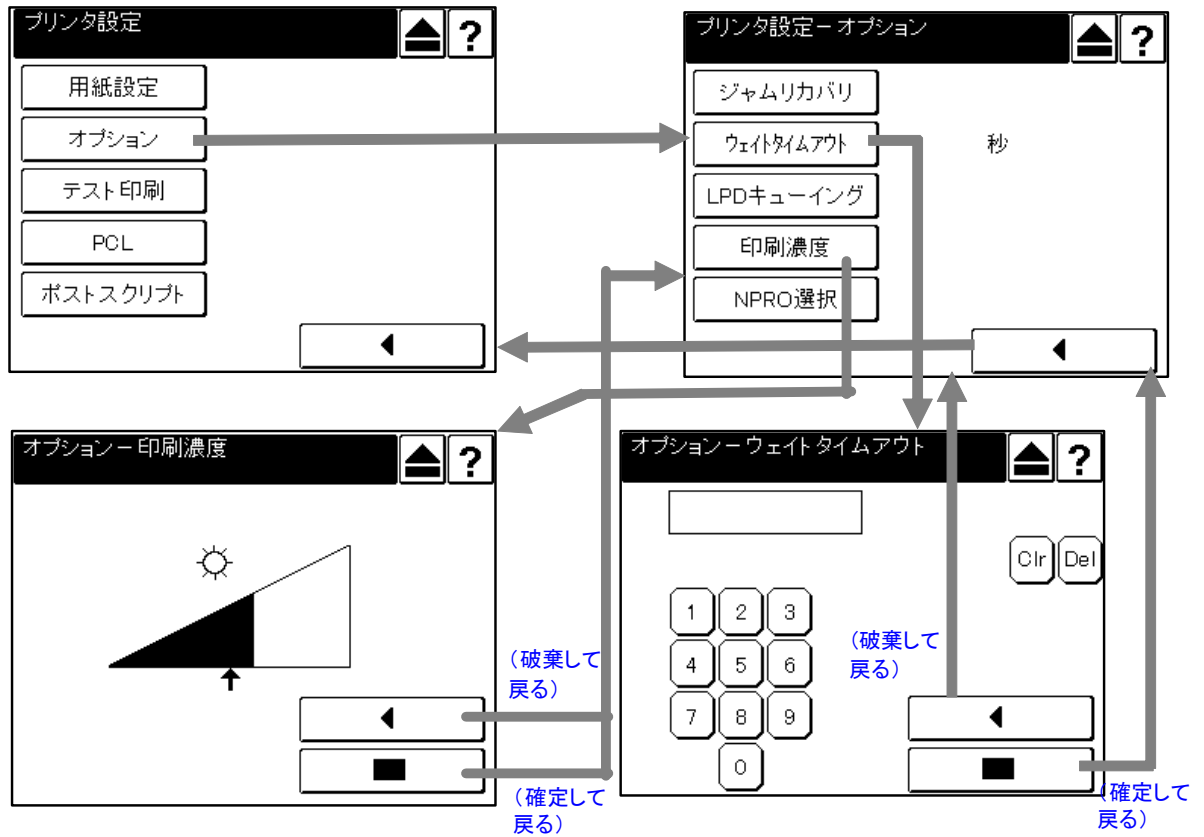
下表に、設定内容を備考と共に示します。

設定内容	備考
<b>用紙サイズ</b> (用紙幅) inch mm  (用紙長) xxx inch + yyy x 1/6 inch = zzz mm	用紙幅: 表示されたテンキーを使って用紙幅を設定できます。 設定可能な範囲は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 単位inch: 6.50～18.00、増減単位は0.01</li> <li>• 単位mm: 165.1～457.2、増減単位は0.1</li> </ul> 用紙長: 初期値は、現在選択されている用紙のサイズを示します。上向き矢印または下向き矢印のボタンに触れることにより、1/6inch単位で値を増減できます。mm単位の表示は、1/6inch単位を換算した値を表示しています。 設定可能な範囲は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 単位inch: 3.00～14.00</li> <li>• 単位mm: 76.2～355.6</li> </ul>
<b>印刷位置調整</b> (上マージン) inch mm (左マージン) inch mm	表示されたテンキーを使って上マージンと左マージンを設定できます。 設定可能な範囲は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 単位inch: -0.16～+0.16、増減単位は0.01</li> <li>• 単位mm: -4.23～+4.23、増減単位は0.01</li> </ul> また、この機能は2.3節のリポートモード画面においても使用できます。
<b>プリセット値指定</b> 1～99	用紙サイズ、印刷位置のプリセット値を99通り指定できます。 指定方法の詳細は2.10節を参照してください。
<b>プリセット値登録</b> 1～99	用紙サイズ、印刷位置のプリセット値を99通り登録できます。 登録方法の詳細は2.10節を参照してください。

OG	B	00	
----	---	----	--

## 2.4.2 「オプション」サブメニューの使い方

「オプション」ボタンに触れることにより、ジャムリカバリ、ウェイトタイムアウト、LPD キューイング、印刷濃度を設定する一連の画面の先頭画面が表示されます。以降、ヘルプを参照しながら各項目を設定できます。



OG	B	01	
----	---	----	--

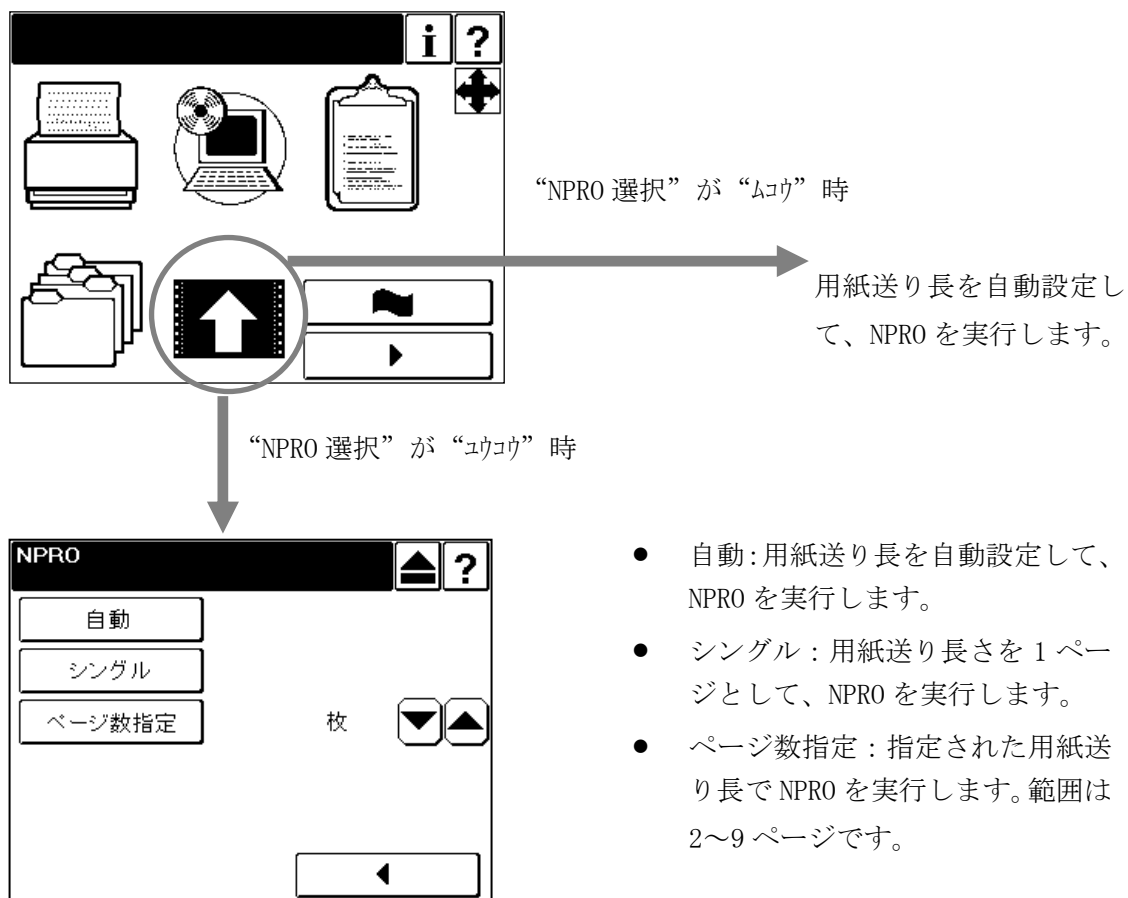
下表に、設定内容を備考と共に示します。

設定内容	備考
<b>ジャムリカバリ</b> ユウコウまたは ムコウ(トグル)	出荷時は「ユウコウ」に設定されています。有効時、用紙ジャムにより正しく印刷されなかったページは、ジャムの回復後再印刷されます。
<b>ウェイトタイムアウト</b> sss 秒	受信中のデータ送信が中断された場合、最終データ受信から次のデータ受信まで待つ時間(秒)を設定できます。本設定時間までに次のデータを受信しない場合、そのジョブはキャンセルされ、受信したデータ分の印刷を行います。出荷時は「300」に設定されています。表示されたテンキーを使って、値を変更できます。変更可能なタイムアウト値は、0 (タイムアウトなし) から 999 秒です。RawTCPモードにてPJL付きジョブを受信した場合、タイムアウト値は設定値の10倍もしくは300秒のどちらか長いほうになります。
<b>LPD キューイング</b> ユウコウまたは ムコウ(トグル)	「ユウコウ」にすると、プリンタを複数のPCから共用できるようになります。工場出荷時の設定は「ムコウ」です。
<b>印刷濃度</b> Light, Semi-Light, Middle, Semi-Dark, Dark	Light, Semi-Light, Middle, Semi-Dark, Darkの5段階で設定できます。三角形を押すと濃度を変更できます。工場出荷時の設定は「Middle」です。
<b>NPRO 選択</b> ユウコウまたは ムコウ(トグル)	「ユウコウ」にすると、メインメニューでNPROアイコン押下時に、NPROの種類を選択できるようになります。工場出荷時の設定は「ムコウ」です。

OG	B	00	
----	---	----	--

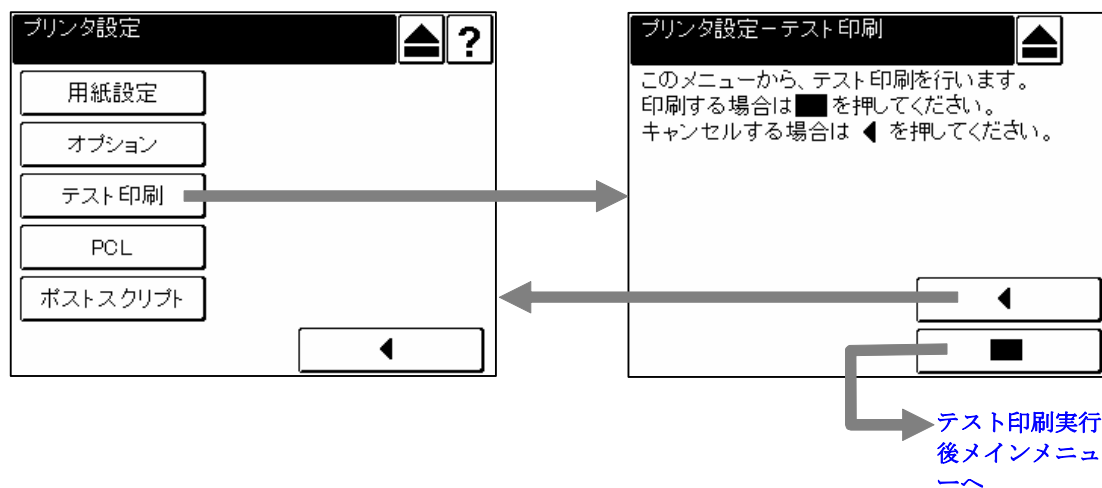
## 2.4.2.1 NPRO 選択

NPRO 選択の設定により、メインメニュー下の NPRO アイコン押下時の動作は以下のようになります。



## 2.4.3 「テスト印刷」サブメニューの使い方

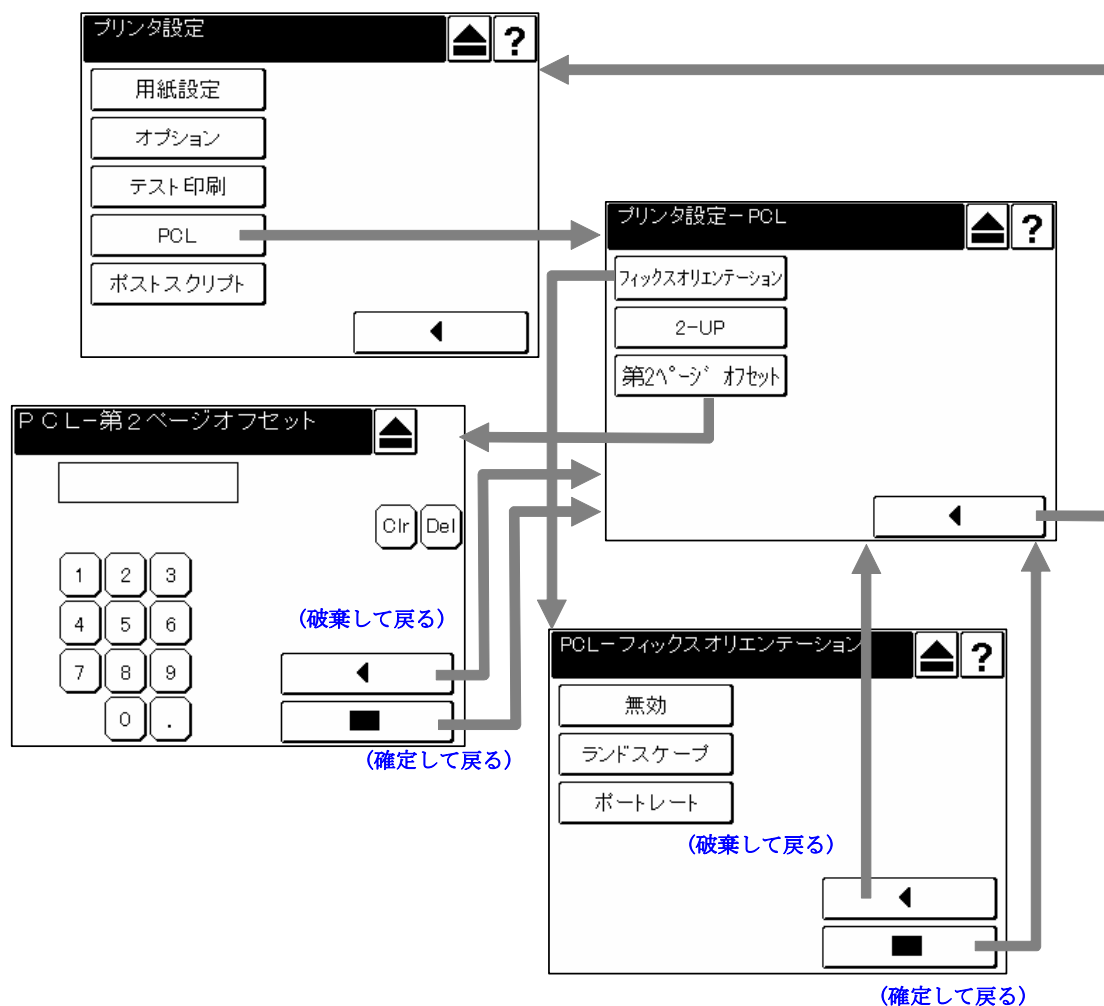
「テスト印刷」ボタンに触れることにより、テスト印刷を実行する画面が表示されます。印刷されるテストパターンを付録 D に示します。



OG	B	00	
----	---	----	--

## 2.4.4 「PCL」サブメニューの使い方

「PCL」ボタンに触れることにより、PCL印刷の構成オプション(用紙方向と1枚当り2ページ印刷)を設定する一連の画面の先頭画面が表示されます。以降、ヘルプを参照しながら各項目を設定できます。



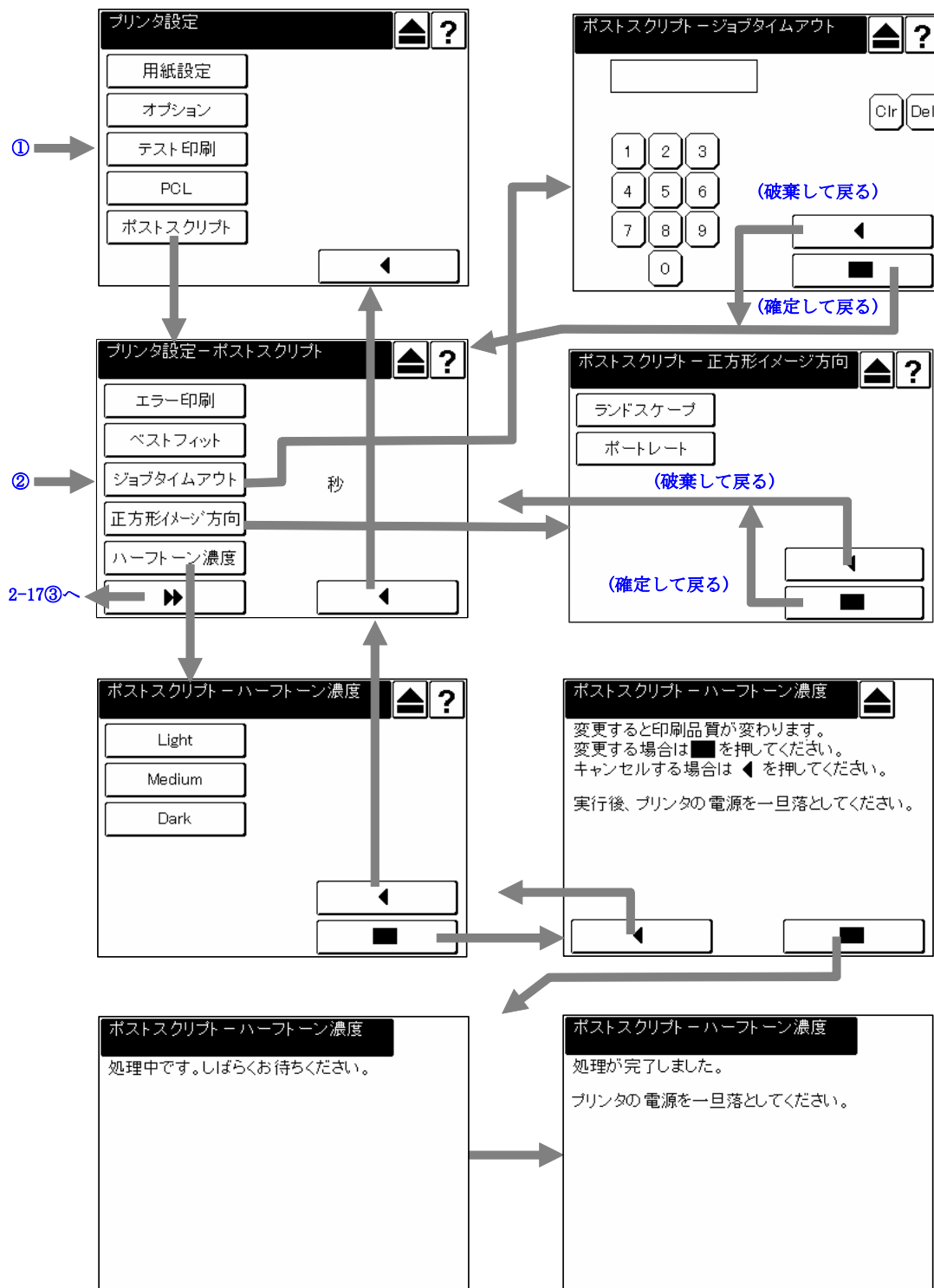
下表に、設定内容を備考と共に示します。

設定内容	備考
<b>フィックスオリエンテーション</b> 無効 ランドスケープ ポートレート	「無効」を選択すると、印刷ジョブが指定する用紙の向きの通り印刷します。「ランドスケープ」または「ポートレート」を選択すると、印刷ジョブが指定する用紙の向きにかかわらず、選択した向きで印刷します。 工場出荷時の設定は「無効」です。
<b>2-UP</b> ユウコウまたは ムコウ(トグル)	「有効」が設定されていると、2-UP、つまり1枚当り2ページで印刷します。 工場出荷時の設定は「ムコウ」です。
<b>第2ページオフセット</b> Inch	2-UP印刷時における第2ページのオフセットを変更します。変更可能なオフセット値は「0.0」～「1.0」インチ、増減単位は0.1インチです。 工場出荷時の設定は「0.0」インチです。

OG	B	00	
----	---	----	--

## 2.4.5 「ポストスクリプト」サブメニューの使い方

「ポストスクリプト」ボタンに触れることにより、PostScript 印刷の構成オプション (PostScript エラー印刷、ベストフィット機能、印刷ジョブタイムアウト、正方形イメージ方向、ハーフトーン濃度、PS ウェイトタイムアウト、180 度回転) を設定する一連の画面の先頭画面が表示されます。以降、ヘルプを参照しながら各項目を設定できます。本メニューは PostScript がインストールされているモデルのみ有効です。



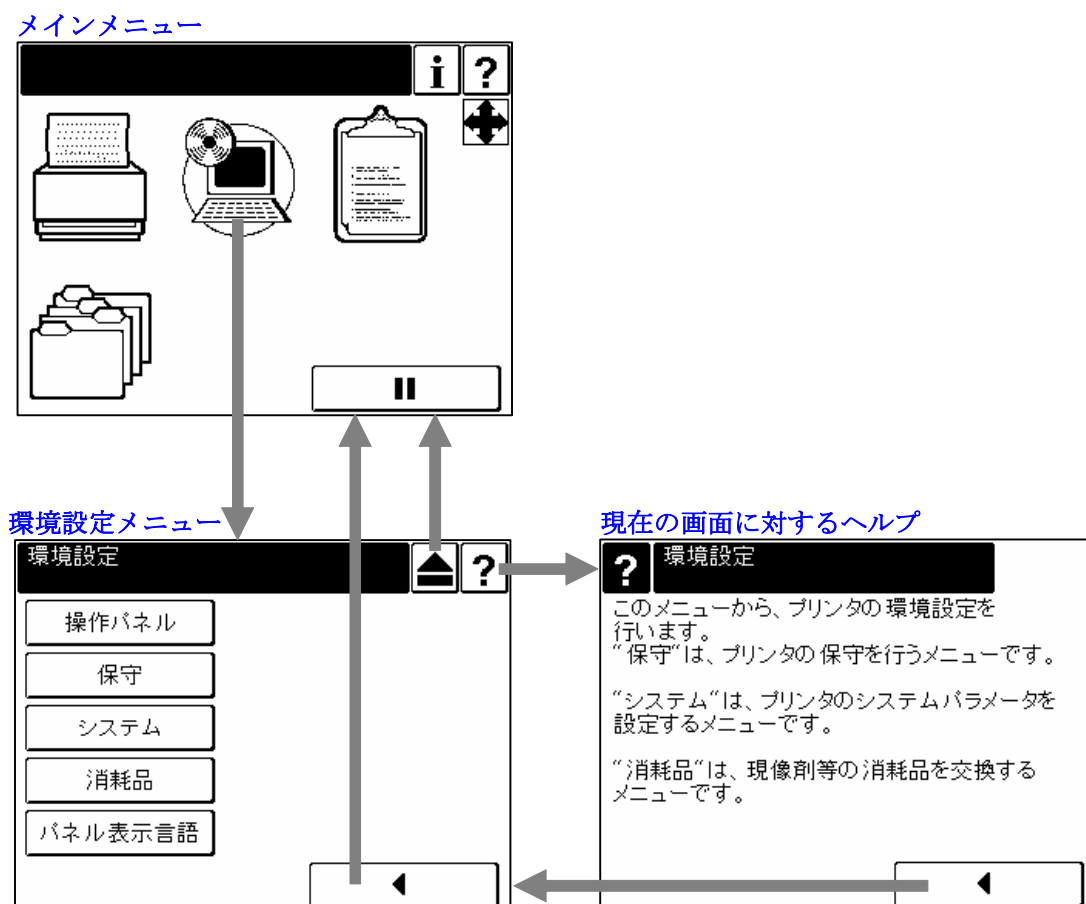


## 2.5 環境設定メニューの使い方

環境設定メニューにより、プリンタの環境設定に関するサブメニューにアクセスできます。

- 操作パネル: OCP の明るさ、コントラスト、ブザー音量。
- 保守: 一般ユーザ向けではなく、保守員向けのサブメニューです。アクセスにはサービスパスワードが必要です。
- システム: ソフトウェアログの収集、パラレルポートの設定、ネットワークパラメータの設定、カレンダーの設定、国番号の設定、システムパスワードの設定、エミュレーションの設定、public R/W の設定、LPD スプーリングの設定。一般ユーザ向けではなく、システム管理者向けのサブメニューです。アクセスにはシステムパスワードが必要です。
- 消耗品: 現像剤の交換と消耗品使用カウンタのリセット。
- パネル表示言語: OCP の表示言語（英語または日本語）の選択。

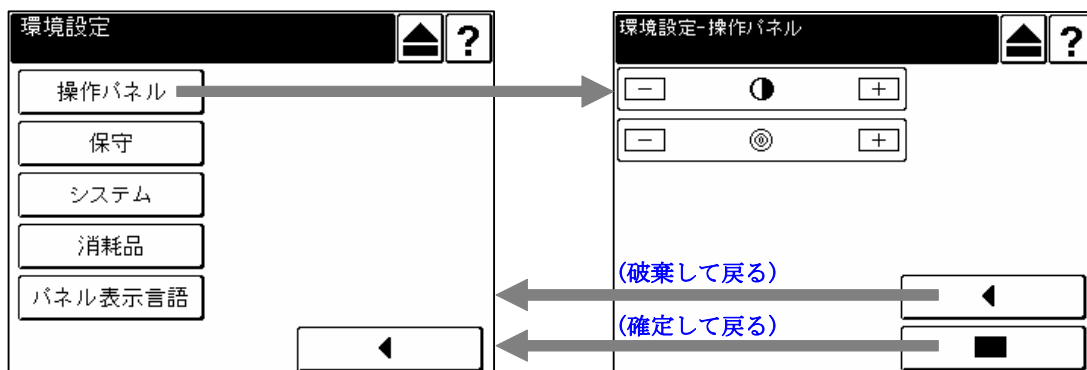
メインメニューとは異なり、ヘルプ・ボタン **?** に触れると、現在の画面に対するヘルプが呼び出されます。





## 2.5.1 「操作パネル」サブメニューの使い方

「操作パネル」ボタンに触れることにより、コントラスト、ブザー音量を設定する一連の画面の先頭画面が表示されます。以降、ヘルプを参照しながら各項目を設定できます。

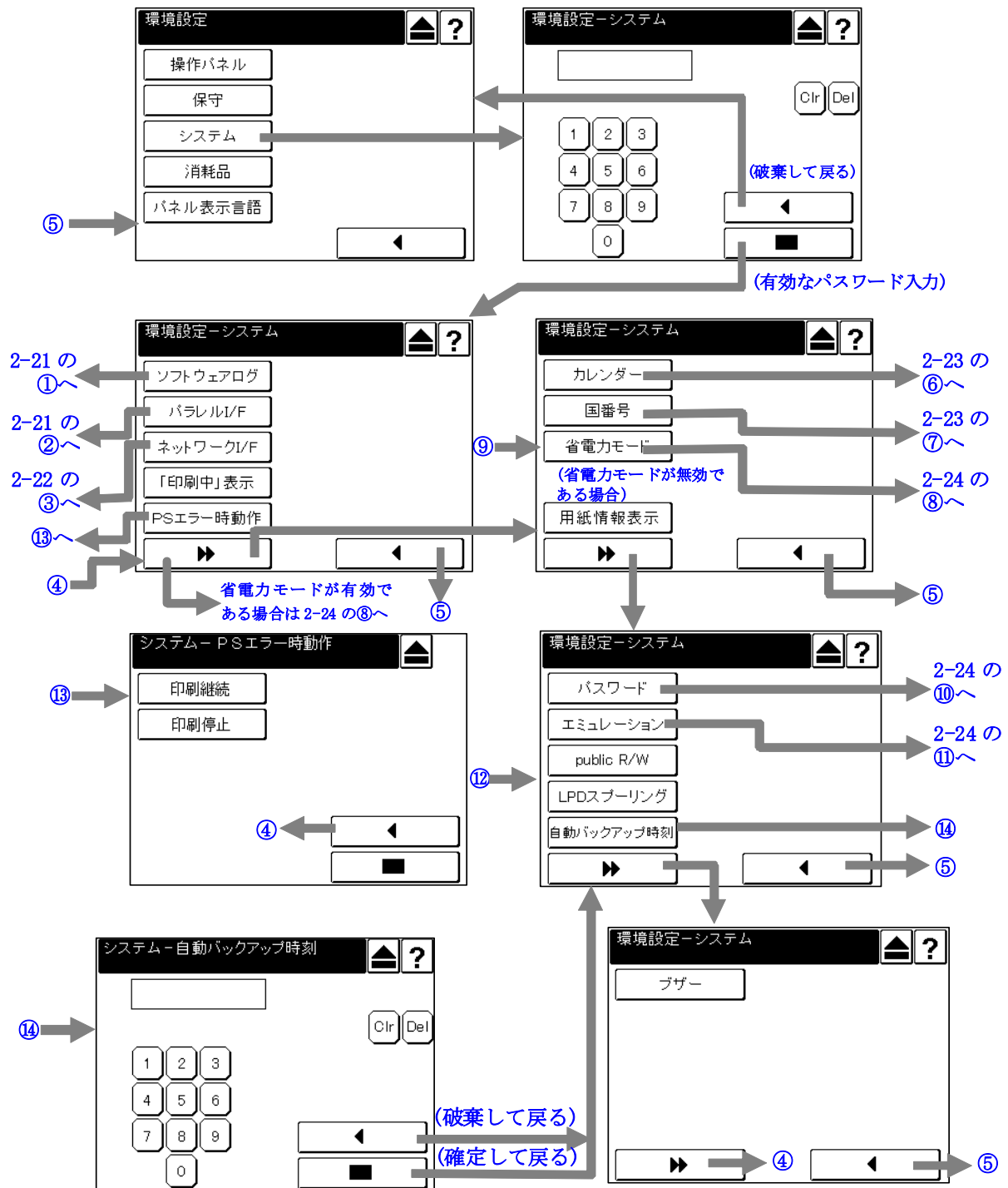


下表に、設定内容を備考と共に示します。

設定内容	備考
 (コントラスト)	コントラストは出荷時には「10」に設定されており、1～16の間で設定変更できます。また、ブザー音量は出荷時には「3」に設定されており、1～5の間で設定変更できます。画面のプラスアイコンまたはマイナスアイコンに触れることによって、値を増減します。
 (ブザー音量)	

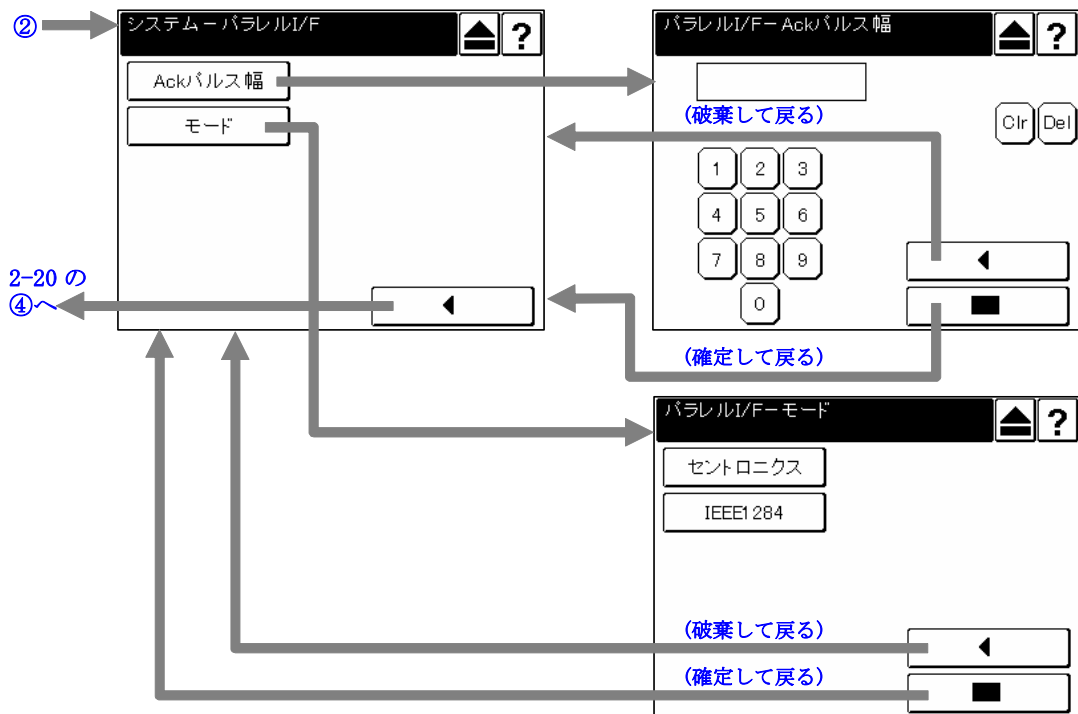
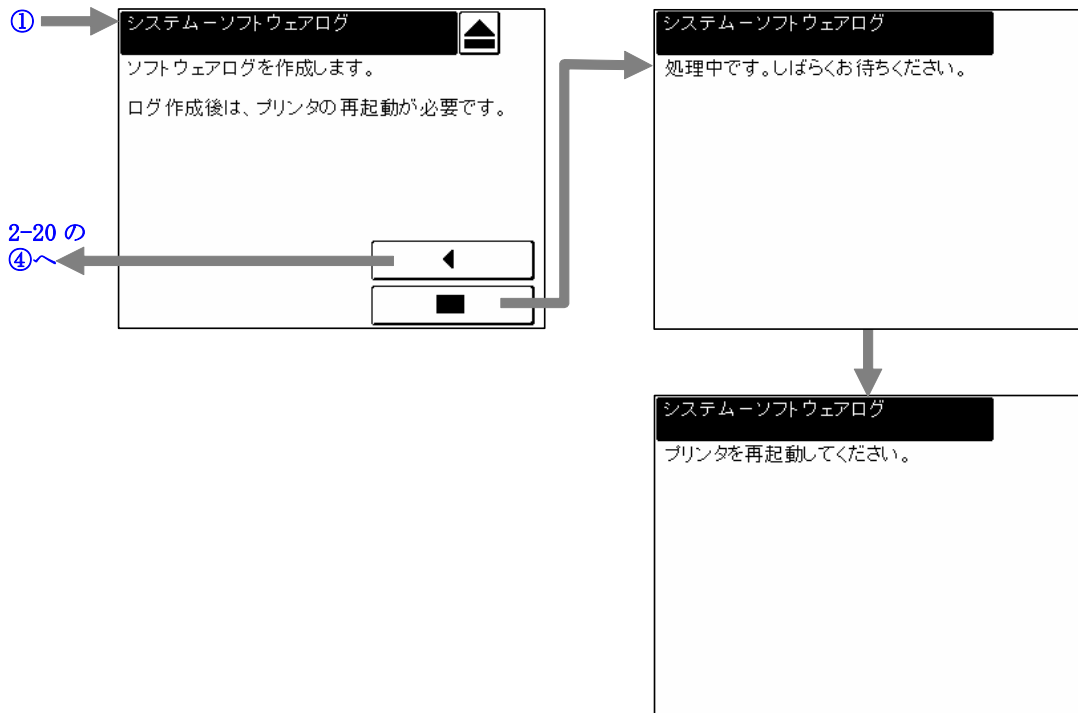
## 2.5.2 「システム」サブメニューの使い方

このサブメニューはシステム管理者向けのため、「システム」ボタンに触れると、はじめにパスワード入力要求が表示されます。そこで有効なパスワードを入力すると、システム環境設定に用いる一連の画面の先頭画面が表示されます。以降、ヘルプを参照しながら各項目を設定できます。



(次のページに続く)

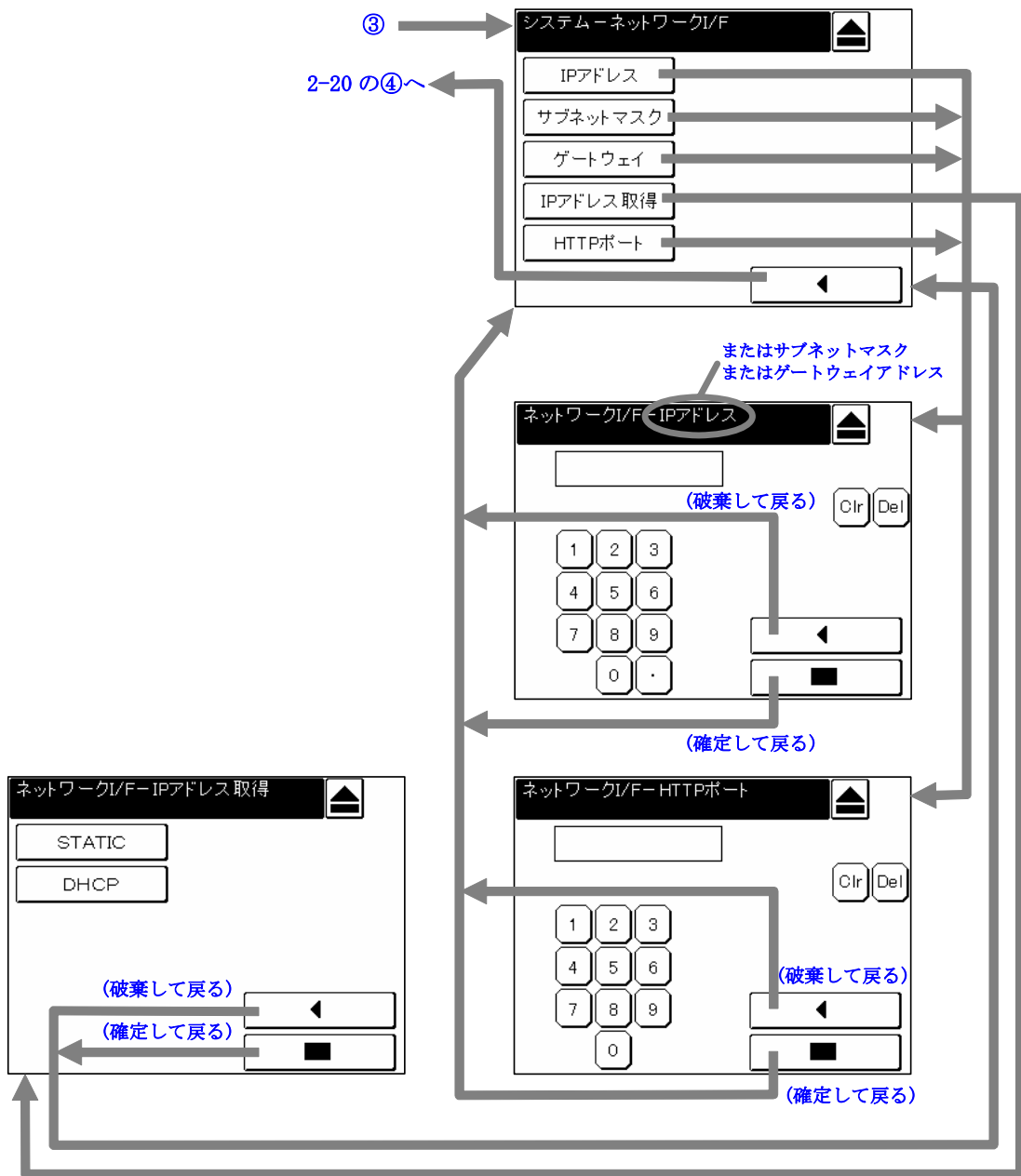
(前のページから続く)



(次のページに続く)

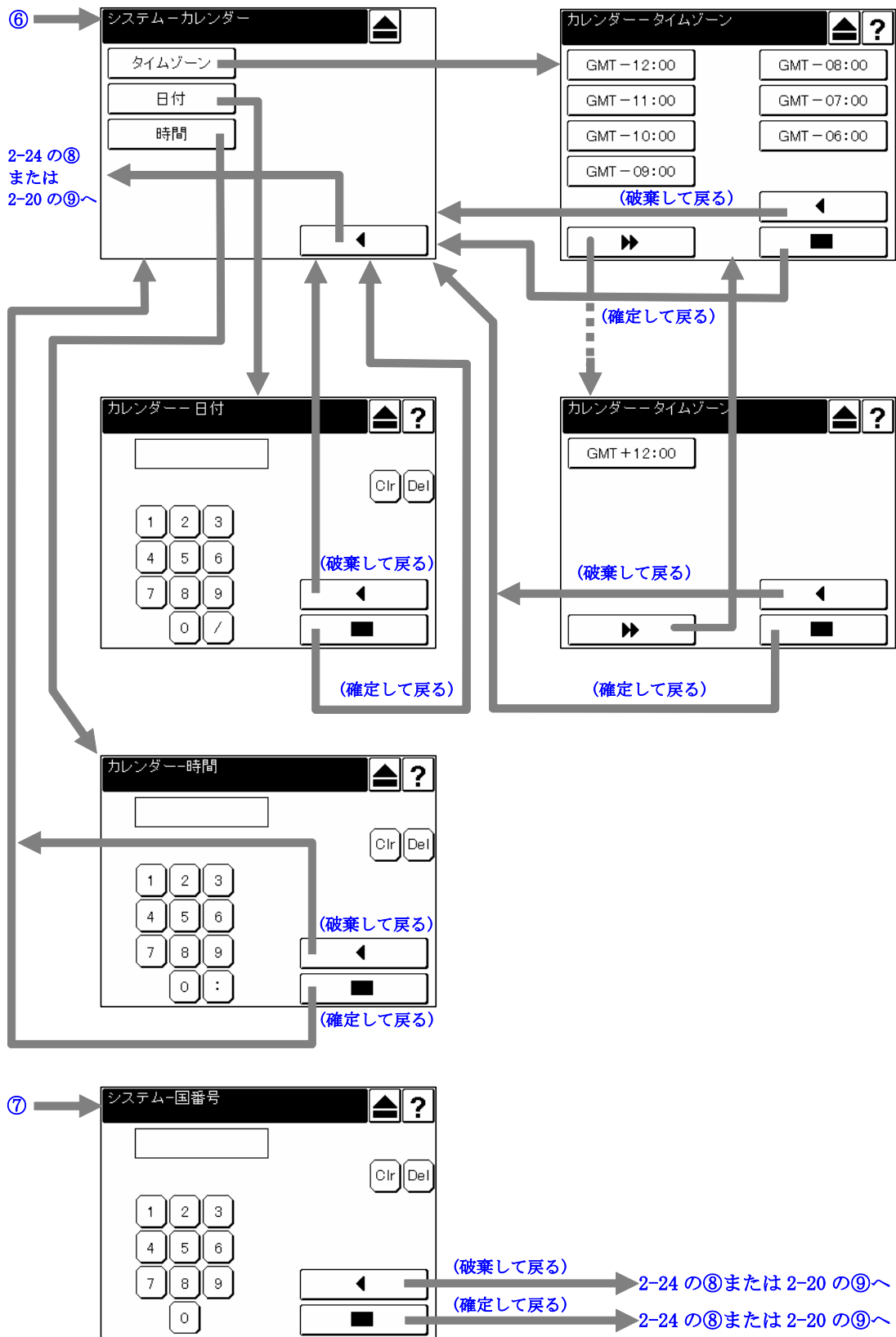
0G	B	00	
----	---	----	--

(前のページから続く)



(次のページに続く)

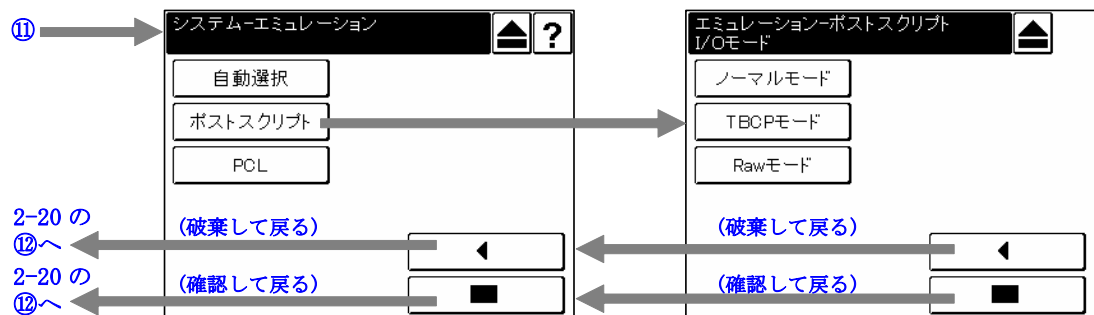
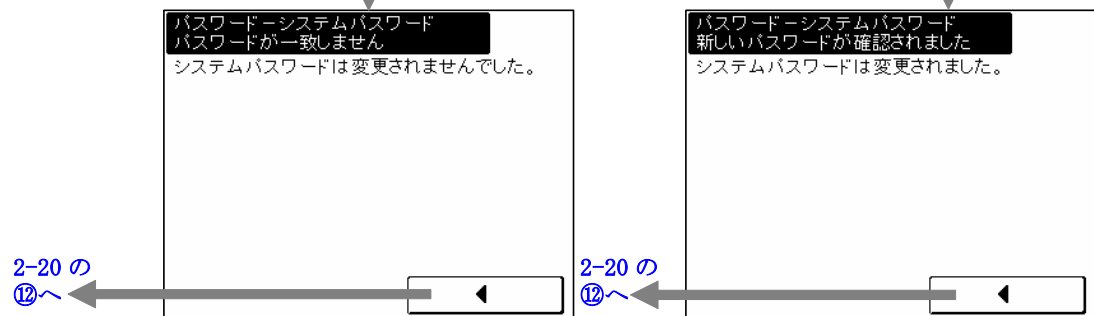
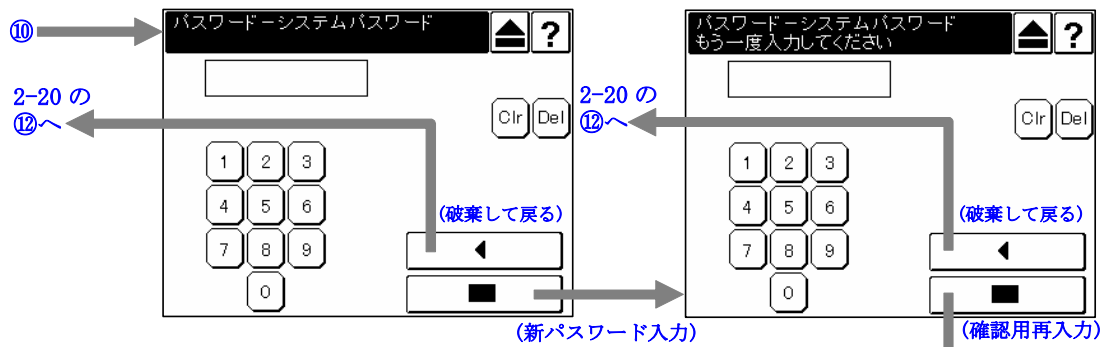
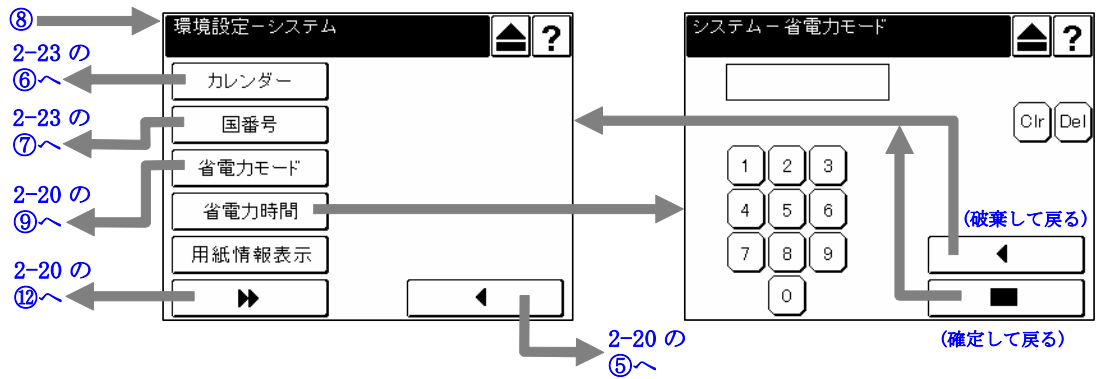
(前のページから続く)



(次のページに続く)

OG	B	00	
----	---	----	--

(前のページから続く)



下表に、設定内容を備考と共に示します。

設定内容	備考
ソフトウェアログ	プリンタコントローラソフトウェアのログを収集します。
パラレル I/F Ack パルス幅 モード セントロニクス IEEE1284	<p>「Ackパルス幅」は、プリンタがホストに返すAckパルス幅を設定できます。設定可能範囲は500～12750nsで、工場出荷値は1000nsです。通常は設定を変更する必要はありません。</p> <p>「モード」は、通信モードを設定します。「セントロニクス」はセントロニクスモード、「IEEE1284」はIEEE1284に準拠した双方向モードです。「セントロニクス」では双方向データ通信は動作しません。工場出荷値はIEEE1284です。</p>
ネットワーク I/F ネットワーク IP アドレス サブネットマスク ゲートウェイ IP アドレス取得 STATIC DHCP HTTP ポート	<p>「ネットワーク I/F」サブメニューは、以下の工場出荷値となっています：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>IPアドレス: “192.0.0.1”</li> <li>サブネットマスク: “0.0.0.0”</li> <li>ゲートウェイアドレス: “0.0.0.0”</li> <li>HTTPポート番号: “80”</li> </ul> <p>これらの値は表示されたテンキーを使って変更できます。通常、HTTPポート番号を変更する必要はありません。HTTPポート番号を変更した場合は、新しい値を有効化するためにプリンタの再起動が必要です。</p> <p>「IPアドレス取得」の工場出荷値は「STATIC」です。</p>
印刷中表示 ユウコウまたは ムコウ(トグル)	ユウコウ／ムコウのトグル表示です。設定が有効の時、プリンタが印刷中の間はメインメニューの印刷ジョブ一覧アイコン上に印刷中という文字が表示されます。工場出荷時はムコウです。
PS エラー時動作 印刷継続 印刷停止	<p>ポストスクリプトエラー発生時の動作を設定できます。「印刷継続」の時、印刷を継続します。「印刷停止」の時、「ポストスクリプトエラー／チェックリセットヲオシテクダサイ」というメッセージをOCPに表示し、印刷が停止します。「▶」キーを押すことにより印刷が継続します。工場出荷時の設定は「印刷継続」です。</p>
カレンダー タイムゾーン 日付 時間	<p>「タイムゾーン」は、GMT(国際標準時) マイナス12:00時間～プラス12:00時間の範囲で選択可能です。</p> <p>日付を指定する際は、無効な値(2001/2/31等)を設定してもその値が適用されてしまうため、正確な日付を設定してください。</p>
国番号	国際電話で使用される国番号を設定します。工場出荷時の設定は「81」(日本の国番号)です。

(次のページに続く)

OG	B	00	
----	---	----	--

(前のページから続く)

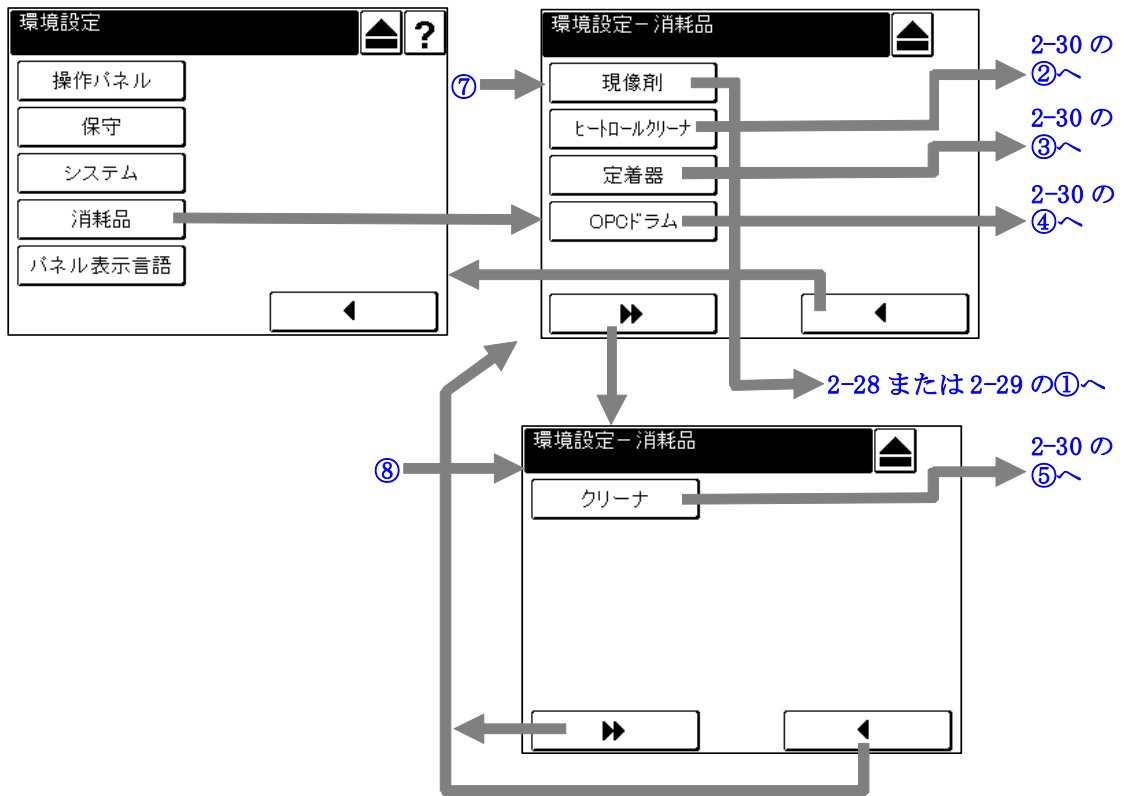
設定内容	備考
<b>省電力モード</b> ユウコウまたは ムコウ(トグル)	省電力モードの有効無効を切り換えます。工場出荷時の設定は「ユウコウ」です。この設定が「ユウコウ」の時、省電力時間で設定された時間の間、印刷動作、パネル操作がなければ省電力モードになります。省電力モードにはヒータオフモードとスリープモードがあります。 ヒータオフモードは、プリンタのヒータをオフにします。またスリープモードはプリンタの電源をオフにします。省電力モードは、下記の条件のいずれかが成立した場合、解除されます。 ・オンライン時に印刷起動がかかったとき ・OCPのキーを押したとき
<b>省電力時間</b>	ヒータオフモードになるまでの時間(分)を設定します。5～230分の間で設定ができます。工場出荷時の設定は「15」です。スリープモードはヒータオフモードの状態になった10分後に移行します。
<b>用紙情報表示</b> ユウコウまたは ムコウ(トグル)	ユウコウ/ムコウのトグル表示です。設定が有効の時、OCPのオンライン画面に用紙幅、用紙長、印刷調整値及びプリセット番号(プリセット設定時)を表示します。工場出荷時の設定は「ムコウ」です。
<b>パスワード</b> システムパスワード	システムメニューに入るときに使用するパスワードを変更することができます。システムパスワードの工場出荷値は「1000」です。
<b>エミュレーション</b> 自動選択 ポストスクリプト ノーマルモード TBCP モード Raw モード PCL	パラレルインターフェースのエミュレーション方式を設定します。工場出荷時の設定は「自動選択」です。 ・「自動選択」を選択すると、送られてきたジョブがPostScriptジョブか、PCLジョブかを自動的に識別して処理を行います。 ・「ポストスクリプト」を選択すると、送られてきたジョブをPostScriptジョブとして扱います。また「ポストスクリプト」には「ノーマルモード」、「TBCPモード」および「Rawモード」があり、それぞれ適切なモードにセットされていないと正常に印刷が行われない場合があります。本メニューはPostScriptがインストールされているモデルのみ有効です。 ・「PCL」を選択すると、送られてきたジョブをPCLジョブとして扱います。
<b>public R/W</b> ユウコウまたは ムコウ(トグル)	この設定が「ユウコウ」のとき、SNMPコミュニティー名がPublicでもR/Wできます。工場出荷時の設定は「ムコウ」です。
<b>LPD スプーリング</b> ユウコウまたは ムコウ(トグル)	この機能は、LPDプロトコルにて印刷データを送信する場合に適用される機能です。この設定が「ユウコウ」のとき、プリンタはプリンタ内蔵のHDDに全ての印刷データを受信してから印刷を開始します。この設定が「ムコウ」のとき、プリンタはデータを受信しつつ順次印刷を行います。ただし、この設定が「ユウコウ」の場合でも、受信したデータは印刷終了後には削除されます。工場出荷時の設定は「ムコウ」です。
<b>自動バックアップ時刻</b>	電源立ち上げ時以外の自動バックアップを実行する時刻を0時から23時の間で設定します。なお、設定時間は1時間単位です。工場出荷時の設定は午前1時です。
<b>ブザー</b>	本メニューは使用しません。

OG	B	01	
----	---	----	--



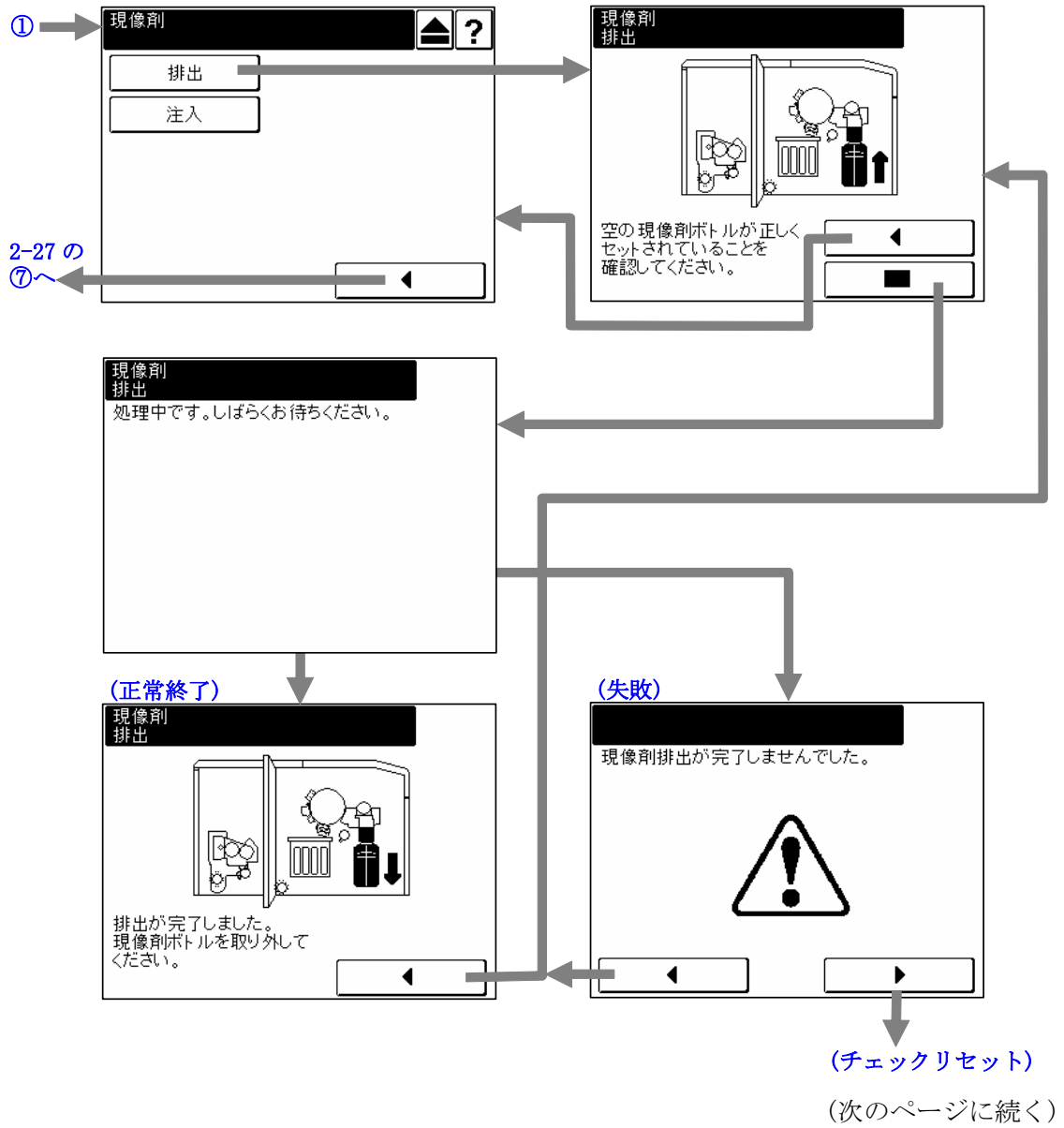
### 2.5.3 「消耗品」サブメニューの使い方

「消耗品」ボタンに触れることにより、現像剤の交換と消耗品使用カウンタのリセットを実施する一連の画面の先頭画面が表示されます。以降、ヘルプを参照しながら各項目を設定できます。

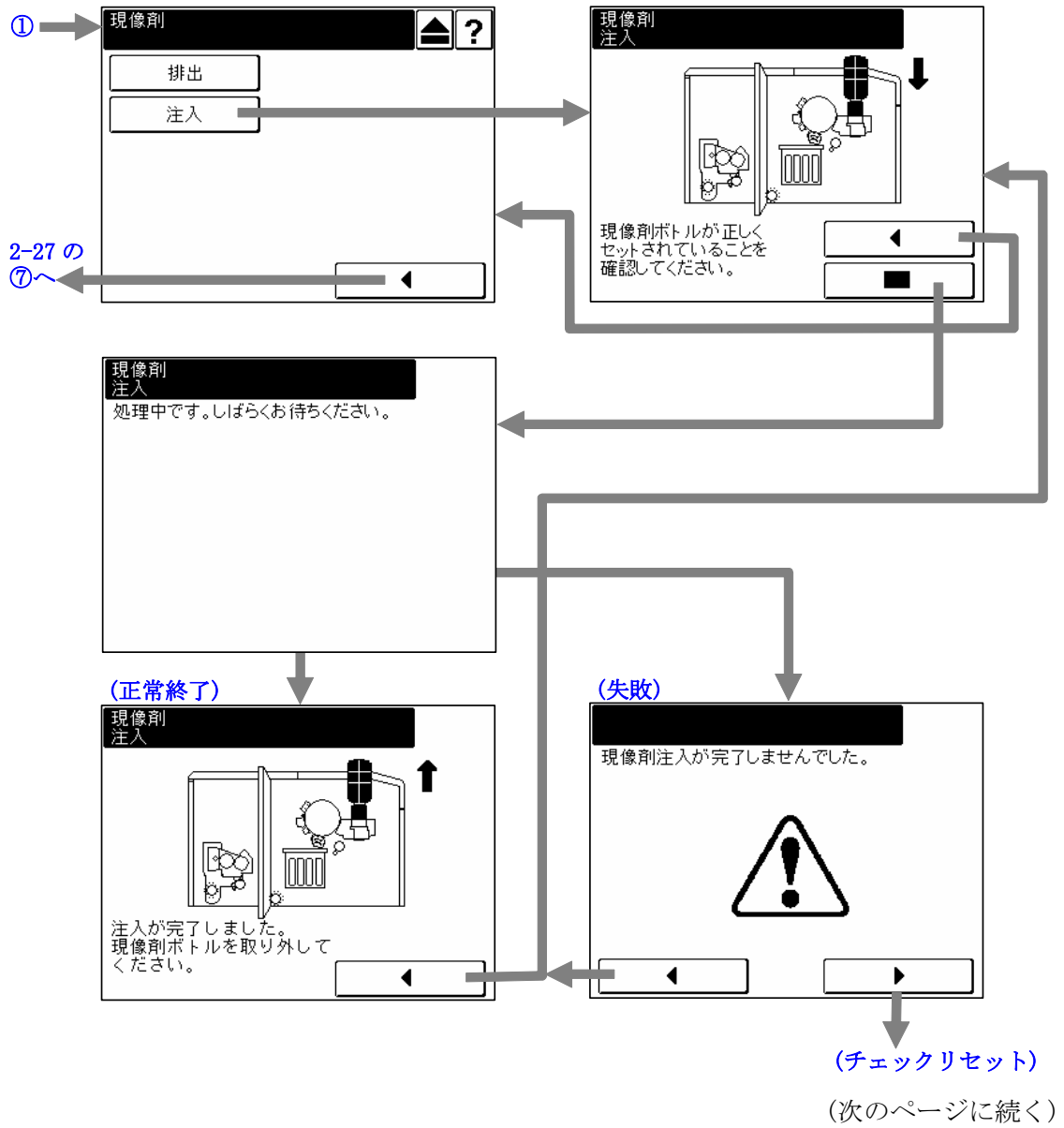


(次のページに続く)

(前のページから続く)

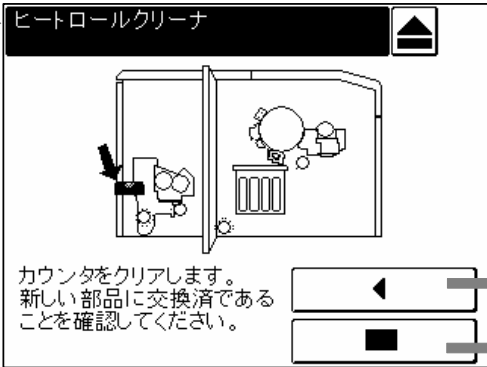


(前のページから続く)



(前のページから続く)

② → **ヒートロールクリーナ**




カウンタをクリアします。  
新しい部品に交換済であることを確認してください。

(カウンタをクリアせずに戻る) → 2-27 の ⑦へ

(カウンタをクリアして戻る) → 2-27 の ⑦へ

③ → **定着器**




カウンタをクリアします。  
新しい部品に交換済であることを確認してください。

(カウンタをクリアせずに戻る) → 2-27 の ⑦へ

(カウンタをクリアして戻る) → 2-27 の ⑦へ

④ → **OPCドラム**




カウンタをクリアします。  
新しい部品に交換済であることを確認してください。

(カウンタをクリアせずに戻る) → 2-27 の ⑦へ

(カウンタをクリアして戻る) → 2-27 の ⑦へ

⑤ → **クリーナ**



カウンタをクリアします。  
新しい部品に交換済であることを確認してください。

(カウンタをクリアせずに戻る) → 2-27 の ⑧へ

(カウンタをクリアして戻る) → 2-27 の ⑧へ

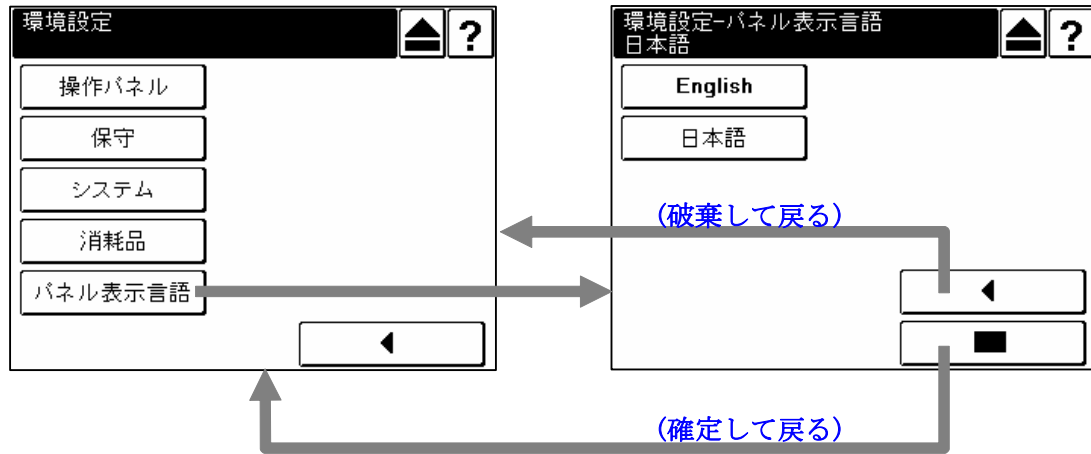
下表に、設定内容を備考と共に示します。

設定内容	備考			
<table border="1"> <tr> <td>現像剤</td> </tr> <tr> <td>  排出</td> </tr> <tr> <td>  注入</td> </tr> </table>	現像剤	排出	注入	古い現像剤の「排出」の後、新しい現像剤を「注入」することで交換できます。現像剤の使用値は自動的に初期化されます。交換手順の詳細は第6章を参照してください。
現像剤				
排出				
注入				
ヒートロールクリーナ				
定着器	ヒートロールクリーナ、定着器、OPCドラム、クリーナを交換したときは、該当するサブメニューで必ず消耗品の使用カウンタをリセットしてください。交換手順の詳細は第6章を参照してください。			
OPCドラム				
クリーナ				

OG	B	01	
----	---	----	--

## 2.5.4 「パネル表示言語」サブメニューの使い方

「パネル表示言語」ボタンに触れることにより、OCPの表示言語（英語または日本語）を選択する画面が表示されます。



下表に、設定内容を備考と共に示します。

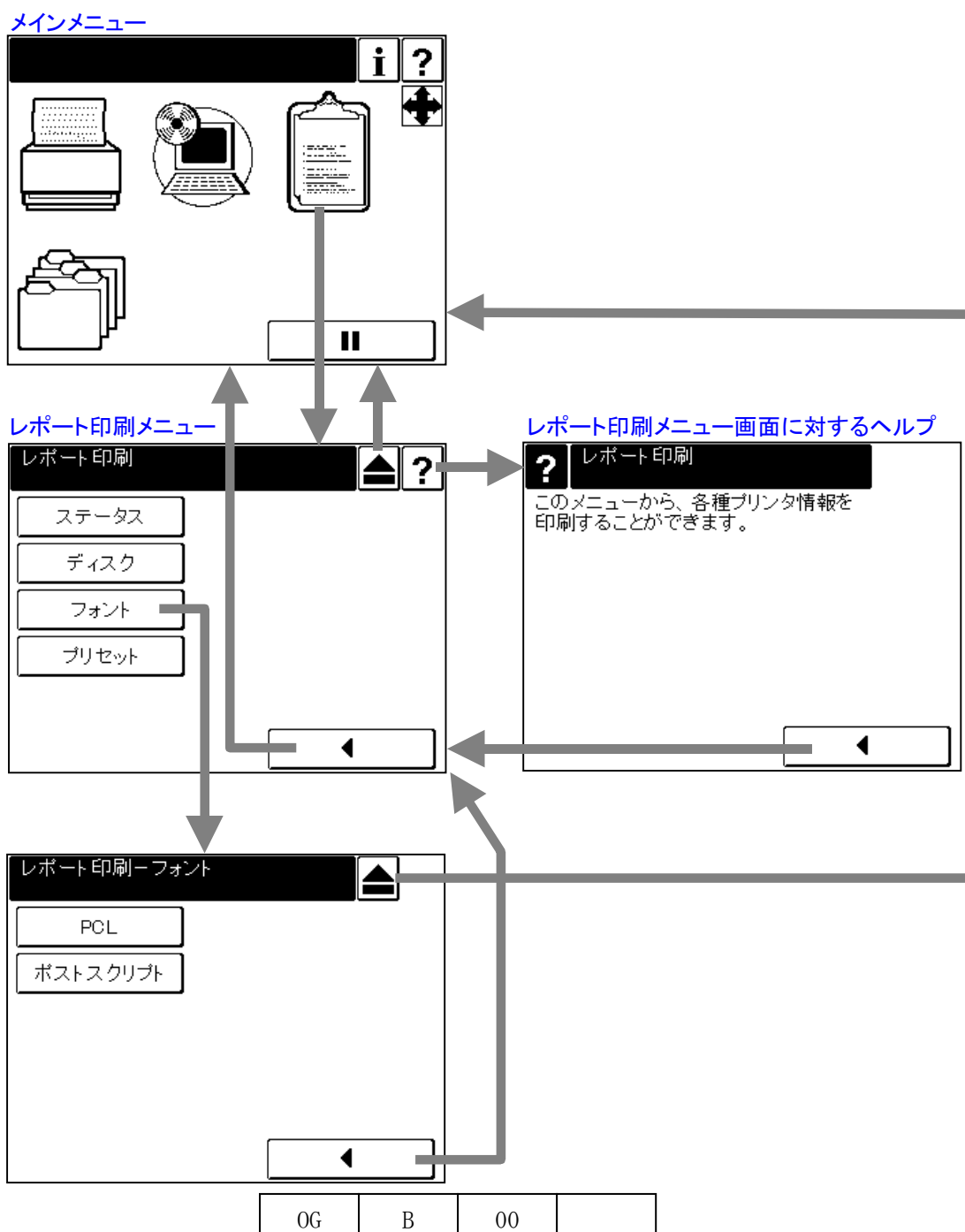
設定内容	備考
English	OCPの表示言語を英語にします。
日本語	OCPの表示言語を日本語にします。

## 2.6 レポート印刷メニューの使い方

レポート印刷メニューにより、プリンタに関する以下のレポートを印刷できます。

- ステータス：システム情報。
- ディスク：PCL ファイルのディレクトリと、該当する場合は PostScript ファイルのディレクトリ。
- フォント：インストールされているフォント。
- プリセット：プリセット値の登録内容。

メインメニューとは異なり、ヘルプ・ボタン **?** に触れると、レポート印刷メニュー画面に対するヘルプが呼び出されます。



下表に、設定内容を備考と共に示します。

設定内容	備考
ステータス	ステータス印刷はプリンタの現在の設定内容が印刷されます。
ディスク	ディスクディレクトリ印刷はPCL/PostScript用ディスクディレクトリの内容が印刷されます。
フォント	各種フォントの一覧が印刷されます。
PCL	
ポストスクリプト	
プリセット	プリセット印刷はプリセット値の現在の登録内容が印刷されます。

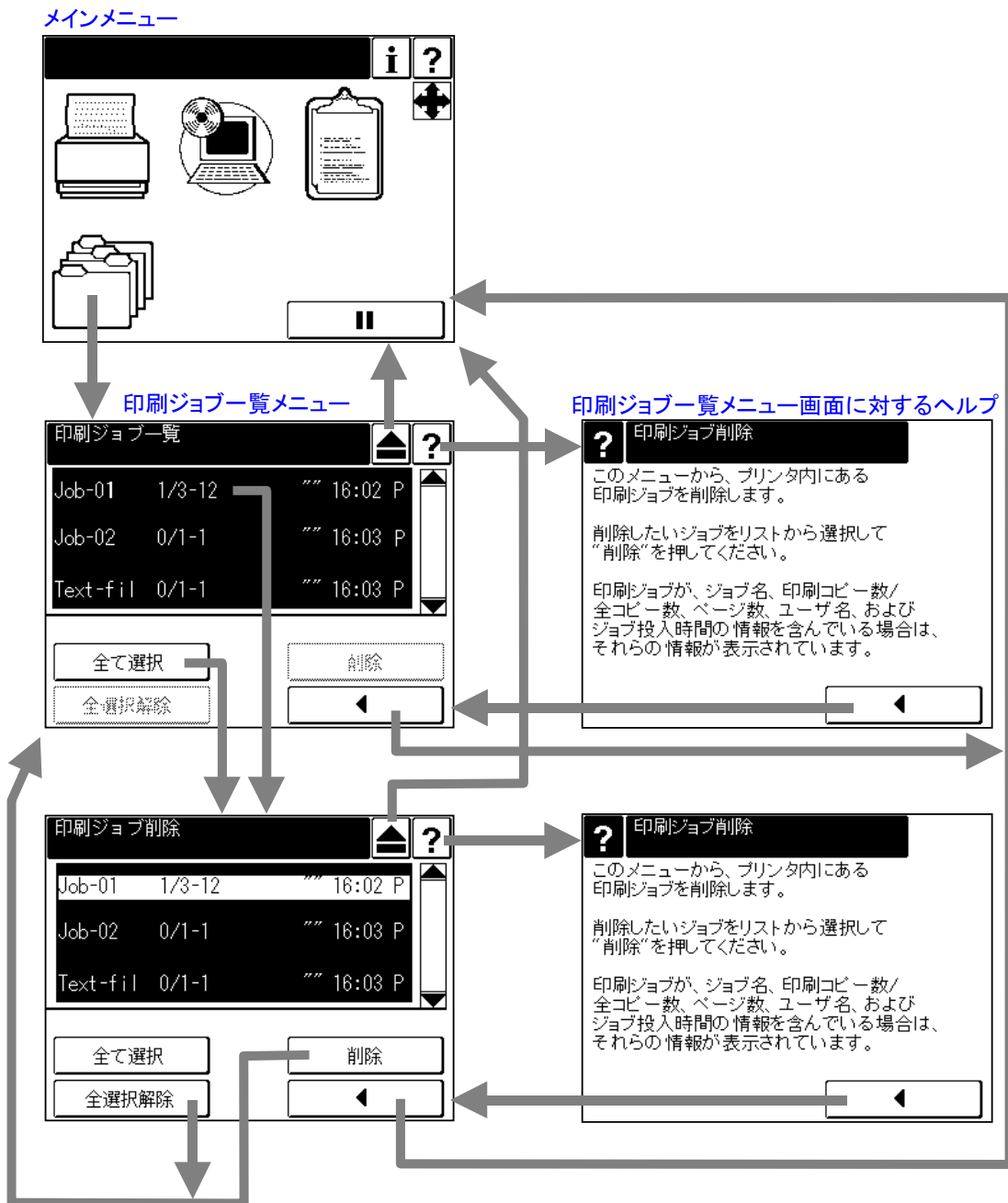
0G	B	00	
----	---	----	--



## 2.7 印刷ジョブ一覧メニューの使い方

印刷ジョブ一覧メニューは、プリンタがデータを受信して印刷待ち状態になっているジョブを表示します。また、一覧の中の1個または全ての印刷ジョブを選択して削除することができます。

メインメニューとは異なり、ヘルプ・ボタン **[?]** に触れると、印刷ジョブ一覧メニュー画面に対するヘルプが呼び出されます。



下表に、設定内容を備考と共に示します。

設定内容	備考
印刷ジョブ一覧リスト	<p>各行は印刷待ちのジョブの情報を以下の書式で示します。</p> <p>例: <u>J</u><u>o</u><u>b</u>-<u>0</u><u>1</u> <u>1</u>/<u>3</u>-<u>1</u><u>3</u> <u>"</u><u>"</u> <u>1</u><u>6</u>:<u>0</u><u>2</u> <u>P</u></p> <p style="text-align: center;">①      ② ③ ④ ⑤      ⑥      ⑦</p> <p>① 印刷ジョブ名            ② 印刷中のコピー部数            ③ 全コピー部数            ④ 1コピー中の全ページ数            ⑤ 印刷ジョブの所有者名            ⑥ 印刷ジョブ受信時刻            ⑦ 印刷ジョブの状態 (P = 停止中、A = 処理中、C = 削除中、D = 転写済)</p> <p>印刷ジョブに印刷ジョブ名、ユーザ名が入っていない場合は、上記の印刷ジョブ名、ユーザ名は表示されません。またプリンタに添付されたプリンタドライバを使用して印刷する場合、印刷ジョブ名を2バイト文字(ひらがな、カタカナ、漢字)で設定した場合、その部分が正しく表示されません。</p> <p>スクロールバーの上矢印または下矢印に触れると、リストを上下にスクロールします。リスト中の1行に触れると、その1つの印刷ジョブを選択します。</p>
<b>全て選択</b>	リスト中の全ての印刷ジョブを選択します。
<b>全選択解除</b>	リスト中の全ての印刷ジョブの選択を解除します。
<b>削除</b>	選択されている印刷ジョブを削除します。

OG	B	00	
----	---	----	--

## 2.8 パスワード管理

パスワードを設け、システム設定やプリンタ保守機能の取り扱いを制限することで、運用上の安全性を確保することができます。このプリンタには、システムパスワードと保守パスワードの2種類のパスワードが用意されています。

システムパスワードは、システム管理者が使用するもので、システム・パラメータを管理するために使用します。保守パスワードは、サービスや保守の機能を利用するときに使用しません。

システムパスワードの工場出荷初期値は「1000」に設定されています。

システムパスワードは以下のメニューより変更することが可能です。  
「環境設定」－「システム」－「パスワード」



**変更後のシステムパスワードを紛失した場合はシステムパスワードを再設定する必要がありますが、再設定操作にはサービスパスワードが必要です。そのようなときには保守員に連絡してください。**

## 2.9 メニュー構成

本プリンタのメニュー構成は以下の様になっています。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	
i(インフォメーション)	プリンタ	エンジン レビジョン		
		コントローラ レビジョン		
	消耗品	トナー残量	アリナシ	
		現像剤使用量	現在までの使用値/ 最大使用可能値	
		ヒートロールクリーナ使用量	現在までの使用値/ 最大使用可能値	
		定着器使用量	現在までの使用値/ 最大使用可能値	
		OPCドラム使用量	現在までの使用値/ 最大使用可能値	
		クリーナ使用量	現在までの使用値/ 最大使用可能値	
	使用状況	トナーカバレッジ		
		印刷枚数		
		UC カウンタ*1		
	ネットワーク	MAC アドレス		
		IP アドレス		
		サブネットマスク		
		ゲートウェイアドレス		
		HTTP ポート		

\*1: 保守メニューでUC カウント値設定がヒョウジの場合、表示されます。

OG	B	00	
----	---	----	--

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	レベル 5
プリンタ設定*1	用紙設定	用紙サイズ	サイズ入力	
		印刷位置調整	位置調整	
		プリセット値指定	1-99	
		プリセット値登録	1-99	
		印刷位置確認*2	開始	
	オプション	ジャム リカバリ	ユウコウ/ムコウ	
		ウェイト タイムアウト	0-999 秒	
		LPD キューイング	ユウコウ/ムコウ	
		印刷濃度	Light	
			Semi-Light	
			Middle	
			Semi-Dark	
	Dark			
	NPRO 選択	ユウコウ/ムコウ		
	テスト印刷			
	PCL	フィックスオリエンテーション	無効	
			ランドスケープ	
			ポートレート	
		2-UP	ユウコウ/ムコウ	
		第 2 ページオフセット	0.0-1.0	
	ポストスクリプト*3	エラー印刷	ユウコウ/ムコウ	
		ベストフィット	ユウコウ/ムコウ/ ムコウ(OCP ユウセン)	
		ジョブタイムアウト	0 秒(無限大), 15-999 秒	
		正方形イメージ方向	ランドスケープ	
			ポートレート	
		ハーフトーン濃度*4	Light	
			Medium	
Dark				
PS ウェイトタイムアウト	0-999(秒)			
180 度回転	ユウコウ/ムコウ			

\*1: ホストから受信したデータに各種設定項目に対しての指定が含まれている場合、その指定が優先されるため、OCP での設定は無視されます。

\*2: 保守メニューで印刷位置確認設定が「ユウコウ」になっている時に表示されます。

\*3: PostScript がインストールされているモデルのみ有効です。

\*4: 保守メニューでハーフトーン濃度設定が「ユウコウ」になっている時に表示されます。

OG	B	00	
----	---	----	--

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	レベル 5	レベル 6		
環境設定	操作パネル	コントラスト	1-16				
		ブザー音量	1-5				
	保守*1						
	システム	パスワード入力*2 (パスワード:1000)	ソフトウェアログ				
			パラレル I/F		Ack パルス幅	500-12750ns	
					モード	セントロニクス/ IEEE1284	
			ネットワーク I/F		IP アドレス		
					サブネットマスク		
					ゲートウェイ		
					IP アドレス取得	STATIC	DHCP
					HTTP ポート		
			「印刷中」表示		ユウコウ/ムコウ		
			PS エラー時動作		印刷継続/印刷停止		
			カレンダー		タイムゾーン	GMT-12:00 - GMT+12:00	
					日付*3		
					時間		
			国番号				
			省電力モード		ユウコウ/ムコウ		
			省電力時間*4		5-230 フン		
			用紙情報表示		ユウコウ/ムコウ		
			パスワード		パスワード変更画面		
			エミュレーション		自動選択		
					ポストスクリプト*5	ノーマルモード	TBCP モード
				Raw モード			
			PCL				
	public R/W		ユウコウ/ムコウ				
	LPD スプーリング		ユウコウ/ムコウ				
	自動バックアップ時刻		0-23				
	ブザー		ユウコウ/ムコウ				
	消耗品	現像剤	排出				
			注入				
			ヒートロールクリーナ				
			定着器				
OPC ドラム							
パネル表示言語	クリーナ	English					
		日本語					

- \*1: 本メニューに入るときはパスワードが必要です。本メニューは保守員が使用します。
- \*2: システムパスワードはシステム管理者のみ操作が許されているメニューです。本メニューに入るときはパスワードが必要です。
- \*3: 日付の項目に無効な日付（2002/2/31 など）を入力した場合、その値が適用されますので、必ず正確な日付を入力してください。
- \*4: 省電力モードが「ムコウ」の時は表示されません。
- \*5: PostScript がインストールされているモデルのみ有効です。

レベル 1	レベル 2	レベル 3
レポート印刷	ステータス	
	ディスク	
	フォント	PCL ポストスクリプト*1
	プリセット	

- \*1: PostScript がインストールされているモデルのみ有効です。

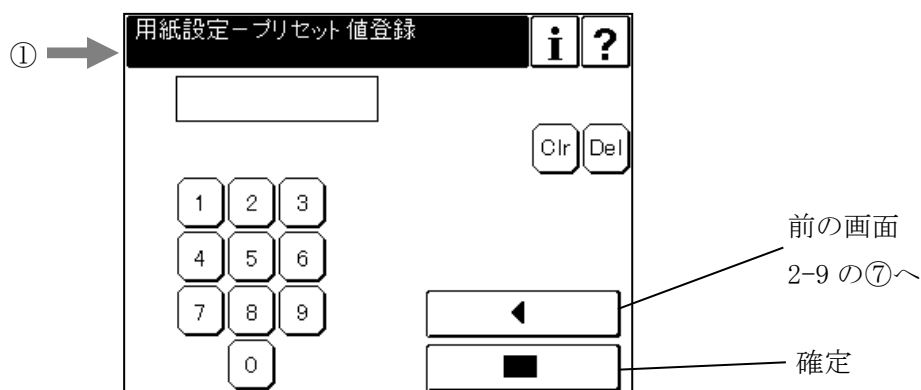
OG	B	00	
----	---	----	--

## 2.10 用紙サイズ・印刷位置のプリセット

この機能は、用紙サイズ、印刷位置の各設定を登録し、使用できる機能です。各設定の組み合わせを99通りに登録し、使用することができます。

### (1) プリセット値登録

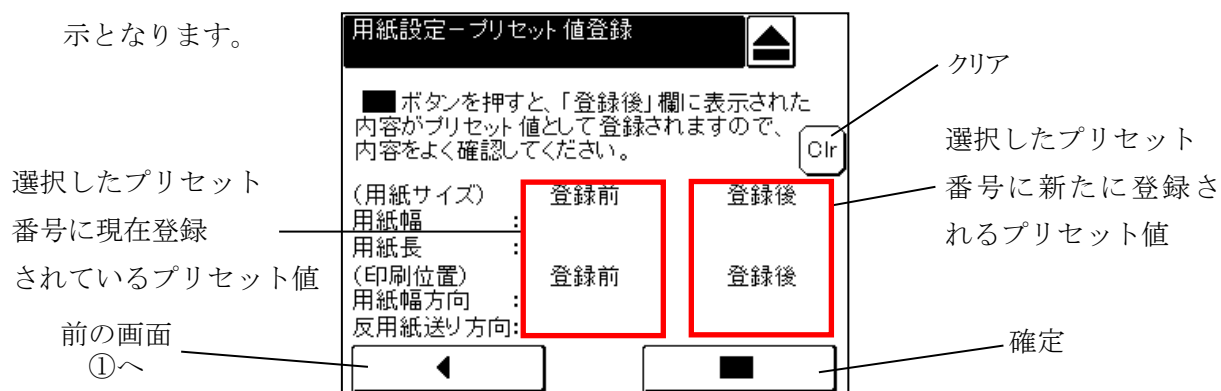
- (a) 「プリンタ設定メニュー」－「用紙設定」－「プリセット値登録」を選択すると、下記のプリセット値登録画面が表示されます。新規登録または登録内容修正、登録削除するプリセット値のプリセット番号をテンキーにて入力し、「■」ボタンを押してください。



#### 留意事項:

プリセット値登録とプリセット値指定の画面を確認して操作を行ってください。

- (b) 上記(a)において、有効なプリセット番号(1~99)である場合には、下記の確認画面が表示されます。「登録前」には、(a)にて選択したプリセット番号に現在登録されているプリセット値が表示されます。プリセット値が未登録である場合には、「登録前」のプリセット値は棒線表示となります。「登録後」のプリセット値には、現在の用紙サイズおよび印刷位置が表示され、「■」ボタンを押すと選択したプリセット番号のプリセット値として登録されます。用紙サイズおよび印刷位置の設定方法は2.4.1節「用紙設定」サブメニューの使い方」を参照してください。また、「Clr」ボタンを押すと「登録後」は棒線表示となります。



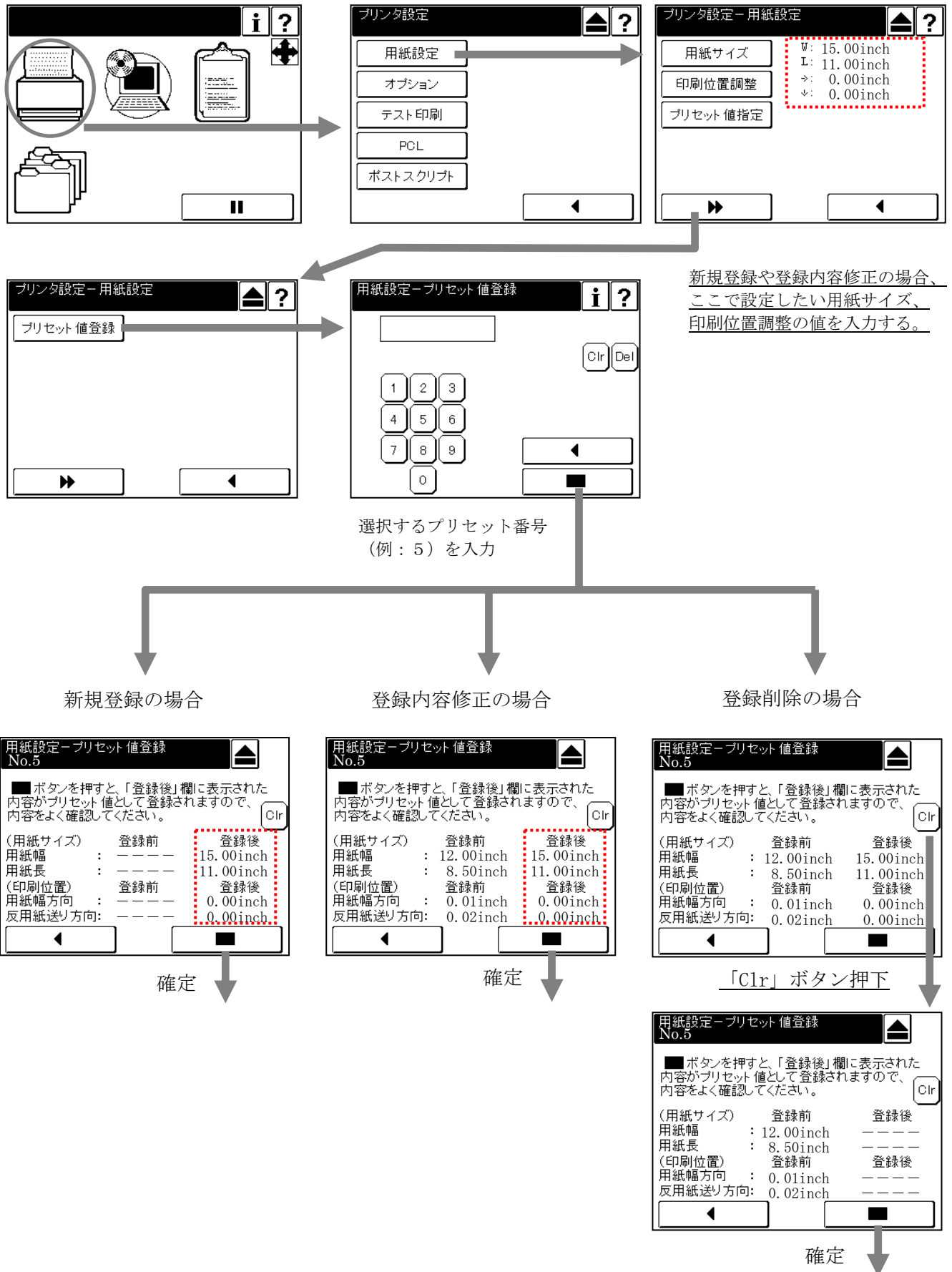
- (c) 各項目を確認後、「■」ボタンを押して登録内容を確定してください。また、「◀」ボタンを押すと登録・修正がされずに①へと戻ります。

#### 留意事項:

「■」ボタンを押して確定した場合、前に登録していたプリセット値は消えてしまいますのでご注意ください。また、「◀」ボタンを押すと値が確定されませんのでご注意ください。

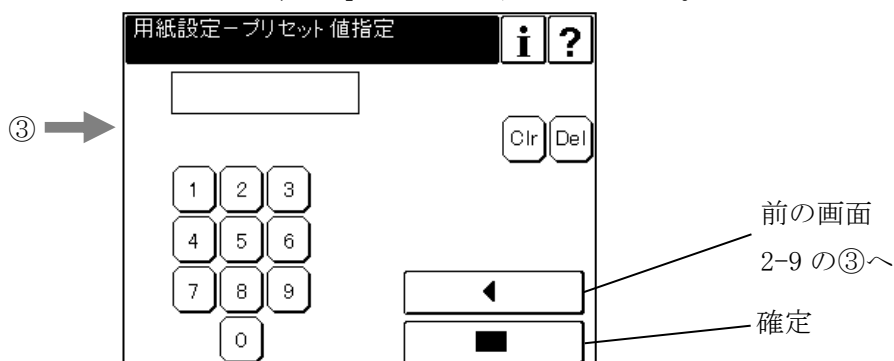
OG	B	01	
----	---	----	--

■プリセットの操作例



(2) プリセット値指定

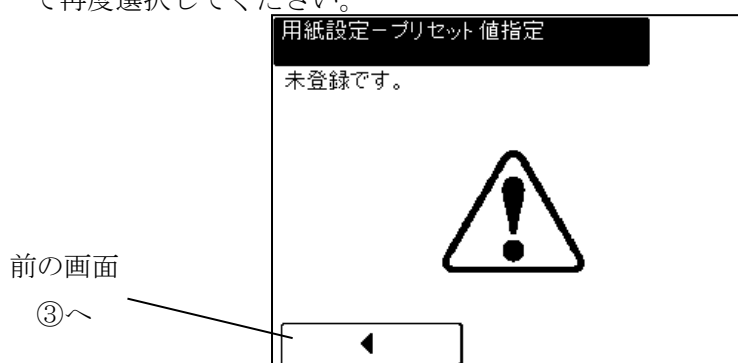
- (a) 「プリンタ設定メニュー」-「用紙設定」-「プリセット値指定」を選択すると、下記のプリセット値指定画面が表示されます。指定するプリセット値が登録されているプリセット番号をテンキーにて入力し、「■」ボタンを押してください。



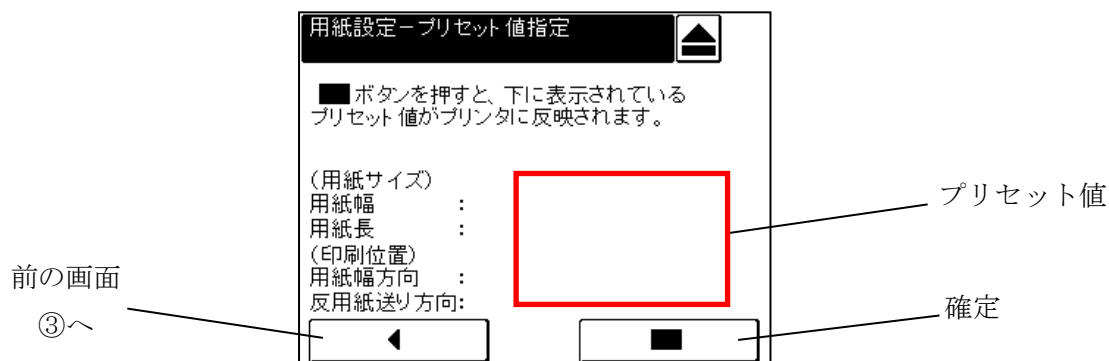
**留意事項:**

未登録のプリセット値は指定できません、プリセット値登録とプリセット値指定の画面を確認して操作を行ってください。

- (b) 上記(a)において、選択したプリセット番号のプリセット値が未登録である場合には、下記のエラー画面が表示されます。エラー画面が表示された場合は、「◀」ボタンを押して再度選択してください。



- (c) 上記(a)において、選択したプリセット番号のプリセット値が登録されている場合には、下記の確認画面が表示され、選択したプリセット番号のプリセット値に現在登録されている値が表示されます。各項目を確認後、「■」ボタンを押して値を確定してください。また、「◀」ボタンを押すと③へと戻ります。



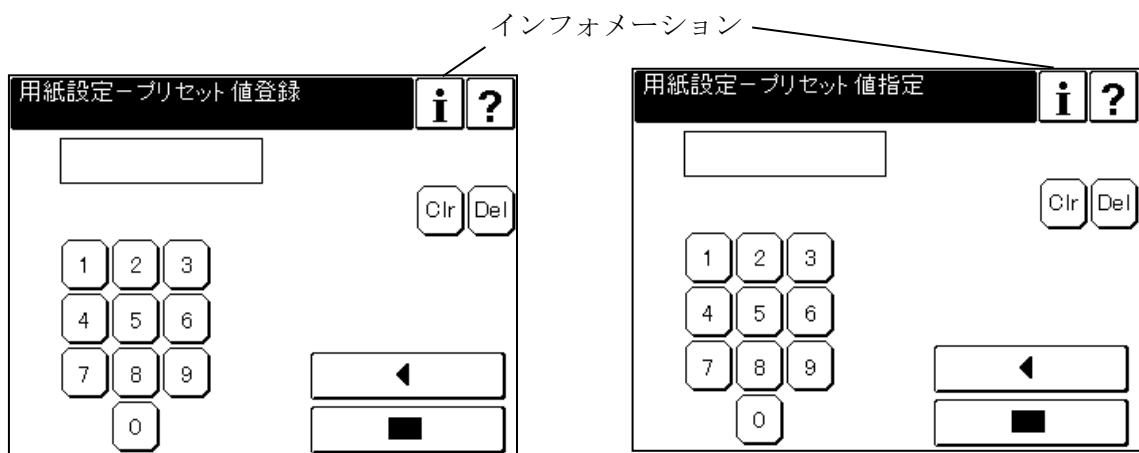


留意事項:

プリンタにセットされている用紙と、プリセット値で指定した用紙サイズが合っていることを確認してください。用紙サイズが合っていない場合、正しく印刷できません。また、「◀」ボタンを押すと値が確定されませんのでご注意ください。

(3) プリセットインフォメーション

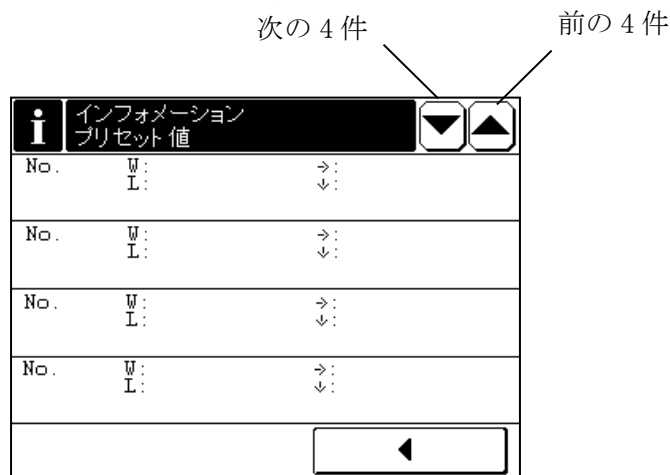
(a) 「プリンタ設定メニュー」→「用紙設定」→「プリセット値登録」または「プリンタ設定メニュー」→「用紙設定」→「プリセット値指定」を選択すると、下記の画面が表示されます。



(b) 上記(a)において、「i」ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。登録されているプリセット値の内容について、プリセット番号1~4、5~8、…と4件ずつ表示されます。

「▼」ボタンを押すと次の4件のプリセット値が、「▲」ボタンを押すと前の4件のプリセット値が表示されます。値が未登録である場合には、プリセット値は棒線表示となります。

また(a)において、テンキーにてプリセット番号を入力してから「i」ボタンを押すと、入力したプリセット番号が含まれる範囲の4件が表示されます。



**BLANK**

0G	B	00	
----	---	----	--

# 第 3 章 用紙

---

## 3.1 この章の内容

この章では、以下の事項について説明します。

- 推奨される用紙
- 用紙重量と用紙サイズ
- 利用できない用紙
- 用紙の保管方法
- 用紙の取り付け

0G	B	00	
----	---	----	--

## 3.2 推奨される用紙

良好な印刷品質を得るためには、推奨される用紙を使用してください。用紙の仕様や特殊な用紙への印刷方法については、付録 B に詳しい情報を示してあります。

## 3.3 用紙重量と用紙サイズ

本プリンタでは、以下の重量とサイズの用紙を使用することができます。

- 連量: 55～135 kg (64～157 g/m<sup>2</sup> または 17～42 ポンド)
- 用紙幅:  
203.2～457.2 mm (8～18 インチ)  
(オプションにて 165.1～406.4mm (6.5～16 インチ))
- 用紙長: 177.8～355.6 mm (7～14 インチ)

## 3.4 利用できない用紙

以下の用紙は、用紙ジャムや印刷品質に関する問題を起こしますので、使用しないでください。

- 極端に厚いまたは薄い用紙
- 電子写真方式のプリンタまたは複写機で印刷した用紙(プレプリント紙は除く)
- しわのある用紙、やぶれのある用紙、曲っている用紙
- 濡れたり、湿ったりしている用紙
- 丸まった用紙
- 静電気を帯びた用紙
- のりの付いている用紙
- 特殊な塗装(コーティング)のしたある用紙
- 表面処理のなされている色紙
- 200 °Cの温度または約 300 kPa の圧力に耐えられない用紙
- 感熱紙
- カーボン紙
- ペーパー・ファスナー、ひも、帯などの付いている用紙
- 厚い生地用の用紙
- ラベルをはがして裏の紙が出ているラベル用紙

OG	B	00	
----	---	----	--

### 3.5 用紙の保管方法

用紙は正しく保管して、印刷品質が低下したり用紙ジャムが起こらないようにしてください。

- 用紙は、湿気のないところに水平に(平らに)置き、しわがよったり、曲ったり、丸まったりしないように注意してください。
- 用紙は、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 使用しなかった用紙は、元の包装の中に戻して保管してください。

0G	B	00	
----	---	----	--

## 3.6 用紙の取り付け

### 3.6.1 操作の前に

装置の機能を十分に発揮させるために、お使いいただくにあたり以下の点にご注意ください。

- カバーを開いたまま印刷しないでください。外光の影響で印刷異常が発生することがあります。また、印刷中に不用意にカバーを開けないでください。印刷が停止する場合があります。可動部、通電部に触る危険があります。
- トップスライドカバーを開いたまま印刷しないでください。外光の影響で印刷異常が発生することがあります。
- 印刷用紙や消耗品は指定されたものをお使いください。消耗品仕様書に合致しているかどうかご確認ください。指定以外のものを使用すると、用紙ジャムが多発したり、印刷品質が低下するなどの障害の原因となります。
- 印刷用紙を取付ける時は、用紙の表面と裏面を間違えないでください。用紙の裏面に印刷すると送り穴や、ミシン目の折抜きの方向が反対となるため、OPC ドラムが傷つきやすくなり、印刷品質が低下します。
- 印刷用紙は用紙給紙部内に表示された所定の位置に正しく置いてください。正しく置かれていない場合には用紙がねじれた状態で搬送ユニットに送られるため、用紙ジャムとなることがあります。
- 用紙をトラクタに取付ける時には、本マニュアルの項番 3.6.3 に記載されている状態に用紙の張りの確認と調整を行ってください。この張りの調整を忘れると用紙ジャム、印刷品質低下および OPC ドラム損傷の原因になります。
- 用紙を取付ける時には、本マニュアルの項番 6.3.1 に従って折りたたみミシン目の方向を正しく取付けてください。取付け方向を誤りますと用紙を折りたたむことができません。
- 用紙スタッカ部の「FORMS WIDTH」レバーおよび「FORMS LENGTH」ノブによる設定を用紙サイズに合わせて正しく行ってください。設定がずれると“スタッカジャム”が発生します。
- 印刷用紙がポリエチレン袋、またはポリエチレンシートで梱包されているときには、ポリエチレン袋、またはポリエチレンシートを必ず収納箱の外側に折り返してください。ポリエチレンが折り返されていないと、ポリエチレン袋、又はポリエチレンシートが用紙に吸着されて、抵抗が増し用紙ジャムが発生することがあります。
- 印刷中は搬送ユニットを開かないでください。開いた場合には用紙ジャムが発生し、OPC ドラムを傷つけたり、データの破壊となります。
- 定着ユニットに入るまでの印刷部分は未定着です。従って、この部分は軽く触れるだけでトナーが取れてしまいますので、絶対に触れないでください。
- 印刷終了後用紙を排出する場合には、オペレータ・コントロール・パネル (OCP) の「NPRO」アイコンに触れて排出してください。未定着部が定着されて排出されます。PF パネルの「FORWARD」スイッチを使用して排出すると、未定着部が定着されずに排出され印刷結果は損傷され装置内が汚れます。

OG	B	00	
----	---	----	--

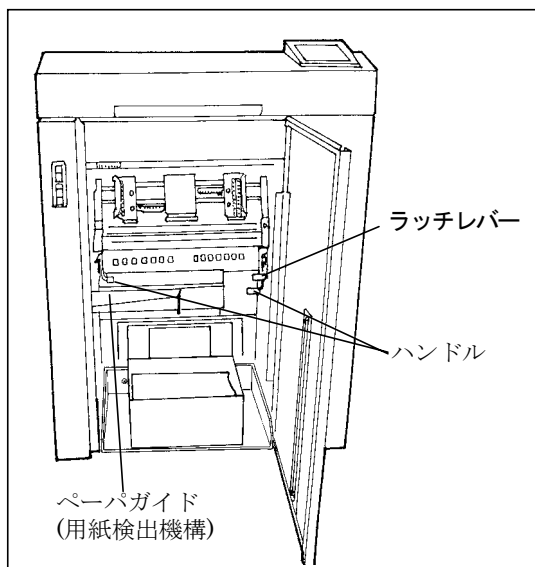
- 印刷前に、「FORMS SELECT」スイッチの設定が誤っていないか確認してください。誤って設定すると定着力の低下、印刷汚れが発生することがあります。
- プリンタに用紙を取り付けたまま長時間放置した場合、用紙が湿気を帯びてしまうため、ジヤムの発生要因となります。また、定着部にある用紙が熱の為若干変色することがあります。焼損することはありませんが、30分以上印刷しない場合は出来るだけ用紙を外しておくようにしてください。
- 用紙給紙部や用紙スタッカの容量を超えないように使用してください。
- その他操作に際しては、必ず装置に表示されている操作銘板の指示に従ってください。
- 省電力モード中はカバーを開けたり、搬送ユニットを開けたり、用紙給紙部側やスタッカ側から用紙をひっぱったりしないでください。印刷不良が発生したり、印刷位置がずれる場合があります。

0G	B	01	
----	---	----	--

### 3.6.2 用紙の取り付け

以下の手順に従って、搬送ユニットに用紙を取り付けてください。

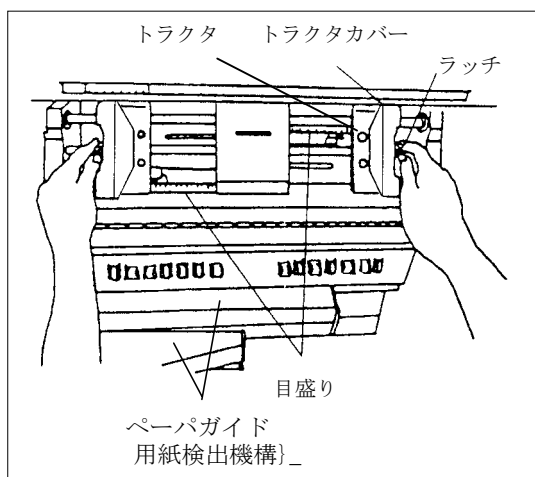
1. フロントカバーを開けてください。
2. 搬送ユニットのハンドルを持って、ハンドル上部のラッチレバーに指をかけ、ロックを解除し搬送ユニットを開けてください。
3. 用紙の表面が印刷面(用紙の先頭を持上げた時正面側になる面)になるように、用紙の箱を用紙給紙部の中央部奥に突き当ててセットしてください。(用紙セット位置を示す銘板を目安としてください。)
4. トラクタの両側のラッチを外します(つまみが真上を向く状態)。次に、両側のトラクタを持ち、用紙幅の目盛りに合わせてトラクタを移動してください。
5. トラクタのトラクタカバーを開けてください。



**留意点:**

トラクタカバーを開けた状態で、トラクタカバーをつかんでトラクタを移動させないでください。トラクタカバーが破損する恐れがあります。

6. 用紙の先頭ページを下表のように取り付けてください。用紙の先頭ページは、用紙連量、ミシン目の方向、用紙の長さによって切断する必要があります。詳しくは次ページの「用紙の切り取り方法」を参考にしてください。



用紙連量	用紙の取付け方
90kg 未満(薄紙)	先頭ページを2枚折りにして取り付ける
90kg 以上(厚紙)	先頭ページは1枚のまま取り付ける

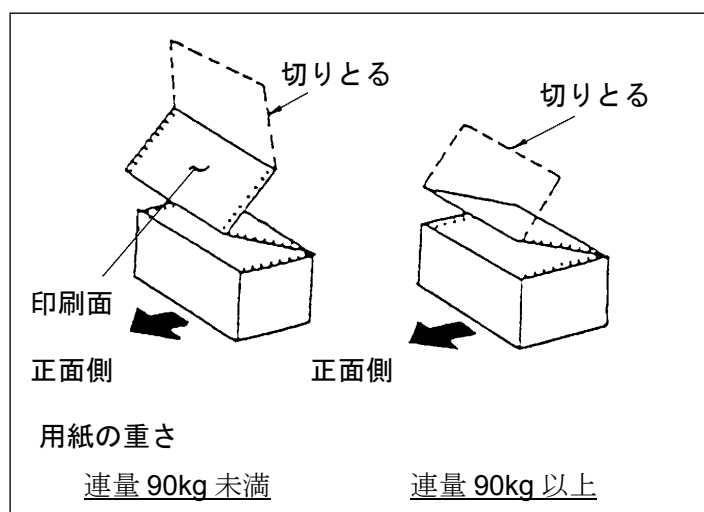
**留意点:**

用紙セットを正しく行わないと、用紙が正しく折りたたまれないため、JAMが発生する可能性があります。



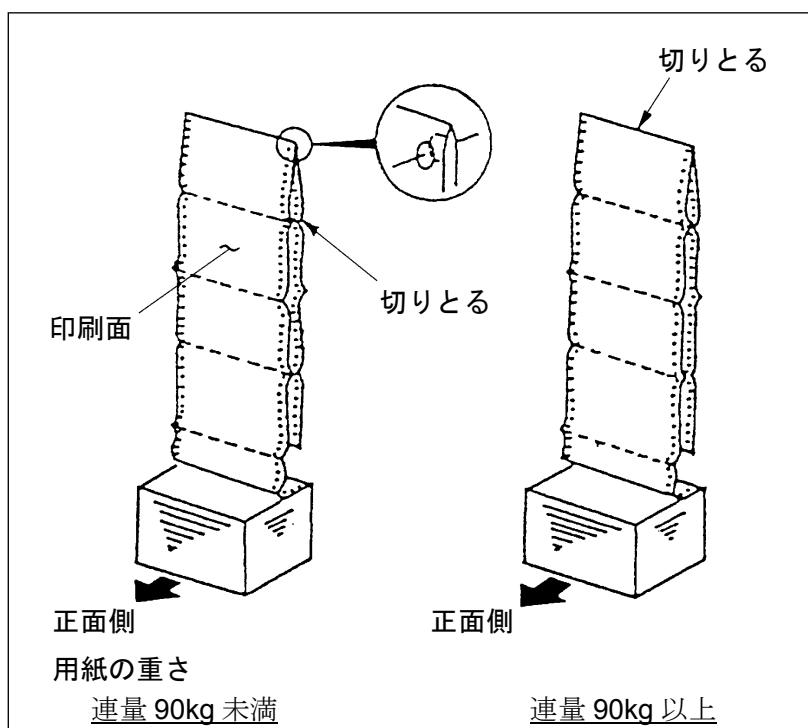
## 用紙の切り取り方法

- 用紙長が 12.7mm(1/2 インチ)の整数倍の用紙



- 用紙長が 12.7mm(1/2 インチ)の整数倍ではない用紙:

用紙を重ね合わせ、用紙の送り穴がお互いに一致する折りたたみ山ミシン目を見つけてください。次に用紙連量に応じて下図のように用紙を切断してください。



### 留意点:

用紙の先頭ページを切断する時は、以下のことに留意してください。

- ・必ずミシン目から切断する。
- ・切れ端を残さない。
- ・用紙の先端部分を折ったり、曲げたりしない。

上記のような状態で用紙を使用しないと AUTO LOAD エラーになることがあります。また AUTO LOAD ができて印刷位置がずれる場合があります。

OG	B	00	
----	---	----	--

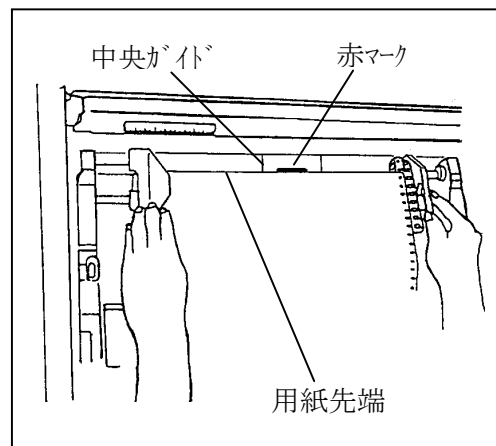
8. 用紙の先端を中央ガイドの赤マーカの前後約10mm以内に合わせ、アッパトラクタのトラクタピンに用紙の送り穴を入れてください。  
3.6.3項「用紙の張りの確認と調整」に従い、用紙の張りを調整してください。

---

**留意点:**

457.2mm(18インチ)幅の用紙の場合、搬送ユニットのハンドルに用紙端部が引っかかります。用紙セット後に、用紙をハンドルの内側に入れてください。

---



9. トラクタのトラクタカバーを閉めてください。

---

**留意点:**

搬送ユニットを閉める前に必ずトラクタカバーを閉めてください。

---

10. 搬送ユニットのハンドルを持ち、搬送ユニットを上げ、きちんとロックするまで閉めてください。



**搬送ユニットを閉める時、ハンドルとラッチレバーの間に指を入れないでください。指を挟む場合があります。**

---

**留意点:**

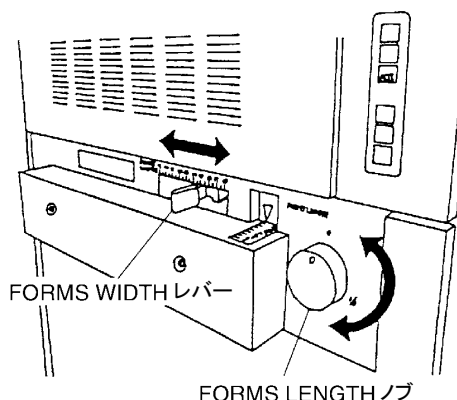
搬送ユニットは左右のハンドルを持って完全に閉めてください。ロックが正確にかかっていないと用紙ジャムを発生させる原因となることがあります。

---

11. フロントカバーを閉めてください。

OG	B	00	
----	---	----	--

12. スタッカの「FORMS WIDTH」レバーを用紙幅に合わせて移動させてください。



**留意点:**

「FORMS WIDTH」レバーの位置が用紙幅に合っていないと AUTOLOAD に失敗したり、印刷中の用紙ジャムの原因となることがあります。「FORMS WIDTH」レバーの位置は用紙幅に正しく合わせてください。

13. スタッカの「FORMS LENGTH」ノブを用紙長に合わせて回転させてください。

**留意点:**

「FORMS LENGTH」ノブの位置が用紙長に合っていないと、印刷位置が合わなかったり、印刷中の用紙ジャムの原因となることがあります。「FORMS LENGTH」ノブの位置は用紙長に正しく合わせてください。

14. ST パネルまたは PF パネルの「AUTO LOAD」スイッチを押してください。AUTO LOAD 中はブザー音によりプリンタの状態が表示されます。

状 態	ブザー音
AUTO LOAD 準備中	0.1 秒オン, 1 秒オフのくり返し(用紙幅変更時最大 3 分)
AUTO LOAD 中	ブザーオフ
AUTO LOAD 正常終了	ブザーオフ
AUTO LOAD 異常終了	1 秒オン、1 秒オフのくり返し



スタッカテーブル上に用紙を残したまま AUTO LOAD を行くと、用紙の先端が初期の位置にうまく案内されないため、印刷開始直後にジャムが発生することがあります。スタッカテーブル上に残った用紙は必ず取り除いてください。

**留意点:**

使用する用紙幅を 25.4mm(1 インチ)以上広げた場合に、プリンタの暖機動作のため「AUTO LOAD」スイッチを押してから AUTO LOAD が開始されるまで最大 3 分間かかる場合があります。

OG	B	00	
----	---	----	--

14. (続き)

なお、プリンタが以下のような状態になっていると AUTOLOAD が開始されません。正しい状態に戻してから、AUTOLOAD をやりなおしてください。

原因	処理
トップカバーが開いている	トップカバーを閉めてください。1.5 節参照
リアカバーが開いている	リアカバーを閉めてください。1.5 節参照
サイドカバーが開いている	サイドカバーを閉めてください。1.5 節参照
搬送ユニットが開いている	搬送ユニットを閉めてください。
用紙がセットされていない	用紙をセットしてください。用紙はペーパーガイド(用紙検出機構)の間を通してからトラクタピンにセットしてください。
プリンタ内に用紙が残っている	プリンタ内に用紙が残っています。プリンタ内の用紙を取り除いてください。
定着ユニットがセットされていない	定着ユニットをセットしてください。6.2.6 項参照。

15. 印刷開始前に、下記の確認及び設定を行なってください。

- 3.6.5 項「用紙の停止位置の確認」に従い、停止位置の確認を行なってください。ずれている場合は合わせてください。
- 印刷する用紙の連量に従い、PF パネルの「FORMS SELECT」スイッチのランプ表示を確認してください。A は 55kg～71kg 用紙、B は 72kg～135kg 用紙です。合っていない場合はスイッチを押して合わせてください。
- 用紙のミシン目の山谷位置を 6.3.1 項「スタッカ部の用紙ジャムの修復」のステップ 3～5 に従い確認し、合っていない場合は合わせてください。

---

留意点:

AUTO LOAD エラーが頻発する場合は、下記の①または②の処置を行ってください。

- ① 用紙連量 90kg 以上の場合、先頭ページを 2 枚折り（用紙連量 90kg 未満と同様）にして搬送ユニットに用紙を取り付けて、AUTO LOAD を行ってください。
  - ② 先頭ページの反りを矯正して AUTO LOAD を行ってください。
- 

16. OCP から用紙サイズを設定します。「プリンタ設定」-「用紙設定」から「用紙サイズ」を選択し、値を設定してください。

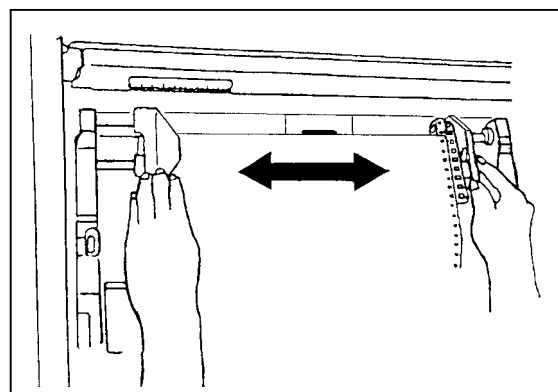
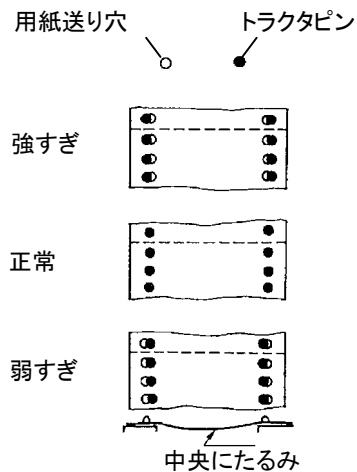
- ①用紙幅テキストボックスを押してください。
- ②テンキーから数値を入力後、「」ボタンを押して数値を確定してください。
- ③用紙長テキストボックスを押してください。
- ④「」「」ボタンを押して数値を入力後、「」ボタンを押して数値を確定してください。
- ⑤用紙幅と用紙長が表示されますので、確認後「」ボタンを押してください。

OG	B	00	
----	---	----	--

### 3.6.3 用紙の張りの確認と調整

以下の手順に従って、トラクタにセットした用紙の張りの確認と調整をしてください。

1. トラクタのトラクタカバーを開けてください。
2. トラクタピンに用紙の送り穴がきちんと入っているか見ます。トラクタピンで送り穴が変形していたら、用紙の幅方向の張りが強すぎます。
3. 用紙の中央にたるみがないか見ます。もしあったら、用紙の幅方向の張りが弱すぎます。
4. 用紙の幅方向の張りが強すぎたり弱すぎたりしたら、以下に従い調整します。
  - a. トラクタのトラクタラッチを外します。
  - b. 両側のトラクタをほんの少し内側か外側に動かして張りを弱めるか強めるかして、張りを正しく調整します。
  - c. トラクタのトラクタラッチを元に戻します。
5. トラクタのトラクタカバーを閉めてください。



---

#### 留意点:

- 穴の変形が大きくなると、用紙が外れやすくなります。張りが不足すると、自動装填エラーが起きやすくなります。必ず用紙の張りを確認してください。
  - 用紙を交換した時は印刷前に必ず用紙の張りを再確認してください。
  - トラクタカバーを開けた状態で、トラクタカバーをつかんでトラクタを移動させないでください。トラクタカバーが破損する恐れがあります。
-

### 3.6.4 用紙の取り出し

以下の手順に従って、スタッカから用紙を取り出してください。

#### 用紙給紙部側で用紙を切断する場合

1. フロントカバーを開けてください。
2. 搬送ユニットと用紙箱の間のミシン目で用紙を切断してください。
3. OCPのNPROアイコンに触れて、用紙を排出してください。

---

#### 留意点:

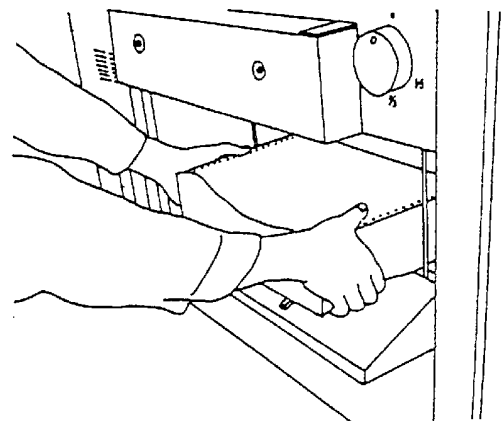
PFパネルのFORWARDスイッチを使って用紙を排出すると、トナーが定着しないまま排出されてしまいます。

---

4. STパネルの「DOWN」スイッチを押して、スタッカテーブルを下降させてください。
5. スタッカテーブルから用紙を取り出してください。



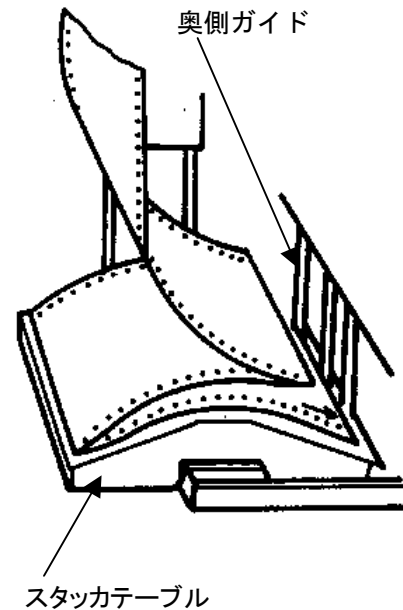
切り取り位置



OG	B	00	
----	---	----	--

## スタッカ側で用紙を切断する場合

1. STパネルの「DOWN」スイッチを押して、スタッカテーブルを下降させてください。
2. スタッカテーブルに2ページ以上残るようにミシン目で切断し、用紙を取り出してください。
3. スタッカテーブルのたれ下がった用紙を折りたたみ方向に合わせて折りたたみ、用紙が奥側ガイドに均等に突き当たるまで押し込んでください。
4. STパネルの「UP」スイッチを押して、スタッカテーブルを上昇させてください。スタッカテーブルの上昇中に用紙がずれた場合は、STパネルの「STOP」スイッチを押してスタッカテーブルをいったん止めます。用紙を整えた後、用紙を奥に押し込み、再度「UP」スイッチを押してください。



### 注意

- 用紙をプリンタに取り付けるときや取り出すときなどで用紙を持ち上げる場合は、腰や背中に無理な力がかからないようにしてください。用紙を両手でしっかり持ち、背中を地面に垂直になるようにして、足の筋肉を使って持ち上げるようにしてください。
- スタッカテーブルの動作中は、スタッカテーブルの上および下には絶対に手や足などを入れないでください。テーブルとフレームの間にはさまれる恐れがあります。
- 用紙の取り出しおよび手直しはスタッカテーブルが停止していることを確認してから行ってください。

---

#### 留意点:

用紙がスタッカテーブル上に正しくセットされていないと、スタッカセーフティ、スタッカジャム等を引き起こす恐れがあります。

---

OG	B	00	
----	---	----	--

### 3.6.5 用紙の停止位置の確認

用紙の送り方向の印刷位置が4.2mm (1/6インチ) 以上ずれている場合、次のステップに従って、用紙の停止位置を合わせてください。(但し、用紙ジャムの場合は 6.3 節「用紙ジャムの修復」に従って修復してください。)

1. 搬送ユニットを開けてください。
2. 用紙のミシン目の位置を確認してください。リトラクタ部にある赤マーカと同位置にミシン目があれば正常の停止位置です。ミシン目位置が前後にずれていればPFパネルの「FORWARD」または「REVERSE」スイッチを押して、赤マーカと合わせてください。
3. 搬送ユニットを閉めてください。

---

#### 留意点:

搬送ユニットの開閉はゆっくり行ってください。早く開閉すると装置内に未定着の用紙がある場合、印刷部が乱れたり、欠落する場合があります。

---



注意

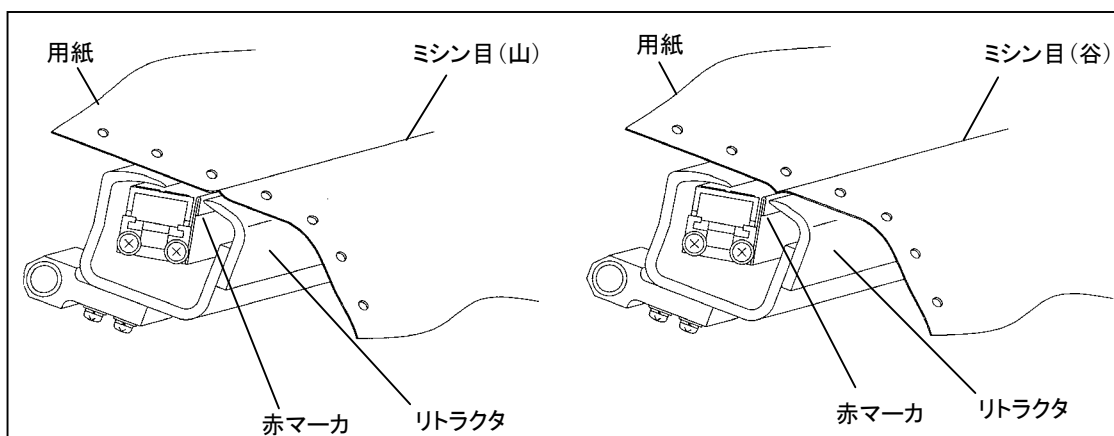
搬送ユニットを閉める時、ハンドルとラッチレバーの間に指を入れないでください。指を挟む場合があります。

---

#### 留意点:

搬送ユニットは左右のハンドルを持って完全に閉めてください。左右のラッチが正確にかかっていないと用紙ジャムを発生させる原因となることがあります。

---



4. 搬送ユニットから出ている用紙の最初のミシン目が「山」か「谷」かを判別してください。
5. PF パネルの「FORMS SET」スイッチを押下し、スイッチのランプ表示を搬送ユニットから出た最初のミシン目の「山」か「谷」に合わせてください。始めから、ミシン目と「FORMS SET」スイッチのランプ表示が合っている場合は、2回「FORMS SET」スイッチを押してください。

OG	B	00	
----	---	----	--



### 3.6.6 印刷位置の確認

次のステップに従って、印刷位置を確認してください。

#### 確認方法(A)

1. 3.6.2 項「用紙の取り付け」に従って、用紙を取り付けてください。
2. テスト用のジョブ(サンプル印刷)を数ページ印刷した後、印刷を停止してください。
3. ST パネルの「DOWN」スイッチを押してスタッカテーブルを下げてください。
4. 印刷結果を確認してください。
5. ST パネルの「UP」スイッチを押してスタッカテーブルを上げてください。
6. 印刷位置の変更が必要な場合は、後述の「印刷位置の調整」に従って調整してください。

上記の方法で確認できない場合は、以下のステップに従ってください。

#### 確認方法(B)

1. 3.6.2 項「用紙の取り付け」に従って、用紙を取り付けてください。
2. テスト用のジョブ(サンプル印刷)を数ページ印刷した後、印刷を停止してください。
3. トップスライドカバーを開けてください。
4. 印刷結果を確認してください。
5. 印刷位置の変更が必要な場合は、後述の「印刷位置の調整」に従って調整してください。
6. トップスライドカバーを閉めてください。

---

#### 留意点:

トップスライドカバーを開いたまま印刷しないでください。外光の影響により印刷異常が発生することがあります。

---

上記の方法で確認できない場合は、以下のステップに従ってフロント側で確認してください。

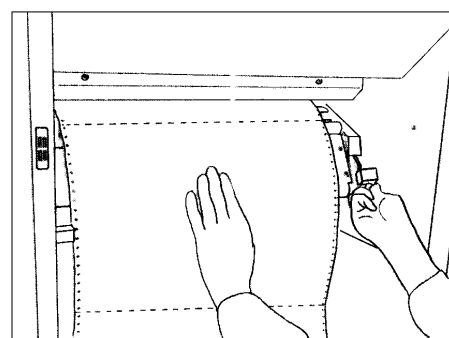
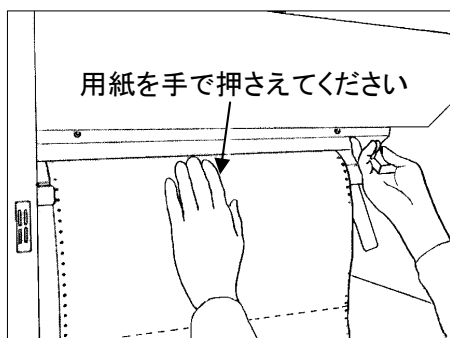
OG	B	00	
----	---	----	--

## 確認方法(C)

### 留意点:

搬送ユニット開閉時に装置内に未定着の用紙がある場合には、印刷部が装置内部に接触し、汚れたり欠落する場合があります。従って、実際に出力結果として利用するデータを印刷した場合には搬送ユニットを開閉しないで下さい。

1. 3.6.2 項「用紙の取り付け」に従って、用紙を取り付けてください。
2. テスト用のジョブ(サンプル印刷)を数ページ印刷した後、印刷を停止してください。
3. フロントカバーを開けてください。
4. 搬送ユニットを開いてください。  
(用紙を手で押さえながら搬送ユニットを開いてください。)



用紙を手で押さえたまま  
搬送ユニットを開いてください

### 留意点:

- ・搬送ユニットの開閉はゆっくり行ってください。
- ・搬送ユニット開閉時に装置内に未定着の用紙がある場合には、印刷部が装置内部に接触し、汚れたり欠落する場合があります。また、次回用紙装填時に用紙の先端(余白ページ)が装置内に付着したトナーで汚れる場合があります。
- ・搬送ユニットを開いた時に見える用紙上のトナーは未定着です。手などで触れると印刷部が汚れたり、手などにトナーが付着します。

5. 3.6.5 項を参照し用紙の停止位置を確認してください。用紙の停止位置がズレていないことを確認して用紙の印刷結果を確認してください。万一用紙の停止位置がズレている場合は、3.6.2 項を参照し、用紙のセットからやり直してください。
6. (1)印刷位置の確認ができれば次項 7 に進んでください。  
(2)用紙長が 9 インチ以上の用紙をご使用の場合、搬送ユニットを開けてもページ先頭のミシン目付近を目視することは出来ません。ミシン目付近の印刷位置の確認が必要な場合には、
7. 印刷結果を確認し、印刷位置の調整を行う場合には、後述の「印刷位置調整手順」に従って印刷位置を調整してください。
8. 搬送ユニットを閉めてください。

OG	B	00	
----	---	----	--

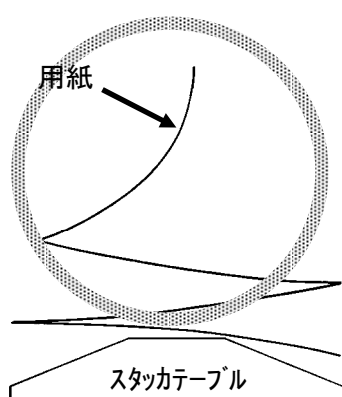
9. フロントカバーを閉めてください。

10. スタッカ内の用紙の折りたたみを確認してください。(下記確認方法参照)

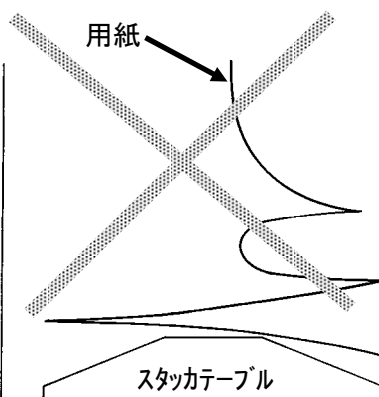
#### 用紙折りたたみ状態確認方法

スタッカテーブルを中程まで下げて、スタッカテーブル上の用紙の折りたたみがミシン目と合っていることを確認してください。

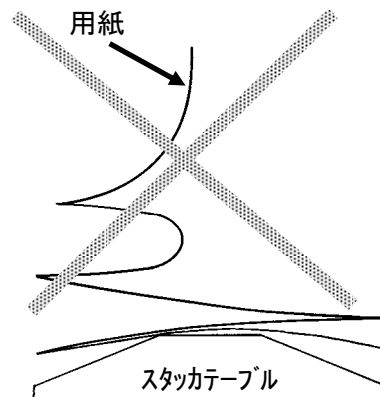
用紙の折りたたみがミシン目と合っていない場合は、ミシン目と合う様折りたたみを直してください。その後、スタッカテーブルを上げてください。



用紙の折りたたみが  
ミシン目と合っている場合



用紙の折りたたみが  
ミシン目と合っていない場合



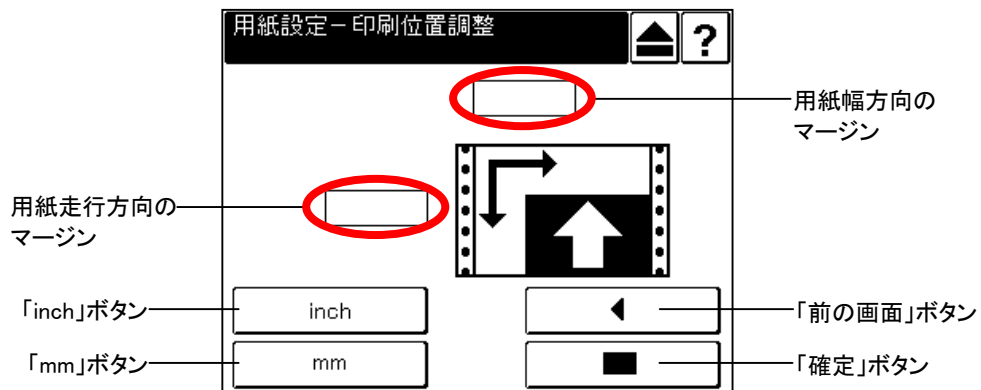
上図のような状態ではスタッカ  
テーブルを下げて確認しないと正しく用紙が折りたたまれて  
いる様に見える場合があるので  
ご注意ください。

OG	B	00	
----	---	----	--

## 印刷位置調整手順

この機能は、印刷されるページの中で像をずらす必要があるときに使用します。

1. 「プリンタ設定」-「用紙設定」-「印刷位置調整」メニューを選択すると、以下の画面が表示されます。



2. インチで設定をする場合は「inch」ボタンを、ミリで設定する場合は「mm」ボタンを押します。
3. 用紙幅方向の左マージンを変更する場合は、用紙幅方向のマージンを示すテキストボックスを押し、以下のようにテンキー付きの設定画面を表示させます。



4. テンキーを使って、現在の位置からの横方向の移動距離を入力します。入力後、「確定」ボタンを押すと入力値が確定し、自動的に前画面に戻ります。入力した値がテキストボックスに表示されます。
5. 用紙走行方向の上マージンを変更する場合は、用紙走行方向のマージンを示すテキストボックスを押し、用紙幅方向の設定と同様にテンキー付きの設定画面が表示されます。テンキーを使って現在の位置からの走行方向の移動距離を入力後、「確定」ボタンを押します。
6. 前画面に戻り、用紙幅方向と用紙走行方向の入力値がテキストボックスに入っていることを確認し、「確定」ボタンを押して設定を有効にします。このとき「確定」ボタンでなく「前の画面」ボタンを押すと、入力した調整値が有効にならないので注意してください。

OG	B	00	
----	---	----	--

# 第 4 章

## ネットワーク設定

---

### 4.1 この章の内容

この章では、以下の事項について説明します。

- ネットワークへの接続
- ネットワーク・インタフェースの設定
- MAC アドレスの確認
- Web ブラウザを用いた設定
- プリンタドライバのインストール
- UNIX オペレーティングシステムへの登録

---

#### 留意点:

本章は、システムおよびネットワークの管理概念について熟知している方を対象としています。ネットワーク環境へのプリンタ登録については、お客様のネットワーク環境でホスト、サーバおよびプリンタの管理責任を持つネットワーク管理者に確認してください。

---

0G	B	00	
----	---	----	--

## 4.2 ネットワークへの接続

本プリンタは、以下のネットワーク・インタフェースをサポートしています。

### ■ネットワーク・インタフェース

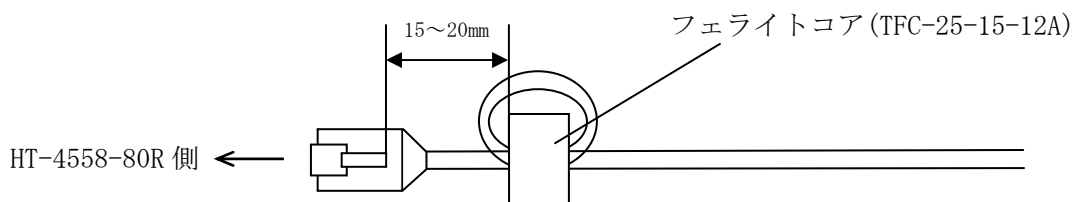
TCP/IP と LPR/LPD および EtherTalk のプロトコルをサポートしています。

これは 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T (自動切り替え) Ethernet をサポートしています。

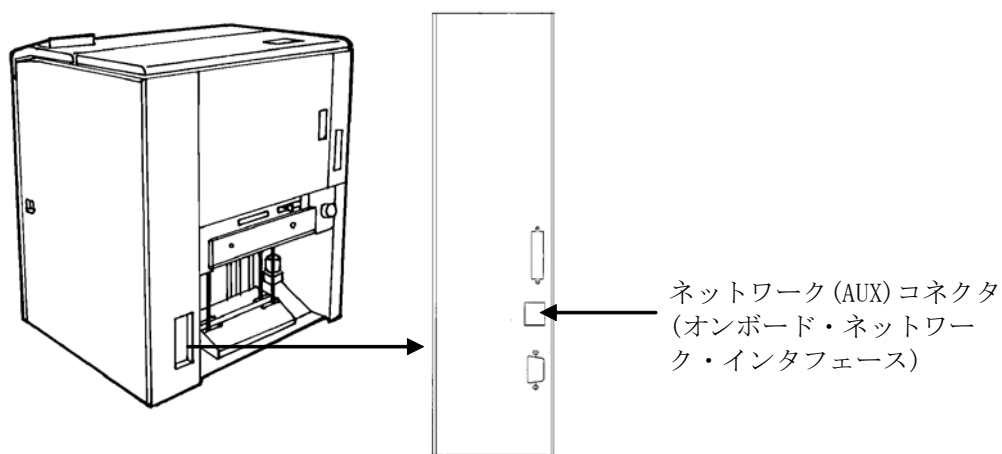
---

#### 留意点:

Ethernet ケーブルは、プリンタの電源を入れる前にネットワークコネクタに接続してください。



プリンタをネットワークに接続するには、お客様の環境の Ethernet ケーブル(10BASE-T の場合はカテゴリ3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ5 以上、1000BASE-T の場合はカテゴリ5e 以上の UTP ケーブル)に上図の様にフェライトコアを取り付け、プリンタのリア側にあるネットワークコネクタ (10/100/1000B-T コネクタ) に接続してください。



OG	B	01	
----	---	----	--

## 4.3 ネットワーク・インタフェースの設定

ここでは、ネットワーク・インタフェースに対する IP アドレス等のネットワーク設定と、TCP/IP プロトコル下でネットワーク・インタフェースを使って LPR/LPD 印刷を行うための設定方法を説明します。

### 4.3.1 IP アドレスその他のネットワーク・パラメータの設定

プリンタの IP アドレスやその他ゲートウェイアドレス等のネットワーク・パラメータは、オペレータ・コントロール・パネル (OCP) を使用して設定します。



**注意**

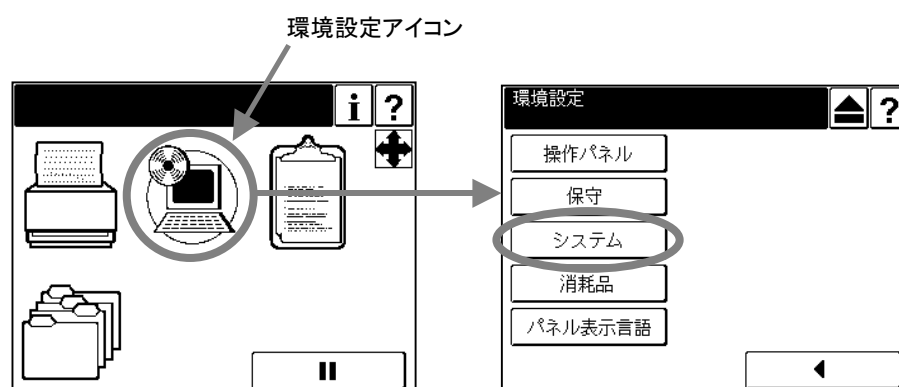
IP アドレスを設定する場合、ネットワーク管理者から与えられた IP アドレスであることを確認して下さい。誤った IP アドレスを設定すると、ネットワークの破壊等、ネットワーク環境に深刻な被害を与える可能性があります。

留意点：

セットアップ操作の前に、Ethernet ケーブルを 10/100/1000B-T コネクタに接続してください。Ethernet ケーブルを接続していない状態でネットワーク・パラメータを設定した場合は、Ethernet ケーブルを接続し、プリンタの電源を切り、しばらく待って、再びプリンタの電源を入れてください。

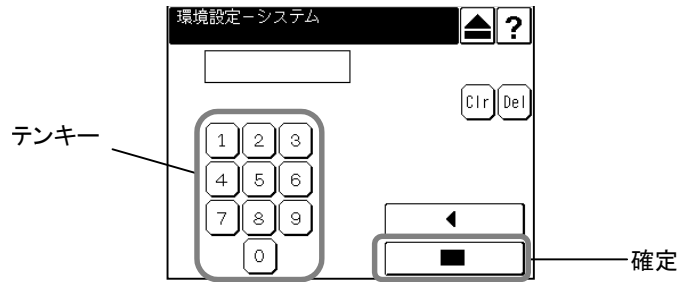
以下に、OCP からネットワーク・パラメータを設定する手順を示します。関連情報と参考情報が、2 章「オペレータ・コントロール・パネル」に記述されています。

1. OCP のメイン・メニュー画面で、環境設定アイコンに触れます。環境設定メニュー画面が表示されたら、「システム」ボタンに触れます。

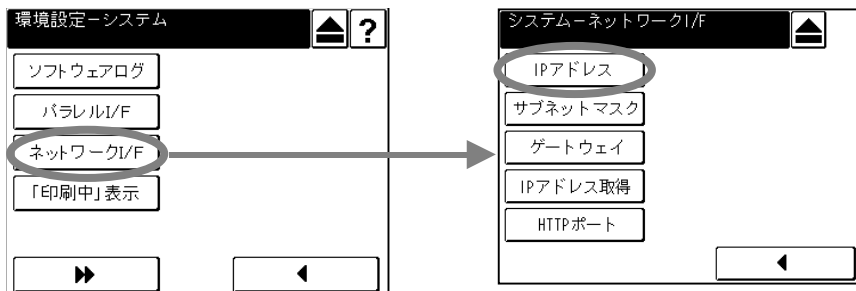


OG	B	00	
----	---	----	--

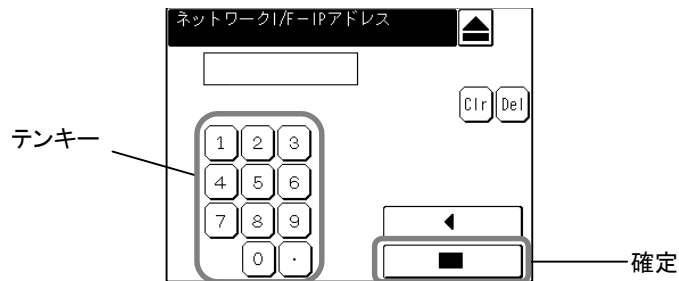
- システムパスワード認証画面に切り替わります。有効なシステムパスワード（初期値“1000”またはその後の変更値）をテンキーで入力し、「確定」ボタンに触れます。



- システムメニュー画面に切り替わります。「ネットワーク I/F」ボタンに触れて「ネットワーク I/F」サブメニュー画面を表示し、「IP アドレス」ボタンに触れてください。



- テンキー付きの設定画面に切り替わりますので、IPアドレスをドット区切り書式で入力（例：192.1.1.195）します。このとき、ドット“.”も入力する必要があります。テンキー入力を完了したら、「確定」ボタンに触れます。



- IP アドレスが設定され、「ネットワーク I/F」サブメニュー画面に戻ります。IPアドレス以外の項目を設定する場合は、該当する項目のボタンに触れてください。4 項と類似の設定画面に切り替わりますので、同様の手順で値を設定してください。

OG	B	00	
----	---	----	--



### 4.3.2 TCP/IP プロトコルを使用した LPR/LPD 印刷

TCP/IP 環境で Windows や UNIX オペレーティングシステムから本プリンタをネットワークプリンタとして使用する場合、下記のプリントキュー名を PDL 設定またはエミュレーション設定によって指定する必要があります。

- PostScript プリンタとして使用する場合： postscript (すべて小文字)
- PCL プリンタとして使用する場合： vp-pcl (すべて小文字)

#### [留意事項]

「LPR バイトカウントを有効にする」とプリンタの「LPD スプーリング」設定の組み合わせでの 1 ファイルの転送制限は以下のようになります。

LPR バイトカウントを有効にする	LPD スプーリング	上限値	備考
ON	有効	2GB	*1 の制約あり *2 の制約あり
ON	無効	4GB	4GB を超えた場合は 4GB 未満の端数まで印刷 *1 の制約あり
OFF	有効	印刷不可	*1 の制約あり
OFF	無効	なし (100TB)	運用上は上限値なし

\*1: 上限値を超えた場合、上位 PC からのジョブの再送が行なわれる場合があります。

\*2: 1 ファイルの容量と印刷動作の関係は以下のようになります。

2GB 以上 4GB 未満、6GB 以上 8GB 未満、10GB 以上 12GB 未満…:印刷不可

4GB 以上 6GB 未満、8GB 以上 10GB 未満 12GB 以上 14GB 未満…:4GB 未満の端数まで印刷

Windows XP/Server 2003 を使用する場合、Windows の[標準 TCP/IP ポートモニタの構成]画面の[LPR 設定]項目に表示される[LPR バイトカウントを有効にする]の選択を確認してください。

#### [LPR バイトカウント設定の確認方法]

Windows XP/Server 2003 での LPR バイトカウント設定の確認方法について以下説明します。

1. Windows を起動して、[Administrator]などの管理者権限を持ったユーザ名でログオンします。
2. Windows XP/Server 2003 の場合  
[スタート]→[コントロールパネル]を選択し、コントロールパネルを開きます。つきに[プリンタと FAX]をダブルクリックします。
3. 該当するプリンタアイコン上にマウスポインタを合わせ、右ボタンクリックして[プロパティ]を選択します。
4. [プリンタ]メニューから[プロパティ]を選択し、プリンタのプロパティ画面より[ポート]タブを選択します。
5. [ポートの構成]ボタンをクリックすると、[標準 TCP/IP ポートモニタの構成]画面が表示されますので、[LPR 設定]項目に表示される[LPR バイトカウントを有効にする]の設定を確認ください。

#### [留意事項]

Windows 添付 PostScript プリンタドライバを使用の際、Windows の[標準 TCP/IP ポートモニタの構成]でプロトコルを RAW に設定している場合、1 ジョブで 4000 ページ以上のデータを印刷すると、「TaskExit」等のエラーが発生して正常に印刷できない場合があります。エラーの発生しない範囲に分割して印刷することで回避できます。

0G	B	02	
----	---	----	--


### 4.3.3 EtherTalk プロトコルを使用した印刷

Apple EtherTalk 環境で本プリンタをネットワークプリンタとして使用する場合は、以下の手順でネットワーク・パラメータを設定してください。

1. AppleTalk ゾーンを変更する必要がある場合は、4.6 節「Web ブラウザを用いた設定」中の該当する指示に従って設定を変更してください。
2. セレクタを開き、目的のプリンタを開きます。

## 4.4 MAC アドレスの確認

本プリンタの MAC アドレスは、以下の手順で OCP から確認できます。関連情報と参考情報が、2 章「オペレータ・コントロール・パネル」に記述されています。

1. OCP のメインメニューにて、インフォメーション・ボタン  に触れると、インフォメーション・メニュー画面に切り替わります。
2. インフォメーション・メニュー画面の「ネットワーク I/F」ボタンに触れます。

## 4.5 Web ブラウザを用いた設定

本プリンタは、HTTP サーバを搭載しており、Web ブラウザ (Internet Explorer や Netscape) を使用してプリンタのネットワーク設定を行うことができます。Web ブラウザでネットワーク設定を実施する場合は、Web ページに表示される「システム」メニューから指定します。



### 注意

- ・本章で説明している以外の項目は設定しないでください。設定した場合、プリンタが動作しなくなる可能性があります。
- ・HTTP を使用するためには、本プリンタに IP アドレスが設定されている必要があります。

本節では以下の項目を説明します。

- Web ブラウザを使ったシステム共通設定項目へのアクセスと設定の手順
- Web ブラウザを使ったプロトコルごとの設定項目へのアクセスと設定の手順
- Web ブラウザを使ったその他の設定項目 (必要な場合のみ) へのアクセスと設定の手順
  - 論理プリンタのエミュレーションモード切替 (PCL ⇔ PostScript)
  - PostScript I/O モード切替 (Raw ⇔ Normal)

---

### 留意点:

- ・ PostScript I/O モードがデータに合わせて正しく設定されていない場合、印刷を行うことはできません。
- 

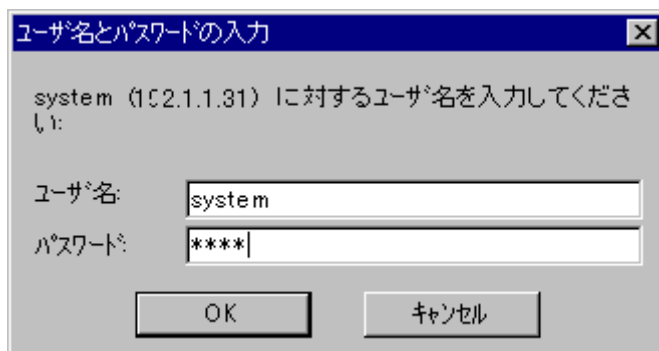
OG	B	01	
----	---	----	--

## 4.5.1 システム共通設定項目へのアクセスと設定の手順

1. Web ブラウザを起動し、ブラウザのアドレス入力フィールドに “http://” に続けて本プリンタの IP アドレスをタイプします。例えば、本プリンタの IP アドレスが 192. 1. 1. 31 の場合、http://192. 1. 1. 31 とタイプしてください。タイプ後 Enter キーを押すと、以下に示すインデックスページが表示されます。



2. インデックスページ上の「システム」リンクボタンをクリックします。ユーザ名とシステムパスワードの入力ダイアログボックスが表示されます。



3. ユーザ名の入力フィールドに “system”（すべて小文字）とタイプします。パスワードの入力フィールドには、初期値が変更されていないならば “1000” とタイプし、変更されていたら変更後のシステムパスワードをタイプします。両フィールドへのタイプ入力が終わったら、「OK」ボタンをクリックしてください。

注：画面上でのパスワードは、”\*”が表示されます。

OG	B	01	
----	---	----	--

4. ユーザ名とパスワードが正しければ、一連の「システム」ページの先頭ページが表示されます。一連の「システム」ページのタイトルは左側の「システム」の見出しをクリックすると同見出しの下に展開/省略表示され、それぞれが該当ページへのリンクボタンとして機能します。

5. 次に、4.6.2 項「プロトコルごとの設定項目へのアクセスと設定の手順」を参照し、必要な設定を実施してください。また必要があれば、4.6.3 項「その他の設定項目へのアクセスと設定の手順」を参照し、その他の設定を実施してください。

OG	B	02	
----	---	----	--

## 4.5.2 プロトコルごとの設定項目へのアクセスと設定の手順

プロトコル毎の設定方法を説明します。

### ■ TCP/IP プロトコルの設定

TCP/IP プロトコルを使用して LPR/LPD 印刷を行う場合、Web ブラウザを使用した設定は必要ありません。

### ■ EtherTalk プロトコルの設定

Apple EtherTalk プロトコルを使用して印刷を行う場合、通常は Web ブラウザを使用した設定は必要ありません。ただし、AppleTalk ゾーンの設定が必要な場合には、以下の設定を Web ブラウザから行ってください。

1. 「システム」下のリンクボタンのうちの「構成」をクリックします。「システム—構成」設定ページに切り替わります。
2. 表示されるプロトコルから「AppleTalk」ボタンをクリックします。\*
3. 「AppleTalk ゾーン」フィールドに、設定したいゾーン名をタイプします。
4. 「確定」ボタンをクリックします。

例：プリンタの AppleTalk ゾーンを“Sales”に設定する場合、「AppleTalk」の設定ページは以下ようになります。

AppleTalk	
AppleTalk (*)	有効
利用可能な論理プリンタ (15個まで設定可能)	PSA002E14
AppleTalkゾーン (*)	<input type="text"/>

(\*) 変更後、プリンタの再起動が必要です。

確定

6. 設定操作完了後、プリンタの電源を切り、しばらく待って、再びプリンタの電源を入れます。

### 留意点：

本プリンタを使用される場合、プリンタの属する AppleTalk ゾーンの設定をされることをお勧めします。プリンタの属する AppleTalk ゾーンの設定をされない場合は、プリンタがどの AppleTalk ゾーンに属するか保証できません。

OG	B	00	
----	---	----	--

### 4.5.3 その他の設定項目へのアクセスと設定の手順

その他の項目の設定方法を説明します。

#### ■ 論理プリンタのエミュレーションモード切替 (PCL ⇄ PostScript)

NetWare IPX/SPX を使用した印刷で、エミュレーションを PostScript (デフォルト) から PCL に、または PCL から PostScript に変更する場合は、Web ブラウザで以下の設定を行います。

1. 「システム」下のリンクボタンのうちの「論理プリンタ」をクリックします。「システム－論理プリンタ」設定ページに切り替わり、論理プリンタのリストが表示されます。
2. リストから「PSNxxxxxx」を選択し、「設定」をクリックします。選択した論理プリンタの設定画面に切り替わります。
3. 「一般」ボタンをクリックします。選択されている論理プリンタの一般設定画面に切り替わります。
4. 「エミュレーション」コンボボックスのリストから、変更後のモードとして「PCL」または「PostScript」を選択します。
5. 「確定」ボタンをクリックします。

例：エミュレーションモードを「PCL」に切り替える場合の設定ページは以下のようになります。

OG	B	00	
----	---	----	--

## ■ PostScript I/O モード切替 (Raw ⇔ Normal)

エミュレーションがPostScriptに設定されている論理プリンタのI/Oモードを変更する場合は、Webブラウザで以下の設定を行います。(PostScript バイナリデータの印刷を行う場合は “Raw” に設定します。)

1. 「システム」下のリンクボタンのうちの「論理プリンタ」をクリックします。「システム－論理プリンタ」設定ページに切り替わり、論理プリンタのリストが表示されます。
2. リストから「PSNxxxxxx」を選択し、「設定」をクリックします。選択した論理プリンタの設定画面に切り替わります。
3. 「PostScript」ボタンをクリックします。選択されている論理プリンタのPostScript設定画面に切り替わります。
4. 「PostScript I/O モード」コンボボックスのリストから、変更後のモードとして「Raw」または「Normal」を選択します。
5. 「確定」ボタンをクリックします。

例：PostScript I/O モードを「Raw」に切り替える場合の設定ページは以下のようになります。

The screenshot shows a web browser window with the following elements:

- Header: "The Printing Solution Company" with navigation links: ホーム | お問い合わせ | リンク | サイトマップ
- Left sidebar (blue): ステータス, システム, 一般, プリンタ, 論理プリンタ (selected), 構成, 印刷履歴, 印刷ジョブ, 問い合わせ先設定, 保守
- Main content area:
  - Section: システム - 論理プリンタ
  - Buttons: 一般, NetWare, AppleTalk, オプション, 用紙設定, PCL, PostScript (highlighted)
  - Printer ID: 論理プリンタ: PSN145614
  - PostScript settings box:
    - PostScript I/O モード: Raw (selected in dropdown)
    - 確定 button

OG	B	00	
----	---	----	--

## 4.6 プリンタドライバのインストール

添付されている CD-ROM からクライアント PC に、各 PC の OS に合ったプリンタドライバをインストールしてください。詳細は CD-ROM に格納されているプリンタドライバの README ファイルを参照してください。

## 4.7 UNIX オペレーティングシステムへの登録

ここでは、本プリンタを UNIX オペレーティングシステムに登録する手順を説明します。登録手順は、以下のオペレーティングシステム別に説明していますので、ご使用のオペレーティングシステムにあった説明を参照してください。

- SunOS 4.1.3C
- Solaris 2.5, 2.5.1, 2.6, 7, 8, 9
- HP-UX 10.10, 10.20, 11.00, 11 i
- HI-UX/WE2 6.20 3050RX

---

### 留意点:

UNIX オペレーティングシステムに登録し、使用するためには、本プリンタに IP アドレスが設定されている必要があります。

---

### 4.7.1 SunOS 4.1.3C

ここでは、本プリンタを SunOS 4.1.3C に登録する手順を説明します。この登録を行うためには、ホストに root でログインする必要があります。また、リモートプリンタとして使用する場合、プリンタのリモートホスト名 (/etc/hosts に登録したプリンタのノード名) とリモートプリンタ名 (論理プリンタ) が必要となります。

例として、以下の前提条件での設定手順を示します。名前は全て小文字です。

- プリンタ用のダミーデバイスファイル名: hkk
- ホストに登録するプリンタ名 (印刷時に使用するプリンタ名): rpr1
- リモートホスト名 (/etc/hosts に記述が必要): printer1
- リモートプリンタ名: postscript (PDL/エミュレーションが PostScript のデフォルト論理プリンタ名。PCL 用のデフォルト論理プリンタ名なら、全て小文字の “vp-pcl” を使います。)

OG	B	00	
----	---	----	--



1. ホストにスーパーユーザ(root)としてログインします。
2. ダミーデバイスファイルを作成します。

```
# touch /dev/hkk
# chown daemon /dev/hkk
# chmod 666 /dev/hkk
```

システムにより、chgrp コマンドが必要となることがあります。システムマニュアルを参照してください。

3. ファイルがスプールされるディレクトリを作成します。

```
# mkdir /usr/spool/lpd/rpr1d
# chown daemon /usr/spool/lpd/rpr1d
# chmod 755 /usr/spool/lpd/rpr1d
```

4. "vi"エディタなどを使用して、"/etc/printcap"ファイルに以下のような記述を追加します。

```
rpr1 | rps | Account postscript printer for remote:¥
:lp=/dev/hkk:¥
:rm=printer1:¥ (リモートホスト名)
:rp=postscript:¥ (リモートプリンタ名)
:lf=/usr/adm/lpd-errs:¥ (エラーログファイル名)
:sd=/usr/spool/lpd/rpr1d:¥ (スプールディレクトリ)
:mx#0:¥ (制限なしのバッファスペース)
:sh:¥ (見出しページの抑止)
:sf: (フォームフィードの抑止)
```

5. 新スプールデバイスを初期化します。

```
# lpc start rpr1 (printcap ファイル内でのプリンタ名を使用する)
```

6. 以上で設定は終了です。印刷は、下記の"lpr -P"コマンドを使用して行うことができます。

```
# lpr -P rpr1 印刷ファイル名
```

---

---

**留意点:**

- 今回、登録したプリンタにより印刷できるファイルは、PostScript ファイルのみです。テキストファイルをプリンタに送った場合、印刷されません。
  - "lpr -P" コマンドによるコピー枚数の指定はできません。
- 

OG	B	00	
----	---	----	--

## 4.7.2 Solaris 2.5, 2.5.1, 2.6, 7, 8, 9

ここでは、本プリンタを Solaris 2.5, 2.5.1, 2.6, 7, 8, 9 に登録する手順を説明します。この登録を行うためには、ホストに root でログインする必要があります。また、リモートプリンタとして使用する場合、プリンタのリモートホスト名 (/etc/hosts に登録したプリンタのノード名) とリモートプリンタ名 (論理プリンタ) が必要となります。

例として、以下の前提条件での Solaris 7 の設定手順を示します。名前は全て小文字です。

- ホストに登録するプリンタ名 (印刷時に使用するプリンタ名) : rpr1
- リモートホスト名 (/etc/hosts に記述が必要) : printer1
- リモートプリンタ名: postscript (PDL/エミュレーションが PostScript のデフォルト論理プリンタ名。PCL 用のデフォルト論理プリンタ名なら、全て小文字の “vp-pcl” を使います。)

1. ホストにスーパーユーザ (root) としてログインします。

2. リモートホストの OS の種類を BSD 系ホストとして指定します。

```
# lpsystem -tbsd printer1
```

-t : リモートホストの OS の種類を指定 (bsd )

3. 次に、プリントジョブが実行されていないことをチェックしてください

(lpstat -o)。また、これから作成するプリンタ名と同じプリンタがないか確認してください。

もしプリントジョブが実行中ならば、プリントジョブ終了後に以下のコマンドを入力し、lp スケジューラを停止します。

```
# /usr/lib/lpshut
```

4. 以下のコマンドによりプリンタの登録を行います。

```
# /usr/sbin/lpadmin -prpr1 -sprinter1!postscript -I any -Tunknown
```

- p : ホストに作成するプリンタ名。例では、“rpr1”です。

- s : リモートホスト名とリモートプリンタ名を ! で区切って指定します。ここでは、ホスト名が printer1、リモートプリンタ名が全て小文字の postscript です。

- I : プリンタに送るファイル形式 (Content types)。ここでは、“any”です。

- T : Printer Type です。“unknown”を指定します。

OG	B	00	
----	---	----	--

5. プリンタをデフォルトプリンタとして設定する場合、以下のコマンドを実行してください。この設定を行うと、印刷時に“-d”オプションで指定するプリンタ名が省略できます。

```
# /usr/sbin/lpadmin -d rpr1
```

6. 以下のコマンドを入力し、lp スケジューラを再起動します。

```
# /usr/lib/lpsched
```

7. 登録したプリンタを使用可能にします。

```
# /usr/sbin/accept rpr1
```

```
# /usr/bin/enable rpr1
```

8. プリンタの状況を確認するには、以下のコマンドを入力してください。

```
# lpstat -t
```

9. 以上で設定は終了です。印刷は、下記の“lp -d”コマンドを使用して行うことができます。

```
# lp -d rpr1 印刷ファイル名
```

---

---

留意点:

- 今回、登録したプリンタにより印刷できるファイルは、PostScript ファイルのみです。テキストファイルをプリンタに送った場合、印刷されません。
  - “lp -d” コマンドによるコピー枚数の指定はできません。
- 

0G	B	00	
----	---	----	--

### 4.7.3 HP-UX 10.10, 10.20, 11.00, 11i

ここでは、本プリンタを HP-UX 10.10, 10.20, 11.00, 11i に登録する手順を説明します。この登録を行うためには、ホストに root でログインする必要があります。また、リモートプリンタとして使用する場合、プリンタのリモートホスト名 (/etc/hosts に登録したプリンタのノード名) とリモートプリンタ名 (論理プリンタ) が必要となります。

例として、以下の前提条件での HP-UX 11.00 の設定手順を示します。名前は全て小文字です。

- ホストに登録するプリンタ名 (印刷時に使用するプリンタ名) : rpr1
- リモートホスト名 (/etc/hosts に記述が必要) : printer1
- リモートプリンタ名: postscript (PDL/エミュレーションが PostScript のデフォルト論理プリンタ名。PCL 用のデフォルト論理プリンタ名なら、全て小文字の “vp-pcl” を使います。)

1. ホストにスーパーユーザ (root) としてログインします。
2. 以下のコマンドにより SAM (System Administration Manager) (システム管理ツール) を起動します。  
**# sam**
3. SAM の使用方法を説明する画面が表示されますので、内容を確認した後、“Enter” キーを押します。
4. SAM による各設定項目の選択画面が表示されますので、“Printers and Plotters” を選択し、“Enter” キーを押します。
5. “LP Spooler” を選択して “Enter” キーを押し、“Printers and Plotters” を選択して “Enter” キーを押すと、現在ホストに登録されているプリンタのリストが表示されます。
6. “Tab” キーを押し、“Actions” メニューから “Add Remote Printer/Plotter…” を選択して “Enter” キーを押します。
7. “Add Remote Printer/Plotter” 画面が表示されますので、以下の必要事項を入力し、[OK] を実行します。

**Printer Name** : ホスト上に作成するプリンタ名。例では、“rpr1”です。

**Remote System Name** : リモートホスト名。ここでは、“printer1”です。

**Remote Printer Name** : リモートプリンタ名。ここでは、全て小文字の “postscript” です。

**[X] Remote Printer is on a BSD System** <-- この項目を有効にする。

その他の項目については、デフォルトのまま使用します。

OG	B	00	
----	---	----	--

8. 注意事項等が表示されますので、内容を確認した後、“Tab” キーにより [OK] を選択し、登録を続けます。

9. 登録が完了すると、以下のように “Printer and Plotters” 画面に登録内容が表示されます。

Name	Type	Enable To Print	Accepting Requests	Location
rpr1	remote	yes, idle	yes	postscript on printer1

10. 以上で登録は完了です。SAM を終了するために “Tab” キーを押し、“File” メニューから “Exit” を実行し、もう一度 “Tab” キーを押し、“File” メニューから “Exit” を実行します。

11. 印刷は、下記の “lp -d” コマンドを使用して行うことができます。

**# lp -d rpr1 印刷ファイル名**

---

留意点:

- 今回、登録したプリンタにより印刷できるファイルは、PostScript ファイルのみです。テキストファイルをプリンタに送った場合、印刷されません。
  - “lp -d” コマンドによるコピー枚数の指定はできません。
- 

0G	B	01	
----	---	----	--

#### 4. 7. 4 HI-UX WE2 6. 20 3050RX

ここでは、本プリンタを HI-UX WE2 6. 20 に登録する手順を説明します。この登録を行うためには、ホストに root でログインする必要があります。また、リモートプリンタとして使用する場合、プリンタのリモートホスト名 (/etc/hosts に登録したプリンタのノード名) とリモートプリンタ名 (論理プリンタ) が必要となります。

例として、以下の前提条件での設定手順を示します。名前は全て小文字です。

- プリンタ用のダミーデバイスファイル名: hkk
- ホストに登録するプリンタ名 (印刷時に使用するプリンタ名) : rpr1
- リモートホスト名 (/etc/hosts に記述が必要) : printer1
- リモートプリンタ名: postscript (PDL/エミュレーションが PostScript のデフォルト論理プリンタ名。PCL 用のデフォルト論理プリンタ名なら、全て小文字の “vp-pcl” を使います。)

1. ホストにスーパーユーザ (root) としてログインします。

2. ダミーデバイスファイルを作成します。

```
# touch /dev/hkk
# chown daemon /dev/hkk
# chmod 666 /dev/hkk
```

システムにより、chgrp コマンドが必要となることがあります。システムマニュアルを参照してください。

3. ファイルがスプールされるディレクトリを作成します。

```
# mkdir /usr/spool/lpd/rpr1d
# chown daemon /usr/spool/lpd/rpr1d
# chmod 755 /usr/spool/lpd/rpr1d
```

4. “vi”エディタなどを使用して、“/etc/printcap”ファイルに以下のような記述を追加します。

```
rpr1 | rps | Account postscript printer for remote:¥
:lp=/dev/hkk:¥
:rm=printer1:¥ (リモートホスト名)
:rp=postscript:¥ (リモートプリンタ名)
:lf=/usr/adm/lpd-errors:¥ (エラーログファイル名)
:sd=/usr/spool/lpd/rpr1d:¥ (スプールディレクトリ)
:mx#0:¥ (制限なしのバッファスペース)
:sh:¥ (見出しページの抑止)
:sf: (フォームフィールドの抑止)
```

OG	B	00	
----	---	----	--

5. 新スプールデバイスを初期化します。

```
# lpc start rpr1 (printcap ファイル内でのプリンタ名を使用する)
```

6. 以上で設定は終了です。印刷は、下記の“lpr -P”コマンドを使用して行うことができます。

```
# lpr -P rpr1 印刷ファイル名
```

---

留意点:

- 今回、登録したプリンタにより印刷できるファイルは、PostScript ファイルのみです。テキストファイルをプリンタに送った場合、印刷されません。
  - “lpr -P” コマンドによるコピー枚数の指定はできません。
- 

## 4.7.5 AIX 5L

ここでは、本プリンタを AIX 5L V5.1 に登録する手順を例として説明します。この登録を行うためには、ホストに root でログインする必要があります。また、リモートプリンタとして使用する場合、プリンタのリモートホスト名 (/etc/hosts に登録したプリンタのノード名) とリモートプリンタ名 (論理プリンタ) が必要となります。

例として、以下の前提条件での設定手順を示します。名前は全て小文字です。

- ホストに登録するプリンタ名 (印刷時に使用するプリンタ名): printer1
- リモートホスト名 (/etc/hosts に記述が必要): rhost1
- リモートプリンタ名: vp-pcl (PDL/エミュレーションが PCL のデフォルト論理プリンタ名。PostScript 用のデフォルト論理プリンタ名なら、全て小文字の “postscript” を使います。)

1. ホストにスーパーユーザ (root) としてログインします。

2. dtterm より以下のコマンドを入力し、SMIT (System Manager Interface Tool) を起動します。

```
# smitty mkrque
```

3. “印刷キューの追加” 画面が表示されます。“接続タイプ” から “remote” を選択し、“Enter” キーを押します。“remote” の “記述” は “リモートホストに接続されたプリンタ” です。

4. “リモート印刷のタイプ” 画面が表示されます。“標準処理” を選択し、“Enter” キーを押します。

5. “標準リモート印刷キューの追加” 画面が表示されますので、以下の必要事項を入力し、“Enter” キーを押します。

0G	B	00	
----	---	----	--

追加するキュー名：印刷に使用するプリンタ名。この例では、” printer1” です。  
リモート・サーバのホスト名：リモートホスト名。この例では、” rhost1” です。  
リモート・サーバ上のキュー名：リモートプリンタ名。この例では、” vp-pcl” です。

6. 登録が完了すると、以下のように “コマンド状況” 画面が表示されます。

#### コマンド状況

コマンド: OK                    stdout: あり                    stderr: なし  
コマンドが完了する前に以下に追加指示が表示される場合があります。  
印刷キュー’ printer1’ を追加しました。

7. 以上で登録が完了しました。”F10 PFKEY”を押して、アプリケーションを終了します。
8. “アプリケーションマネージャ –システム管理”、Management Console”のプリンタ”より、追加したキュー”printer1”が “実行中” になっていることを確認してください。
9. 以上で設定は終了です。印刷は、下記の”lp -d”コマンドを使用して行うことができます。

**# lp -d printer1 印刷ファイル名**

---

#### 留意事項:

- 今回、登録したプリンタにより印刷できるファイルは、PCL ファイルのみです。
  - “lp - d” コマンドによるコピー枚数の指定はできません。
- 

OG	B	00	
----	---	----	--



## 4.8 JP1/NPS システムに接続する場合の注意点

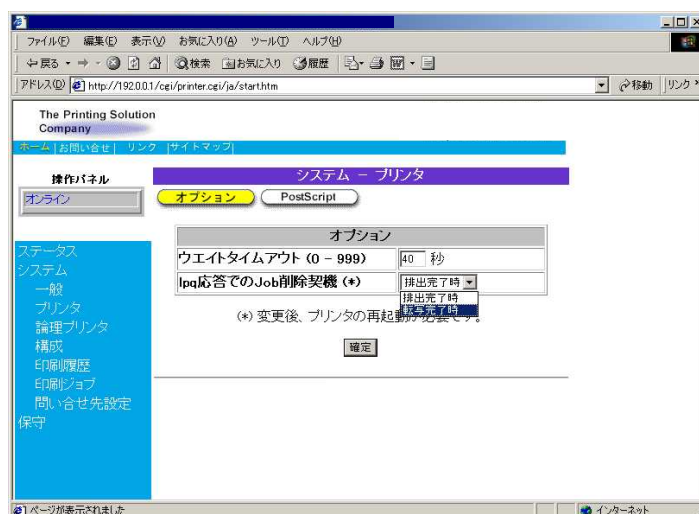
本プリンタを JP1/NPS システムに接続する場合、本プリンタの Web インタフェース機能を使用して、プリンタの設定を変更する必要があります。

以下の操作手順に従い、『1pq 応答でのジョブ削除契機』の設定値を『転写完了時』に変更してください。

### 留意点:

- クライアント PC から本プリンタの HTTP サーバにアクセスして Web インタフェース機能を利用するためには、あらかじめ使用されるクライアント PC に Web ブラウザ（インターネットエクスプローラなど）が動作する環境が必要です。

- Web ブラウザを起動し、「システム—プリンタ」メニューを開きます。Web ブラウザの使用方法については 4.5.1 節、5.2 節参照。
- 「システム—プリンタ」メニューが表示されたのち、「1pq 応答での Job 削除契機 (\*)」設定を『排紙完了時』から『転写完了時』に変更して、確定ボタンを押してください。



- Web ブラウザを一旦閉じ、プリンタの電源を Off/On してプリンタを再起動してください。
- プリンタがオンライン状態になったのち、上記画面を表示して、『1pq 応答での Job 削除契機』設定が『転写完了時』であることを確認してください。

### 留意点:

- 保守員により、各種プリンタ設定値を工場出荷設定値に初期化する操作が行われた場合、本設定は『排紙完了時』に初期化されます。保守員よりプリンタ設定値を初期化する旨の連絡がありましたら、上記操作を再度実行して『転写完了時』に設定し直してください。

OG	B	00	
----	---	----	--

BLANK

0G	B	00	
----	---	----	--

# 第 5 章

## Web インターフェース機能

---

### 5.1 この章の内容

この章では、以下の事項について説明します。

- Web ブラウザによるプリンタへのアクセス
- Web ページのコンポーネント概略
- 「ステータス」 ページの使い方
- 「システム」 ページの使い方
- その他のページの使い方

---

**留意点：**

Web インターフェース機能で設定した各種パラメータは、OCPで設定したパラメータの上書きとなりますのでご注意ください。

---

0G	B	00	
----	---	----	--

## 5.2 Web ブラウザによるプリンタへのアクセス

本プリンタは、HTTP サーバを搭載しており、Web ブラウザ (Internet Explorer や Netscape) を使用することで、プリンタの状態(ステータス)の参照、および各種パラメータの設定を遠隔操作にて行うことができます。

本章では、本プリンタの Web インターフェース機能の説明を行います。

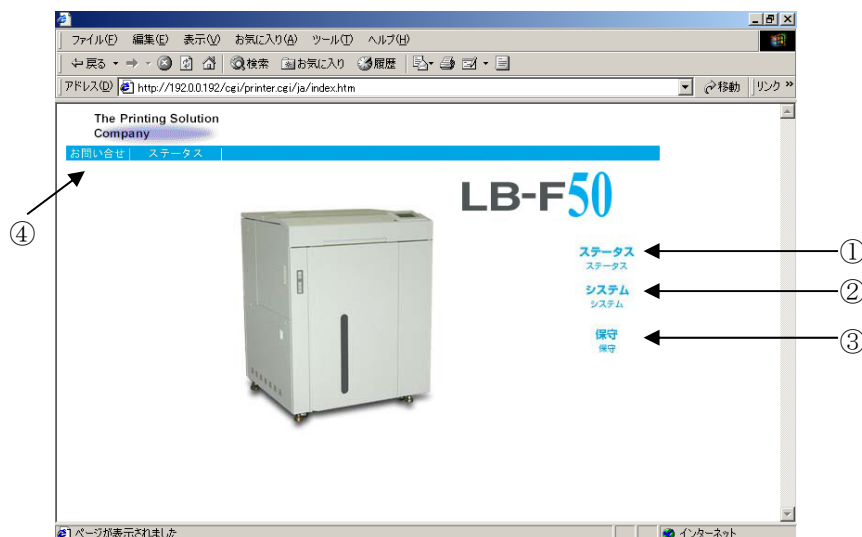
---

### 留意点:

クライアント PC から本プリンタの HTTP サーバにアクセスし、Web 機能を利用するためには、あらかじめ使用されるクライアント PC に、Web ブラウザが動作する環境が必要です。

---

Web ブラウザを起動し、ブラウザのアドレス入力フィールドに“http://”に続けて本プリンタの IP アドレスをタイプします。例えば、本プリンタの IP アドレスが 192.1.1.31 の場合、http://192.1.1.31 とタイプしてください。タイプ後 Enter キーを押すと、下に示すようにいくつかのリンクボタンが配置されたインデックスページが表示されます。



- ①ステータス: プリンタ全般の状態が参照できる、一連の「ステータス」ページに案内します。
- ②システム: プリンタの各種パラメータの設定ができる、一連の「システム」ページに案内します。
- ③保守: 保守員が使用するため、このマニュアルでは説明していません。
- ④お問い合わせ: 日立プリンタのホームページに案内します。

---

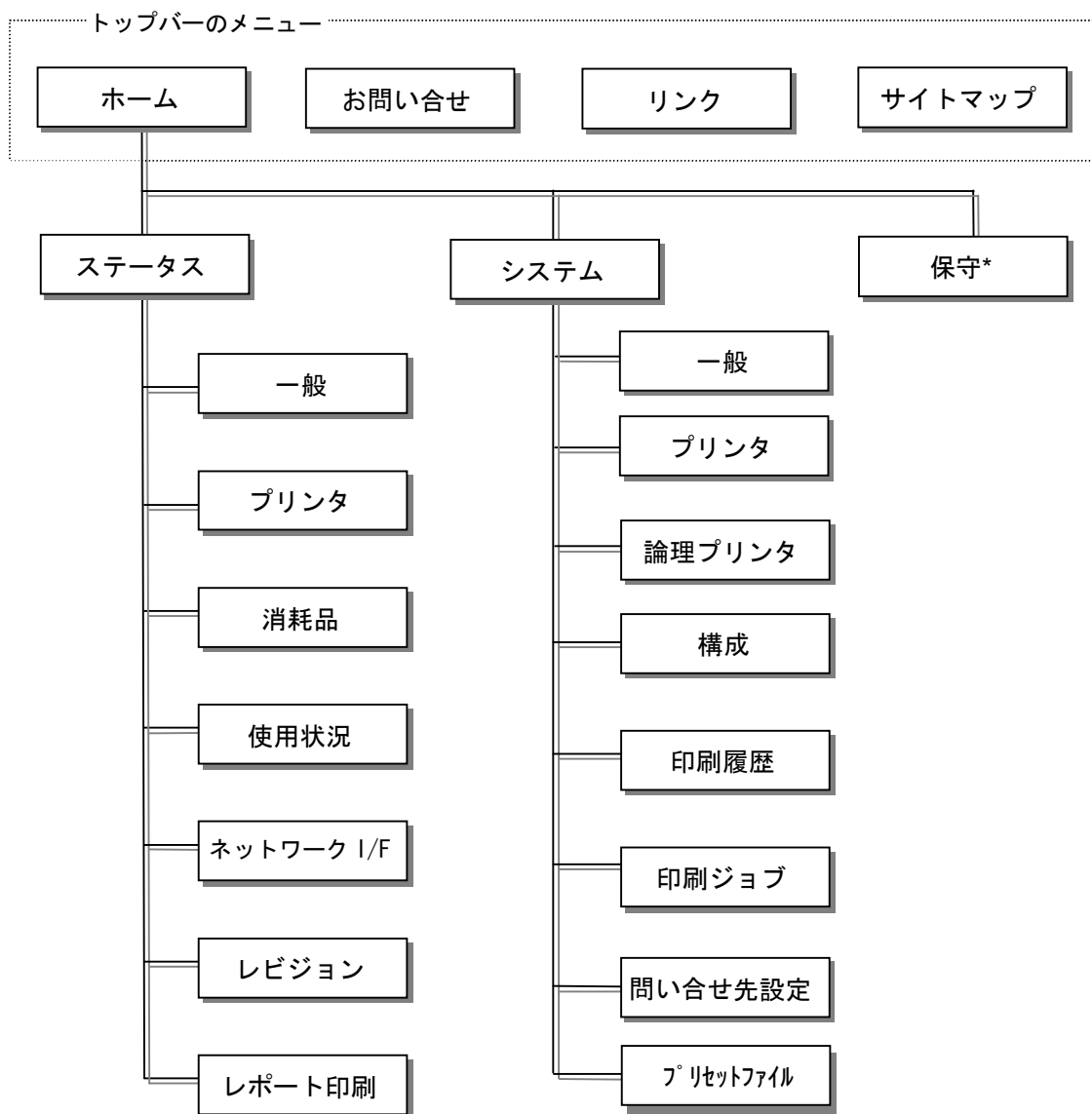
### 留意点:

インデックスページのリンクボタンを選択しないまま 30 秒が経過すると、「ステータス—一般」ページに自動的に切り替わります。

---

OG	B	02	
----	---	----	--

### 5.3 Web ページのコンポーネント概略



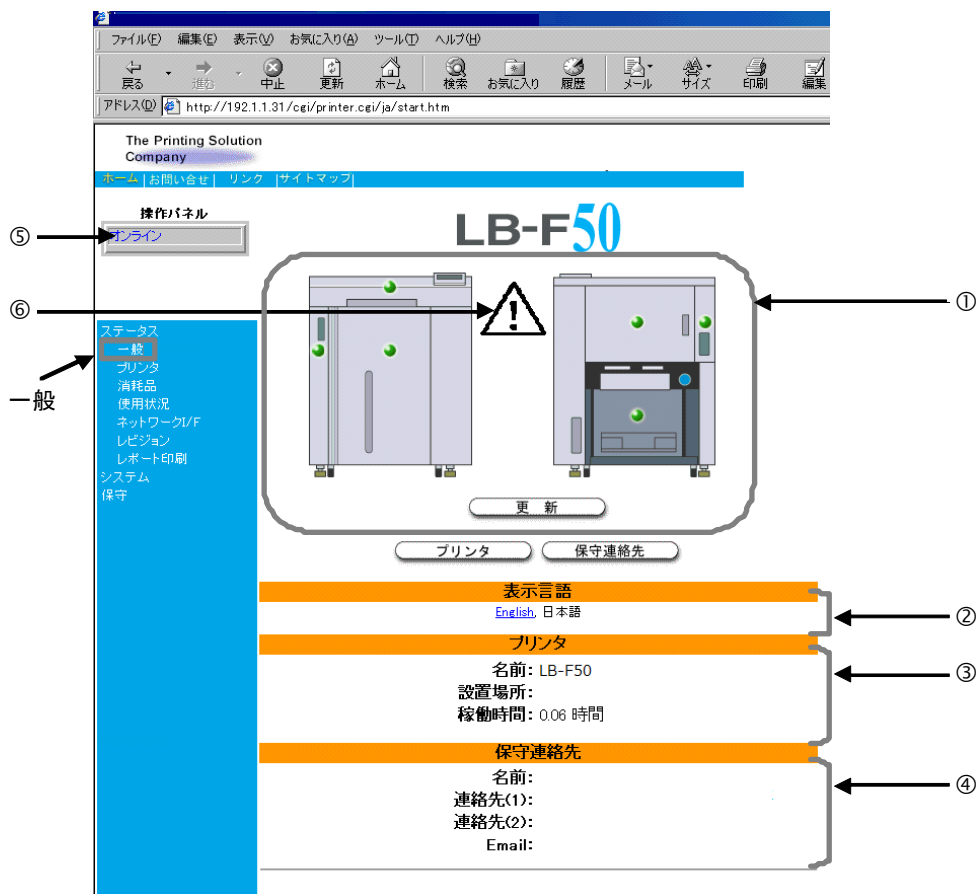
\* 「保守」機能は保守員が使用するため、このマニュアルでは説明していません。

## 5.4 「ステータス」ページの使い方

「ステータス」ページは、消耗品やネットワーク設定など、プリンタの様々な状態に関する情報を複数のページで提供します。以下、各ページの使い方を説明します。

### 5.4.1 「ステータス—一般」ページ

「ステータス—一般」ページは、プリンタの全般的な状態と一般的な情報を提供します。



- ① プリンタの絵は、プリンタ各部の状態を緑マーク(正常、印刷可能)、黄マーク(ワーニング(警告))と赤マーク(エラー発生、印刷不可)で表します。「更新」ボタンをクリックすると、表示内容が最新に更新されます。
- ② 「表示言語」は、OCPの表示用言語が日本語であるか英語であることを示します。
- ③ 「プリンタ」は、プリンタ名、設置場所および稼働時間を表示します。プリンタ名と設置場所は、「システム—一般」ページで設定された内容を反映しています。
- ④ 「保守連絡先」は、保守に関する問い合わせ先の名前、連絡先、Emailアドレスを表示します。ここで表示される内容は、「システム—一般」ページで設定された内容を反映しています。
- ⑤ 「操作パネル」は、OCPに表示されているメッセージと同じ内容が表示されます。
- ⑥ 警告マークは、消耗品がワーニング(警告)またはエラー発生(印刷不可)状態になると表示されます。

OG	B	01	
----	---	----	--

## 5.4.2 「ステータス—プリンタ」ページ

本ページは、プリンタ各部の状態を緑マーク(正常、印刷可能)と赤マーク(エラー発生、印刷不可)で表します。「更新」ボタンをクリックすると、表示内容が最新に更新されます。

## 5.4.3 「ステータス—消耗品」ページ

本ページは、各種消耗品の状態を緑マーク(正常、印刷可能)、黄色マーク(交換時期が近い、印刷可能)、赤マーク(交換必要、印刷不可)で表します。「更新」ボタンをクリックすると、表示内容が最新に更新されます。

下表に、特定の条件下で各消耗品の状態色がいつ頃変わるかを示します。この表に示される時期等はおおよその目安であり、実際の印刷内容によって変わります。

消耗品	緑 → 黄* <sup>1</sup>	赤
トナー* <sup>2</sup>	印刷可能ページ数約 2,000 ページ	トナーが空になったとき
現像剤* <sup>3</sup>	使用量が寿命-10k 以上に達したとき	使用量が寿命値に達したとき
OPCドラム* <sup>3</sup>		
クリーナー* <sup>3</sup>		
定着器		
HRクリーナー		

\*<sup>1</sup>: 残り何ページ印刷できるかを、11 インチ長の用紙を使用した場合で想定した目安です。

\*<sup>2</sup>: 3.6%の印刷密度で印刷した場合の目安です。

\*<sup>3</sup>: OPCドラムの総回転数の90%が実際に印刷に使用されたことを想定して計算されています。

## 5.4.4 「ステータス—使用状況」ページ

### ■ UCカウンタ\*

UCカウンタを表示します。

### ■ トナーカバレッジ

トナーカバレッジを表示します。

### ■ 用紙

印刷枚数を表示します。

\*: OCPの保守メニューでUCカウント値が「ヒョウジ」のときのみ表示されます。

## 5.4.5 「ステータス—ネットワークI/F」ページ

本ページは、MAC アドレス、IP アドレス、サブネットマスクの設定を表示します。IP アドレスとサブネットマスクは、「システム—構成」ページで設定された内容を反映しています。

OG	B	01	
----	---	----	--

## 5.4.6 「ステータスレビジョン」ページ

本ページは、エンジンファームウェアおよびコントローラソフトウェアのレビジョン情報を表示します。

## 5.4.7 「ステータスレポート印刷」ページ

本ページにアクセスすることにより、各種レポートページを印刷することができます。

### ■印刷

ステータスページ

プリンタの現在の設定内容を印刷します。

PCL ディレクトリ

PCL ディレクトリ内のファイルリストを印刷します。

PCL フォント

インストールされている PCL フォントのリストを印刷します。

PostScript ディレクトリ

PostScript ディレクトリ内のファイルリストを印刷します。

PostScript フォント

インストールされている PostScript フォントのリストを印刷します。

プリセットリスト

用紙サイズ、印刷位置のプリセット値の登録内容を印刷します。

### ■ステータスファイル作成

作成

プリンタのステータス（現在の設定内容）をコントローラ内にファイルとして作成します。

ダウンロード

作成でコントローラ内に作成したファイルをダウンロードします。最新のステータスファイルをダウンロードする場合、必ず作成を行ってからダウンロードしてください。

0G	B	01	
----	---	----	--



## 5.5 「システム」ページの使い方

「システム」ページは、各種パラメータの設定と変更に用いる複数のページを提供します。これらの操作は、通常**システム管理者**によって行われます。そのため、本ページへのアクセスには次に示すユーザ名とパスワードの入力が必要になります。

■ ユーザ名: system (すべて小文字)

■ パスワード: 1000 (工場出荷値)、または変更された場合は、変更後のパスワード

有効なユーザ名とパスワードが入力されると、「システム一般」ページが表示されます。以下、各ページの使い方を説明します。

### 5.5.1 「システム一般」ページ

本ページは、ユーザ情報、プリンタ情報および保守連絡先を設定します。入力した設定を有効にするためには「確定」ボタンをクリックしてください。ここで設定されたプリンタ情報および保守連絡先の内容は、「ステータス一般」ページに表示されます。

### 5.5.2 「システムプリンタ」ページ

本ページは、PostScript その他の各種オプションパラメータを設定します。印刷データに各パラメータの指定が含まれている場合はその指定が優先され、Web での設定は無視されません。

■ PostScriptパラメータ：

「PostScript」ボタンをクリックすると、ポストスクリプトに関する以下のパラメータを設定するページを表示します。入力を完了したら、設定を有効にするために「確定」ボタンを押してください。

#### □ エラー印刷

工場出荷時の設定は「有効」です。この場合、ポストスクリプトエラーが発生すると、エラーの内容を印刷します。ポストスクリプト言語プログラムのデバッグに役立ちます。「無効」に設定すると、エラーページは印刷されません。

#### □ ベストフィット

工場出荷時の設定は「無効」です。「有効」設定時、ホストからの印刷データで指定した用紙がセットされていないとき、印刷イメージを印刷する用紙サイズに合わせて100%未満で印刷します。「無効」に設定すると、指定したサイズの用紙をセットするようオペレータコントロールパネルに表示します。

特定のアプリケーションとベストフィット「ユウコウ」の組み合わせにおいて、描画方向を90度回転して印刷する場合、「ムコウ(OCP ユウセン)」に設定することで90度回転せずに印刷可能なことがあります。この様な場合以外はベストフィットを「ムコウ(OCP ユウセン)」に設定しないでください。

OG	B	00	
----	---	----	--

□ ジョブタイムアウト

工場出荷時の設定は0（無限大）です。プリンタがジョブの処理にかかる秒数を0（無限大）または15～999の範囲で設定します。

□ PSウェイトタイムアウト

受信中のPSデータ送信が中断された場合、最終データ受信から次のデータ受信まで待つ時間(秒)を設定できます。タイムアウトまでに次のデータを受信しない場合、そのジョブはキャンセルされ、印刷されません。出荷時は「295」に設定されています。表示されたテンキーを使って、値を変更できます。変更可能なタイムアウト値は、0(タイムアウトなし)から 999 秒です。

■ その他のオプションパラメータ：

「オプション」ボタンをクリックすると、以下のオプションパラメータを設定するページを表示します。入力を完了したら、設定を有効にするために「確定」ボタンを押してください。

□ ウェイトタイムアウト

最終データ受信から次のデータ受信まで待つ時間(秒)を設定できます。タイムアウトまでに次のデータを受信しない場合、そのジョブはキャンセルされ、印刷されません。出荷時は「300」に設定されています。表示されたテンキーを使って、値を変更できます。変更可能なタイムアウト値は、0(タイムアウトなし)から 999 秒です。RawTCPモードにてPJL付きジョブを受信した場合、タイムアウト値は設定値の10倍もしくは300秒のどちらか長いほうになります。

□ 1pq応答でのJob削除契機

工場出荷時の設定は、排出完了時です。

1pq応答からJobを削除する契機を、排出完了時か転写完了時に選択できます。実行後の電源OFF/ONで、選択した値が有効になります。

□ PCL第2ページオフセット

工場出荷時の設定は「0.0」インチです。

2-UP印刷時における第2ページのオフセットを変更します。変更可能なオフセット値は「0.0」～「1.0」インチ、増減単位は0.1インチです。

0G	B	00	
----	---	----	--

### 5.5.3 「システムー論理プリンタ」ページ

本ページは、論理プリンタの各種パラメータを設定します。

留意点：

論理プリンタとは、実際の物理的なプリンタ内に定義された論理的なプリンタであり、ネットワーク上から認識することができるプリンタです。本プリンタでは複数の論理プリンタを定義することができます。PostScript がインストールされているモデルでは、工場出荷時には予め 8 つの論理プリンタが、プロトコルおよびエミュレーション別に定義されています。PostScript がインストールされていないモデルでは 6 つの論理プリンタが定義されています。各論理プリンタが独立した構成を持つことができるため、一台の物理的なプリンタで、複数の印刷サービスを提供することができます。

「システムー論理プリンタ」ページを開くと、以下のように表示されます。

ホーム | お問い合わせ | リンク | サイトマップ

操作パネル  
オンライン

ステータス  
システム  
一般  
プリンタ  
論理プリンタ  
構成  
印刷履歴  
印刷ジョブ  
問い合わせ先設定  
プリセットファイル  
保守

システム - 論理プリンタ

<input checked="" type="radio"/>	Default	パラレルI/F、オフライン印刷に適用
<input type="radio"/>	TEXT	TCP Port = 9100
<input type="radio"/>	vp-pcl	TCP Port = 3101
<input type="radio"/>	postscript	TCP Port = 3102
<input type="radio"/>	ascii_portrait	TCP Port = 3104
<input type="radio"/>	ascii_landscape	TCP Port = 3105
<input type="radio"/>	lp_portrait	TCP Port = 3106
<input type="radio"/>	lp_landscape	TCP Port = 3107
<input type="radio"/>	PSA002E70	TCP Port = N/A

設定 削除 新規作成

Defaultに対する"削除"は無見されます。  
"新規作成"ボタンは、新しい論理プリンタを作成します。

① ② ③ ④ ⑤

- ① 「Default」は、論理プリンタを使用しない印刷（パラレル I/F、オフライン印刷）で使用されるチャンネルです。論理プリンタではありませんので、ネットワーク上からは認識できません。以下、Default チャンネルと表記します。
- ② 「TEXT」～「PSAxxxxxx」は、工場出荷時にあらかじめ定義されている論理プリンタのチャンネルです。各論理プリンタの初期設定を以下の表に示します。動作しているネットワーク・インタフェースによって初期設定は異なります。

論理プリンタ名	プロトコル	エミュレーション	備考
TEXT	TCP/IP	自動選択	TCP Port = 9100
vp-pcl	TCP/IP	PCL	TCP Port = 3101
Postscript*1	TCP/IP	PostScript	TCP Port = 3102
ascii_portrait	TCP/IP	PCL	TCP Port = 3103 用紙方向 = ポートレート
ascii_landscape	TCP/IP	PCL	TCP Port = 3104 用紙方向 = ランドスケープ
lp_portrait	TCP/IP	PCL	TCP Port = 3105 用紙方向 = ポートレート
lp_landscape	TCP/IP	PCL	TCP Port = 3106 用紙方向 = ランドスケープ
PSAxxxxxx*1	AppleTalk	PostScript	xxxxxx = MAC アドレスの下 6 桁

\*1 : PostScript がインストールされているモデルのみ。

- ③ 「新規作成」ボタンは、新しい論理プリンタを作成します。作成された論理プリンタの初期状態は、プロトコルはいずれも無効、エミュレーションはPCLとなっておりますので、ご利用のネットワーク環境に合わせた設定に変更してご使用ください。
- ④ 「削除」ボタンは、ラジオボタンで選択した論理プリンタを削除します。Default チャンネルを削除することはできません。
- ⑤ 「設定」ボタンは、ラジオボタンで選択した論理プリンタの各種パラメータを設定するための画面を表示します。Default チャンネルに対しても有効です。

OG	B	01	
----	---	----	--

個々の論理プリンタの設定手順を以下に示します。Default チャンネルに対する設定も同様です。

1. 最初に表示される「システム－論理プリンタ」ページで、目的のチャンネルのラジオボタンをクリックします。
2. 「設定」ボタンをクリックして、選択したチャンネルの設定ページを表示します。
3. 目的の設定項目に従って以下のボタンのいずれかをクリックします。

- 一般
- PostScript
- PCL
- 用紙設定

例：下の図は論理プリンタの「postscript」を選択した場合の「一般」設定画面です。

ホーム | お問い合わせ | リンク | サイトマップ

操作パネル

オンライン

システム - 論理プリンタ

一般

用紙設定 PCL PostScript

論理プリンタ: postscript

一般

名前 (*)	postscript	
エミュレーション	PostScript	
プロトコル	TCP/IP	<input checked="" type="checkbox"/>
	TCPポート (0,1024 - 65535)	3102
	NetWare (*)(**)	無効です
	NetBIOS	無効です
	AppleTalk (*)	<input type="checkbox"/>
	AppleTalkタイプ	

(\*) 変更後、プリンタの再起動が必要です。  
(\*\*) ファイルサーバの設定が必要です。

確定

ステータス  
システム  
一般  
プリンタ  
論理プリンタ  
構成  
印刷履歴  
印刷ジョブ  
問い合わせ先設定  
プリセットファイル  
保守

OG	B	00	
----	---	----	--

4. 選択したチャンネルの設定ページの内容を入力します。各ページの入力を完了したら、設定を有効にするために「確定」ボタンを押してください。

- a. 「一般」設定ページ

### 名前

論理プリンタの名前が表示されます。また、Default チャンネル以外の名前を変更できます。ただし、工場出荷時にあらかじめ設定されている論理プリンタに対しては名前を変更しないでください。名前の変更が必要な場合には、一度新規に論理プリンタを作成し、作成された論理プリンタの名前を変更してご使用ください。

### エミュレーション

現在のエミュレーション方式を表示します。また、他のエミュレーション方式に変更できます。「自動選択」が選択された場合は、ホストから送信されてきたジョブが PostScript ジョブであるか PCL ジョブであるかを自動的に判別して処理を行います。「PostScript」が選択された場合は PostScript ジョブのみを処理します。「PCL」が選択された場合は PCL ジョブのみを処理します。

### プロトコル

各プロトコルの有効/無効および TCP ポート番号を指定します。チェックマーク(✓)をつけたプロトコルが有効になります。前ページの図では、TCP/IP と NetBIOS が有効になっていることを示しています。

オンボードネットワーク I/F モデルの場合、AppleTalk タイプが表示されます。AppleTalk タイプには「Laser Writer」を指定して下さい。

- b. 「PostScript」設定ページ

ここでの設定は、上記 a. のエミュレーションの設定が「PostScript」または「自動選択」で、かつホストから送られた印刷ジョブが当該パラメータを指定していない場合に有効化（印刷処理に反映）されます。

### PostScript I/O モード

PostScript バイナリを含むデータを印刷する場合、「Raw」に設定してください。PostScript タグ付きバイナリを含むデータを印刷する場合、「TBCP」に設定してください。そうでない場合は「Normal」に設定してください。

OG	B	00	
----	---	----	--

c. 「PCL」設定ページ

ここでの設定は、上記 a. のエミュレーションの設定が「PCL」または「自動選択」で、かつホストから送られた印刷ジョブが当該パラメータを指定していない場合に有効化（印刷処理に反映）されます。印刷ジョブが当該パラメータを指定している場合は印刷ジョブでの指定が優先されるため、本項目での設定内容は無視されます。

**用紙方向**

現在設定されている用紙方向が表示されます。また、設定を変更できます。

**ページ長**

現在設定されているページ長（1 ページあたりの最大行数）が表示されます。また、設定を変更できます。

**改行コード変換**

改行(LF)、復帰(CR)、改ページ(FF)コードを設定します。

**折り返し**

行がページ幅を超えると、自動改行するかどうかを設定します。

**Fixed Orientation**

PCL における用紙の向きを変更します。自動選択を選択した場合、OCP で入力した設定を使用します。

**2-UP**

2-UP 印刷の有効/無効を切り替えます。自動選択を選択した場合、OCP で入力した設定を使用します。

**トップマージン**

現在選択されているトップマージンが表示されます。

また、設定を0から1.5インチ（0から38.1ミリメートル）に変更することができます。

単位としてミリメートルまたはインチのいずれかを選択できます。

**ボトムマージン**

現在選択されているボトムマージンが表示されます。

また、設定を0から1.5インチ（0から38.1ミリメートル）に変更することができます。

単位としてミリメートルまたはインチのいずれかを選択できます。

**フォント**

PCL フォントの現在のパラメータ設定が表示されます。また、設定を変更できます。

OG	B	00	
----	---	----	--

d. 「用紙設定」 ページ

ここでの設定は、ホストから送られた印刷ジョブが当該パラメータを指定していない場合に有効化（印刷処理に反映）されます。印刷ジョブが当該パラメータを指定している場合は印刷ジョブでの指定が優先されるため、本項目での設定内容は無視されます。

**用紙長**

用紙長を設定できます。自動選択を選択した場合、OCP で入力したサイズを使用します。

**用紙幅**

用紙幅を設定できます。自動選択を選択した場合、OCP で入力したサイズを使用します。

**部数**

現在設定されている印刷部数が表示されます。また、設定を変更できます。

**丁合い**

「有効」に設定した場合、プリンタは部単位での印刷を行います。

0G	B	00	
----	---	----	--



## 5.5.4 「システムー構成」ページ

本ページは、以下に示す種類 (= ボタン名) のパラメータを設定します。各設定ページは、種類と同じ名前のボタンをクリックすることによって表示されます。

- 「パラレルI/F」：パラレル・インタフェースのパラメータ。
- 「ネットワークI/F」：ネットワーク・インタフェースのパラメータ。
- 「パスワード」：パスワード。
- 「カレンダー」：カレンダー。
- 「その他」：国番号。
- 「AppleTalk」：オンボードネットワークインターフェース対応AppleTalk。

個々のチャンネルのパラメータを設定する手順を以下に示します。

1. 最初に表示される「システムー構成」ページで、目的の項目のボタンをクリックします。
2. オプションのマルチプロトコル対応ネットワーク・インタフェースを設定したい場合は、目的のプロトコルボタンをクリックします。標準のカードを設定する場合は、このステップを省略して次に進みます
3. 設定ページが表示されますので、内容を入力します。各ページの入力を完了したら、設定を有効にするために「確定」ボタンを押してください。

### a. 「パラレル I/F」設定ページ

#### Ack パルス幅

プリンタがホストに返すAckのパルス幅を設定します。工場出荷時の設定は1000nsです。通常は変更する必要はありませんが、500～12750の範囲で指定できます。

#### モード

通信モードを設定します。「IEEE1284」はIEEE1284に準拠した双方向モードです。「セントロニクス」はセントロニクスモードです。

0G	B	00	
----	---	----	--

b. 「ネットワーク I/F」設定ページ

**IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス**

これらのパラメータは変更できます。ただし、IP アドレスを変更した場合はプリンタとの接続が断たれます。引き続き Web インターフェース機能を利用する場合には、新しく設定した IP アドレスでプリンタとの接続を再度確立し直してください。

**IP アドレス取得方法**

プリンタ起動のたびに IP アドレスを DHCP サーバから取得するかしないかを設定します。工場出荷時の設定は「STATIC」で、IP アドレスを DHCP サーバから取得せず、固定の IP アドレスを使用します。「DHCP」に設定してその機能を使う場合、ネットワーク上で DHCP サーバが動作している必要があります。変更後はプリンタを再起動させる必要があります。

**HTTP ポート**

HTTP ポート番号を設定します。工場出荷時 HTTP ポート番号は 80 に設定されています。通常は変更不要ですが、変更後は電源を OFF/ON してプリンタを再起動してください。

**ホスト名**

DNS サーバにプリンタのホスト名を通知したい場合、このプリンタのホスト名を設定します。

**DNS サーバアドレス**

DNS サーバにプリンタのホスト名を通知したい場合、DNS サーバの IP アドレスを設定します。

**メイン名**

DNS サーバにプリンタのホスト名を通知したい場合、このプリンタが属するドメインの名前を設定します。

c. 「パスワード」設定ページ

**システムパスワード**

システムパスワードは、工場出荷時 “1000” に設定されています。変更するときには、「システムパスワードを変更」の横のチェックボックスをクリックし、チェックマーク (✓) をつけ、新しいパスワードをタイプしてください。



**変更後のシステムパスワードを紛失した場合はシステムパスワードを再設定する必要がありますが、再設定操作にはサービスパスワードが必要です。そのようなときには保守員に連絡してください。**

OG	B	00	
----	---	----	--

d. 「カレンダー」設定ページ

**タイムゾーン**

現在のタイムゾーン設定が表示されます。また、設定を変更することができます。

**夏時間**

夏時間の設定ができます。夏時間を有効にするときには、「夏時間を使用」の横のチェックボックスをクリックし、チェックマーク(✓)をつけてください。夏時間の開始日時および終了日時を変更するときには、「夏時間の設定を変更」の横のチェックボックスをクリックし、チェックマーク(✓)をつけてください。

**タイムサーバ**

タイムサーバの設定ができます。タイムサーバを使用して日時を設定する場合には、「タイムサーバを使用」の横のチェックボックスをクリックし、チェックマーク(✓)をつけてください。プリンタは起動時および同期時刻で指定された時間に、指定されたタイムサーバにアクセスし時刻を取得します。

タイムサーバのプロトコルとして TIME Protocol (RFC868) あるいは、SNTP Protocol (RFC1769) を選択できます。

タイムサーバを指定する場合は、「プライマリ IP アドレス」と「セカンダリ IP アドレス」の各フィールドに IP アドレスを入力します。この指定により、プリンタは起動時に指定されたプライマリ IP アドレスで指定されたタイムサーバにアクセスし、日時の取得を試みます。プライマリ IP アドレスにタイムサーバが見つからない場合、プリンタはセカンダリ IP アドレスで指定されたタイムサーバにアクセスし、日時の取得を試みます。

「同期時刻」が設定されている場合、プリンタは毎日ここで指定した時間 (Hour) にタイムサーバにアクセスし、日時を取得します。

**日付と時間**

カレンダーの日付および時間を設定します。変更するときには、「日付と時間を変更」の横のチェックボックスをクリックし、チェックマーク(✓)をつけてください。

e. 「その他」設定ページ

**省電力モード時間**

ヒータオフモードに移行するまでの時間を設定します。5～230 分の間で設定が可能です。スリープモードは、ヒータオフモード状態になった 10 分後に移行します。デフォルト値は 15 分です。

**国番号**

国際電話で利用されている国番号を設定します。

0G	B	00	
----	---	----	--

f. 「AppleTalk」 設定ページ

#### AppleTalk

AppleTalk プロトコルの使用を「有効」または「無効」に設定します。「無効」にした場合、AppleTalk プロトコルを利用することはできません。変更後はプリンタを再起動させる必要があります。

#### 利用可能な論理プリンタ

AppleTalk プロトコル環境で利用できる論理プリンタを設定するページへのリンクボタンです。論理プリンタの設定方法は、5.5.3 項を参照してください。


#### AppleTalk ゾーン

このプリンタが属する AppleTalk ゾーンが表示されます。また、ゾーンを変更できます。変更後はプリンタを再起動させる必要があります。

### 5.5.5 「システムー印刷履歴」 ページ

「システムー印刷履歴」 ページは、印刷の履歴情報を提供します。

#### 印刷履歴

 を右クリックし、「対象をファイルに保存」（インターネットエクスプローラを使用している場合）または「リンクを名前を付けて保存」（ネットスケープを使用している場合）を選択すると、各期間ごとの印刷履歴ファイルをダウンロードすることができます。ファイルは CSV（カンマ区切り）形式で保存されます。履歴内容は次ページの表の通りです。

#### トナーカバレッジ

最後に印刷された印刷ジョブ、および各期間ごとのトナーカバレッジを表示します。

#### 用紙

印刷枚数を表示します。印刷枚数は 11 インチ用紙長でカウントされます。

OG	B	00	
----	---	----	--

## 印刷履歴の表の内容

項目	説明
Job ID	履歴ファイルにて管理される印刷ジョブの ID 番号です。
Record Version	履歴ファイルの記録フォーマットのバージョンを示します。
Status	ジョブのステータスを示します。 0: 正常に印刷終了 2: キャンセル
Session ID	印刷データの受け取り開始から、受け取り完了且つ印刷終了までをセッションと定義し、その番号を示します。
Channel Source	印刷ジョブの転送に使用したチャネル情報を示します。 0: パラレル I/F 1: ネットワーク I/F の VPT ポートへの Raw TCP 印刷 2: ネットワーク I/F の 9100 ポートへの Raw TCP 印刷 3: オフライン印刷 (ステータスページ、テスト印刷等) 4: ネットワーク I/F への LPD 印刷
VPT	使用した論理プリンタを示します。 0: TEXT 1: vp-pcl 2: postscript 3: ascii_portrait 4: ascii_landscape 5: lp_portrait 6: lp_landscape 7: PSAXxxxxx ("xxxxxx"は MAC アドレスの下6桁) 8~: 新規に作成された論理プリンタ 255: Default チャネル (パラレル I/F、オフライン印刷)
PDL Source	印刷ジョブの PDL (PostScript または PCL) が示されます。
File Size	印刷ジョブのデータ処理サイズを示します。
User Name	印刷ジョブの所有者名を示します。印刷ジョブ内の記述によっては、正しく記録されない場合があります。
Document Name	印刷ジョブのドキュメント名を示します。印刷ジョブ内の記述によっては、正しく記録されない場合があります。
Priority	本項目はサポートしていません。
Completed Sides	印刷が完了し、正常に排紙されたページ数を示します。
Completed Copies	印刷が完了し、正常に排紙されたコピー数を示します。非丁合い印刷時は常に 1 となります。
PDL Side	プリンタコントローラにより展開処理されたページ数を示します。排紙されたページ数を示すものではありません。
PDL Copies	プリンタコントローラにより展開処理されたコピー数を示します。排紙されたコピー数を示すものではありません。非丁合い印刷時は常に 1 となります。
Total Sets	本項目はサポートしていません。
Total Sheets	プリンタコントローラにより展開処理されたページ数を用紙枚数に換算した値を示します。排紙された用紙枚数を示すものではありません。
Toner Coverage	トナーカバレッジを示します。
Date Created	履歴ファイルに記録された日付を示します。
Time Created	履歴ファイルに記録された時間を示します。
Duration	印刷処理が開始されてから履歴ファイルに記録されるまでの時間 (秒) を示します。
Media n Sheet Count	排紙された用紙の枚数を示します。

OG	B	00	
----	---	----	--

## 5.5.6 「システム－印刷ジョブ」ページ

「システム－印刷ジョブ」ページは、印刷中や印刷待ちのジョブの情報を提供します。また、印刷ジョブを削除することもできます。下の図は、2つの印刷ジョブがスプールされているときの例です。

The Printing Solution Company

ホーム | リンク | サイトマップ

操作パネル

オンライン

システム－印刷ジョブ

選択	ジョブ名	部数	ページ (*)	ユーザ	時間	状況 (**)
<input type="checkbox"/>	readme.txt	1/1	1 0	user	TUE DEC 21 01:22:14 2004	A
<input type="checkbox"/>	Micorsoft Word- manual.doc	1/1	1 0	user	TUE DEC 21 01:22:16 2004	A

①

②

選択ジョブの削除 ▼

確定 選択解除

(\*)上段: RIP完了ページ数, 下段: 排紙完了ページ数  
 (\*\*): C: 削除中, P: 停止, A: 処理中, D: 転写済  
 この色で示されるジョブを印刷しています。

ステータス  
 システム  
 一般  
 プリンタ  
 論理プリンタ  
 構成  
 印刷履歴  
 印刷ジョブ  
 問合せ先設定  
 リセット  
 保守  
 印刷ジョブ

①と②の説明を次ページに示します。

① このリストには印刷中や印刷待ちのジョブの状態が表示されます。「更新」ボタンをクリックすると、リストの内容が最新の状態に更新されます。

---

**留意点:**

印刷ジョブ内の記述によっては正しく表示されない場合があります。

---

■ **選択:** チェックボックスにチェックマーク(✓)をつけることで、その印刷ジョブを削除の対象とします。選択を解除するときには、チェックマーク(✓)のついたチェックボックスをもう一度クリックしてください。また、「選択解除」ボタンをクリックすると全ての選択が解除されます。

■ **ジョブ名:** 印刷ジョブ名が表示されます。

■ **部数:** 印刷ジョブの印刷部数が表示されます。前の数値は印刷が完了した部数を示します。後ろの数値は最終的に印刷される総部数を示します。印刷ジョブの処理の進行状況によって、表示される内容が変化していきます。

■ **ページ:** 印刷ジョブの以下のページ数が表示されます。

上段: RIP 完了ページ数

下段: 排紙完了ページ数

■ **ユーザ:** 印刷ジョブの所有者名が表示されます。

■ **時間:** プリンタが印刷ジョブの受信を開始した時間が表示されます。

■ **状態:** 印刷ジョブの状態を表示します。表示されるアルファベットは以下の状態を示します。

C: 削除中 (Cancel)

P: 停止中 (Pause)

A: 処理中 (Active)

D: 転写済 (Developed)

② 「印刷ジョブの削除」のコンボボックスから「選択ジョブの削除」または「全ジョブの削除」が選択できます。実行する場合には、「確定」ボタンをクリックしてください。

## 5.5.7 「システムー問い合わせ先設定」ページ


本ページは、問い合わせ先の情報を設定します。入力した設定を有効にするためには「確定」ボタンをクリックしてください。ここで設定した内容は、トップバーメニューの「お問い合せ」をクリックしたとき案内されるページに表示されます。

OG	B	00	
----	---	----	--

## 5.5.8 「システム－プリセットファイル」ページ

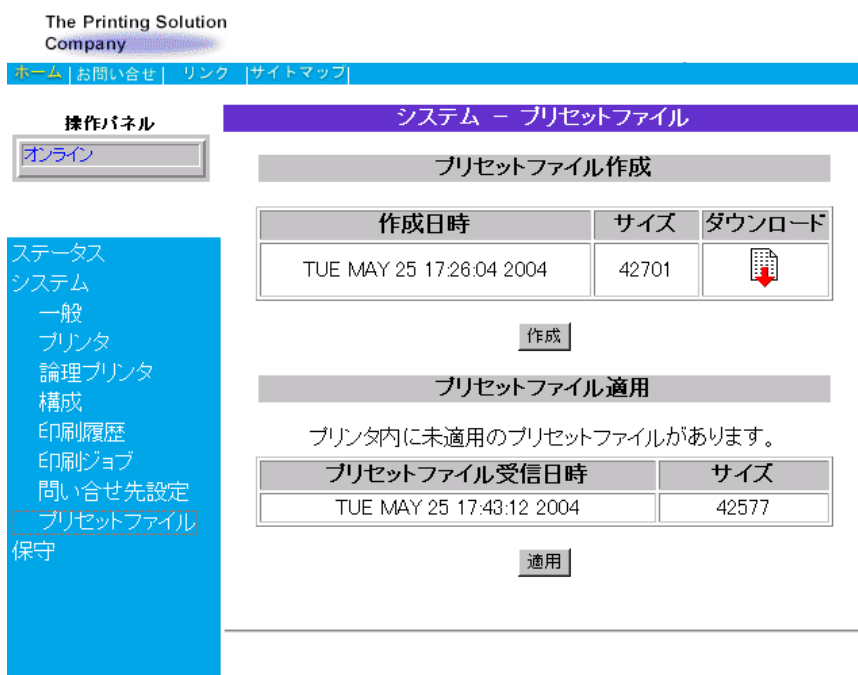
本ページは、OCP の用紙プリセット登録で登録したプリセットデータを、プリセットファイル(PJL ファイル)にするプリセットファイル作成、およびプリセットファイルを用紙プリセットに一括登録するプリセットファイル適用を提供します。

### ■ プリセットファイル作成

プリセットファイルの **作成** を押して、プリセットファイルを作成します。  を右クリックすることで、プリセットファイルをダウンロードすることができます。

### ■ プリセットファイル適用

プリセットファイルで作成したプリセットファイルをダウンロードし、適用するプリンタに LPR コマンドで送信すると **適用** が表示されます。プリセットファイルの **適用** を押すことにより、用紙プリセットを一括登録することができます。ファイルが無い場合、**適用** は表示されません。プリセットファイル適用後、適用したプリセットファイルの作成日時が表示されます。OCP で用紙プリセット登録を行うと、プリセットファイルの作成日時は削除されます。



The screenshot shows the 'System - Preset File' page. At the top, it says 'The Printing Solution Company' and has navigation links for 'Home', 'Inquiry', 'Link', and 'Site Map'. Below this is a 'Operation Panel' with 'Online' selected. A sidebar on the left lists various system settings, with 'Preset File' highlighted. The main content area is titled 'System - Preset File' and contains two sections: 'Preset File Creation' and 'Preset File Application'. The 'Creation' section has a table with one row: 'TUE MAY 25 17:26:04 2004', '42701', and a download icon. Below it is a '作成' button. The 'Application' section has a message: 'There are preset files not applied in the printer.' Below this is a table with one row: 'TUE MAY 25 17:43:12 2004' and '42577'. Below it is an '適用' button.

### 留意点:

- この機能は、本社製の同機種間でのみ実行できます。
- OCP で用紙設計メニュー下の画面を表示している場合は本機能を実行できません。
- Web で本機能実行中は OCP の用紙パターンデータ変更画面に入れません。
- Web からプリセットデータを適用した場合、OCP での「プリセット値指定」値がリセット(指定無し)されます。
- 適用ボタンを押さないまま次のプリセットファイルを受信した場合、前のプリセットファイルは上書きされ、最後に受信したプリセットファイルが有効になります。

OG	B	00	
----	---	----	--



## 5.6 その他のページの使い方

### 5.6.1 「お問い合わせ」ページ

本ページにアクセスすることにより、お問い合わせ先の情報を参照することができます。

### 5.6.2 「リンク」ページ

本ページにアクセスすることにより、日立プリンタのホームページにアクセスすることができます。

---

---

留意点:

ご使用のコンピュータ(PC)がインターネットにアクセスできるネットワーク環境に接続されている必要があります。

---

---

### 5.6.3 「サイトマップ」ページ

本ページを起点に各ページにアクセスすることができます。

0G	B	02	
----	---	----	--

BLANK

0G	B	00	
----	---	----	--

# 第6章 お手入れとメンテナンス

## 6.1 この章の内容

この章では、オペレータにお願いする以下の事項について説明します。

### (1) 消耗品の補給と交換作業

No.	項目	参照項	備考
1	トナーの補給	6.2.1	
2	トナーバッグの交換	6.2.2	
3	現像剤の交換	6.2.3	
4	クリーナの交換	6.2.4	
5	OPCドラムの交換	6.2.5	
6	定着ユニットの交換	6.2.6	
7	HRクリーナクミの交換	6.2.7	

・ユーザー・チャージ適用機器の場合、クリーナ、OPCドラム、定着ユニットの交換は保守員が行います。  
(HRクリーナクミの交換はオペレータ作業となります。)

・部品購入方式の場合 (HT-F4558-80RBU) は上記の補給/交換作業はオペレータ作業となります。

・交換作業について、別途保守部門と契約がある場合にはその内容によります。

### (2) 用紙ジャムの修復

No.	項目	参照項	備考
1	スタッカ部での用紙ジャムの修復	6.3.1	
2	スタッカ部以外での用紙ジャムの修復	6.3.2	

### (3) 点検

No.	項目	参照項	点検時期
1	印刷品質のチェック	6.4	毎日 (始業時)、印刷品質を特に重視する業務の前、及び用紙ジャム、各種トラブル発生時。また、実ジョブでの確認もお願いします。

### (4) プリンタの清掃

No.	項目	清掃周期	参照項
1	用紙ホopp	毎日(始業時)	6.5.1
2	用紙スタッカ	毎日(始業時)	6.5.2
3	チャージャユニット	毎日(始業時)	6.5.3
4	転写器	毎日(始業時)	6.5.4
5	トナーホopp周辺	トナー補給時	6.5.5
6	トナーバッグ周辺	トナーバッグ交換時	6.5.6

### (5) 消耗品の取り扱いと保管

No.	項目	参照項	備考
1	消耗品の取り扱いと保管	6.6	

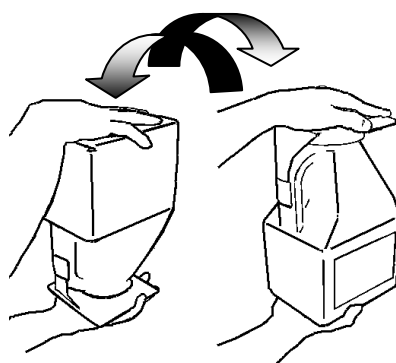
OG	B	01	
----	---	----	--

## 6.2 消耗品の交換

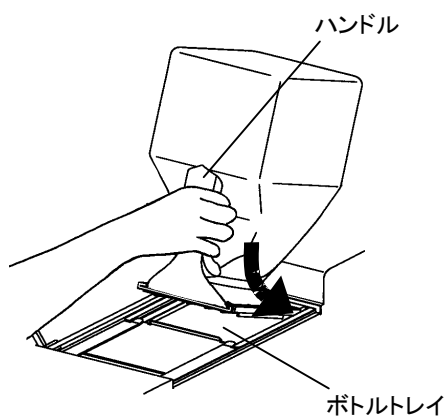
消耗品を交換する必要があると、プリンタは印刷を中止し、消耗品を交換してくださいという内容のエラー・メッセージをOCPに表示します。消耗品の使用寿命については、付録A.5を参照してください。

### 6.2.1 トナーの補給

1. 新しいトナーボトルを用意してください。
2. トップカバーを開けてください。
3. トナーボトルを上下に10回程度強くひっくり返してボトル内のトナーを攪拌してください。



4. トナーボトルの取っ手を持ち、ボトルトレイ上に奥から差し込むようにトナーボトルをセットしてください。



---

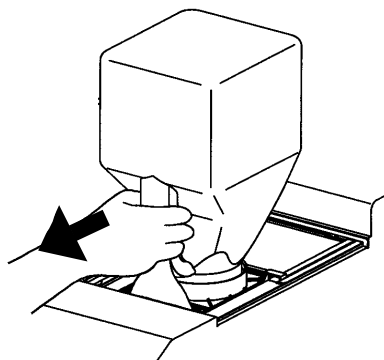
#### 留意点:

トナーボトルがボトルトレイ上に正しくセットされていないと、以下のステップに進めません。

---

OG	B	00	
----	---	----	--

5. トナーボトルを手前に動かなくなるまで引いてください。



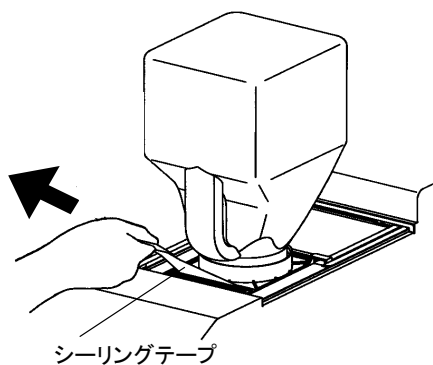
---

**留意点:**

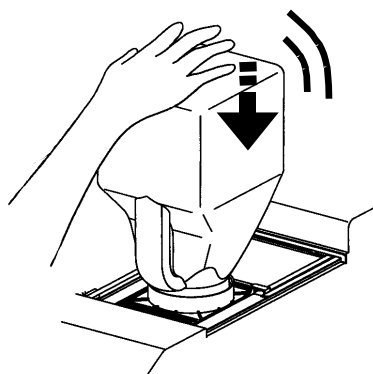
トナーボトルが所定の位置まで引かれていないと、補給時にトナー漏れが発生したり、十分にトナーが補給されない場合があります。

---

6. シーリングテープをトナーボトルから引き抜いてください。



7. トナー補給中にトナーボトルの上部を、手で10～15回叩いてください。



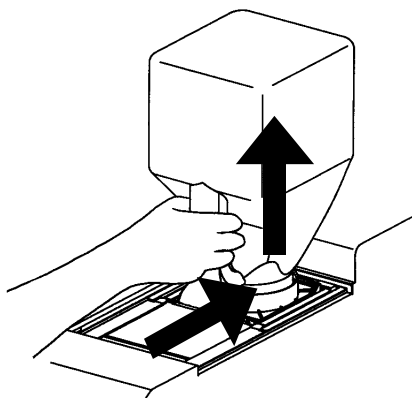
---

**留意点:**

- トナーボトルを叩かないと、十分にトナーが補給されない場合があります。
  - 必ずトナーボトルの上部を叩いてください。側面を叩くと、トナーがあふれる場合があります。
- 

OG	B	00	
----	---	----	--

8. トナーボトルを最初にセットした位置まで押し戻し、取り外してください。



9. トップカバーを閉めてください。  
10. 法令、条例に従って、空になったトナーボトルを産業廃棄物として処理処分してください。

---

留意点:

- OCP に「トナーガ アリマセン/ホキウシテクダサイ」または「トナーガスクナクナッテイマス」と表示されない限り、トナーは補給しないでください。また、トナーの補給は 1 ボトル (1 kg) とし、残したり余分に補給したりしないでください。
  - トナーに異物が混じらないようにしてください。異物により OPC ドラムが損傷し、印刷不良が生じることがあります。また、回収した廃トナーは絶対に再使用しないでください。
  - トナーは購入後 1 年以内を目安に使用してください。また、一度開封したものは使用しないでください。
  - トナーがこぼれた時は、衣服、身体、装置などが汚れますので、トナー専用の真空掃除機でただちに清掃してください。
- 

 警告

- トナーボトルは火中に投げ込まないでください。火中に投げ込むと急激に燃えることがあり、火災やけがの原因になります。
- トナーボトルは不燃物として廃棄してください。

 注意

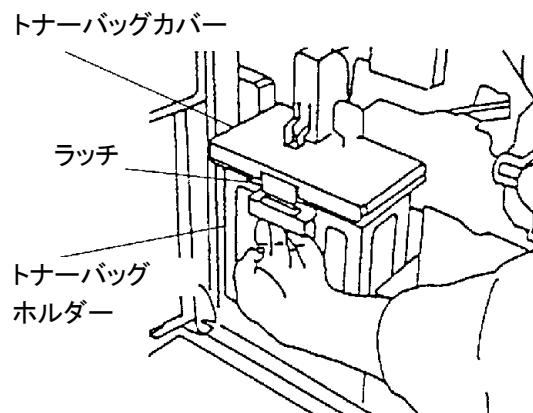
- トナーは人体に有害ではありませんが、トナーを吸い込んだり飲み込んだりしないよう注意して下さい。気分が悪くなる場合があります。
- 取り扱い中にトナーが目に入った場合は、ただちに流水で 15 分以上洗眼してください。何か症状が出たら、医師の診療を受けてください。
- トナーが皮膚や衣類に付着した時は、石鹸水で完全に洗い流してください。何か症状が出たら、医師の診療を受けてください。

OG	B	00	
----	---	----	--

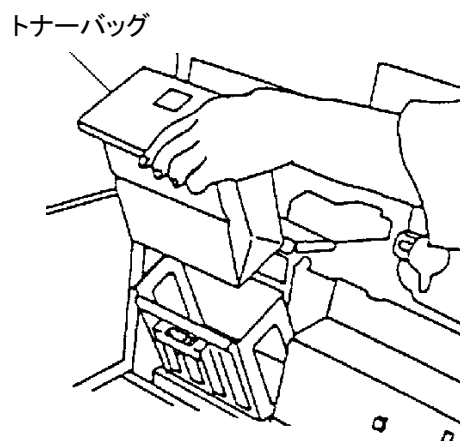
## 6.2.2 トナーバッグの交換

トナーバッグの交換は、以下の手順に従ってください。

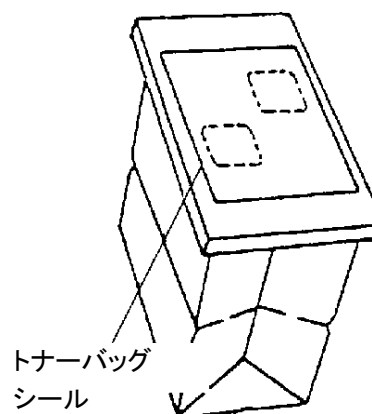
1. サイドカバーを開けてください。
2. ラッチを手前に引いてトナーバッグカバーを一杯に開き、トナーバッグホルダーを手前に引きます。



3. トナーバッグを取り出し、添付品のトナーバッグシールでトナーバッグの口に封をして処分します。



4. 新しいトナーバッグをトナーバッグホルダーに入れます。
5. トナーバッグホルダーとトナーバッグカバーを閉めます。
6. サイドカバーを閉めます。

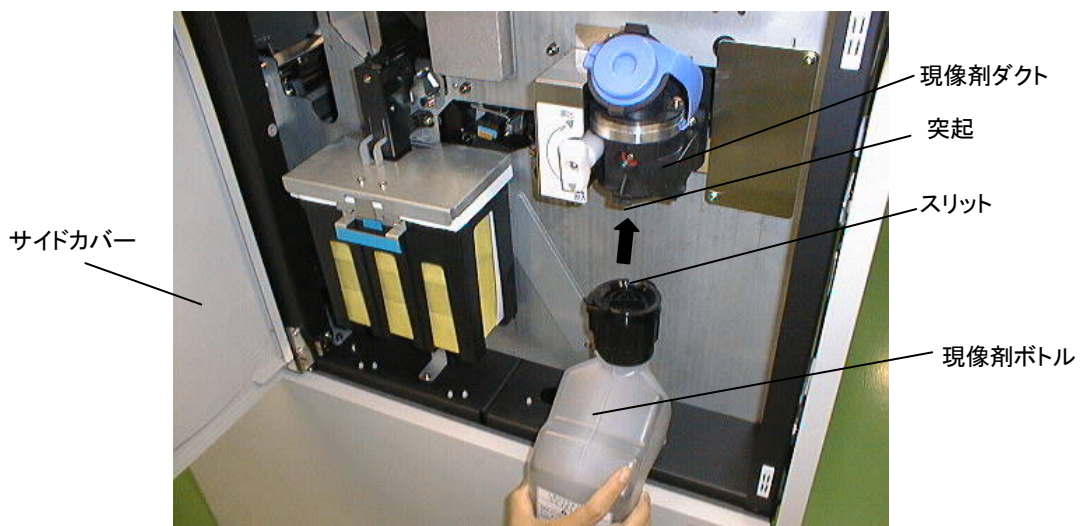


OG	B	00	
----	---	----	--

### 6.2.3 現像剤の交換

OCPに「現像剤の寿命」と表示されたら、以下の手順に従って現像剤を交換してください。

1. 空の現像剤ボトルを用意してください。
2. プリンタのサイドカバーを開きます。
3. 空の現像剤ボトルを、現像剤ダクトに取り付けます。その際、現像剤ボトルのスリットがダクトの突起に合うようにしてください。



4. 現像剤ボトルのキャップを下図の矢印に示す向きに約160度回転して、空の現像剤ボトルを固定します。



---

#### 留意点:

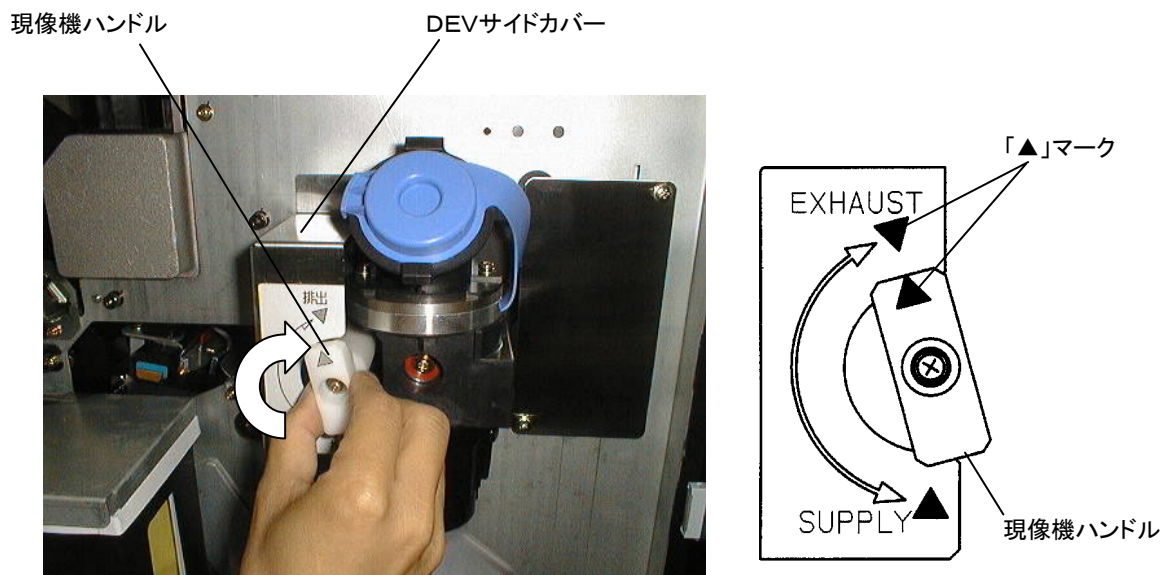
キャップを回す際は、現像剤ボトルをつかんで、ボトルがキャップと一緒に回らないようにしてください。

---

OG	B	00	
----	---	----	--



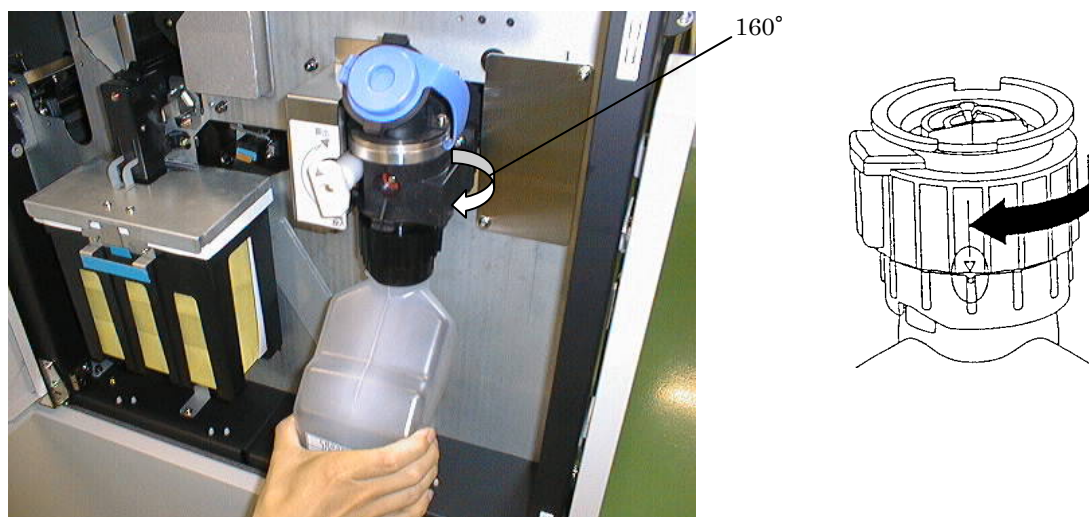
5. 現像機ハンドルを押し込んだ状態で、下の図の矢印に示す向きに現像機ハンドルを回転させ DEV サイドカバーの EXHAUST「▲」マークと現像機ハンドルの「▲」マークの位置を合わせます。



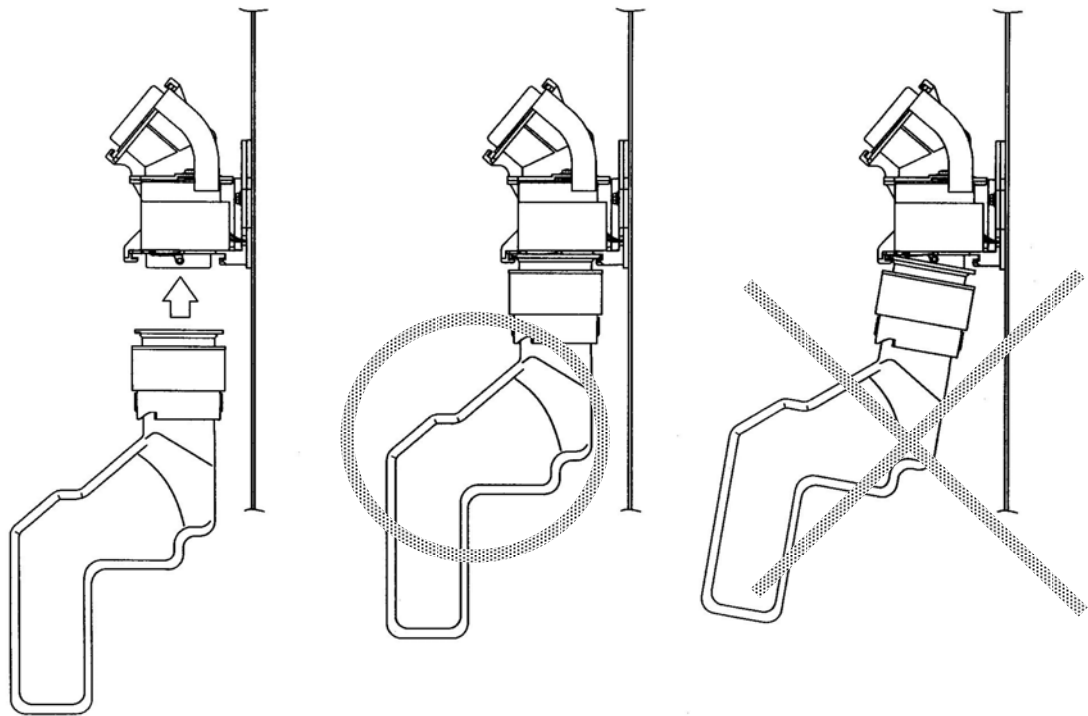
**留意点:**

「▲」マークの位置を合わせた後、現像機ハンドルを左右に回転させて現像機ハンドルが固定されていることを確認してください。

6. OCP で以下の順に選択し、排出処理を開始します: 環境設定アイコン→「消耗品」→「現像剤」→「排出」→「■」。排出処理には、約 3 分 24 秒かかります。
7. ボトルのキャップを、下の図の矢印に示す向きに約 160 度回して元に戻し、現像剤ボトルを取り外してください。



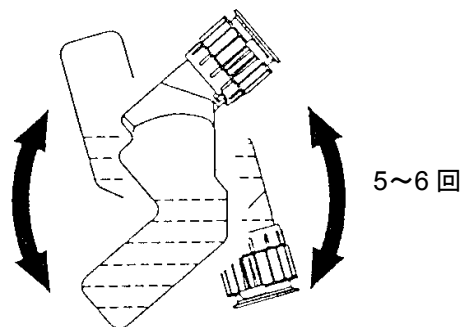
OG	B	00	
----	---	----	--



**留意点:**

- ボトルを取り付ける時には、ダクト部に真っ直ぐ取り付けてください。斜めに取り付けると正常に現像剤を排出することができず故障の原因となる場合があります。
- 現像剤排出後はボトルのキャップに残った現像剤をこぼさないように注意してください。

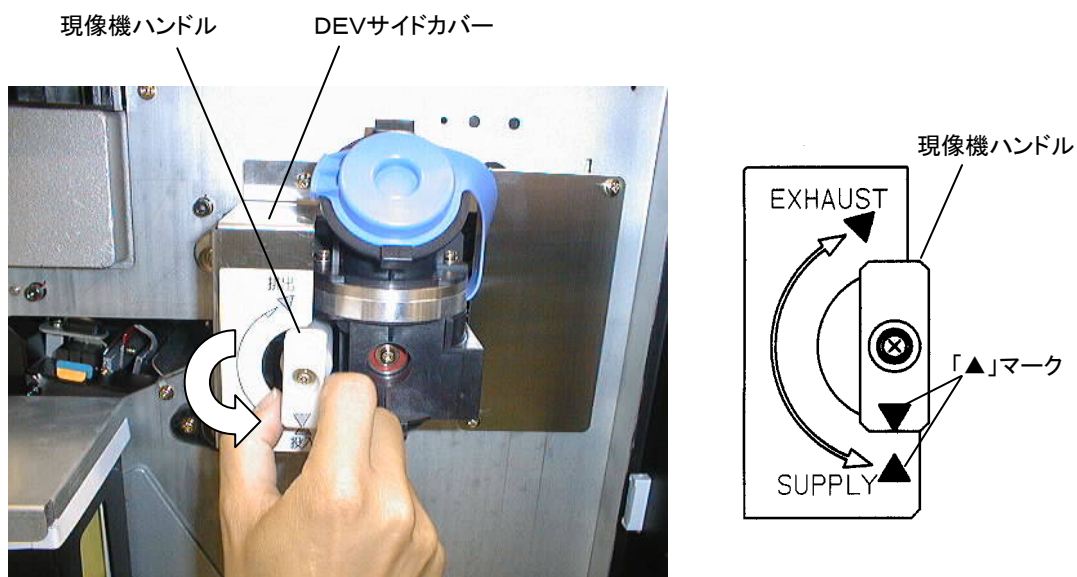
8. 新しい現像剤ボトルを用意し、5～6回振ってください。



9. プリンタのトップカバーを開きます。

OG	B	00	
----	---	----	--

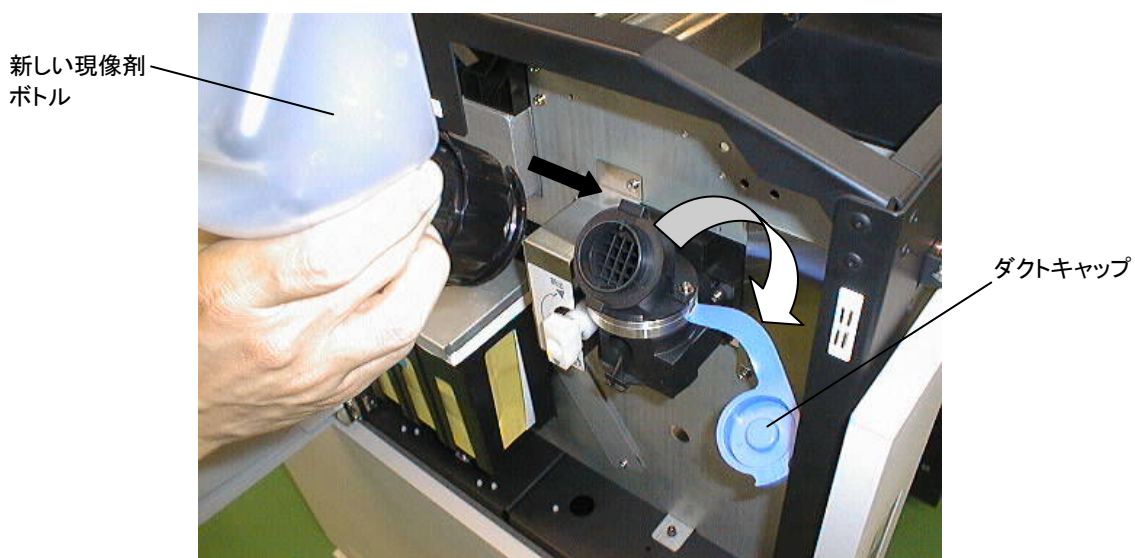
10. 現像機ハンドルを押し込んだ状態で、下の図の矢印に示す向きに現像機ハンドルを回転させ DEV サイドカバーの SUPPLY「▲」マークと現像機ハンドルの「▲」マークの位置を合わせます。



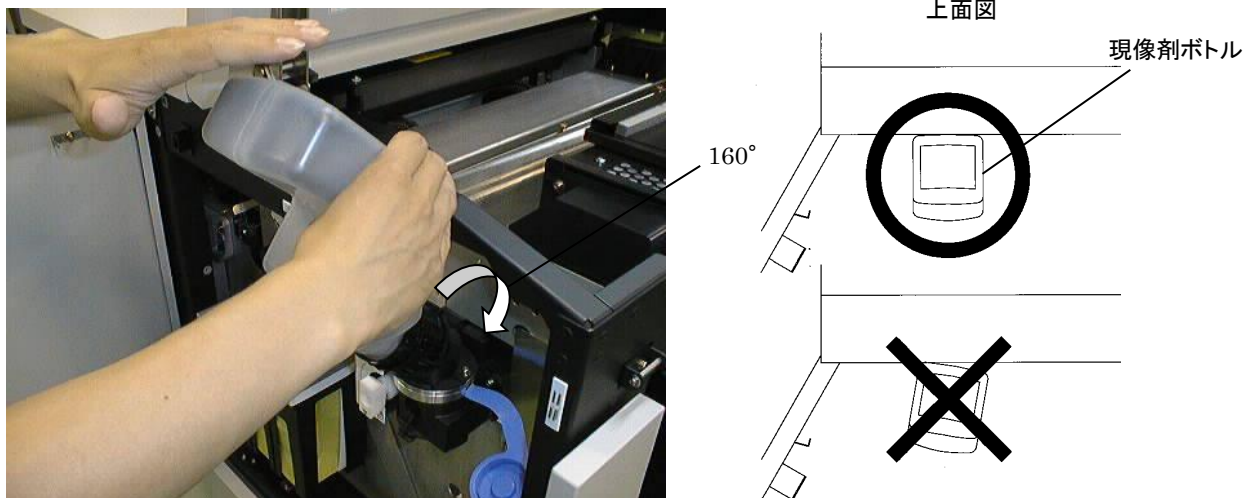
留意点:

「▲」マークの位置を合わせた後、現像機ハンドルを左右に回転させ現像機ハンドルが固定されていることを確認してください。

11. 現像剤ダクトからダクトキャップを外してください。新しい現像剤ボトルを現像剤ダクトに取り付けてください。



12. 現像剤ボトルのキャップを下の図の矢印に示す向きに約 160 度回転して、現像剤ボトルを固定してください。



**留意点:**

キャップを回す際は、現像剤ボトルをつかんで、ボトルがキャップと一緒に回らないようにしてください。

13. OCP で以下の順に選択し、注入処理を開始します: 環境設定アイコン→「消耗品」→「現像剤」→「注入」→「■」。注入処理には、約 4 分かかります。

**留意点:**

現像剤ボトルの上部を叩いて、空にして下さい。

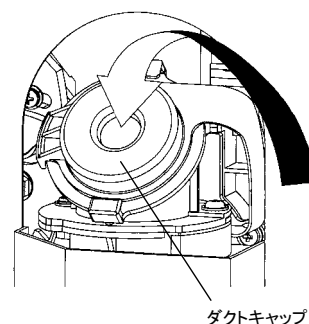
14. ボトルのキャップを、下の図の矢印に示す向きに約 160 度回して元に戻し、現像剤ボトルを取り外してください。



15. トップカバーを閉めてください。

OG	B	01	
----	---	----	--

16. ダクトキャップを、現像剤ダクトに元通りに取り付けてください。  
17. プリンタの上にこぼれた現像剤は完全に拭き取ってください。



**留意点:**

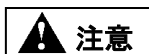
現像剤を供給した後の現像剤ボトルは、次の現像剤交換の際に使用するのので、取っておいてください。

18. サイドカバーを閉めてください。



**警告**

使用済みの現像剤ボトルは火中に投げ込まないでください。火中に投げ込むと急激に燃えることがあり、火災やけがの原因になります。



**注意**

- 床にこぼれた現像剤を踏むと滑りやすく、転倒してけがの原因になります。トナー専用真空掃除機でよく清掃してください。
- 取り扱い中に現像剤が目に入った場合は、ただちに流水で 15 分以上洗眼してください。何か症状が出たら、医師の診療を受けてください。
- 現像剤が皮膚や衣類に付着した時は、石鹼水で完全に洗い流してください。何か症状が出たら、医師の診療を受けてください。

**留意点:**

- 所定の現像剤を使用してください。それ以外の現像剤は絶対に使用しないでください。印刷品質の劣化と故障の原因となります。
- OCP に「現像剤の寿命」が表示されたとき、OCP のチェックリセットキー(▶)に触れることによって最大 10,000 ページの印刷を継続できます。しかし、印刷品質に影響が出る場合がありますので、現像剤はできるだけ早めに交換してください。
- 現像剤は規定量(1 ボトル 1.85 kg) を供給してください。残したり、余分に供給したりしないでください。
- 現像剤に異物が混じらないようにしてください。異物により感光体ドラムが損傷し、印刷不良が生じることがあります。また、回収した現像剤は絶対に再使用しないでください。
- 現像剤の中にゴミ、油、水などの異物を入れてしまった場合には、すぐに装置を停止し、保守連絡先に連絡してください。
- 現像剤は購入後 1 年以内を目安に使用してください。また、一度開封した現像剤は使用しないでください。
- 現像剤を処分する際は 6.6.2 項「トナーと現像剤」に従ってください。

OG	B	00	
----	---	----	--



## 6.2.4 クリーナの交換

クリーナの交換は、以下の手順に従ってください。

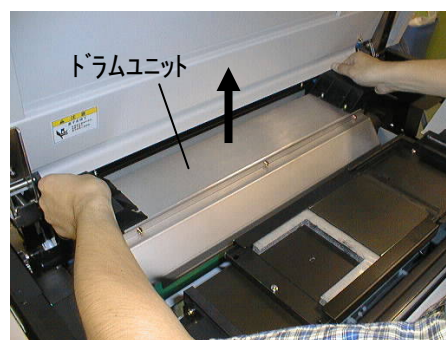
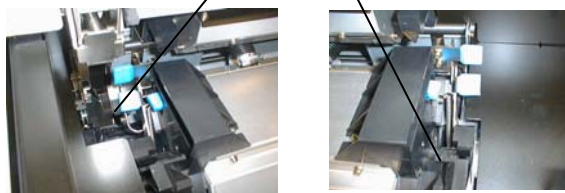
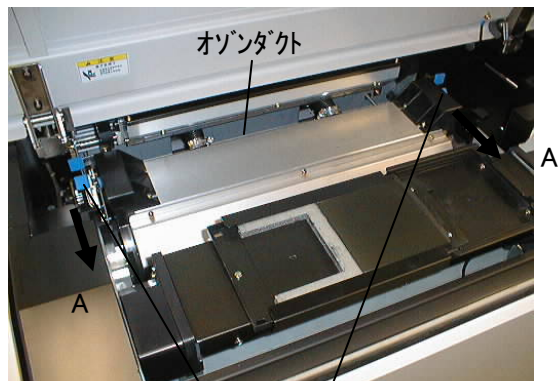
1. トップカバーを開けてください。
2. ドラムユニットラッチを両手で矢印Aの方向に倒して、オゾンダクトを開けてください。
3. ドラムセットガイドに沿ってドラムユニットを持ち上げ、プリンタから外してください。

---

### 留意点:

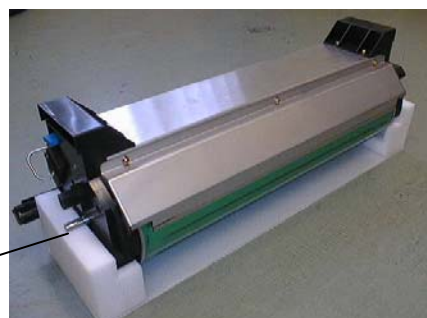
ドラムユニットは、ドラムセットガイドに沿ってゆっくり持ち上げてください。

---

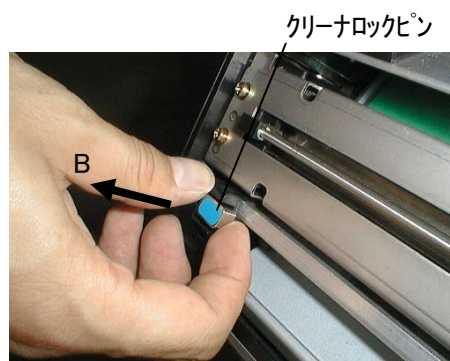


4. ドラムユニットをドラム置き台の上に置いてください。

ドラム置き台

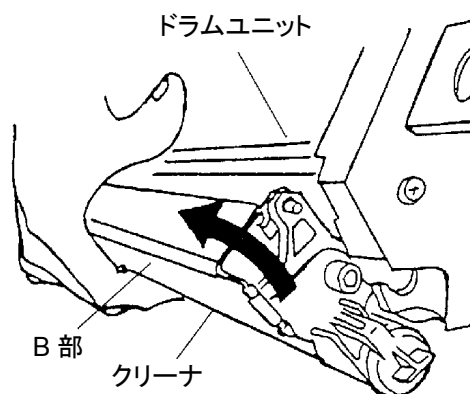


5. クリーナロックピン(2箇所)を矢印Bの方向に引き出してください。

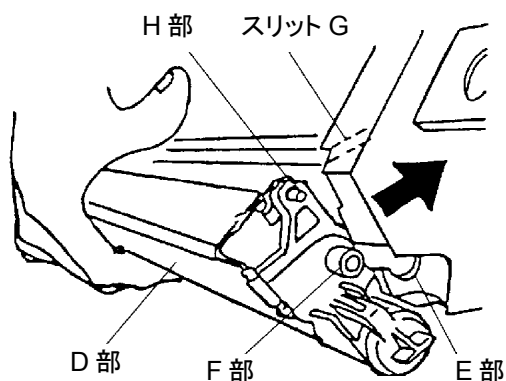


OG	B	00	
----	---	----	--

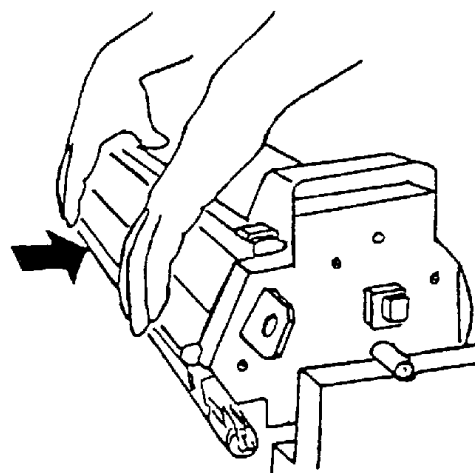
6. クリーナのB部をつかんで矢印の方向に引っ張り、ドラムユニットからクリーナを外してください。



7. 新しいクリーナのD部をつかんで矢印の方向に押し、クリーナのF部をドラムユニットのE部に、またクリーナのH部をスリットGに、各々はめ込んでください。



8. クリーナの背面を押してドラムユニットにセットしてください。



9. クリーナロックピンを元通りに押し込んでください。
10. ドラムユニットをドラムセットガイドに沿ってプリンタにセットし、オゾンダクトとドラムユニットラッチを閉めてください。
11. トップカバーを閉めてください。
12. OCPで以下の順に選択し、クリーナの使用値カウンタをリセットしてください: 環境設定アイコン→「消耗品」→「クリーナ」→「■」。(2.5.3「消耗品」サブメニューの使い方参照)

---

**留意点:**

印刷品質に影響を与える為、使用値カウンタのリセットは必ず実施して下さい。

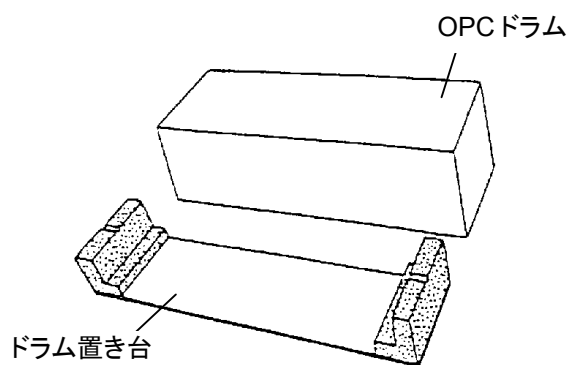
---

OG	B	00	
----	---	----	--

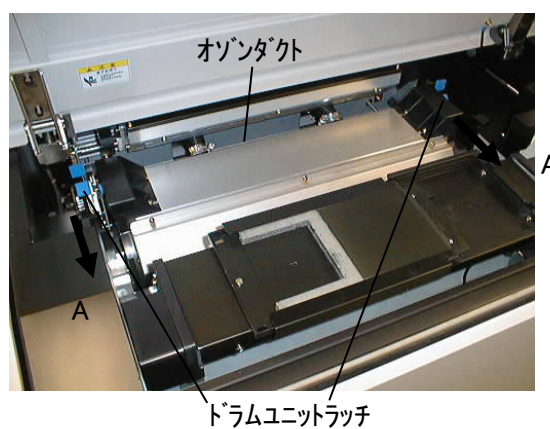
## 6.2.5 OPCドラムの交換

OPCドラムの交換は、以下の手順に従ってください。

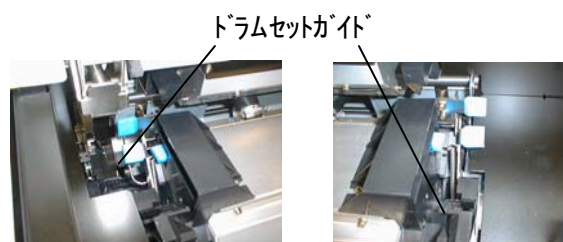
1. 新しいOPCドラムとドラム置き台を準備してください。



2. トップカバーを開けます。
3. ドラムユニットラッチを両手で矢印Aの方向に倒して、オゾンダクトを開けてください。



4. ドラムセットガイドに沿ってドラムユニットを持ち上げ、プリンタから外してください。

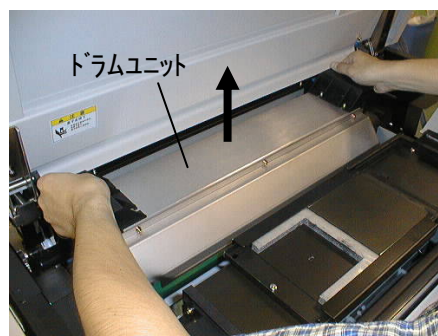


---

### 留意点:

ドラムユニットは、ドラムセットガイドに沿ってゆっくり持ち上げてください。

---

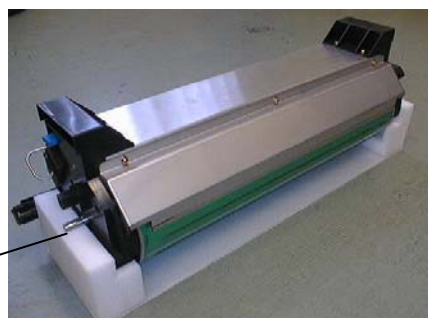


OG	B	00	
----	---	----	--



5. ドラムユニットをドラム置き台の上に置いてください。

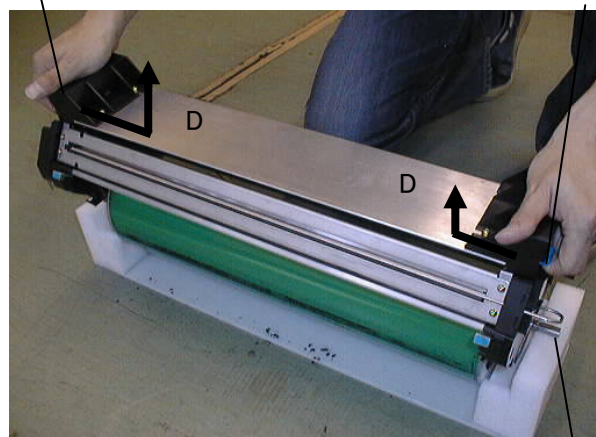
ドラム置き台



6. 6.2.4項「クリーナの交換」に従ってクリーナを外してください。
7. ドラムラッチを矢印Dの方向に引っ張り、ドラムユニットを持ち上げてOPCドラムから外してください。
8. ドラム仮置き台に置いた古いOPCドラムを外し、新しいOPCドラムを置いてください。

ドラムラッチ

ドラムラッチ



ドラムシャフト

9. ドラムラッチを矢印Dの方向に引っ張って、新しいOPCドラムにドラムユニットを取り付けます。このとき、OPCドラムのドラムシャフトがドラムユニットの溝にはまるようにしてください。

---

**留意点:**

OPCドラムの向きに注意してください。

---

10. 6.2.4項「クリーナの交換」に従ってクリーナをセットしてください。
11. ドラムセットガイドに沿ってドラムユニットをプリンタにセットします。その後、オゾンダクトとドラムユニットラッチを閉めてください。
12. トップカバーを閉めてください。
13. OCPで以下の順に選択し、OPCドラムの使用値カウンタをリセットしてください: 環境設定アイコン→「消耗品」→「OPCドラム」→「■」。
- (2.5.3 「消耗品」サブメニューの使い方参照)

---

**留意点:**

印刷品質に影響を与える為、使用値カウンタのリセットは必ず実施して下さい。

---

OG	B	00	
----	---	----	--

## 6.2.6 定着ユニットの交換

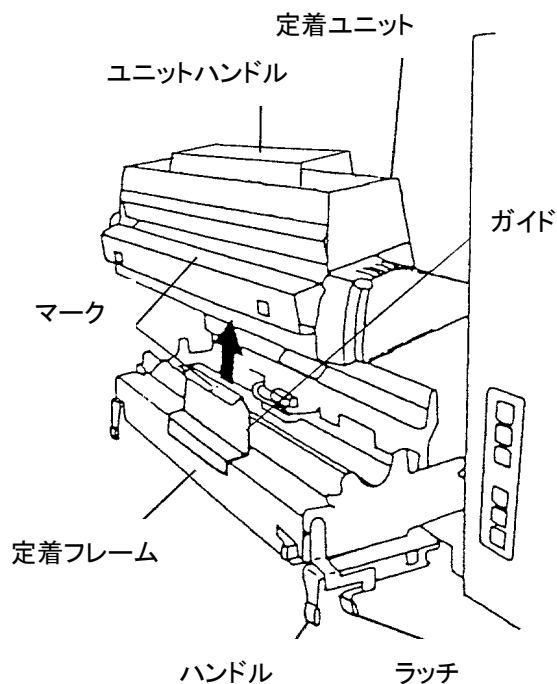
定着ユニットの交換は、以下の手順に従ってください。

1. 用紙がセットされている場合は、取り出してください。(3.6.4項「用紙の取り出し」を参照願います。)
2. プリンタの電源を切ってください。

**留意点:**

EOF直後もしくはNPRO実施後に電源を切る場合には、定着部が駆動している場合がありますので約5分経過後に電源を切ってください。

3. リアカバーを開けてください。
4. 定着フレームの左右のラッチを解除して、両手で定着フレームのハンドルを持ちながら定着フレームを開いてください。
5. 定着ユニット上部のハンドルを持ち、定着ユニットを上方に引き出して取り外してください。



定着ユニットは高温になっています。ユニットハンドル部以外は手を触れないよう注意してください。また、熱に弱い机や紙の上に置かないよう注意してください。

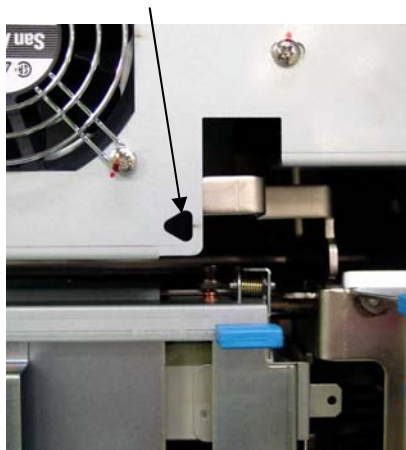
6. 定着ユニットのユニットハンドルを持ち、定着ユニットを定着フレーム上に取り付けてください。このとき、左右方向と前後方向の取り付け位置を下記のようにしてください。
  - 左右方向: 定着ユニット上のマークと定着フレーム上のマークを合わせる。
  - 前後方向: 定着ユニットが定着フレーム上のガイド内に収まるようにする。

OG	B	00	
----	---	----	--

7. 両手で定着フレーム上のハンドルを持ちながら、定着フレームのラッチがロックされるまで定着フレームを閉めてください。

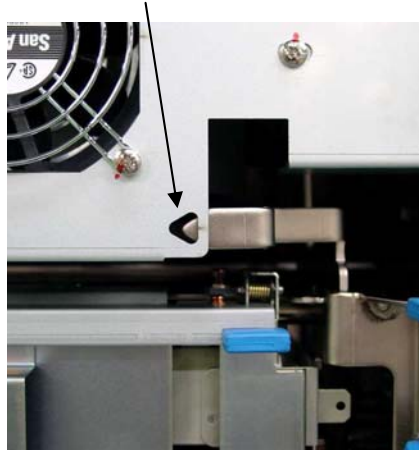
ラッチは左右にあるので両方確認してください。

三角形ののぞき窓から  
ラッチの先端部が見えない



ラッチがロックされていない場合

三角形ののぞき窓から  
ラッチの先端部が見える



ラッチがロックされている場合

---

**留意点:**

ロックが正確にかかっていないと、用紙走行に悪影響を与えることがあります。

---

8. リアカバーを閉めてください。
9. OCPで以下の順に選択し、定着ユニットの使用値カウンタをリセットしてください: 環境設定アイコン→「消耗品」→「定着器」→「■」。
- (2.5.3 「消耗品」サブメニューの使い方参照)

---

**留意点:**

印刷品質に影響を与える為、使用値カウンタのリセットは必ず実施して下さい。

---



**注意**

定着ユニットの寿命設定は2,000KPですが1,000KP使用時に、メンテナンス\*1を行う必要があります。(メンテナンス実施後に更に1,000KPご使用頂き、合わせて2,000KPご使用頂けます。)

定着ユニット交換時はその旨保守担当者に連絡願います。

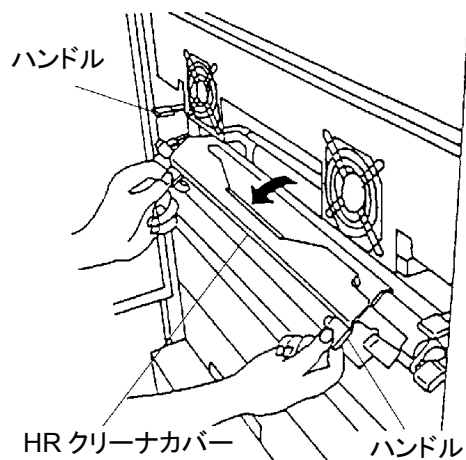
\*1: 維持保守契約を結んでいない場合は、作業費は有償となります。

OG	B	00	
----	---	----	--

## 6.2.7 HR クリーナクミの交換

HR クリーナクミの交換は、以下の手順に従ってください。

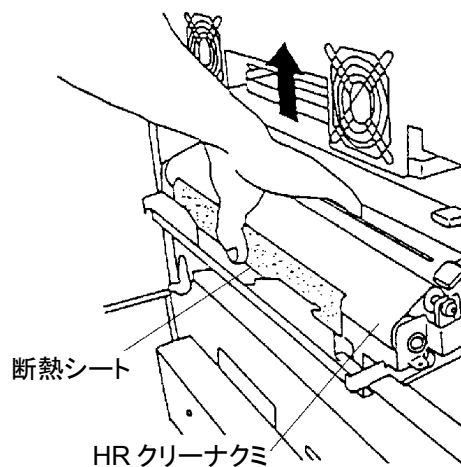
1. プリンタの電源を切ってください。
2. リアカバーを開けてください。
3. HRクリーナカバーのハンドルを両手でつかみ、前方に押しながら押し下げて、HRクリーナカバーを開けてください。



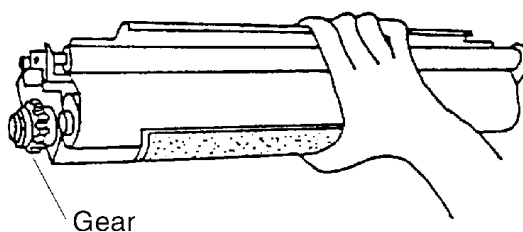
**注意**

HR クリーナクミは高温になっている場合があります。断熱シート部以外には手を触れないよう注意してください。また、HR クリーナクミ周辺、特にヒートロールは、非常に高温になっています。手を触れないよう注意してください。

4. HRクリーナクミを上引き出して外してください。



5. 新しいHRクリーナクミを、ギアの付いている方を左側にして、HRクリーナカバー上に取り付けてください。



OG	B	00	
----	---	----	--

6. HRクリーナクミを取り付けた状態で、HRクリーナカバーを閉めてください。
7. きちんとロックしたことを確認して下さい。
8. リアカバーを閉じてください。
9. OCPで以下の順に選択し、HRクリーナクミの使用値カウンタをリセットしてください: 環境設定アイコン→「消耗品」→「ヒートロールクリーナ」→「■」。

(2.5.3「消耗品」サブメニューの使い方参照)

---

**留意点:**

OCPに「HRクリーナクミの寿命」が表示されたとき、OCPのチェックリセットキー(▶)に触れることによって最大10,000ページの印刷を継続できます。しかし、印刷品質に影響が出る場合がありますので、HRクリーナクミはできるだけ早めに交換してください。

---

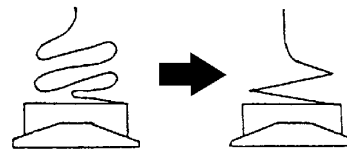
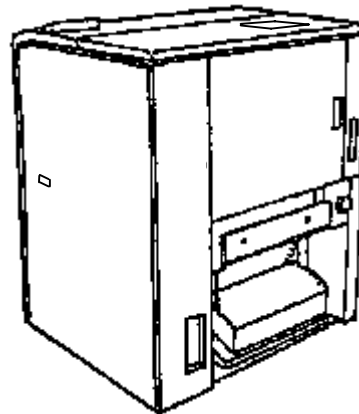
OG	B	00	
----	---	----	--

## 6.3 用紙ジャムの修復

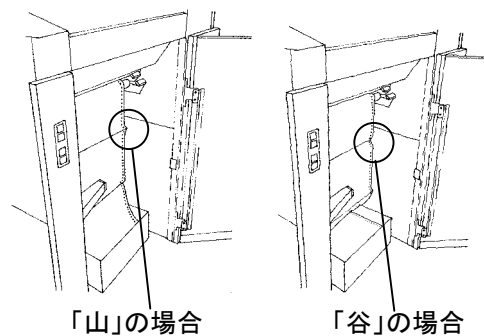
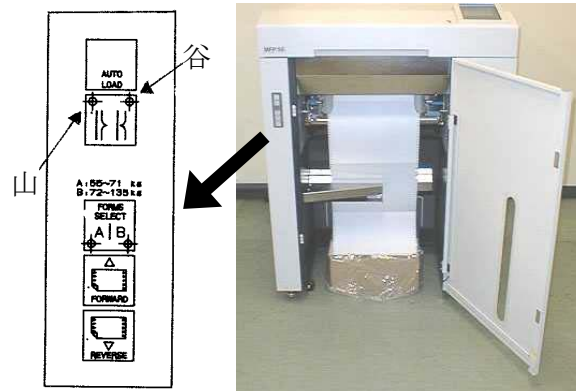
### 6.3.1 スタッカ部での用紙ジャムの修復

スタッカ部にジャムが発生した場合、以下の手順に従ってジャムを修復してください。

1. STパネルのDOWNスイッチを押して、スタッカテーブルを下げてください。
2. スタッカ内の用紙をミシン目に沿って折り直してください。



3. フロントカバーを開けてください。
4. 搬送ユニットから出ている用紙の最初ミシン目が「山」か「谷」かを判別してください。
5. PFパネルの「FORMS SET」スイッチを押して、用紙のミシン目の方向を入力してください。（「FORMS SET」スイッチのランプ表示を、用紙のミシン目方向と合わせてください。）



OG	B	00	
----	---	----	--

### 6.3.2 スタッカ部以外での用紙ジャムの修復

トラクタ部や定着部など、スタッカ部以外にジャムが発生した場合は、以下の手順に従ってジャムを修復してください。

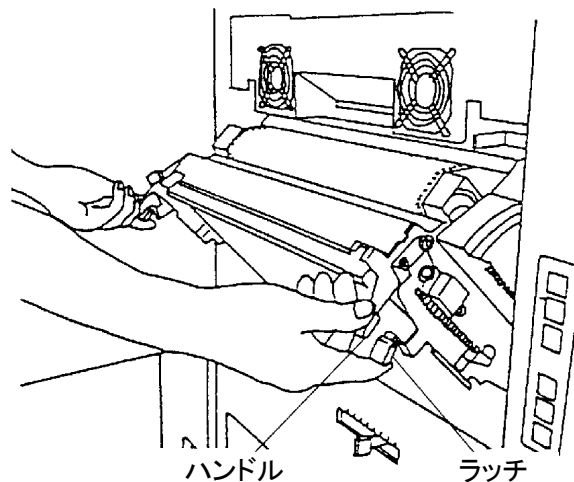
1. ST パネルの「DOWN」スイッチを押して、スタッカテーブルを下げてください。
2. スタッカ内の用紙をミシン目に沿って切り離してください。
3. フロントカバーを開けてください。
4. 用紙をミシン目に沿って切り離してください。
5. 搬送ユニットを開けてください。
6. トラクタカバーを開けてください。
7. プリンタ内の用紙をホopp側から引っ張り、取り除いてください。

---

#### 留意点:

- 未定着の印刷ページを取り扱うとき、トナーで衣服を汚さぬようご注意ください。
  - 手や衣服に付着したトナーは冷水と石鹼で洗ってください。
- 

8. リアカバーを開けてください。
9. 定着フレームの左右のラッチを解除し、両手で定着フレームのハンドルを持ちながら、定着フレームを開いてください。



10. 定着ユニット前後に詰まっている用紙を引っ張って取り除いてください。



**定着ユニットは高温になっています。ハンドルや断熱シート部以外には手を触れないよう注意してください。**

OG	B	00	
----	---	----	--

11. 両手で定着フレームのハンドルを持ちながら、定着フレームを閉めてください。
12. きちんとロックされたことを確認してください。  
(6.2.6 定着ユニットの交換 (1)、(2) 参照)

---

**留意点:**

**ロックが正確にかかっていないと、用紙ジャムを発生させる原因となることがあります。**

---

13. リアカバーを閉じてください。
14. 用紙をスタッカ側から引っ張り、取り除いてください。
15. 3.6.2 項「用紙の取り付け」に従って、用紙を取り付けてください。

OG	B	00	
----	---	----	--



## 6.4 印刷品質のチェック

トラブルを防ぐため、印刷品質を定期的にチェックしてください。印刷前(始業時)のチェックは毎日、印刷品質を特に重視する印刷ジョブの実行前のチェックは随時、必要になります。

- ・ 毎日の印刷開始前（始業時）
- ・ 用紙ジャム／各種トラブル発生時
- ・ 大量印刷時
- ・ 特に印刷品質を重視する業務の時

印刷品質のチェック手順を以下に示します。

1. 3.6.2 項「用紙の取り付け」に従って、用紙を取り付けてください。
2. 2.4.3 項「テスト印刷」サブメニューの使い方に従いテストパターンを印刷後、印刷結果をチェックして“白点”、“黒点(OPCドラムキズ)”等の異常が無いことを確認してください。  
また、実ジョブの印刷品質についてもサンプリング確認をお願いします（位置ズレ、汚れ、他印刷異常）

---

**留意点:**

**ミシン目から1/3インチ以内と用紙端部から1/2インチ以内は、印刷品質を保証できません。**

---

OG	B	01	
----	---	----	--

## 6.5 プリンタの清掃

トラブルを防ぐため、プリンタを定期的に清掃してください。項目と周期を下表に示します。

項目	周期	手順参照先
用紙ホッパ	毎日(始業時)	6.5.1
用紙スタッカ	毎日(始業時)	6.5.2
チャージャユニット	毎日(始業時)	6.5.3
転写器	毎日(始業時)	6.5.4
トナーホッパ周辺	トナー補給時	6.5.5
トナーバッグ周辺	トナーバッグ交換時	6.5.6



**警告**

作業上電源を投入する必要のない場合には、作業前に必ず電源を切断してください。回転部、通電部などへ手などが触れた場合や、工具等を装置へ落とした場合の安全を確保するためです。



**注意**

トナーと現像剤の清掃には、トナー専用真空掃除機を使用してください。

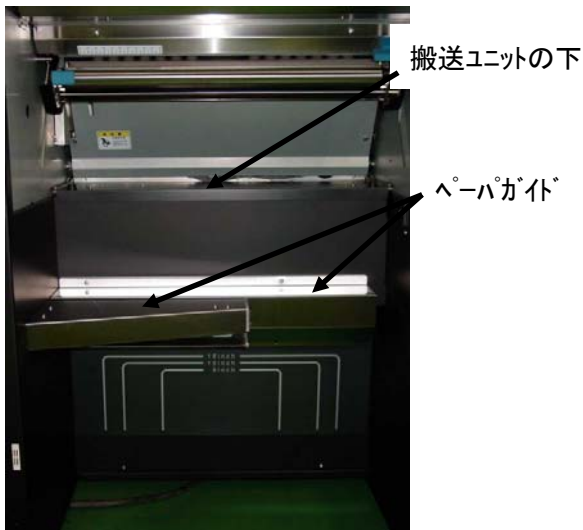
OG	B	00	
----	---	----	--

### 6.5.1 用紙ホッパの清掃

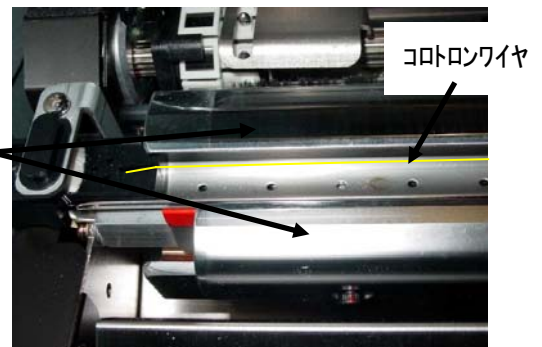
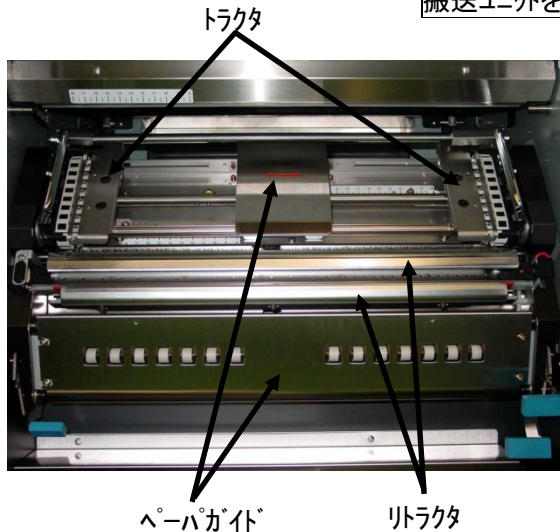
用紙ホッパの清掃は、以下の手順に従ってください。

1. フロントカバーを開けてください。
2. 用紙が搬送ユニットに取り付けてある場合は、搬送ユニットから用紙を取り外して、用紙箱を用紙ホッパから取り出してください。
3. プリンタの電源を切ってください。
4. 用紙ホッパ部周囲、ペーパーガイド、搬送ユニットの下、搬送ユニット内のトラクタ、ペーパーガイド、及びリトラクタに堆積している紙粉あるいはトナーをトナー専用掃除機で吸い取ってください。（清掃箇所は下図矢印の箇所を参照下さい。）
5. フロントカバーを閉めてください。

フロントカバーを開いた状態



搬送ユニットを開いた状態



#### 留意点:

リトラクタ部を清掃する時には、コロナワイヤに触らない様にご注意ください。

OG	B	00	
----	---	----	--

## 6.5.2 用紙スタッカの清掃

用紙スタッカの清掃は、以下の手順に従ってください。

1. スタッカテーブル上に用紙がある場合は、用紙を取り出してください。
2. STパネルのDOWNスイッチを押し、スタッカテーブルを最下部まで下げてください。
3. プリンタの電源を切ってください。
4. スタッカテーブル上の紙粉などを掃除機で吸い取ってください。
5. トナーなどがこびりついている場合は、少量の水を含ませた布で拭き取ってください。
6. プリンタの電源を入れてください。
7. STパネルのUPスイッチを押し、スタッカテーブルを最上部まで上げてください。
8. プリンタの電源を切ってください。
9. スタッカテーブル下部の紙粉などを掃除機で吸い取ってください。

スタッカテーブルを下げた状態



スタッカテーブル

スタッカテーブルを上げた状態



スタッカテーブル下部

OG	B	00	
----	---	----	--

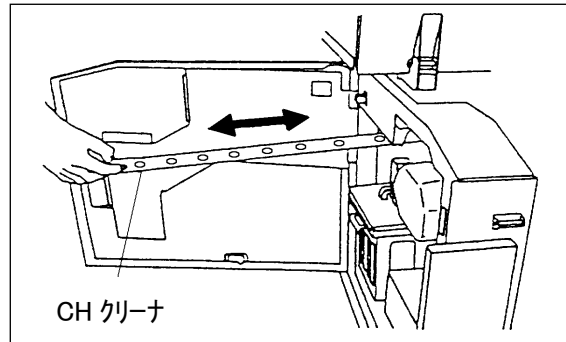
### 6.5.3 チャージャユニットの清掃

チャージャユニットの清掃は、以下の手順に従ってください。

1. サイドカバーを開けてください。
2. CHクリーナを図の矢印方向に2、3回往復させてください。
3. CHクリーナを止まるまで押し込んでください。
4. サイドカバーを閉めてください。



CHクリーナ



CHクリーナ



注意

CHクリーナは止まる位置(下図定常位置； 銘板が隠れる位置)まで押しこんで下さい。途中で止めると、印刷不良などの障害が発生する場合があります。

CHクリーナ定常位置



CHクリーナ位置ずれ



銘板

---

#### 留意点:

チャージャユニットの清掃を実施した後は、6. 4項「印刷品質のチェック」に従い、印刷品質のチェックを行ってください。

---

OG

B

01

## 6.5.4 転写器の清掃

転写器の清掃は、以下の手順に従ってください。

1. サイドカバーを開けてください。
2. 転写器を図の矢印方向に2、3回往復させてください。

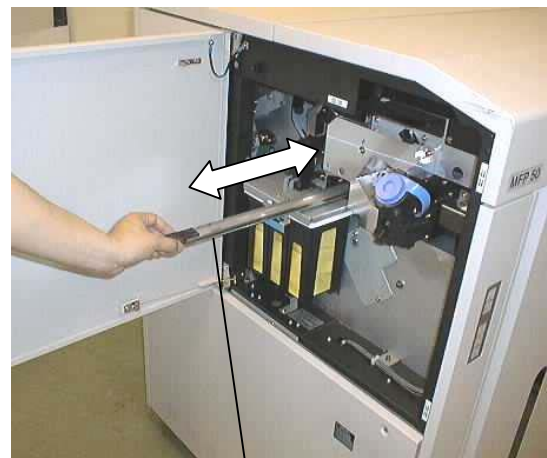
---

### 留意点:

上記のステップ2は搬送ユニットを閉めたまま行ってください。開けた状態では転写器が引き出せません。

---

3. 転写器を止まるまで押し込んでください。
4. サイドカバーを閉めてください。



転写器



**注意**

転写器は止まるまで押しこんで下さい。途中で止めると搬送ユニットの開閉ができなかったり、印刷不良などの障害が発生する場合があります。

---

### 留意点:

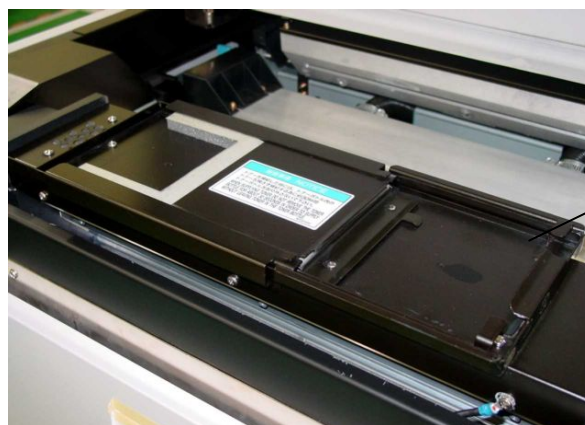
転写器の清掃を実施した後は、6.4項「印刷品質のチェック」に従い、印刷品質のチェックを行ってください。

---

## 6.5.5 トナーホッパ周辺の清掃

トナーホッパ周辺の清掃は、以下の手順に従ってください。

1. トップカバーを開けてください。
2. トナーホッパ周辺に付着しているトナーをトナー専用掃除機で吸い取ってください。
3. トナーがこびりついている場合は、少量の水を含ませた布で拭き取ってください。
4. トップカバーを閉めてください。



トナーホッパ

OG	B	00	
----	---	----	--



## 6.5.6 トナーバッグ周辺の清掃

トナーバッグ周辺の清掃は、以下の手順に従ってください。

1. サイドカバーを開けてください。
2. トナーバッグ周辺に付着しているトナーをトナー専用掃除機で吸い取ってください。  
(清掃箇所は下図矢印の箇所を参照下さい。)
3. トナーがこびりついている場合は、少量の水を含ませた布で拭き取ってください。
4. サイドカバーを閉めてください。



OG	B	00	
----	---	----	--

## 6.6 消耗品の取り扱いと保管

### 6.6.1 印刷用紙

用紙を購入する際は、以下の点にご注意ください。

- 用紙購入の際、送り穴およびファイル用バインダ穴などの抜きかすが残っていないよう、用紙メーカーに注意を促してください。抜きかすが残っていると、印刷時に抜きかすがドラムと用紙との間に入り、脱字の原因となることがあります。
- 用紙にしわや折りたたみ部以外の折目が見つからないよう、用紙メーカーに注意を促してください。保管時や取扱い時にもしわや折目がつきますと、その近辺の文字が転写されずにデータの脱落や脱字の原因となります。
- 用紙購入の際、用紙の破れがないよう、用紙メーカーに注意を促してください。途中で用紙の破れがあると、用紙のジャム、データの脱落、脱字の原因となります。最終ページに用紙の破れがあると、エンドオブフォームズの検出が不完全となり、障害になります。
- 用紙は極力ポリエチレンシートで梱包してダンボール箱に入れるよう、用紙メーカーにご指定願います。流通経路での環境変化による吸湿を防止するためです。なお、ポリエチレンシートが使用できない場合は、防湿ダンボールをご指定ください。

---

#### 留意点:

塩化ビニール系のシートは可塑剤を含むため、使用しないでください。

---

用紙を保管する際は、下記の条件で保管することをお勧めします。用紙は環境により影響を受けませんが、特に湿度条件は印刷プロセスに大きく作用します。

- 保管環境：温度 10～30℃、湿度 30～70%
- 保管場所と使用場所で温湿度差が大きい場合、使用する 2～3 日前に使用場所に移動して、環境に順応させてください。差があまりない場合も、1 日前には使用場所に移動してください。
- 梱包された用紙は、直射日光の照射する場所など温度と湿度の変化の多い場所は避けてください。また、空調機の風の当たる場所も避けてください。
- 3～6 ヶ月以上を越える用紙の長期保管は極力避けてください。
- 使い残しの用紙を保管する場合も、必ずポリエチレンシートで包装し、上ふたをしてください。温湿度変化の繰返しによって生じる用紙凹凸の蓄積を防止するためです。

用紙の保管形態は、以下の通りとしてください。

- 用紙はプリンタで使用する直前まで輸送されてきた箱のままの状態でご保管してください。
- 用紙は直接床の上に置かないで、パレットなどの上に置いてください。
- 用紙を高く積み重ねるとしわの原因となりますので、積み重ね高さは下記を守ってください。
  - 55 kg紙 2,000 シート／箱の場合：最大 5 箱まで
  - 70～135 kg紙 1,000 シート／箱の場合：最大 5 箱まで
  - 上記より 1 箱当りのシート数が多い場合：最高 3 箱まで

本プリンタで印刷した用紙は、表面も裏面も、電子写真式プリンタおよびインパクトプリンタで再利用できません。またインパクトプリンタで印刷した用紙の本プリンタでの再利用もできません。

OG	B	00	
----	---	----	--



## 6.6.2 トナーと現像剤

トナーと現像剤は、直射日光の当たらない空調された場所で保管してください。40°C以上になりま  
すと変質する恐れがあります。下記の保管環境を守ってください。

- 温度：5～40°C
- 湿度：5～80%、結露させないこと

トナーと現像剤はご使用になるまで開封せず、直接外気に触れないように保管してください。直接  
外気に触れたまま保管しますと、トナーの固まりや錆が発生し、データの脱落や脱字の原因となり  
ます。

本プリンタ用のトナーと現像剤は、他の電子写真式プリンタ用のものと成分が異なります。誤って他  
のものを使用しますと印刷品質の低下ばかりでなく故障の原因ともなります。従って、指定品以外  
は絶対に使用しないでください。指定品は青色のラベルに以下の表示があります。ご使用前には  
必ず確認してください。

- トナー：HT-4558-80/80R/120 プリンタ用トナー
- 現像剤：HT-4558-80/80R/120/120A/150A プリンタ用現像剤

トナーと現像剤は長期間保存すると印刷品質の低下等を招く可能性があるため、先に購入したも  
のから使用してください。長期間保存する場合は、なるべく低い温度(推奨 30°C 以下)で保存し、  
保存期間は1年以内を目安としてください。

危険ですので、トナーや現像剤が入った使用済み容器を絶対に火中に投げ込まないでください。

使用済みのトナーや現像剤は、法令や条例に従って、産業廃棄物としてお客様にて処理処分を  
お願いします。トナーと現像剤を含む、本プリンタの消耗品の産業廃棄物区分を下に示します。

名称	種類 (コード)	形状	重金属等
トナーボトル	廃プラスチック (0610)	固形	なし
トナー	廃プラスチック (0610) 金属屑 (1200) 紙屑 (0700)	固形	なし
現像剤ボトル	廃プラスチック (0610)	固形	なし
現像剤	廃プラスチック (0610) 金属屑 (1200)	固形	なし
OPCドラム	廃プラスチック (0610) 金属屑 (1200)	固形	なし
ドラムクリーナユニット	廃プラスチック (0610) 金属屑 (1200) 繊維屑 (0900)	固形	なし
定着ユニット	廃プラスチック (0610) 金属屑 (1200)	固形	なし
HRクリーナユニット	廃プラスチック (0610) 金属屑 (1200)	固形	なし

OG	B	00	
----	---	----	--

**BLANK**

OG	B	00	
----	---	----	--

# 第 7 章

## トラブルシューティング

---

### 7.1 この章の内容

この章では、以下の事項について説明します。

- ガイドライン・フローチャート
- 基本的な問題解決のヒント
- 一般的な印刷時の問題
- 印刷品質の問題
- 使用上の留意事項
- ネットワークの問題
- エラーリカバリ印刷
- OCP に表示されるメッセージ

---

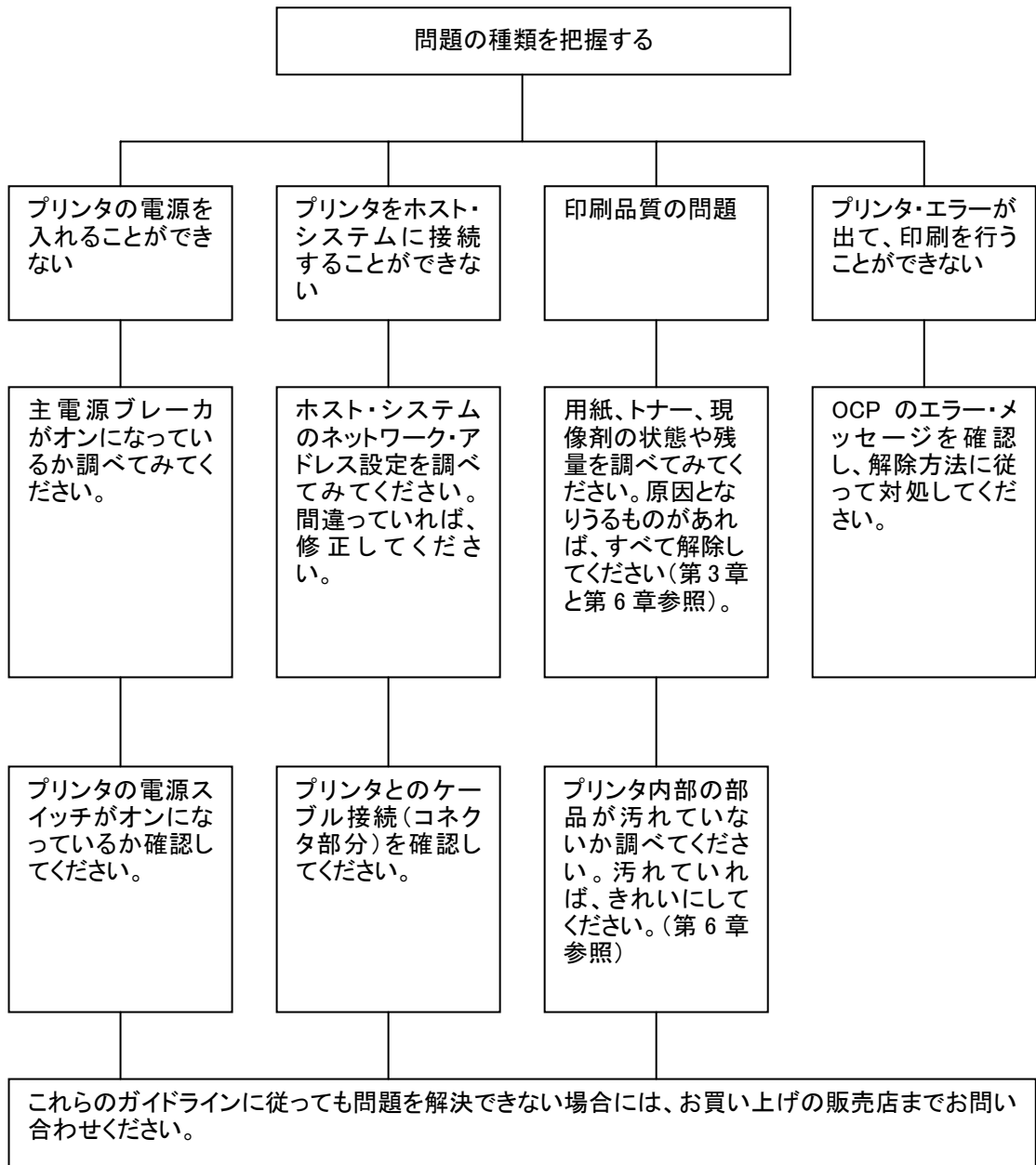
#### 留意点:

以下では、いろいろな問題を解決する際のガイドラインを紹介します。なかなか問題を解決できないときには、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

---

OG	B	00	
----	---	----	--

## 7.2 ガイドライン・フローチャート



OG	B	00	
----	---	----	--

### 7.3 基本的な問題解決のヒント

以下には、問題を解決するための確認事項をいくつか紹介します。問題を特定する際には、まずこのリストをヒントにしてください。

- 電源およびプリンタに接続されるすべてのケーブルを確認してください。
- プリンタの OCP に表示されるメッセージを確認してください。
- 可能なら、レポート印刷メニューのステータス・ページを印刷して、各種設定値が現在のプリンタの動作環境に一致しているかどうか確認してください。
- プリンタの現在のステータスを確認してください。
  - 現在のステータスは OCP に表示されます。
  - プリンタが印刷を実行中の場合は、このステータス・メッセージには、その印刷処理に関する情報が示されます。
  - ステータス・メッセージにその印刷処理の情報が示されない場合は、その印刷処理の前に別のユーザのジョブの印刷を行っているか、あるいはその印刷はすでに終了していることが考えられます。
  - ジョブが印刷を待機しているときには、印刷キューのリストにそのジョブが表示されます。

0G	B	00	
----	---	----	--

## 7.4 一般的な印刷時の問題

問題	対処方法
スタッカ部で用紙ジャムが発生する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用紙ミシン目の「山」「谷」が設定と合っているか確認してください。</li> <li>・実際用の紙長と OCP の用紙長の指定が合っているか確認してください。</li> </ul>
定着ユニットで用紙ジャムまたはスキューが発生する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定着ユニットが正しくセットされているか確認してください。</li> <li>・スキューセンサを清掃してください。</li> <li>・トラクタに対する用紙の張りを確認してください。</li> <li>・用紙ミシン目の「山」「谷」を正しく調整してください。</li> <li>・仕様に合った印刷用紙を使ってください。</li> </ul>
印刷開始位置がずれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用紙ミシン目の「山」「谷」を正しく調整してください。</li> <li>・実際用の紙長と OCP の用紙長の指定が合っているか確認してください。</li> </ul>
ステータス・ページが印刷されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OCP に診断プログラムまたはエラー・メッセージが表示されている場合には、表示内容に従い修復処置を講じてください。</li> <li>・OCP にまったく何も表示されない場合には、電源を切り、プリンタを再起動してください。OCP のステータス表示がオンラインになったら、レポート・メニューのステータス・ページを印刷してみてください。それでもステータス・ページが印刷されない場合、お買い上げの販売店にお問い合わせください。</li> </ul>
印刷オプションで設定したとおりに印刷が行われない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の設定をした時に、その設定値を上書きしなかったか確認してください。</li> <li>・印刷のオプションや設定値については、第2章を参照してください。</li> </ul>

## 7.5 印刷品質の問題

問題	対処方法
きれいな印刷結果が得られない	出力結果にトナーの縞が入っている場合は、第6章に従ってプリンタを清掃してください。

OG	B	00	
----	---	----	--

## 7.6 使用上の留意事項

本プリンタを使用する上での留意点を以下に示します。

- 丁合指示：アプリケーションソフトの丁合を無効、プリンタドライバの丁合を有効にしてください。
- レポート印刷とテスト印刷：ジョブの印刷中に OCP メニューからレポート印刷、テスト印刷を選択した場合、印刷中のジョブの終了時に、前に選択したレポート印刷、テスト印刷が出力されます。
- 印刷速度低下：1部印刷または複数部数印刷の1部目印刷中に用紙切れ、用紙ジャムなどのエンジンエラーが発生した場合、エラー要因のクリア後のリカバリ印刷において、一時的に印刷速度が低下する場合があります。
- Web でのページ長設定：100 行以上の設定をした場合、用紙長 4 インチ以下または用紙幅 8.5 インチ以下（2-UP 印刷時）において、設定値より 1 行または 2 行余分に印刷されることがあります。
- パラレル I/F でのジョブキャンセル：パラレル I/F を使用する場合、ジョブを連続して送信し、OCP からジョブをキャンセルすると、後続のジョブもキャンセルされる場合があります。
- プリンタを安定してお使いいただくため、定期的な電源の OFF/ON をお願い致します。（3 ヶ月に 1 度程度）
- オフライン画面にリピーモードボタンが表示されない場合は、保守員にご連絡ください。

0G	B	00	
----	---	----	--

## 7.7 ネットワークの問題

### 7.7.1 TCP/IP プロトコルで発生する問題

1. pingを使用してプリンタから応答がない。

原因調査：

- (1) ネットワークプリンタの電源はON になっていますか。
- (2) Ethernet ケーブルが正しく接続されていますか。
- (3) ネットワークプリンタのIP アドレスは設定されていますか。
- (4) ホスト側とプリンタ側のIP アドレスのクラスが合っていますか。
- (5) ホスト側とプリンタ側のサブネットマスクの設定が合っていますか。
- (6) ネットワーク接続されているプリンタとホストとの間にGateway またはRouter が存在しますか。

対処方法：

- (1) ネットワークプリンタの電源をON にしてください。
- (2) Ethernet ケーブルを正しく接続してください。
- (3) ホスト側とプリンタ側のIP アドレスのクラスを合わせてください。
- (4) ホスト側とプリンタ側のIP アドレスのクラスを合わせてください。
- (5) サブネットマスクを合わせてください
- (6) プリンタにデフォルトゲートウェイの設定を行ってください。

2. TIME LIMIT EXPIRED と表示される。

原因調査：

- (1) 実在しないIP アドレスを指定していませんか。

対処方法：

- (1) プリンタ側のIP アドレスをもう一度確認してください。

3. NODE name NOT KNOWN またはxxx :Unknown host と表示される。

原因調査：

- (1) サーバに、ノード名とIP アドレスを対応づけて登録していますか。

対処方法：

- (1) サーバのノードテーブル(hosts ファイル)に、ノード名とIP アドレスを登録してください。

4. 印刷が行われない

(“オンライン”表示のままデータを受け付けなくなる。または、エラー印刷を有効に設定した場合、timeout のエラーを印刷することがある。)

原因調査：

- (1) pingでプリンタから応答がありますか。
- (2) printcap ファイルは正しく設定されていますか。(UNIXの場合)
- (3) Windows 2000/XP/Server 2003/Vista/Server2008/7を使用し{LPRバイトカウントを有効にする}をOFFにしていませんか。
- (4) 2GByteを超えるデータを転送していませんか。

対処方法：

- (1) pingで応答がない場合、この項目の“pingを使用してプリンタから応答がない”を参照してください。
- (2) 正しく設定されているか確認してください。
- (3) 使用するプリンタのネットワークI/Fにより、Windowsの{LPRバイトカウントを有効にする}が正しく設定されているか確認してください。
- (4) ファイルを分割し、2GByte以下のデータとして転送してください。

0G	B	00	
----	---	----	--



## 7.7.2 ネットワークとの接続における共通問題

原因調査：

- (1) Ethernet ケーブルに断線等の異常はないですか。
- (2) ホストのインターフェースは正常に動作していますか。
- (3) プリンタ自身に問題はないですか。
- (4) プリンタのネットワークボードを交換していませんか。
- (5) ネットワークケーブルが接続されていますか。

対処方法：

- (1) Ethernet ケーブルを交換してください。
- (2) 異なるホストを使用して印刷してください。
- (3) プリンタのテスト印刷を実行し、プリンタ自身に問題ないことを確認してください。
- (4) ネットワークボードには、それぞれ固有のEthernet アドレスが決められており、ボード交換時にはEthernet アドレスが変わります。ホストのEthernet アドレスを設定するファイルの変更を行ってください。また交換した場合、論理プリンタ は工場出荷時に設定されているものだけですので、今まで追加した論理プリンタ は、もう一度登録しなおしてください。
- (5) プリンタにネットワークケーブルを接続し、ケーブルのもう一端を電源の入ったネットワーク機器（HUB等）に接続してプリンタの電源を入れてください。

0G	B	00	
----	---	----	--

## 7.8 エラーリカバリ印刷

本プリンタは、エラーリカバリ機能をサポートしております。

エラーリカバリ印刷とは、用紙ジャムなどでプリンタが停止した際にプリンタ内の未定着用紙や印刷データが保証出来ないページを次の印刷時に再印刷する機能です。

エラーリカバリ印刷機能は OCP の「プリンタ設定／オプション／ジャムリカバリ」で「ユウコウ」/「ムコウ」を切替えることが出来ます。

### (1)ジャムリカバリが「ユウコウ」の場合

印刷データの保証出来ないエラーが発生した場合、次の印刷時に印刷データの保証されないデータをさかのぼって再印刷されます。そのため、印刷データを再送する必要はありません。エラーリカバリ印刷機能では、用紙長51インチ分相当の印刷ページをリカバリします。<sup>\*1</sup>

目安として15×11インチの用紙をご使用の場合、5枚分リカバリ印刷します。

\*1: OCP に「エラーを全て解除した後オンラインにするとリカバリ印刷を行います」が表示されます。

#### <オペレータ操作手順>

① OCP に表示されているエラーを 7.9 節にしたがい、修復してください。

② 用紙のミシン目位置を確認してください。

用紙ミシン目位置がずれている場合は、用紙ミシン目を合わせるか、用紙の再装填を行ってください。

③ オンラインにしてください。

(このとき、リカバリ印刷が行われます)

④ 印刷結果に問題が無いか確認してください。

リカバリ印刷したページが重複している可能性がありますので、印刷結果をよく確認してください。

### (2)ジャムリカバリが「ムコウ」の場合

リカバリ印刷を行いませんのでエラー解除後、印刷データの再送が必要となります。エラーが発生したことにより、スタック後の印刷データが抜けますので、ご注意願います。尚、必要に応じてデータの削除を行ってください。

#### <オペレータ操作手順>

① OCP に表示されているエラーを 7.9 節にしたがい、修復してください。

② 用紙のミシン目位置を確認してください。

用紙ミシン目位置がずれている場合は、用紙ミシン目を合わせるか、用紙の再装填を行ってください。

③ オンラインにして、印刷を再開してください。

OG	B	00	
----	---	----	--


## 7.9 OCP に表示されるメッセージ

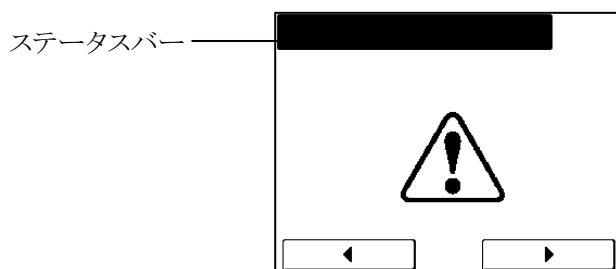
OCP 上には1, 2行のメッセージでプリンタの状態が表示されます。以下の表では、それぞれのメッセージについて説明するとともに、対応方法について示してあります。なお、OCP の表示が英語になっていた場合、以下を順に選択すると日本語の表示に切り替わります。



環境設定アイコン→「Language」→「日本語」

プリンタにてエラーが発生した場合、OCPに以下の画面が表示されます。また、オプションのアテンションライトを装填している場合はアテンションライトが点灯します。復帰(チェックリセット)は、以下の手順に従ってください。

ただし、オフライン/ポーズ画面でプリンタにエラーが発生した場合、下記エラー画面は表示されな  
いで、ステータスバーにエラーの内容のみが表示されます。

その場合は、オフライン/ポーズ画面で「」ボタンを押した後、下記エラー画面でエラーの解除を行ってください。



ボタン	名称	内容
	前の画面	エラーから復帰しないで前の画面へ遷移します。
	オンライン/ 復帰(チェックリセット)	エラーから復帰してオンライン画面へ遷移します。 ただしエラーが解除できない場合は、再度エラー画面を表示 します。

(1)ステータスバーに表示されているメッセージにしたがってください。次ページ以降に各エラーコード毎の修復手順を記載しています。

(2)用紙ジャムなどのエラーを修復後、「」ボタンを押してください。

メッセージ	内容	対応方法
オンライン	オンライン状態	-
オフライン/ポーズ	オフライン状態	オンラインキー(▶)に触れてください。
インサツチュウ:x/x	印刷ジョブのコピー数	印刷が終了するまで待ってください。
インサツチュウ	印刷中	“オンライン”表示になるまで待ってください。
ショリチュウ	印刷ジョブの処理中	処理が終了するまで待ってください。

OG	B	00	
----	---	----	--

メッセージ	内容	対応方法
ツギノ データ待ち	印刷データ待ち、巨大なジョブの処理中	“オンライン”表示になるまで待ってください。
NPRO	NPRO の実行中	NPRO が終了するまで待ってください
ウォーミングアップチュウ	定着機のウォーミングアップ中	“オンライン”表示になるまで待ってください。
トナーがスクナクナッテマス	トナーが残り少ない	トナーを補給してください
ネットワーク ロードチュウ	ネットワークI/Fの起動中	“オンライン”表示になるまで待ってください。
アタシハパスワードヲ ニュウリョクシテタサイ	パスワードの変更時に表示	パスワードはシステム管理者か保守員のみ変更します。
カクニンノタメ サイト ニュウリョクシテタサイ	パスワードの変更時に表示	パスワードはシステム管理者か保守員のみ変更します。
パスワードヲ ニュウリョクシテタサイ	システムメニューに入るときに表示	システムメニューはシステム管理者のみ使用します。
パスワードヲ ニュウリョクシテタサイ	保守メニューに入るときに表示	保守メニューは保守員のみ使用します。
アタイガ チガイマス	入力値が間違っている	正しい値を入力してください。
パスワードガ チガイマス	パスワードが間違っている	正しい値を入力してください。
ネットワーク ロード エラー	ネットワークI/Fの起動エラー	ネットワークケーブルを確認してください。
ヨウシサイズガ マチカッテマス セットシテタサイ XX.X x XX.X	用紙サイズの不一致が発生	指定した用紙をセットしてください。
PS サイズシテイガ マチカッテマス ジョブヲ キャンセルシテタサイ	ジョブで指定した用紙サイズが最大用紙サイズを超えている	ジョブの用紙サイズ指定を確認してください
ナイブエラー TIFF/CCITT メモリブツク	TIFF/CCITT イメージ印刷時のメモリ不足	プリンタの電源を OFF/ON してください。
Insufficient disk space One Copy Job	ハードディスクの容量不足のため1部印刷となります	注1
ヒータオフモード	ヒータオフモード中です	注2
スリープモード	スリープモード中です	注2
タイムサーバー-xxx.xxx.xxx	タイムサーバーから時刻を取得しています	—
タイムサーバーガ ミツカリマセン	タイムサーバーが見つかりませんでした	タイムサーバーの設定を確認してください(5.5.4 節参照)
ジトウバックアップ	自動バックアップ中です (自動バックアップ設定時刻およびプリンタ電源投入時)	—
AppleTalk シュジンチュウ	AppleTalk による印刷データの受信中です	“オンライン”表示になるまで待ってください。

注1: 複数部数印刷(MOP)時の印刷枚数制限の目安は以下の通りです。ただし、実際の印刷環境によっては、下記印刷ページ数が変わる場合があります。

用紙サイズ	印刷ページ
6.5×7 インチ	1500
15×11 インチ	1500
18×14 インチ	1500

注2: ヒータオフモード、スリープモードの省電力モードは下記の条件で解除します。

- (1) オンライン時に印刷起動がかかったとき
- (2) OCPのキーを押したとき

OG	B	01	
----	---	----	--

メッセージ	内容	対応方法	リカバリ印刷
ヨウシカ アリマセン セットシテタサイ E001	用紙が無くなった	用紙をセットしてください。 3.6.2 項参照。	
スタッカ フル スタッカカラヨウシカトリダシテタサイ E004	スタッカテーブル上の用紙が 規定の最大量に達した	用紙を取り出してください。 3.6.4 項参照。	
トナーバッグ フル コウカンシテタサイ E005	トナーバッグが一杯になって いる	トナーバッグを交換してくだ さい。6.2.2 項参照。	
トナーカ アリマセン ホキウシテタサイ E006	トナーがない	トナーを補給してください。 6.2.1 項参照。	
ゲンゾウサイ ジュミョウ コウカンシテタサイ E007	現像剤の交換時期	現像剤を交換してください。 6.2.3 項参照。	
HR クリーナ ジュミョウ コウカンシテタサイ E009	HR クリーナの交換時期	HR クリーナを交換してくだ さい。6.2.7 項参照。	
テイチャクキ ジュミョウ コウカンシテタサイ E00A	定着剤の交換時期	定着剤を交換してください。 6.2.6 項参照。	
OPCドラム ジュミョウ コウカンシテタサイ E00B	OPCドラムの交換時期	OPCドラムを交換してくだ さい。6.2.5 項参照。	
クリーナユニット ジュミョウ コウカンシテタサイ E00C	クリーナユニットの交換時期	クリーナを交換してください。 6.2.4 項参照。	
チャージャユニット ジュミョウ コウカンシテタサイ E00D	チャージャユニットの交換時 期	チャージャユニットを交換して ください。6.7 節参照。	
トナーバッグがセットサレテイマセン トナーバッグヲセトシテタサイ E00E	トナーバッグが適切にセット されていない	トナーバッグを適切にセットし てください。6.2.2 項参照。	
ハンソウユニットがアイテimas トジテタサイ E010	搬送ユニットが開いている	搬送ユニットを閉じてください。 3.6.2 項参照。	○
ゲンゾウサイボトルがセットサレテイマ スハシテタサイ E011	現像剤交換ボトルが排出側 (下側)にセットされている	現像剤交換ボトルを外してくだ さい。6.2.3 項参照。	
スイングフィン ミセツテイ ヨウシミンメヲ カクニンシテタサイ E012	スイングフィンが開始可能位 置にない	用紙停止位置を確認し、ずれて いる場合は 3.6.6 項を参照し用 紙を再セットしてください。	
テーブルカコウチュウ テーブルヲ テイシシテタサイ E013	スタッカテーブル降下スイ チが押された	テーブルを停止させる STOP ス イッチを押してください。	
スタッカ セーフテイ スタッカテーブルヲカクニンシテタサイ E015	スタッカセーフティスイッチが 動作した	スタッカテーブルをチェックして ください。1.6 節参照。	
リアカバー ガ アイテimas トジテタサイ E016	リアカバーが開いている	リアカバーを閉めてください。 1.5 節参照。	○
トップカバー ガ アイテimas トジテタサイ E017	トップカバーが開いている	トップカバーを閉めてください。 1.5 節参照。	○
サイドカバー ガ アイテimas トジテタサイ E018	サイドカバーが開いている	サイドカバーを閉めてください。 1.5 節参照。	
ヨウシドウソウテンチュウ オマチタサイ(サイダイ 3 プン) E019	自動装填動作中です	処置不要(自動的にリセット)。	

リカバリ印刷の項が「○」になっているエラーは、印刷中にエラーが発生した場合、エラーリカバリ印刷を行います。エラー修復・用紙を再装填(3.6 節参照)後、「▶」キーに触れてください。

OG	B	00	
----	---	----	--

メッセージ	内容	対応方法	リカバリ印刷
クリーナユニットがセットサレテイマセン クリーナユニットヲセットシテクダサイ E01A	クリーナが正しくセットされていない	クリーナを正しくセットしてください。6.2.4 項参照。	
HRクリーナがセットサレテイマセン HRクリーナヲセットシテクダサイ E01D	HR クリーナが正しくセットされていない	HR クリーナを正しくセットしてください。6.2.7 項参照。	
テイチャクユニットがセットサレテイマセン テイチャクユニットヲセットシテクダサイ E01E	定着ユニットが正しくセットされていない	定着ユニットを正しくセットしてください。6.2.6 項参照。	○
ゲンゾウサ`イコウカンチュウ オマチクダサイ E01F	現像剤交換中	完了までお待ちください。	
ヨウシ`キレ ヨウシジド`ウソウテンヲヤリナオシテクダサイ E020	自動装填中に用紙が無くなった	「▶」キーに触れてください。再度自動装填してください。	
ハンソウユニットがアイテイマス ヨウシジド`ウソウテンヲヤリナオシテクダサイ E021	自動装填中に搬送ユニットが開かれた	「▶」キーに触れてください。再度自動装填してください。	
スタッカ`セーフティ ヨウシジド`ウソウテンヲヤリナオシテクダサイ E022	自動装填中にスタッカセーフティスイッチが動作した	「▶」キーに触れてください。再度自動装填してください。	
リアカバー`ガ`アイテイマス ヨウシジド`ウソウテンヲヤリナオシテクダサイ E023	自動装填中にリアカバーが開かれた	「▶」キーに触れてください。再度自動装填してください。	
トップカバー`ガ`アイテイマス ヨウシジド`ウソウテンヲヤリナオシテクダサイ E024	自動装填中にトップカバーが開かれた	「▶」キーに触れてください。再度自動装填してください。	
テイチャクユニットがセットサレテイマセン ヨウシジド`ウソウテンヲヤリナオシテクダサイ E025	自動装填中に定着ユニットが外された	「▶」キーに触れてください。再度自動装填してください。	*1
オートロード`ジャム ヨウシジド`ウソウテンヲヤリナオシテクダサイ E026	自動装填中に搬送部で用紙ジャムが発生した	「▶」キーに触れてください。再度自動装填してください。	
オートロード`ジャム ヨウシジド`ウソウテンヲヤリナオシテクダサイ E027	自動装填中に定着部で用紙ジャムが発生した	「▶」キーに触れてください。再度自動装填してください。	
オートロード`ジャム ヨウシジド`ウソウテンヲヤリナオシテクダサイ E028	自動装填中にスタッカ部で用紙ジャムが発生した	「▶」キーに触れてください。再度自動装填してください。	
オートロード`センサオフ ヨウシヲ`トリノゾ`イテクダサイ E029	搬送部に用紙がある状態で自動装填を実行された	「▶」キーに触れてください。再度自動装填してください。	
スタッカ`ジャムオフ ヨウシヲ`トリノゾ`イテクダサイ E02A	スタッカ部に用紙がある状態で自動装填を実行された	「▶」キーに触れてください。再度自動装填してください。	
ゲンゾウキ`ハンドルセットエラー ゲンゾウキ`ハンドルヲカクニンシテクダサイ E02C	現像機ハンドルの位置が正しくない	現像機ハンドル位置を修正して下さい。6.2.3 項参照。	
ヨウシ`チョウミ`セツテイ ヨウシ`チョウノ`ブ`ヲカクニンシテクダサイ E02D	・スタッカの用紙長位置が不正 ・OCP から入力した用紙長とスタッカ部の用紙長ノブの設定が合っておりません	・スタッカの用紙長位置を修正してください。3.6.2 項参照。 ・OCP で入力した用紙長とスタッカ部の用紙長を合わせてください。2.4.1 項、3.6.2 項参照。	
ハンソウユニットがトジテイマス アケテクダサイ E02F	印刷位置確認動作中に搬送ユニットが閉じられている	搬送ユニットを開けてください。3.6.2 項参照。	
ヨウシ`ジャム`:`ハツファ`プレート`アカ`リスク ヨウシヲ`トリノゾ`イテクダサイ E077	印刷中または空送り中に用紙のたるみが発生し、ハツファ上限値を検出	3.6.2 項参照。	○
ヨウシ`ジャム`:`ハツファ`プレート`サカ`リスク ヨウシヲ`トリノゾ`イテクダサイ E078	印刷中または空送り中に用紙の張りすぎが発生し、ハツファ下限値を検出	3.6.2 項参照。	○

\*1:アテンションライトは点灯しません。

リカバリ印刷の項が「○」になっているエラーは、印刷中にエラーが発生した場合、エラーリカバリ印刷を行います。エラー修復・用紙を再装填(3.6 節参照)後、「▶」キーに触れてください。

OG	B	00	
----	---	----	--

メッセージ	内容	対応方法	リカバリ印刷
ヨウシヅヤム:ヨウススキュー ヨウシヲ トリノゾイテクダサイ E07D	駆動側にオーバスキュー発生	6.3 節参照。	○
ヨウシヅヤム:ヨウススキュー ヨウシヲ トリノゾイテクダサイ E07E	販駆動側側にオーバスキュー発生	6.3 節参照。	○
ヨウシヅヤム:ヒートロール ヨウシヲ トリノゾイテクダサイ E07F	ヒートロールで用紙ジャム発生	6.3 節参照。	○
ヨウシヅヤム:スタッカ ヨウシヲ トリノゾイテクダサイ E080	スタッカで用紙ジャム発生	6.3 節参照。	
トップカバー ガ アイテイマス ゲンゾウザイコウカンヨヤリナオシテクダサイ E0E8	現像剤交換中にトップカバーが開かれた	「▶」キーに触れてください。 再度現像剤を交換してください。	
クリーナユニットガセットサレテイマセン ゲンゾウザイコウカンヨヤリナオシテクダサイ E0E9	現像剤交換中にクリーナユニットが外された	「▶」キーに触れてください。 再度現像剤を交換してください。	
テイチャクユニットガセットサレテイマセン ゲンゾウザイコウカンヨヤリナオシテクダサイ E0EA	現像剤交換中に定着ユニットが外された	「▶」キーに触れてください。 再度現像剤を交換してください。	*1
ゲンゾウザイ コウカンエラー ゲンゾウザイコウカンヨヤリナオシテクダサイ E0EB	現像剤交換が出来なかった	「▶」キーに触れてください。 再度現像剤を交換してください。	
ゲンゾウザイ ガ ノコッテイマス テジュンヨカクニンシテクダサイ E0EC	現像剤排出前に投入された	「▶」キーに触れてください。 現像剤を排出してください。	
ゲンゾウザイ ホトル セットエラー タダシクセットシテクダサイ E0ED	現像剤ボトルの位置が正しくない	「▶」キーに触れてください。 ボトルを正しくセットし、再度現像剤を交換してください。	

\*1:アテンションライトは点灯しません。

リカバリ印刷の項が「○」になっているエラーは、印刷中にエラーが発生した場合、エラーリカバリ印刷を行います。エラー修復・用紙を再装填(3.6 節参照)後、「▶」キーに触れてください。

OG	B	00	
----	---	----	--

メッセージ	内容	対応方法	リカバリ印刷
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E030	ドラム回転異常	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E035	チャージャ/グリッドエラー	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E037	現像剤バイアス/シールド	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E038	プリクリーンコロナ異常	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E039	転写器電圧異常	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E03B	マグロール回転異常	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E03C	トナー濃度が異常に高くなった	「▶」キーに触れてください	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E03D	トナー濃度が異常に低くなった	「▶」キーに触れてください	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E041	オゾンブロワのアラームを検出	「▶」キーに触れてください	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E046	BD のタイムアウト	「▶」キーに触れてください	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E047	BD のエラー	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E048	ミラーモータのアラームを検出	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E04A	ミラーモータのタイムアウト	「▶」キーに触れてください	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E04C	OC 制御基板の異常	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E05B	コマンド不正	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E060	RAM データの異常	保守員に連絡してください	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E06A	CVD ENB 信号の異常	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E06B	CVD クロック信号の異常	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E06C	CVD 信号のパリティエラーを検出	「▶」キーに触れてください	○

\*1

\*1

\*1:アテンションライトは点灯しません。

「エラーカイジヨ マタハ デンゲンOFF/ON」エラー発生時は、印刷中のジョブは保証されません。

ただし、リカバリ印刷の項が「○」になっているエラーにおいては、「▶」キーに触れてエラーが解除できた場合は、エラーリカバリ印刷を行います。また、「▶」キーに触れてもエラーが解除できない場合は、いったんプリンタの電源を切り、再び電源を入れてください。それでもエラーが発生するようでしたら、保守員に連絡してください。

#### 留意点:

プリンタの電源を切る時は、1.8 節の指示に従ってください。

OG	B	00	
----	---	----	--



メッセージ	内容	対応方法	リカバリ印刷
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E06D	CHD 信号の異常	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E073	CPF 信号の異常	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E074	CPF 信号の異常	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E076	印刷中に EOF を検出したが CPF 信号を受信した	「▶」キーに触れてください	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E083	紙送りエラー1	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E084	紙送りエラー2	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E087	バッファ位置エラー	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E089	リトラクタ位置エラー(NPRO)	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E08A	リトラクタ位置エラー(印刷)	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E08B	リトラクタ初期位置エラー	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E08D	バッファモータドライバ異常	「▶」キーに触れてください	○ *1
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E097	BR オープン位置エラー	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E098	BR クローズ位置エラー	「▶」キーに触れてください	○
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E09F	ヒータランプ 1 断線	「▶」キーに触れてください	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0A0	ヒータランプ 2 断線	「▶」キーに触れてください	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0A1	ヒータランプ 3 断線	「▶」キーに触れてください	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0A2	ヒータランプ 1 異常高温	「▶」キーに触れてください	○ *1
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0A3	ヒータランプ 2 異常高温	「▶」キーに触れてください	○ *1
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0A4	ヒータランプ 3 異常高温	「▶」キーに触れてください	○ *1

\*1:アテンションライトは点灯しません。

「エラーカイジヨ マタハ デンゲンOFF/ON」エラー発生時は、印刷中のジョブは保証されません。

ただし、リカバリ印刷の項が「○」になっているエラーにおいては、「▶」キーに触れてエラーが解除できた場合は、エラーリカバリ印刷を行います。また、「▶」キーに触れてもエラーが解除できない場合は、いったんプリンタの電源を切り、再び電源を入れてください。それでもエラーが発生するようでしたら、保守員に連絡してください。

#### 留意点:

プリンタの電源を切る時は、1.8 節の指示に従ってください。

OG	B	00	
----	---	----	--

メッセージ	内容	対応方法	リカバリ印刷	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0A5	ヒータ・オンのタイムアウト	「▶」キーに触れてください		
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0A6	ヒータランプ 1 異常低温	「▶」キーに触れてください		
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0A7	ヒータランプ 2 異常低温	「▶」キーに触れてください		
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0A8	ヒータランプ 3 異常低温	「▶」キーに触れてください		
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0A9	スイングフィン位置エラー	「▶」キーに触れてください		
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0AE	テーブルのタイムアウト	「▶」キーに触れてください		
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0C8	LED イレイザー断線	「▶」キーに触れてください	○	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0CD	ファンアラーム 1	「▶」キーに触れてください	○	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0CE	ファンアラーム 2	「▶」キーに触れてください	○	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0D0	トナーレベルセンサのエラー	「▶」キーに触れてください		
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0D1	用紙長センサのエラー	「▶」キーに触れてください		
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0D2	用紙幅センサのエラー	「▶」キーに触れてください		
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0D4	スキューセンサのエラー	「▶」キーに触れてください		
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0E0	用紙送りドライバ異常	「▶」キーに触れてください	○	*1
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0E1	印刷ドライバ異常	「▶」キーに触れてください	○	*1
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0E2	定着器ドライバ異常	「▶」キーに触れてください	○	*1
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON E0E3	スタックドライバ異常	「▶」キーに触れてください	○	*1

\*1:アテンションライトは点灯しません。

「エラーカイジヨ マタハ デンゲンOFF/ON」エラー発生時は、印刷中のジョブは保証されません。

ただし、リカバリ印刷の項が「○」になっているエラーにおいては、「▶」キーに触れてエラーが解除できた場合は、エラーリカバリ印刷を行います。また、「▶」キーに触れてもエラーが解除できない場合は、いったんプリンタの電源を切り、再び電源を入れてください。それでもエラーが発生するようでしたら、保守員に連絡してください。

---

**留意点:**

プリンタの電源を切る時は、1.8 節の指示に従ってください。

---

OG	B	00	
----	---	----	--

メッセージ	内容	対応方法	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#02	Activate の時間切れを検出 (Activate コマンド送信から 99 秒)	「▶」キーに触れてください	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#03	DORMANT コマンドを送信した にもかかわらず DORMANT ビ ットがセットされない	「▶」キーに触れてください	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#0E	DHSYNC の時間切れを検出	「▶」キーに触れてください	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#16	イメージ・ロックの時間切れを検 出(60 秒)	「▶」キーに触れてください	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#20	エンジンアダプタボードを正しく 初期化できなかった	「▶」キーに触れてください	*1
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#21	シリアル・データの受信時にオー バーラン・エラーを検出(デバ イス・データ)	「▶」キーに触れてください	*1
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#22	シリアル・データの受信時にフレ ーミング・エラーを検出(デバイ ス・データ)	「▶」キーに触れてください	*1
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#23	シリアル・データの受信時にパリ ティ・エラーを検出(デバイス・デ ータ)	「▶」キーに触れてください	*1
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#24	デバイス・ドライバがデバイス・ データの時間切れ(30 ms)を検 出	「▶」キーに触れてください	*1
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#2C	同期 FIFO エンプティ・エラーを 検出	「▶」キーに触れてください	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#2E	同期 FIFO 読み出しエラーを検 出	「▶」キーに触れてください	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#33	BUSY タイムアウトエラー	「▶」キーに触れてください	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#40	DHSYNC 時間切れをハードウエ アで検出	「▶」キーに触れてください	
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#41	CVDCLK エラーを検出	「▶」キーに触れてください	

\*1:アテンションライトは点灯しません。

「エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON」エラー発生時は、印刷中のジョブは保証されません。「▶」キーに触れてもエラーが解除できない場合は、いったんプリンタの電源を切り、再び電源を入れてください。それでもエラーが発生するようでしたら、保守員に連絡してください。

---



---

#### 留意点:

プリンタの電源を切る時は、1.8 節の指示に従ってください。

---



---

OG	B	00	
----	---	----	--

メッセージ	内容	対応方法
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#42	同期 FIFO パリティエラーを検出	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#47	マスターアクションでエラーを検出した	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#48	ターゲットアクションでエラーを検出した	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#49	未定義コードを EC ドライバより受信した	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#51	PRINT BIT が OFF にならない	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#52	COOL タイムアウト	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#53	エンジンからのシリアルデータ受信時に unknown error 検出	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#54	BUSY BIT が ON にならない	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#55	Engine が Not Ready である	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#56	Engine がパリティエラーを検出	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#57	Engine がフレーミング・オーバーランエラーを検出	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#58	Engine がインバリッドデータを検出	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#59	Diag Start 時のエラー	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#5A	Diag End 時のエラー	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#5B	Diag Read 時のエラー	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#5C	Diag Load 時のエラー	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#5D	コントローラプログラムエラー（予期せぬステートへ遷移した）	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#5E	コントローラプログラムエラー（UC Index が不当）	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#5F	DPFREQ タイムアウト	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON EC#60	Fuser ON 時のエラー	「▶」キーに触れてください

「エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON」エラー発生時は、印刷中のジョブは保証されません。「▶」キーに触れてもエラーが解除できない場合は、いったんプリンタの電源を切り、再び電源を入れてください。それでもエラーが発生するようでしたら、保守員に連絡してください。

---

**留意点:**

プリンタの電源を切る時は、1.8 節の指示に従ってください。

---

OG	B	00	
----	---	----	--

メッセージ	内容	対応方法
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON EC#61	Fuser OFF 時のエラー	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON EC#62	スリープモードから復帰時のエラー	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON EC#63	UC カウンタのアクセスエラー	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON EC#A1	DMA 転送時の HDD 書き込みエラー	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON BR#xx	Backup/Restore 時のエラー	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON OP#01	OPC エラー	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON Task Exit	コントローラプログラムエラー	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON PPC Exception	コントローラプログラムエラー	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON HDD エラー	HDD アクセスエラー	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON ログ メッセージ フル	エラーログ処理エラー	「▶」キーに触れてください
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON NMI	コントローラハードウェアエラー	プリンタの電源を OFF/ON してください
コントローラ メモリ エラー メモリ カウンシテクタサイ	コントローラメモリエラー	「▶」キーに触れてください
Boot Error	設定ファイルエラー	プリンタの電源を OFF/ON してください
Boot Failed	HDD に異常がある	プリンタの電源を OFF/ON してください
checkNmi	コントローラハードウェアエラー	プリンタの電源を OFF/ON してください
Suspended Task	コントローラプログラムエラー	プリンタの電源を OFF/ON してください
PS サイズシテイガ マチガツタイムス ジョブヲ キャンセルシテクタサイ	PostScript ジョブ中で指定した 用紙サイズが間違っている	Job をキャンセルしてください Job 中のサイズ指定を修正後再 送してください
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON ログ メッセージ フル	未処理のログメッセージが最大値を 超えた	プリンタの電源を OFF/ON してください
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON コンフィグレーション ファイル エラー	コンフィグレーションファイルに問題が生 じた	プリンタの電源を OFF/ON してください

「エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON」エラーおよび「コントローラ メモリ エラー」発生時は、印刷中のジョブは保証されません。「▶」キーに触れてもエラーが解除できない場合は、いったんプリンタの電源を切り、再び電源を入れてください。それでもエラーが発生するようでしたら、保守員に連絡してください。

---

**留意点:**

プリンタの電源を切る時は、1.8 節の指示に従ってください。

---

OG	B	01	
----	---	----	--

メッセージ	内容	対応方法
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON ケンゴ ファイル エラー	指定された言語用メニューファイルに問題が生じた	プリンタの電源を OFF/ON してください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON コウジヨウ シュツカチ エラー	工場出荷値処理が異常終了した	プリンタの電源を OFF/ON してください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON オフライン プリント エラー	オフライン印刷が異常終了した	プリンタの電源を OFF/ON してください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON ログ ファイル エラー	ログファイルに問題が生じた	プリンタの電源を OFF/ON してください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON アラート ファイル エラー	アラートファイルに問題が生じた	プリンタの電源を OFF/ON してください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON インサツ リレキ ファイル エラー	印刷履歴ファイルに問題が生じた	プリンタの電源を OFF/ON してください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON PCL イニシャルイス エラー	PCL のフォント初期化が出来なかった	プリンタの電源を OFF/ON してください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON PS MEMORY ERROR	ポストスクリプトメモリエラーが発生した	プリンタの電源を OFF/ON してください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON ニジユウ インサツ	不正な二重印刷を検出した	印刷結果をご確認ください 「▶」キーを押すと印刷を継続します
ポストスクリプト エラー チェックリセット ヲ オシテクダサイ	ポストスクリプトエラーが発生した	「▶」キーに触れてください
PCL エラー チェックリセット ヲ オシテクダサイ	PCL ジョブ印刷時にメモリ不足が生じた	「▶」キーに触れてください 注1
Is Sd Init	HDD に異常がある	プリンタの電源を OFF/ON してください
ジョブレコードフル NPRO ヲ ジツコウシテクダサイ	受信したジョブが規定数を越えた	NPRO を実行してください
Call for Service (NV#xx)	NVRAM エラー	プリンタの電源を OFF/ON してください
エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON NV#xx	NVRAM エラー	プリンタの電源を OFF/ON してください

注1：

- ・ 「▶」キーに触れた後、再度 PCL エラーが表示された場合は、プリンタの電源を OFF/ON してください。
- ・ PCL ジョブを分割して再印刷してください。

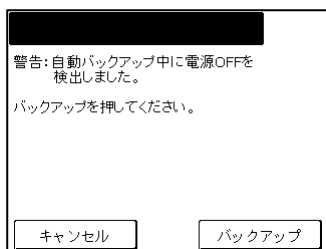
「エラーカイジヨ マタハ デンゲン OFF/ON」エラーおよび「コントローラ メリ エラー」発生時は、印刷中のジョブは保証されません。「▶」キーに触れてもエラーが解除できない場合は、いったんプリンタの電源を切り、再び電源を入れてください。それでもエラーが発生するようでしたら、保守員に連絡してください。

**留意点：**

プリンタの電源を切る時は、1.8 節の指示に従ってください。

OG	B	00	
----	---	----	--

自動バックアップ中の電源 OFF を検出すると、次回プリンタ起動時に下のような画面が表示されます。



このような画面が表示された時は、画面の指示に従いバックアップを実行して下さい。自動バックアップは電源投入直後および自動バックアップの設定時刻に実施します。

OG	B	00	
----	---	----	--

BLANK

OG	B	00	
----	---	----	--



# 付録 A

## 各種仕様

### A.1 プリンタ本体

仕様は、予告なく変更されることがあります。

項目	仕様
転写方法	光学式記録
露光システム	● 半導体 1 レーザ(レーザ・ダイオード)スキャンニング
解像度	600 x 600 ドット/インチ (dpi)
連続印刷速度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 8 行/インチ(lpi)印刷で 3,400 行/分(lpm)</li> <li>● A4/レター換算で 50 ページ/分(ppm)</li> <li>● 1 枚当り 2 ページ印刷で 77 ページ/分(ppm)</li> </ul>
印刷可能領域	付録 B 参照
コントローラ	PowerPC 750FX 800 MHz
メモリ容量	256 Mbyte
月間印刷枚数	●用紙長 11 インチで 100,000 ページ
公称電圧	200V ±10%
公称周波数	50/60 Hz ±1%
消費電力(平均値)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 待機時: 1.0kW 以下</li> <li>● 印刷時: 2.0kW 以下</li> <li>● 省電力時: 54W 以下</li> </ul>
動作音レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 待機時: 54 dBA</li> <li>● 印刷時: 65 dBA</li> </ul>
稼働環境条件	温度範囲: 16~32°C (印刷品質保証: 19~25°C) 湿度範囲: 20~80%RH(結露のないこと) (印刷品質保証: 30~65%)
寸法(H x W x D)	1223 x 965 x 905 [985] mm ([ ] 内の値は 14 インチ長の用紙使用時)
重量	● 330 kg
製品寿命	● 用紙長 11 インチで印刷ページ数 1,200 万ページまたは使用年数 5 年のいずれか早い方
間欠印刷について	1 ジョブが 1 ページなど少量ページ数の印刷の場合、ジョブを多数連続投入しても間欠印刷(印刷開始と停止を頻繁に繰返す)となり、実行速度が低下します。頻繁な間欠印刷を継続しますと機器短寿命となり、廃トナーが溢れたり、印刷品質、用紙送りの障害となります。印刷データを 1 ジョブ 1 ページなど細かく分割せず纏めて送付し、間欠印刷とならぬようお願いします。
バーコード印刷について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 印刷の再起動時あるいは NPRO 動作の開始時に、ヒートロール直下にバーコードがある場合、バーコードの印刷品質が低下(文字太り)しますので、帳票設計時ご留意下さい。文字太りと帳票長さの関係につきましては付録 H を参照下さい。</li> <li>● GS1-128 バーコードを印刷する際は、ドット補正が必要です。詳細につきましては付録 H を参照下さい。</li> </ul>
印刷品質	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 ドットの罫線・文字は、線幅が 0.1mm 未満となりますので細く薄くなります。</li> <li>● 印刷の再起動時、あるいは NPRO 動作の開始時に、ヒートロール直下の印刷が太く、濃くなります。印刷濃度を薄く設定すると若干緩和されます。</li> </ul>

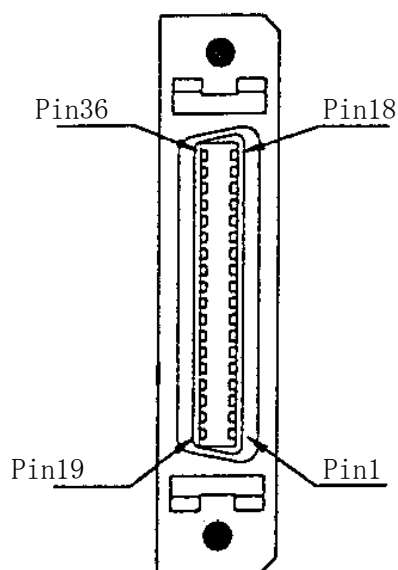
OG	B	02	
----	---	----	--

## A.2 I/O インターフェース

I/O インターフェースの仕様は以下の通り。

インターフェースの仕様	コネクタの種類
IEEE 1284C パラレル・ポート	1284-C
オンボードネットワーク I/F イーサネット ---10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	RJ-45

パラレルポートのピン位置と信号名は以下のようになっています。



0G	B	00	
----	---	----	--

ピン番号	信号名	方向
1	PtrBusy / Busy	Output
2	Xflag / Select	Output
3	PtrClk / nAck	Output
4	nDataAvail / nFault	Output
5	AckDataReq / Perror	Output
6	Data 1	I/O
7	Data 2	I/O
8	Data 3	I/O
9	Data 4	I/O
10	Data 5	I/O
11	Data 6	I/O
12	Data 7	I/O
13	Data 8	I/O
14	NInit	Input
15	HostClk / nStrobe	Input
16	1284Active / nSelectIn	Input
17	HostBusy / nAutoFd	Input
18	Host Logic High	Input
19	Signal Ground (Busy)	
20	Signal Ground (Select)	
21	Signal Ground (nAck)	
22	Signal Ground (nFault)	
23	Signal Ground (PError)	
24	Signal Ground (Data 1)	
25	Signal Ground (Data 2)	
26	Signal Ground (Data 3)	
27	Signal Ground (Data 4)	
28	Signal Ground (Data 5)	
29	Signal Ground (Data 6)	
30	Signal Ground (Data 7)	
31	Signal Ground (Data 8)	
32	Signal Ground (nInit)	
33	Signal Ground (nStrobe)	
34	Signal Ground (nSelectIn)	
35	Signal Ground (nAutoFd)	
36	Peripheral Logic High	Output

---

**留意点:**

パラレルポートを使用時、プリンタ起動後、OCPに「オンライン」が表示される以前に受信したデータは、正しく印刷できません。

パラレルポートを使用時の印刷速度は、使用しているPCの性能に依存します。

---

0G	B	00	
----	---	----	--

## A.3 消耗品

消耗品の予想される寿命を下表に示します。

消耗品	予想寿命
トナー(1,000 g ボトル) 注1	37,000 ページ (印刷密度3.6%)
現像剤 (1,850 g ボトル) 注2	436,000 カウント(390,000ページ相当)
トナーバッグ 注6	トナー供給ごとに交換
OPCドラム 注3	654,000 カウント(590,000ページ相当)
クリーナ 注3, 注4	654,000 カウント(590,000ページ相当)
定着ユニット 注5	2,000,000 ページ
HR クリーナ	300,000 ページ

注1：トナーの寿命は、印刷密度 3.6%、用紙連量 55kg（用紙質量 64g/m<sup>2</sup>）  
15 インチ幅 11 インチ長用紙を前提とした値です。

注2：予想寿命は、現像機の総回転数の 90%が実際に印刷に使用されたことを想定して  
計算されています。現像機回転数に対して実印刷使用率が 90%未満の場合は、消耗品  
の寿命が上表に示した値よりも短くなります。

注3：予想寿命は、OPC ドラムの総回転数の 90%が実際に印刷に使用されたことを想定して  
計算されています。OPC ドラムの回転数に対し実印刷率が 90%未満の場合は、消耗品  
の寿命が上表に示した値よりも短くなります。

注4：クリーナはブラシが常時 OPC ドラムに接触しているため、毛倒れ、トナー固着等  
経時劣化による清掃性の低下を招きます。従って、予想寿命は上記に示した値よりも  
極端に短くなる場合がありますので、始業時、及び実業務での印刷品質確認の徹底と  
ともに、6 カ月を目安に予防交換されることをお勧めします。

注5：1,000,000 ページ使用時にメンテナンスを行う必要があります。

定着ユニットは、お客様の使用状況（同一用紙幅のみの使用、特殊用紙の使用、パワ  
ーオン時間、省電力モード設定、印刷時間等）によってヒートロール、及びヒータ  
ランプの磨耗、劣化を加速させます。従って、予想寿命は上表に示した値よりも極端  
に短くなる場合がありますので、始業時、及び実業務での印刷品質確認の徹底ととも  
に、18 カ月を目安に予防交換されることをお勧めします。

※省電力モードは、定着ユニットの磨耗、劣化を軽減させますので、「有効」に  
してご使用されることをお勧めします。

OG	B	03	
----	---	----	--

注 6：低密度印刷/間欠印刷（印刷起動/停止の繰り返し）の割合が多い場合には、廃トナーの量が増加し、E006（トナーがアリマセン ホキョウシテクダサイ）発生前に、E005（トナーバックフル コウカンシテクダサイ）が発生することがあります。この場合には廃トナーバックを交換して下さい。

更に、その後に E006（トナーがアリマセン ホキョウシテクダサイ）となった後にも、E005（トナーバックフル コウカンシテクダサイ）を表示します。この場合にも廃トナーバック内の量に関わらず、必ず廃トナーバックを交換して下さい。

---

---

**留意点：**

- 実際の消耗品交換必要時期は、印刷内容によって変動します。
  - 使用済みの消耗品は、適用する全ての法律や条例等に従って処理されなければなりません。これらの法令は地方により異なるため、処理処分の手順については管轄地域の役所の廃棄物担当部門に問い合わせてください。
-

BLANK

0G	B	00	
----	---	----	--

# 付録 B 用紙の仕様

---

## B.1 用紙について

本プリンタを円滑に運用いただくために、この付録Bでは、印刷用紙を購入する際  
の用紙の条件を紹介します。印刷用紙の製造業者との事前打ち合せに御活用  
ください。なお、詳しく御知りになりたい場合にはお買い上げの販売店まで  
お問い合わせください。

### B.1.1 用紙についての一般的な推奨条件

印刷には、高品質の上質紙の原紙をご使用ください。原紙は組織は均一かつ不透明で、特  
に伸縮が少なく印刷に適するものであること。グリースや熱可塑性樹脂を含浸していたり付着  
しているものは印刷に不適合です。やれ(切り残し、やぶれなど)、よごれ、紙片の付着、ほこ  
り、しわ、穴開き、丸まり、角の折れなどのない上質紙をご使用ください。

---

OG	B	00	
----	---	----	--

---

## B.1.2 用紙の仕様

本仕様は両側に送り穴と横ミシン目及び縦ミシン目（ない場合もある）を有し、縦方向に連続して1枚の用紙を1本又は数本の横ミシン目毎に折りたたんだ連続伝票用紙に関するものです。書式フォーマットがあらかじめ事前印刷されている連続伝票にも適用されません。

### （1）紙質

原紙は上質紙とする。原紙の組織は均一かつ不透明で、特に伸縮が少なく印刷に適するものであること。グリースや熱可塑性樹脂を含浸していたり付着しているものは印刷に不適格です。

### （2）部数

一部紙

以下の用紙は、用紙ジャムや印刷品質に関する問題を起こしますので、使用しないでください。

- 極端に厚いまたは薄い用紙
- 電子写真方式のプリンタまたは複写機で印刷した用紙(プレプリント紙は除く)
- しわのある用紙、やぶれのある用紙、曲っている用紙
- 濡れたり、湿ったりしている用紙
- 丸まった用紙
- 静電気を帯びた用紙
- のりの付いている用紙
- 特殊な塗装(コーティング)のしてある用紙
- 表面処理のなされている色紙
- 200 °Cの温度または約 300 kPa の圧力に耐えられない用紙
- 感熱紙
- カーボン入用紙や感圧紙(ノーカーボン用紙等)等の複写紙
- ペーパー・ファスナー、ひも、帯などの付いている用紙
- 厚い生地用の用紙
- ラベルをはがして裏の紙が出ているラベル用紙

なお、B.1.16にも用紙に関する注意事項を記載していますので御確認ください。

---

OG	B	01	
----	---	----	--



### B.1.3 用紙の重量

1 平方メートル当りの重量で示す  
(788×1091mm (四六判) 1,000 枚の重量で示す。)  
64~157 g/m<sup>2</sup> (55~135Kg)

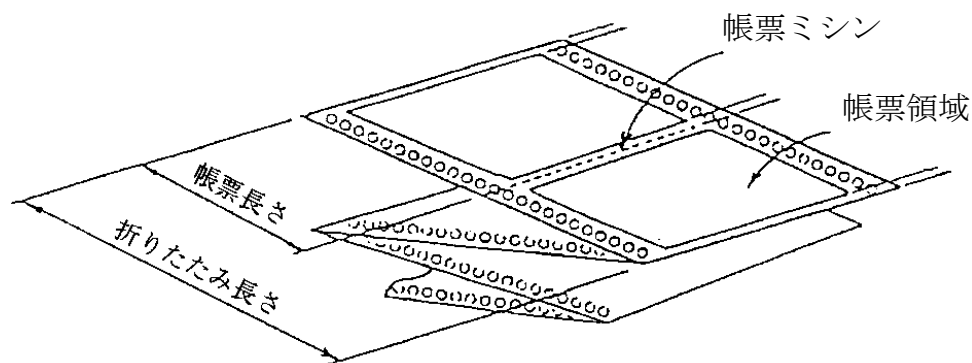
### B.1.4 用紙のサイズ

- 用紙幅:  
HT-4558-80(標準)は 203.2~457.2 mm (8~18 インチ)、  
HT-4558-80(オプション)は 165.1~406.4 mm (6.5~16 インチ)、  
HT-4558-120 は 165.1~457.2 mm (6.5~18 インチ)

- 用紙長(折りたたみ長さ): 177.8~355.6 mm (7~14 インチ)

但し、12.7mm(0.5インチ)、8.5mm(1/3インチ)の整数倍で公差は±1mmとします。

用紙長(折りたたみ長さ)および帳票長さは図 B-1 の如く定義し、寸法は表 B-1 による。



- : 使用できる寸法
- × : 使用できない寸法

図 B-1 長さの定義

OG	B	01	
----	---	----	--

表 B-1 用紙の長さ

寸法	mm (インチ)	76.2 (3)	88.9 (3.5)	101.6 (4)	114.3 (4.5)	127 (5)	139.7 (5.5)	152.4 (6)	165.1 (6.5)	177.8 (7)
折りたたみ長さ		×	×	×	×	×	×	×	×	○
帳票長さ		○	○	○	○	○	○	○	○	○

寸法	mm (インチ)	190.5 (7.5)	203.2 (8)	215.9 (8.5)	228.6 (9)	241.3 (9.5)	254 (10)	266.7 (10.5)	279.4 (11)	292.1 (11.5)
折りたたみ長さ		○	○	○	○	○	○	○	○	○
帳票長さ		○	○	○	○	○	○	○	○	○

寸法	mm (インチ)	304.8 (12)	317.5 (12.5)	330.2 (13)	342.9 (13.5)	355.6 (14)
折りたたみ長さ		○	○	○	○	○
帳票長さ		○	○	○	○	○

用紙長 177.8mm(7インチ)から 355.6mm(14インチ)においては、表 B-1 に示すほかに、8.5mm(1/3  
インチ)単位の

用紙も使用できます。

例えば、177.8mm , 186.3mm , 190.5mm , 194.7mm , 203.2mm , ……。

[ 7 , 7<sup>1</sup>/<sub>3</sub> , 7<sup>1</sup>/<sub>2</sub> , 7<sup>2</sup>/<sub>3</sub> , 8インチ ]

## B.1.5 用紙のミシン仕様

縦ミシン（耳ミシンを含む）、横ミシン（折りたたみミシン、帳票ミシン、内部水平ミシン）の定義は、図 B-2 による。ミシン目カット部及びタイ部の定義は、図 B-3 を参照して下さい。ミシン目のアンカット部は、図 B-2 を参照して下さい。

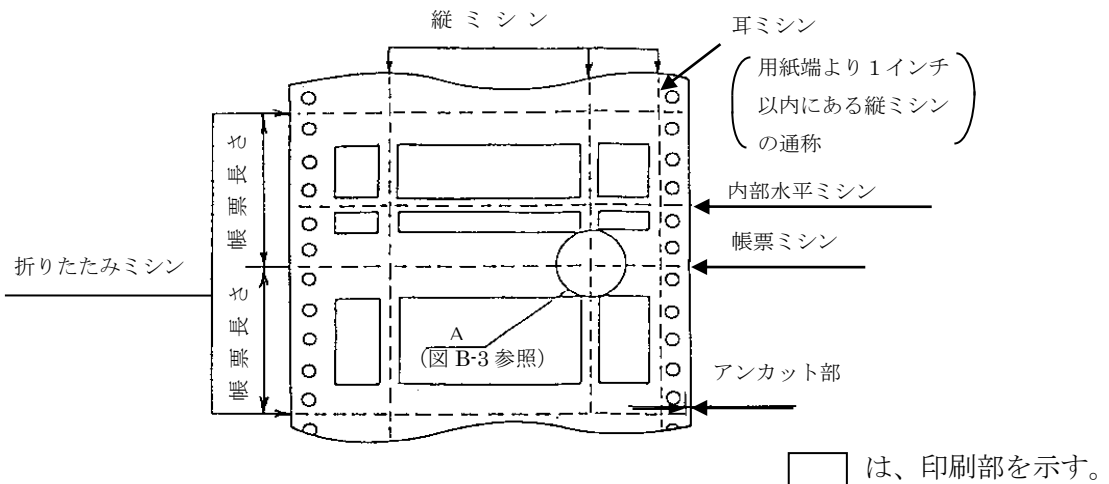


図 B-2 ミシンの定義

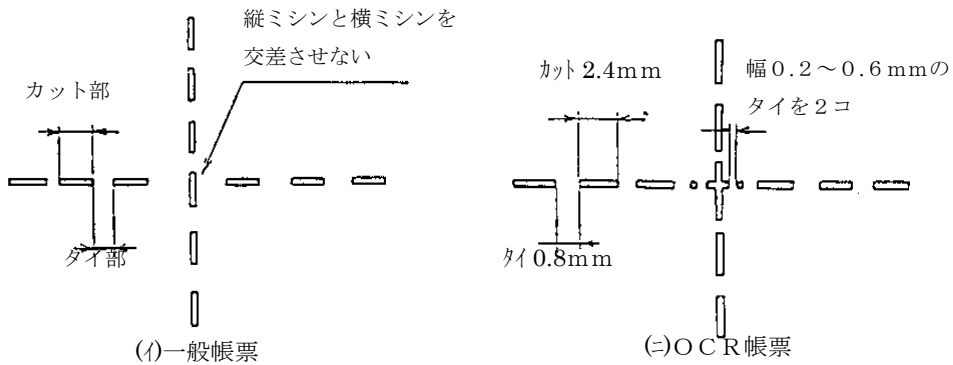


図 B-3 縦横ミシン目の交差部（図 B-2・A部参照）

### (1) 用紙連量とミシン本数の関係

表 B-2 用紙連量とミシン本数の制限

用紙連量	ミシン 帳票ミシン目 内部水平ミシン } を合わせて	縦ミシン (耳ミシンを含む)
55~70Kg	1本のみ	最高3本まで
71~110Kg 未満	最高2本まで	最高3本まで
110~135Kg	最高2本まで	最高4本まで

注2) 表 B-2 を超えてミシン本数を設けると、折りたたみ不良が発生し易くなります。

OG	B	00	
----	---	----	--

- (2) ミシン目のカット部及びタイ部の寸法
- (a) ミシンのカット部寸法は、3mm 以下とする。
  - (b) ミシンのタイ部の寸法は、0.8mm 以上とする。
  - (c) ミシンのカット部とタイ部の比は、1 以上かつ 3 以下とする。

- (3) ミシンの強度  
各種ミシンは、表 B-3 の標準寸法を基本として下さい。

表 B-3 各種ミシンと標準寸法

寸法 \ ミシンの種類	折りたたみミシン	縦ミシン、帳票ミシン 及び内部水平ミシン
標準寸法	タイ部；カット部 (1) 1 mm；2.5mm	タイ部；カット部 1 mm；1.5mm
	(2) 1 mm；3.0mm	1 mm；2.0mm
	(3) 0.8mm；2.0mm	0.8mm；1.2mm
	(4) 0.8mm；2.4mm	0.8mm；1.6mm
OCR 帳票	タイ部 0.8mm, カット部 2.4mm	

- (4) ミシンに関する注意事項
- (a) ミシンは一直線に加工されていること。
  - (b) 内部水平ミシンは、折りたたみミシンより 50.8mm (2 インチ) 以上離すこと。
  - (c) 帳票ミシンと内部水平ミシンは、両端に 3~5mm のアンカット部(図 B-2 参照)を残すこと。また折りぐせのないこと。
  - (d) 折りたたみミシンの両端に 1~3mm のアンカット部(図 B-2 参照)を残すこと。
  - (e) 折りたたみミシンと帳票ミシンが重なった場合は、折りたたみミシンを優先する。
  - (f) 縦ミシンは、用紙両端より 25.4mm (1 インチ) 以上離すことが望ましい。  
(55kg~110kg 未満)  
(薄手用紙に耳ミシンを設けると用紙ジャムが発生し易くなります。)
  - (g) 110kg~135kg 用紙は、用紙両端より 12.7~25.4mm の範囲に縦ミシン (耳ミシン) を設けること。

OG	B	00	
----	---	----	--

## ・ B.1.6 送り穴

用紙の送り穴の位置と寸法は次の通りとする。(JIS X 6195による)  
ここでいうセンターラインとは送り方向に**25.4mm**離れた任意の送り穴の中心を結ぶ線分をいう。

### (1) 送り穴の位置

送り穴は用紙の左右両端の余白にあける。送り穴のセンターラインと対応する端辺との距離Aは次の通りである。

$$A = 6 \pm 0.7\text{mm}$$

### (2) 送り穴の直径

送り穴の直径Dは次のとおりである。

$$D = 4.0 \pm 0.1\text{mm}$$

但し、穴の縁が歯状になっている送り穴は最小直径が上記のDと同じとし、最大直径が**4.5mm**を越えてはならない。

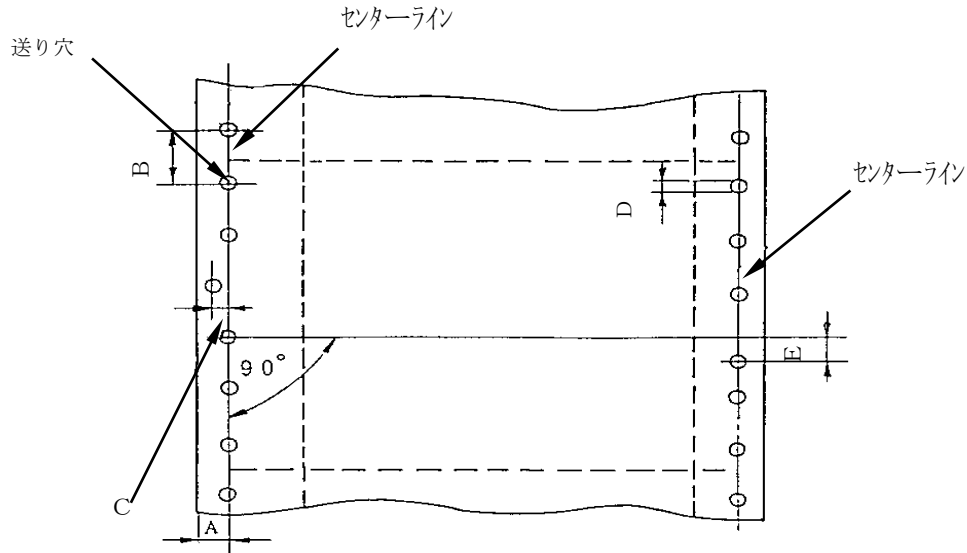


図 B-4 送り穴

### (3) 送り穴の中心距離

隣接する二つの送り穴の中心間の距離Bは次のとおりとする。

$$B = 12.70 \pm 0.05\text{mm}$$

### (4) 送り穴の中心距離の累積誤差

送り穴の中心間距離の累積誤差は送り穴中心距離**254mm**を越えない任意の二つの送り穴の間で  $\pm 0.3\text{mm}$  を超えないこと。

### (5) 送り穴の中心のずれ

送り穴の中心のセンターラインに対する左右のずれの最大許容量値Cは **0.1mm** とする。

### (6) 左右の対応する送り穴の中心のずれ

左側の任意の送り穴の中心をとおりセンターラインに垂直な直線とそれに対応する右側の送り穴の中心のずれの最大許容値Eは **0.15mm** とする。

### (7) 左右のセンターラインの傾き

左右のセンターラインを平行に移動して一方の端点と重ねたとき、他方の端点間の距離は **0.15mm** 以内 とする。

OG	B	01	
----	---	----	--

## B.1.7 送り穴以外の穴

印刷前の帳票にバインダー穴、コーナカットを設けることは、穴近傍での定着不良や転写機構部での印刷汚れによる印刷品質の低下につながるので、極力使用しないのが望ましい。

バインダー穴や、コーナカットを設ける場合は、下記の制限事項を守って事前に印刷品質の確認を行なってから御使用下さい。また、その他の穴についても事前にテストをおこなってから御使用ください。

### (1) バインダー穴、コーナカットについて

バインダー穴の大きさは、 $\phi 5$  または  $\square 5$  以下とする。

コーナカットは、 $5\text{mm} \times 5\text{mm} \times 45^\circ$  以下とする。

バインダー穴またはコーナカットのピッチは、図 B-5 による。

コーナカットと横ミシンの関係は、図 B-5 による。

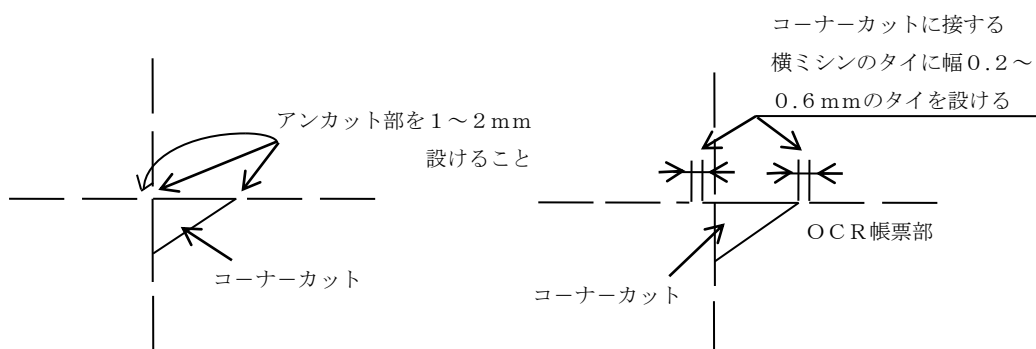
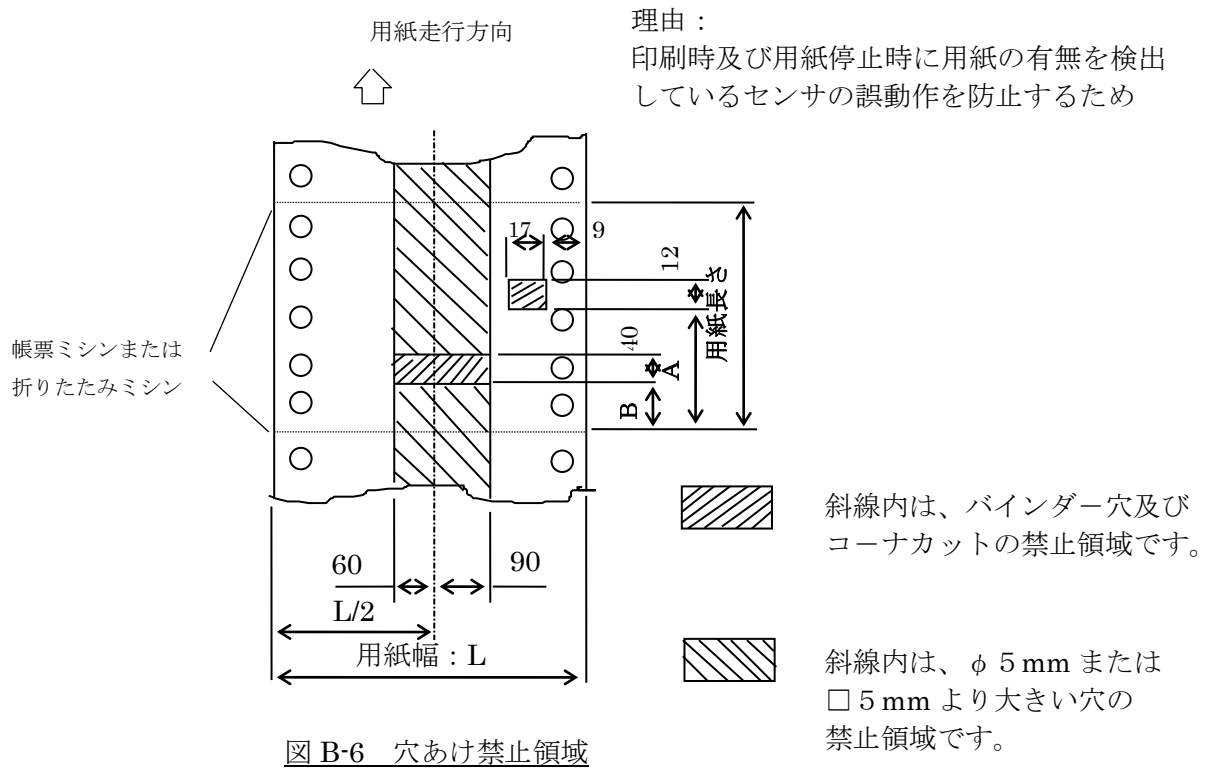


図 B-5 コーナカットと横ミシンの関係

OG	B	01	
----	---	----	--

(2) 穴あけ禁止領域



A 寸法；帳票長さ 177.8mm(7 1/8 インチ)以下の場合 181mm・帳票長さ  
帳票長さ 186.3mm(7 1/3 インチ)以上の場合 181mm

B 寸法； mm(インチ)	帳票長さ 177.8mm(7 1/8 インチ)以下の場合		帳票長さ 186.3mm(7 1/3 インチ)以上の場合		帳票長さ 190.5mm(7 1/2 インチ)以下の場合		帳票長さ 194.7mm(7 2/3 インチ)以上の場合	
	用紙長さ	B 寸法	用紙長さ	B 寸法	用紙長さ	B 寸法	用紙長さ	B 寸法
	177.8(7)	8	186.3(7 1/3)	168	190.5(7 1/2)	160	194.7(7 2/3)	151
	203.2(8)	135	211.7(8 1/3)	118	215.9(8 1/2)	109	220.1(8 2/3)	101
	228.6(9)	84	237.1(9 1/3)	67	241.3(9 1/2)	58	245.5(9 2/3)	50
	254.0(10)	33	262.5(10 1/3)	16	266.7(10 1/2)	8	270.9(10 2/3)	270
	279.4(11)	262	287.9(11 1/3)	253	292.1(11 1/2)	249	296.3(11 2/3)	245
	304.8(12)	236	313.3(12 1/3)	228	317.5(12 1/2)	223	321.7(12 2/3)	219
	330.2(13)	211	338.7(13 1/3)	202	342.9(13 1/2)	198	347.1(13 2/3)	194
	355.6(14)	185						

---

## B.1.8 用紙の色

白色が望ましい。

色付の用紙を用いる場合は、明るい色（黄色、黄緑色、空色、ピンク色など）で色濃度をできる限り薄くして御使用下さい。

注）色付の用紙は、用紙からの反射光量を検知しているペーパージャムセンサの動作マージンを損なうため、用紙に光を当てたときの反射率が75%以上確保できる範囲内で御使用下さい。

色付用紙を大量に注文するときは、使用しても問題がないか先に試験してみることをお勧めします

## B.1.9 印刷の色

黒色。

本プリンタは黒色トナー専用です。指定されたトナーを使用してください。

### (1) トナーおよび現像剤について

トナーおよび現像剤は必ずラベルの表示を確認してから使用してください。

もし誤って他のものを使用した場合には印刷品質が著しく低下したり、プリンタの障害の原因となる。

尚、トナー及び現像剤は長時間保存すると印刷品質の低下等を招く可能性があるため、先に購入したものから使用してください。

長時間保存する場合には、なるべく低い温度（推奨 30℃以下）で保存し、保存期間は、1年以内を目安としてください。

---

OG	B	01	
----	---	----	--



### B.1.10 印刷可能範囲

- (1) 最大印刷幅は、  
HT-4558-80 (標準) / HT-4558-120 は 431.8 mm (17 インチ)、  
HT-4558-80 (オプション) は 381.0 mm (15 インチ)です。
- (2) 最大印刷長は、〔帳票長さ－印刷禁止長さ×2〕です。
  - ・印刷禁止長さ A : 8.5mm(1/3 インチ)
  - ・最大印刷長 B :  $L - 16.9\text{mm}(2/3 \text{ インチ})$
- (3) 印刷可能範囲は図 B-7 の斜線部です。

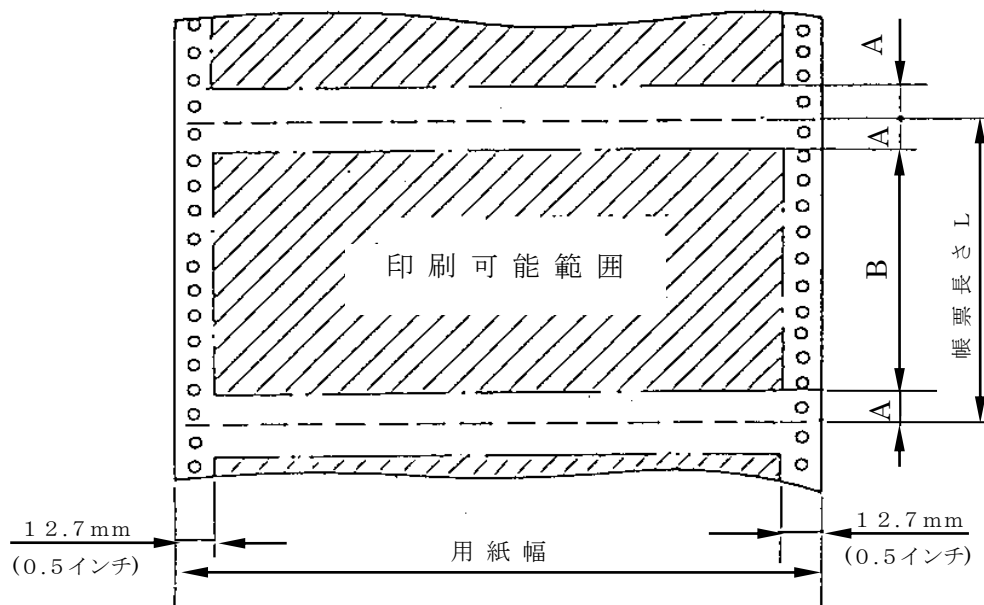


図 B-7 印刷可能範囲

OG	B	00	
----	---	----	--

### B.1.11 印刷禁止領域

図 B-8 の斜線部以外の部分が印刷禁止領域です。

- ・ 折りたたみミシン、帳票ミシンから 8.5mm (1/3 インチ) の領域。
- ・ 用紙の左右両端から、12.7mm (0.5 インチ) の領域。
- ・ 内部水平ミシンから 2.5mm (0.1 インチ)
- ・ 縦ミシンから 2.5mm (0.1 インチ)
- ・ バインダー穴の周囲 2.5mm (0.1 インチ)

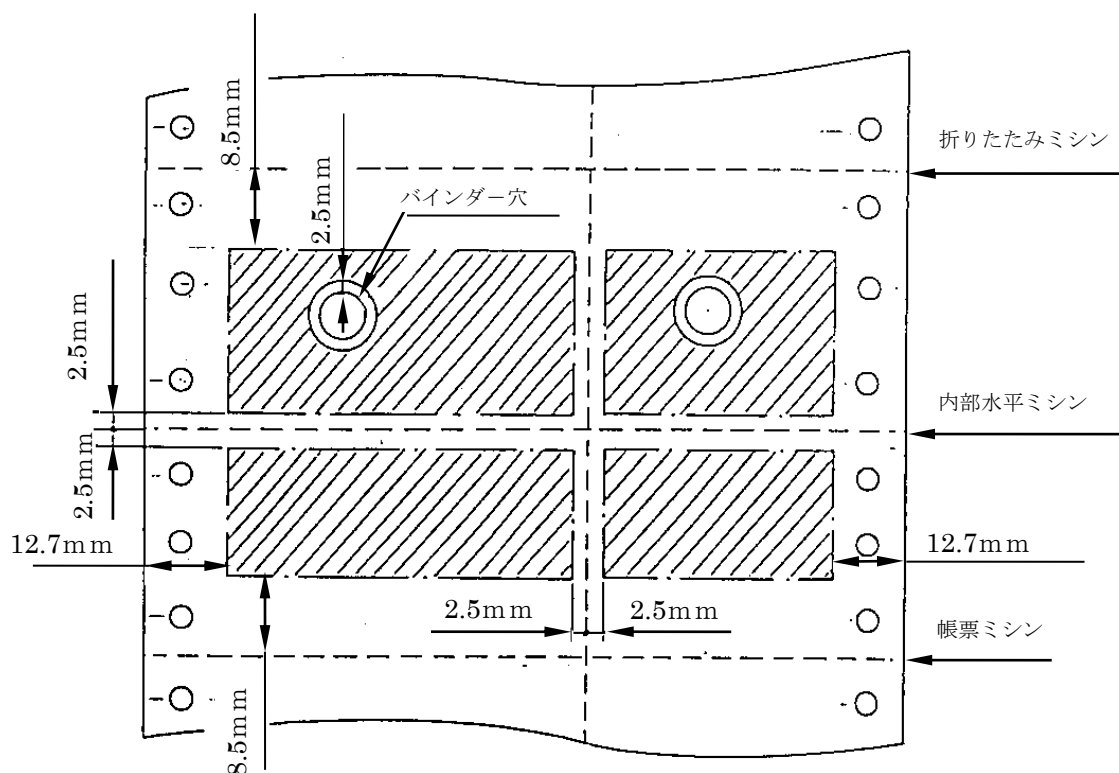


図 B-8 印刷禁止領域

OG	B	00	
----	---	----	--

---

## B.1.12 プレプリント紙

### (1) インク

(a) 事前印刷に使用するインクは非揮発油性で 200℃で 340kPa の圧力が数秒加えられても転写が起きないことが必要です。

帳票の裏面に事前印刷する場合にも、事前印刷に適したインクを使用してください。

(b) 印刷はオフセット印刷で行ない、インクは出来るだけ薄くしてください。

(c) 事前印刷に適したインクを以下に示す。

- ・酸化重合乾燥形インク
- ・熱硬化形インク(ブリキインク)
- ・紫外線硬化形インク

(d) 事前印刷に不適當なインクを以下に示す。

- ・クイックセットインク
- ・蒸発乾燥形インク
- ・コールドセットインク
- ・沈澱乾燥形または折出乾燥形インク
- ・しみこみ乾燥形インク

(e) 事前印刷した帳票は、ポリエチレンシートで包装する前にインクが完全に乾燥していることが必要です。

インクの種類・乾燥条件により乾燥期間が異なるので、事前に用紙メーカーと打ち合わせて決定してください。

紫外線硬化形インクで完全にキュアーしたインクは、乾燥条件が整えば1日の放置で使用できます。酸化重合乾燥形インクは、乾燥に約7日の放置が必要です。

注) インクが乾燥していることを簡単にチェックする方法として、事前印刷の部分をティッシュペーパーで強くこすったとき、ティッシュペーパーに色が着かないことで見分ける方法があります。

(f) 事前印刷時の雰囲気湿度は 45～60%とさせてください。

(g) 事前印刷後、用紙が伸び縮みする乾燥方法はさけるように御要求ください。

---

OG	B	01	
----	---	----	--

(2) 事前印刷禁止領域

プリンタは、図 B-9 の用紙蛇行検出ゾーンで用紙の送行安定度を検出しています。誤検出を防ぐためにこの部分には事前印刷をしないで下さい。

用紙製造のための色合わせ等のマーク（トンボ）も印刷しないよう用紙製造メーカーに御注意下さい。

但し、淡い黄色、淡い緑、淡い青、淡い灰色、淡いピンク色で罫線を印刷すること可能ですが、必ず事前にテストして装置が誤動作しないことを確認して下さい。

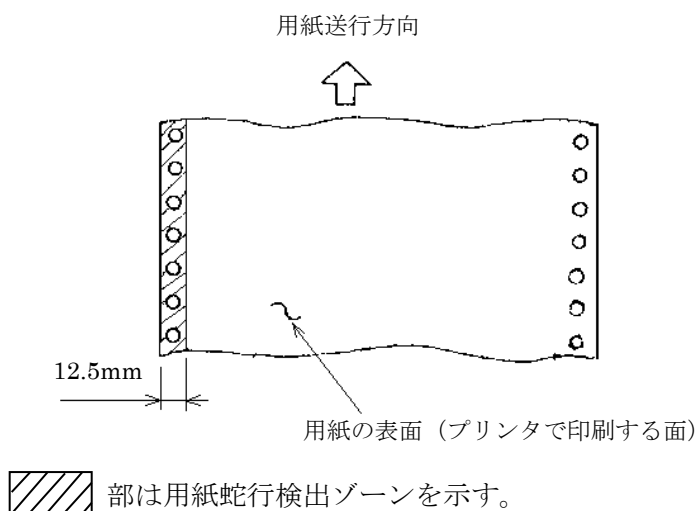


図 B-9 用紙蛇行検出ゾーン

OG	B	01	
----	---	----	--

### B.1.13 帳票

印字データ文字を事前印刷にあまり接近して配列すると、帳票の湿度変化、事前印刷の精度などにより、事前印刷の上にデータ文字が印刷され、帳票の美観を損なうことがあります。

事前印刷時の湿度雰囲気とプリンタで印刷中の湿度雰囲気の差による用紙の伸縮、(相対湿度 10% の変化で約 0.2% の伸び)、事前印刷の精度 ( $\pm 0.2\text{mm}$ )、用紙送りの精度誤差などによりデータ文字が事前印刷の所定の位置に正しく配置されないことがあるためです。

#### (1) 帳票設計上の注意事項

(a) 特に幅広い用紙で、左から右まで 1 行を一杯の長さで御使用になる場合は、データ文字を事前印刷の縦罫線より 1mm 以上離して配置する。

注) すでに設計している帳票において、事前印刷の縦罫線 2 本の間印刷すべきデータ文字が多く、縦罫線より 1mm 以上離せない場合は、縮小文字を用い縦罫線との間に余裕をとるようにして下さい。

(b) 事前印刷による横罫線間に印字データ文字を印刷する場合は、データ文字を横罫線より 0.6mm 以上離して配置する。(1.0mm 以上離すことが望ましい)

注) 書式オーバーレイを用いて帳票を印刷する場合は、事前印刷の精度の影響がないので、罫線とデータ文字の関係は、0.4mm 以上でよい。

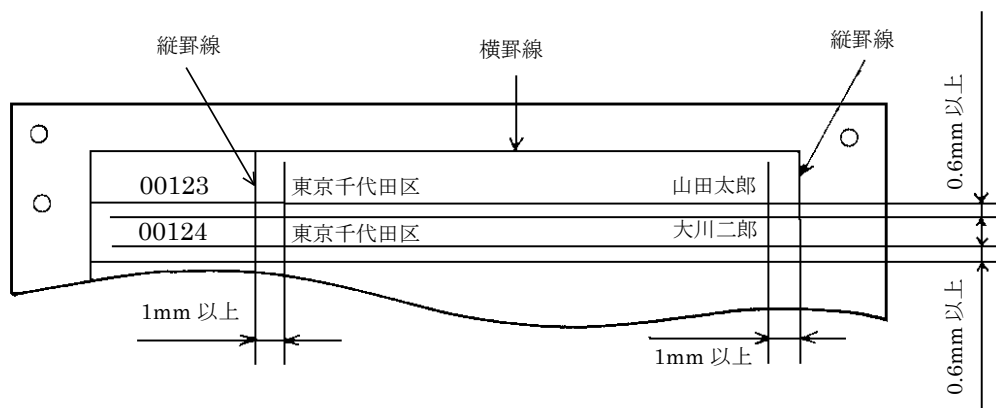


図 B-10 事前印刷における罫線と印字データ文字との間隔の関係

---

### B.1.14 保管条件

温度 10～30℃  
湿度 30～70% (JIS X 6195 に準拠する。)

但し、ポリエチレンシートで印刷用紙自体を梱包した場合は、下記とする。

温度 4～43℃  
湿度 8～90%

保管場所と使用場所との間に環境条件の差がある場合は、使用する2～3日前に使用場所に移動して同一環境になじませる。湿度の高い場所に印刷用紙を保管してすぐに計算機室内で使用する場合には、用紙に急激な湿度変化が加わり用紙ジャムの原因となり、又、折りたたみミシン目の近傍で転写不良の原因となります。

帳票設計上可能な場合は、折りたたみミシン目からの領域を広くしておくことにより、上記リスクが軽減されます。

### B.1.15 梱包

一箱当りの折りたたみ枚数は、用紙を積み重ねたときの高さが290mmを越えないこと。

外箱形状はフタ付とし、下箱の高さは300mm以下とする。また、下箱の縦寸法(用紙長さ方向)は390mm以下、横寸法(用紙幅方向)は470mm以下とする。下箱の内部には用紙が印刷装置内にフィードされるのを妨げる有害な突起物がないこと。

一箱中の用紙は用紙そのものが切れ目なくつながっていること、また、スタック容量は55Kg紙で最大2000シートです。一箱中のシート数はそれを考慮し決定してください。

### B.1.16 用紙に関する注意事項

(1) 穴の抜きかす

送り穴、ファイル用バイнда穴、コーナーカット三角穴などは完全に抜かれていなければなりません。抜きかすが残ってはならない。これらの抜きかすがプリンタの感光ドラムと用紙の間に落ちるとデータの脱落になる恐れがあります。また、感光ドラムを傷つける恐れがあります。

送り穴等を抜くためのパンチカス等の金属物が、絶対に混入したり付着していません。必要です。

(2) 異物の付着がないこと。

糊のかたまり等の付着がないこと。

(3) しわ及び折れ目

用紙にしわや折りたたみ部以外の折れ目があると、その近辺の文字が用紙に転写されない場合がある。従って用紙にはしわや折れ目があってはけません。

(4) 用紙の破れ

途中に用紙破れがあると用紙ジャムが発生し、用紙装填のやりなおしを必要とします。またデータの脱落・脱字を起す原因となる。更に最終頁に用紙の破れがあると

---

OG	B	01	
----	---	----	--

---

エンドオブフォームズのチェックが不完全となり、印刷不良となります。従って用紙の破れがあってははいけません。

(5) 用紙の反り

用紙に反りがあると、折りたたみ不良や用紙のジャムが発生することがあります。また、印刷後、バースタなどを使用する場合ジャムを起こすことがあります。従って、用紙に著しい反りがないことが必要です。

(6) カーボン入用紙や感圧紙（ノーカーボン用紙等）等の複写紙は使用できません。

(7) 電子写真方式を用いたプリンタで印刷した用紙は、表面及び裏面も使用することはできません。本プリンタで印刷した用紙も他の電子写真方式を用いたプリンタで印刷することはできません。（参考:電子写真方式を用いたプリンタで印刷した用紙は、インパクトプリンタでも使用できません。もし使用すると、インパクトプリンタの機構部を損傷する恐れがあります。）

(8) インパクトプリンタで印刷した用紙の表面および裏面は使用することができません。

(9) 湿式および液乾式電子写真プリンタ用の用紙は使用できません。

（湿式または液乾式の用紙であることの簡単なチェック方法として、硬貨で強くこすったときその部分の用紙の色が変わることで見分ける方法がある。）

(10) 用紙の含水率

用紙の含水率が高いと用紙ジャム、しわ、印刷品質低下の原因となります。一方低いと静電気が高くなる傾向があるので、転写部の障害、用紙ジャムの原因となります。含水率は5～6%としてください。用紙の保管条件を守ってください。

(11) 用紙の透気度

用紙透気度が高いと走行障害、印刷品質低下の原因となります。

用紙透気度は、100秒以下を推奨します。

\*透気度：一定の条件下で一定量の空気が用紙を通過するのに要する時間。

単位は秒で表す。（測定方法は J I S P 8 1 1 7 による。）

(12) 用紙をスプライスして使用することはできません。

(13) 用紙の成分

100%化学木材パルプの紙を使用してください。碎木パルプや綿を含有する紙は、CaCO<sub>3</sub>（炭酸カルシウム）などの自然不純物を含んでおり、感光ドラムや定着器の寿命を短縮します。CaCO<sub>3</sub>（炭酸カルシウム）の含有率は5%以下とするようにしてください。

また、高い温度を加えたときに、溶解したり、蒸発したり、裏移りしたり、脱色したり、有害物質を発生させるような材料を含むコート紙を使用しないでください。

---

OG	B	01	
----	---	----	--

---

(14) 用紙の表面抵抗値、体積抵抗値

用紙の表面抵抗値や体積抵抗値が高い場合は、印刷品質を低下や走行障害の原因となる恐れがありますので、以下の範囲として下さい。

(測定方法は、JIS K6911による。)

- ・表面抵抗値： $1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{13} \Omega$   
(推奨値： $1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{12}$ )
- ・体積抵抗値は  $1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{13} \Omega \cdot \text{cm}$   
(推奨値： $1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{12}$ )

---

OG	B	01	
----	---	----	--



# 付録 C レポート印刷

この付録 C では、レポート印刷の印刷サンプルを示します。

留意点:

用紙幅 8.5 インチ以下の用紙を使用した場合、印刷の右端が切れる場合があります。

## C.1 ステータス・レポート印刷

ステータス・レポートには、プリンタの現在の設定内容が印刷されます。

Status Page		[8/20/2009 10:48:51]
<b>PRINTER GENERAL INFORMATION</b>		
Controller Serial Number	06020013	CL145
Controller Software Version	LB.F 1.2	eI061
Controller Hardware Rev. Number	1	
Controller OS Rev. Number	1.2/7.1	
Engine Rev. Number	12	
Total Memory	255	MBytes
Free Memory	21	MBytes
Total Disk Space	8047.21	MBytes
Free Disk Space	5199.59	MBytes
IP Address of AUX	10.204.81.26	
MAC Address of AUX	00:06:FB:00:2E:66	
NIC software version:	This option is not installed	
OCP software version:	102	
OCP hardware revision:	4	
EA Device Id:	1	
EA Revision Id:	cb	
License Identifier	32686252600	
Energy Save Mode	Enable	
Energy Save Time	15	Minutes
Backup	Flash	ROM
<b>PRINTER USAGE INFORMATION - OVERALL</b>		
Total sheets	81233	
<b>CONTROLLER INFORMATION</b>		
Paper Size	Width:8.50, Length:11.00	inch
Adjustment	x:0.00, y:0.00	inch
Jam Recovery	Enable	
Wait Timeout	300	Seconds
LPD Queuing	Disable	
PostScript Error Print	Enable	
PostScript Best Fit	Disable	
PostScript Job Timeout	0	seconds
PostScript Halftone Density	Disable	
PostScript PS Wait Timeout	295	seconds
PostScript 180 Degrees Rotation	Disable	
PCL Fixed Orientation	None	
PCL 2-up	Disable	
PCL 2nd Page Offset	0.0	inch
OCP Contrast	10	
OCP Buzzer Volume	3	
Parallel I/F Ack Pulse Width	1000	ns
Parallel I/F mode	Bi-Directional	
Emulation	Auto Select	
PostScript I/O Mode	TBCP	
Public Read/Write	Disable	
Removing Job from lpd	when Job is exhausted	
LPD Spooling	Disable	
Show "Printing"	Disable	
Stop on PS Error	Disable	
Show Paper Info	Disable	
Auto Backup Time	1:00	
Show Repeat Button	Show	
On Duplicated Page	Continue	
External Buzzer	Disable	
<b>ENGINE INFORMATION</b>		
Toner Coverage	0.00	%
Print Density	LIGHT	
Developer Mix Use/Life	359/ 436	k
HR Cleaner Unit Use/Life	81/ 300	k
Fuser Use/Life	81/ 1000	k
OPC Drum Use/Life	529/ 654	k
Cleaner Use/Life	529/ 654	k
Charger Unit Use/Life	529/ 600	k
<b>NETWORK INFORMATION</b>		
IP Address AUX	0.0.0.0	
SubnetMask AUX	0.0.0.0	
Gateway Address AUX		
Boot Method AUX	STATIC	
HTTP Port AUX	80	
AppleTalk Zone		
Time zone	GMT + 09:00	
Time Server	Disable	
Protocol	TIME (RFC868)	
Host Name		
DNS Server Address	0.0.0.0	
Domain Name		
Country Code	81	
<b>VPT INFORMATION - Default</b>		
Emulation	Auto Select	
PostScript I/O Mode	TBCP	
PCL Page Orientation	Portrait	

OG	B	00	
----	---	----	--

## C.2 PCL ディスク・ディレクトリ・レポート印刷

PCL ディスク・ディレクトリ・レポートには、PCL 用ディスク・ディレクトリの内容が印刷されます。

```
PCL Disk Directory Page

      Size  Filename
104,656,280  HITACHIbmSeries.XpclpsJ
Total bytes used: 104,656,280
Total files: 1
```

## C.3 PostScript ディスク・ディレクトリ・レポート印刷

PostScript ディスク・ディレクトリ・レポートには、PostScript 用ディスク・ディレクトリの内容が印刷されます。

PostScript Disk Directory Page		
PostScript Disk Capacity:	1,228,800 Kbytes	
PostScript Disk Free Space:	1,222,487 Kbytes	Page: 1
Size	Filename	
7	PSDisk	
153,600	Sys/AllocMap	
6,292,480	Sys/Directory	
1,024	Sys/Root0	
1,024	Sys/Root1	
8,422	dc570halfone.ps	
Total bytes Used:		6,456,557
Total files:		6

0G	B	00	
----	---	----	--

# C.4 PCL フォント一覧印刷

PCL フォント一覧には、PCL 用のフォントの一覧が印刷されます。

PCL Font List, page 1

Font #/ID	Font Name/Esc. Seq.	Style	Height	Print Sample
<b>Resident Fonts — Scalable</b>				
#0 1	CG Times <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v0s0b4101T	0	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#1 2	CG Times It <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v1s0b4101T	1	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ĀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#2 3	CG Times Bd <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v0s3b4101T	0	3	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#3 4	CG Times BdIt <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v1s3b4101T	1	3	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ĀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#4 5	Univers Md <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v0s0b4148T	0	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#5 6	Univers MdIt <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v1s0b4148T	1	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ĀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#6 7	Univers Bd <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v0s3b4148T	0	3	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#7 8	Univers BdIt <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v1s3b4148T	1	3	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ĀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#8 9	Univers Cdm <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v4s0b4148T	4	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#9 10	Univers CdmIt <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v5s0b4148T	5	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ĀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#10 11	Univers Cdbd <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v4s3b4148T	4	3	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#11 12	Univers CdbdIt <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v5s3b4148T	5	3	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ĀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#12 13	AntiqOlive <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v0s0b4168T	0	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#13 14	AntiqOlive It <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v1s0b4168T	1	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ĀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#14 15	AntiqOlive Bd <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v0s3b4168T	0	3	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#15 16	CG Omega <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v0s0b4113T	0	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#16 17	CG Omega It <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v1s0b4113T	1	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ĀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#17 18	CG Omega Bd <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v0s3b4113T	0	3	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#18 19	CG Omega BdIt <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v1s3b4113T	1	3	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ĀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#19 20	Garamond Antiqua <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v0s0b4197T	0	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#20 21	Garamond Krsv <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v1s0b4197T	1	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ĀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ
#21 22	Garamond Hlb <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v0s3b4197T	0	3	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçNñî¿ÜßÁÐÒ

OG	B	00	
----	---	----	--

## C.5 PostScript フォント一覧印刷

PostScript フォント一覧には、PostScript 用のフォントの一覧が印刷されます。

<b>Resident PostScript Roman Fonts</b>	
AlbertusMT AlbertusMT Italic AlbertusMT Light	ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%&
AntiqueOlive Bold AntiqueOlive Compact AntiqueOlive Italic AntiqueOlive Roman	<b>ABCDEFabcdef1234!#%&amp;</b> <b>ABCDEFabcdef1234!#%&amp;</b> ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%&
Apple Chancery	ABCDEFabcdef1234!#%&
Arial BoldItalicMT Arial BoldMT Arial ItalicMT ArialMT	<b>ABCDEFabcdef1234!#%&amp;</b> <b>ABCDEFabcdef1234!#%&amp;</b> ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%&
ITC Avant Garde® Book ITC Avant Garde Demi ITC Avant Garde Book Oblique ITC Avant Garde Demi Oblique	ABCDEFabcdef1234!#%& <b>ABCDEFabcdef1234!#%&amp;</b> ABCDEFabcdef1234!#%& <b>ABCDEFabcdef1234!#%&amp;</b>
Bodoni Bodoni Bold Bodoni BoldItalic Bodoni Italic Bodoni Poster Bodoni PosterCompressed	ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%& <b>ABCDEFabcdef1234!#%&amp;</b> ABCDEFabcdef1234!#%& <b>ABCDEFabcdef1234!#%&amp;</b> <b>ABCDEFabcdef1234!#%&amp;</b>
ITC Bookman® Light ITC Bookman Demi ITC Bookman Light Italic ITC Bookman Demi Italic	ABCDEFabcdef1234!#%& <b>ABCDEFabcdef1234!#%&amp;</b> ABCDEFabcdef1234!#%& <b>ABCDEFabcdef1234!#%&amp;</b>
Carta	ABCDEFabcdef1234!#%&
Chicago	<b>ABCDEFabcdef1234!#%&amp;</b>
Clarendon Clarendon Bold Clarendon Light	ABCDEFabcdef1234!#%& <b>ABCDEFabcdef1234!#%&amp;</b> ABCDEFabcdef1234!#%&

Times, Helvetica, and Palatino are trademarks of Linotype AG and/or its subsidiaries.  
ITC Avant Garde, ITC Bookman, ITC Zap Chancery, and ITC Zap Dingbats are registered trademarks of International Typeface Corporation.

OG	B	00	
----	---	----	--

## C.6 プリセット一覧印刷

プリセット一覧には、用紙サイズ・印刷位置の登録値の一覧が印刷されます。

Preset Page		[12/13/2004 10:59:39]
<b>SELECT NUMBER INFORMATION</b>	Selected Preset Number	12
<b>PAPER PRESET INFORMATION(1 - 99)</b>	Preset No 1 - Paper Size Adjustment	Width:8.50, Length:11.00 inch x:0.00, y:0.00 inch
	Preset No 2 - Paper Size Adjustment	Width:8.50, Length:11.00 inch x:0.00, y:0.00 inch
	Preset No 3 - 4	None
	Preset No 5 - Paper Size Adjustment	Width: 215.9, Length: 279.4 mm x:0.00, y:0.00 inch
	Preset No 6 - 7	None
	Preset No 8 - Paper Size Adjustment	Width: 215.9, Length: 279.4 mm x:0.00, y:0.00 inch
	Preset No 9 - 10	None
	Preset No 11 - Paper Size Adjustment	Width:18.00, Length:11.00 inch x:0.00, y:0.00 inch
	Preset No 12 - Paper Size Adjustment	Width:8.50, Length:11.00 inch x:0.00, y:0.00 inch
	Preset No 13 - Paper Size Adjustment	Width:18.00, Length:11.00 inch x:0.00, y:0.00 inch
	Preset No 14 - Paper Size Adjustment	Width:8.50, Length:11.00 inch x:0.00, y:0.00 inch
	Preset No 15 - 29	None
	Preset No 30 - Paper Size Adjustment	Width:15.00, Length:11.00 inch x:0.00, y:0.00 mm
	Preset No 31 - 98	None
	Preset No 99 - Paper Size Adjustment	Width:15.00, Length:11.00 inch x:0.00, y:0.00 mm

OG	B	00	
----	---	----	--

BLANK

0G	B	00	
----	---	----	--

# 付録 D テスト印刷

この付録 D では、テスト印刷の印刷サンプルと機能を示します。

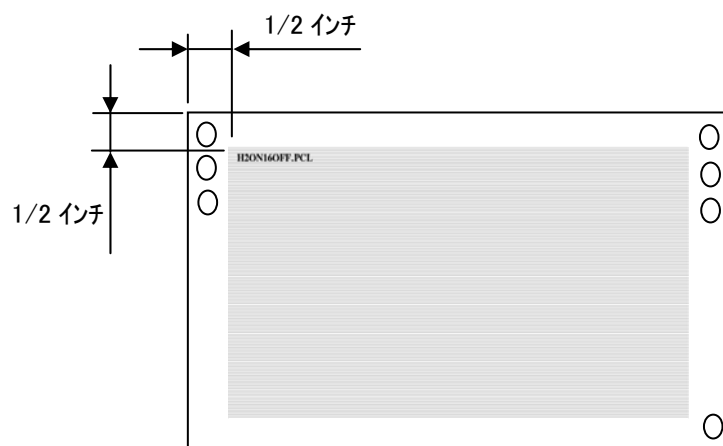
テスト印刷は次のように印刷されます。

- ① 下記テストパターンが約 66 インチ用紙長分印刷されます。
- ② 次に白紙パターンが約 66 インチ用紙長分印刷されます。
- ③ そして最後に①と同じテストパターンが 1 ページだけ印刷されます。

尚、①②で印刷されるページ数はセットされている用紙長により異なります。



印刷位置調整を 0 で設定した場合、印刷開始位置が下記のように用紙端、ミシン目から共に 1/2 インチになるようになっています。



OG	B	00	
----	---	----	--

BLANK

0G	B	00	
----	---	----	--



## 付録 E

### ベストフィット機能について

---

本プリンタにはベストフィット機能が搭載されています。

---

#### 留意点:

本機能をユウコウに設定すると、ユーザが指定したメディア(用紙サイズ)で印刷されない場合があります。

---

ポストスクリプトで用紙を選択する際、当該プリンタモデルではメディアに関する下記項目をユーザが明示的に指示する必要があります。

- ・用紙サイズ

ベストフィット機能をユウコウに設定している場合、ユーザが指定したメディアがプリンタの用紙ホッパにセットされていない場合には、セットされている用紙サイズに合わせて印刷を行います。

---

#### 留意点:

ベストフィット機能をムコウに設定している場合、ユーザが指定したメディアがプリンタの用紙ホッパにセットされていない場合には、ユーザが指定したメディアを用紙ホッパにセットするよう OCP パネル上にメッセージを表示し、実際にメディアがセットされるまで印刷動作を停止します。

---

0G	B	00	
----	---	----	--

BLANK

0G	B	00	
----	---	----	--

# 付録 F

## フォントのダウンロード

---

フォントをダウンロードする際、PCとの接続はクロスケーブルを使用し、1対1で行ってください。本プリンタ内蔵のハードディスクに市販のポストスクリプトフォントをダウンロードすることができます。本ダウンロードは PostScript がインストールされているモデルのみ可能です。

### F.1 フォントダウンロードの準備

以下の項目と設定を準備してください。

- プリンタにダウンロードするポストスクリプトフォントの CD-ROM やフロッピーディスクなどのメディアを準備してください。
- プリンタの「プリンタ設定」メニューでウエイトタイムアウトの値を40秒以上に設定してください。極端に小さな値ではフォントをダウンロードできないことがあります。
- Apple EtherTalk 用論理プリンタを使用の場合、論理プリンタの「オプション」－「フィルタ」の設定で「Apple Talk Binary」を選択してください（5.5.3 項参照）。フォントダウンロード終了後は必ずフィルタの設定を「無し」に戻してください。

### F.2 フォントのダウンロード

---

#### 留意点:

- 内蔵ハードディスクは、ダウンロードフォントの処理ができるように予め初期化されています。絶対に初期化、フォーマットおよびイニシャライズは行わないでください。フォントデータおよびその他必要なデータが消去されてプリンタが壊れます。
  - フォントのダウンロードはプリンタ側は何も実行中でないことを確認してから行ってください。正常にフォントがダウンロードされないことがあります。
- 

以下の手順に従ってください。

1. お客様が準備したポストスクリプトフォントのマニュアルに従って、フォントのダウンロードを行います。
2. ダウンロード終了後、フォントを認識できるようにするため、必ずプリンタの電源をいったん切った後再びプリンタの電源を入れてください。
3. O C P から以下の順に選択して印刷されるフォントリストを確認します。  
レポート印刷アイコン → 「フォント」 → 「ポストスクリプト」

0G	B	00	
----	---	----	--

---

留意点:

- 印刷中はハードディスクへアクセスするため、プリンタの電源を OFF にしないでください。フォントデータ等が壊れることがあります。
- 障害対策等のためコントローラ、ハードディスク等を交換した場合に、フォントの再ダウンロードをお客様の責任で実施して戴く場合があります。フォントのメーカーにより方法が異なりますので、お客様が購入されたフォントの説明書を良く読んでください。通常、コントローラ等を交換した説明書(保守サービス報告書等)を保守員より受け取り、フォントのフロッピーディスクや CD-ROM を添えてフォントメーカーに送ることにより、新しいフォントを入手することができます。(料金はフォントメーカーに確認ください)

ただし、本プリンタのオプションとして購入頂いた下記表に示すフォントにつきましては、有償にてフォントのダウンロードサービスを実施しております。(料金につきましては、保守員に確認ください)



フォント形名	フォント名	備考
HT-F4558-F101	増設フォント1	ANK
HT-F4558-F102	増設フォント2	OCR-B
HT-F4558-F103	増設フォント3	ANK および OCR-B
HT-F4558-F201	増設フォント JIS2004J	明朝
HT-F4558-F202	増設フォント JIS2004J	ゴシック
HT-F4558-F203	増設フォント JIS2004W	明朝
HT-F4558-F204	増設フォント JIS2004W	ゴシック
HT-F4558-F205	増設フォント日立書体	明朝
HT-F4558-F206	増設フォント日立書体	ゴシック
HT-F4558-F207	増設フォント日立書体セット2	明朝
HT-F4558-F208	増設フォント日立書体セット2	ゴシック

- 保守員をコールする必要があるとき、フォントをダウンロードしてある旨保守員にご連絡いただくとスムーズに処理できる場合があります。
- 

OG	B	00	
----	---	----	--

本プリンタには、特殊用紙（圧着紙等）を使用する際に、用紙の重送が発生した場合の対応として、重送防止ユニットをオプションとして設定しています。付録 G では、取り付け方法、操作手順、用紙分離バーの取り付け位置変更手順について説明します。

**G.1 重送防止ユニットの取り付け手順**

手順	図
<p>1 重送防止ユニットに取り付けられている GND ケーブル①のコネクタから抜く。</p>	
<p>2 本体用紙ホッパ分の GND ケーブル②を取り付けネジを外して、手順 1. で取り外した GND ケーブル①と一緒に本体に取り付ける。〔図示方向に固定〕</p>	
<p>3 重送防止ユニットを本体ホッパ部に入れ、GND ケーブル①のコネクタを接続する。</p>	
<p>4 重送防止ユニットを本体ホッパ部のほぼ中央位置にセットし、取り付けネジ③にて、重送防止ユニットを本体に固定する。</p>	

## G.2 重送防止ユニットの操作手順

### 1. 重送防止ユニットを使用する場合

(図1参照) 用紙を分離バー1の上に通し、分離バー2の下をくぐらせた状態でトラクタへセットしてください。

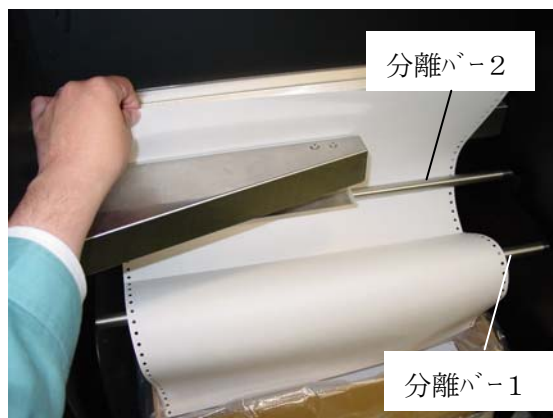


図1 重送防止ユニットへの用紙取り付け

### 2. 重送防止ユニットを使用しない場合

(1) 重送防止ユニットを本体から取外さない場合  
(図2参照)、用紙を分離バー1、2の間に通し、トラクタへセットして下さい。



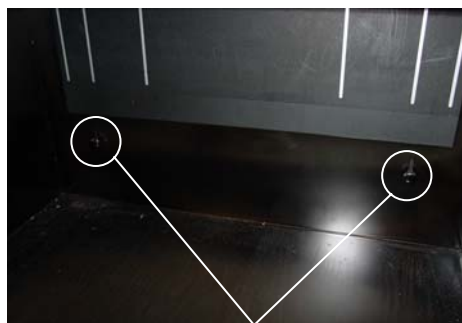
図2 重送防止ユニットを取外さない場合

(2) 重送防止ユニットを本体から取外す場合 (図3参照)

つまみネジ2箇所を取り外してください。

重送防止ユニットを本体ホッパから引き出し、グラウンドケーブルの接続部を矢印方向に引き抜いて切り離してください。その後、重送防止ユニットを取外してください。

重送防止ユニット グラウンドケーブル接続部



つまみネジ(2箇所)



図3 重送防止ユニットの取外し

OG	A	00	
----	---	----	--

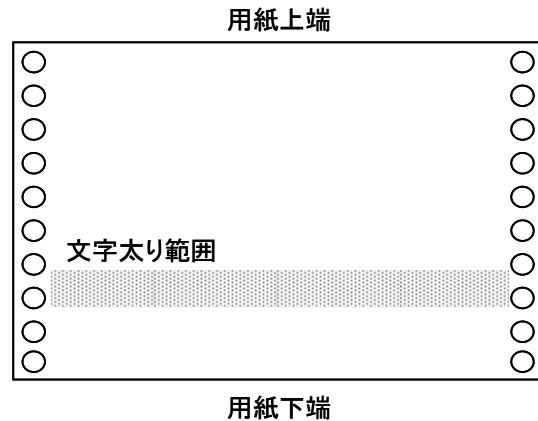
# 付録 H

## バーコード印刷

バーコード印刷を行う際の留意点について説明します。

### H.1 文字太り位置について

印刷の再起動時あるいは NPRO 動作の開始時に、ヒートロール直下にバーコードがある場合、バーコードの印刷品質が低下（文字太り）します。以下に文字太りと帳票長さの関係を示します。



帳票長さ (FCB 長)		文字太り範囲 (mm)		備考
インチ	mm	用紙上端からの位置 [( ) 内は下端からの位置を示す]		
14.0	356	280~304	( 51~ 75)	
13.5	343	255~279	( 64~ 88)	
13.0	330	230~254	( 77~101)	
12.5	318	204~228	( 89~113)	
12.0	305	179~203	(102~126)	
11.5	292	153~177	(115~139)	
11.0	279	128~152	(127~151)	
10.5	267	103~127	(140~164)	
10.0	254	77~101	(153~177)	
9.5	241	52~ 76	(166~190)	
9.0	229	26~ 50	(178~202)	
8.5	216	1~ 25	(191~215)	
8.0	203	179~203	( 0~ 24)	
7.5	191	141~165	( 26~ 50)	
7.0	178	103~127	( 51~ 75)	
6.5	165	64~ 88	( 77~101)	
6.0	152	26~ 50	(102~126)	はがきサイズの例
5.5	140	0~ 12	(127~140)	
5.0	127	77~101	( 26~ 50)	
4.5	114	26~ 50	( 64~ 88)	振込票の例
4.0	102	77~101	( 0~ 24)	
3.5	89	14~ 38	( 51~ 75)	
3.0	76	26~ 50	( 26~ 50)	

OG	A	00	
----	---	----	--

## H.2 GS1-128 バーコードの印刷について

HT-4558-80R の解像度は 600dpi です。ANSI 規格の B~C グレードレベルにするためには、黒バー幅を 1 ドット狭くかつ白スペース幅を 1 ドット太くしたドット補正を行い、さらにバーの印字方向は用紙走行方向に対して平行（用紙長に平行）に帳票をデザインしたり、印刷する用紙との相性などを考慮する必要があります。

上記のドット補正を行わない場合、またはバーの印字方向が用紙走行方向に対して垂直の場合はグレードが下がります。また印刷する用紙にも影響される場合があります。

---

---

### 留意事項：

- GS1-128 バーコード印刷に関して、ANSI 規格による印刷品質のグレード評価と、リーダーの読取性との間に必ずしも相関が取れているわけではありません。従いまして、最終的にはリーダーによる読取テストでの判断が必要となります。
  - HT-4558-80R の解像度は 600dpi です。それ以外の解像度のバーコードイメージを印刷すると読取精度が低下する場合があります。バーコードイメージは必ずイメージ解像度を 600dpi に設定して下さい。なお、イメージ解像度 600dpi における印刷においても、読取精度を上げるために、黒バーを 1 ドット狭く（ $4n-1$ ドット）かつ白スペース幅を 1 ドット太く（ $4n+1$ ドット）したドット補正を行なうことを推奨致します。ドット補正を行わない場合は、ドラム/現像剤などが寿命近くなった場合に読取性が落ちる場合があります。また、ANSI 規格でのグレードが下がることがあります。ドット補正を行なった場合での ANSI 印刷品質グレードは B~C レベルです。
- 
- 

OG	A	00	
----	---	----	--